

あべこべ×供給中毒(ウマ娘)

2Nok_969633

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

愛せ
心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を

さすれば、神は正しい信仰を与えてくださるだろう

目次

愛が恐れているのは、愛の破滅よりも、むしろ、愛の変化である。

1

愛の欠如こそ、今日の世界における最悪の病である。 | 15

私の知るどんな女性よりも、私はウマ娘を愛している | 25

神は愛なり | 43

愛することによつて失うものは何もない。 | 1
しかし、愛することを怖
がっていたら、何も得られない。 | 83

I think that I am tripping off
your love | 120

World gone mad , let's start th
e show | 140

真の愛にハッピーエンドはない。なぜなら真の愛に終わりはないか
らだ。 | 172

愛は寛容にして慈悲あり | 愛は妬まず、愛は誇らず、騎らず、非礼を
行わず、己れの利を求めず、憤らず、人の悪を想わず | 213

全てを我慢し、全てを信じ、全てを期待し、全てを耐え忍びます。愛
は決して絶えることはありません。 | 彼は、私たちのために、ご自分
のいのちをお捨てになりました。それによつて私たちに愛がわかつ
たのです。 | 249

愛するものはいつても寛容で、愛されるものはいつだって残虐である。

正義の代償 | 564

ウマ娘ちゃん達の努力の結晶を呑みながら | 536

愛が恐れているのは、愛の破滅よりも、むしろ、愛の変化である。

物心がついた時から、俺は変わっていたそうさ。

何でも物覚えが早いとか、身体の使い方が人よりも上手いといった点で、だそうさ。

それもそのはずである。俺はどうやら転生したらしい。らしい：というのも当初、それを認知した時は頭にクエスチョンマークが浮かび上がっていたが、無理もない事だろう。

この世界がどんな世界であるか、を知ったところでその時に理解力があつたか、と問われるとこれまた難しく、んな事知るか！の精神で幼少期から好き勝手遊びまくっていた事だけは今でも覚えている。前世とも大まかに変わっているような素振りも、様子も見せることも無かったからだ。そして何よりも、

「(なんとなく転生したような気がしますぞ！妙に馴染みますなあ！)」

といった感覚だけが頭の中に残り続けて、2歳の時には既に厨二病のようなテンションで毎日を過ごしていた幼いあの日の自分を見るに耐えないものがある。死因がどうだったかすらも忘れて、兎に角童心に戻り、ガキのようにひゃつはー！と叫びまくりながら…:といても部屋の中のみに限られていたわけだが、住めば都というように些細な事は気にしないまま遊んでいた。何故俺にそんな感覚があるのか、といった疑問は直様頭の中から消え去り、人生を謳歌する気満々だった。子供になっていたことを、完全に楽しんでいたので。

そんな馬鹿みたいなことを毎日のようにしていたある日、当初の違和感によくある高熱と共に蘇った。そしてこの世界が別世界であつてそうでないと気が付いた時には、酷く混乱した。

なんとなく見ていたニュース番組の中で毎回の如く取り上げられ

ていた、頭に変な付け耳をした女の子が沢山いる映像が流れた時、俺の頭に電撃が走ったかのように記憶だけが瞬時に蘇ったのだ。

そしてこれは直感的に見て、俺はウマ娘がいる世界だと理解した。あの時：俺は再び死んでも良いと思えるほどに舞っていた。親がドン引きするほどに騒ぎ立てていたくらいにウハウハであった。

「(これwww人生、勝ち組だwwwトレーナーになってイチヤコラしよwww)」

と邪な考えを持っていた過去の自分には蹴りを一、二発くらいは与えたいが、誰しもが思いそうな事は、既に自分の心の中で曝け出して張り裂けそうだった。

さらに畳み掛けるようにして、決定付けるニュースが飛び交って来た時：俺の心は絶頂を迎え、頭が爆発しそうになるのは時間の問題であった。

『次のニュースです。先日、全世界平均の男女比率の差が1:80と成って一年が経ちましたが：依然として改善の目処は立っていません。これに関し、専門家の意見では今まで以上に早急に対応しなければならぬとの声が上がっています。WHOが制作した報告書によりますと、このまま男性の出生率が低い状態を維持したままこれ以上の右肩上がり望めない可能性が非常に高い、との事です』

「俺、トレーナーになる」

「え…、え？」

自然と出たその言葉に身を任せ、父親の困惑する表情なんて見向きもせず、この日から人が変わったように勉強を始めた。がむしやらになって心身共に磨く日々が続いた。当然、身体を絞ることも忘れてはいなかった。

そして17歳となったその年から、もう充分だろうと踏んで、トレーナー試験へと何度も挑む日々が訪れる。所謂UMAO枠を狙っていたのだが：この狙いが仇となった。

1年目、三次試験不合格

2年目、最終試験選考落ち

3年目、最終試験選考落ち

流石にここまで来たとなると、つ：次こそ、次こそは、と期待してしまうのが人間というもので、URAから直々に焦らしプレイをされていると思うと中々に濡れるものがあった。：今年はもしかしたら受かるのではないかと諦めきれない気持ちが強かったとある日の夕方：URAから電話がかかって来るまでは、の話だが。

その内容はそれこそバカでも理解出来るものだった。だが俺は内心気付きたくない真実があった。薄々気付いていても気付かないフリをして、多大なる時間を浪費していたのがバカバカしくなるくらいに、哀れで滑稽だった。

URA人事部曰く、

・ここ近年、男性でトレーナーを目指す人はまずいない。

・男性トレーナーが複数人存在し、かつ担当トレーナーの実力によって均整化が取れる等の状況ならば、検討の余地が見込まれ多少は緩和されるだろうが、3年連続して男性からの応募は自身1人のみ。

・我々も気を利かせ、UMA O枠を作ってはいるものの実際に稼働したのは数十年も前のことであり、必死にシミュレーションをしても結果は悲惨な状態を維持。

・URAの中でも各自知り合いも含め総動員し、家族に男性がいる者に声をかけたり、広告を打ったが何一つ効果はなく誰1人として反応は示さず、それでもなんとか合格を出そうとしたが理事会で却下され叶わなかった。(一年目は普通に不合格であり、2回目は審議の末

別の人をトレーナーに選別、3回目にて理事会で却下されたのと。)

・他のURR A広報部やバ場造園課などにも声をかけたが、広報部は男性枠を既に撤廃する流れが出来上がっており、バ場造園課は肉体労働もあつてかトレーナーに比べて方が一の事が起きる可能性は大人だからこそ高いことが懸念され、レースどころの話では無くなる、と真面目な回答が為された。勿論、人事部も同様でやはり男性が目指すならまだ性知識が薄い学生相手であるトレーナーの方が、という認識が強いらしい。

・地方では中央よりも比較的難易度が低く、娯楽も少ない事からいくら10代とはいえ危険すぎる懸念点もあつた。学生の中にも夢小説のように期待を持っている人が少人数でも居る時点で、死地へと向かっているようなものだ。それこそバカの所業だ。そんなことをするよりもっと楽しい事が待っているからそっちにしたほうがいい。

・私と永久就職しませんか？高収入で高学歴で美人ですよ？テクもありますよ？

との事である。当然、魅力的なお誘いは断りの申し出をした。

道理でリモートでの対面にしては、毎回歯切れが悪いと思つていたが：合格点が出ている以上最終選考までは残らせるという事が規則であつた為に、本当に申し訳を無いことをした：というのが大まかな内容であつた。流石国管轄の公務員様だ、と感服したが：俺の心は弄ばれていたのかもしれない。

だが、色々と裏にまで手が回っていたことはまず間違いないだろう。名前等、個人情報に関するありとあらゆる情報の隠蔽などをした上で応じてくれたのだ。こちらとしても考えたくなるもので、寧ろ申し訳ない気持ちの方が打ち勝っていた。国が決めている方針である以上は、逆らえないのが規則というものである。SNSも含め慌ただしく活動していた理由を、その時初めて知つたのがなんとも情けない話だった。後半部分については何も言わないが…。

それでもその日は、心の底から泣いた。三女神様に祈りを捧げても、何も起きなかった。

そんな苦い過去を胸に秘めながらも、それでも少しはウマ娘の活動に貢献したい気持ちはあの日から変わっていなかった。幼い日の情熱に駆られた熱意は、何としてでもターフの上で走る彼女達に注ぎたい：それはあの日を過ぎてからでも変わらずにいるのだろう、とそう思っていた。

だが、そう簡単に物事は上手くいかない。そもそも男性が世に出ること自体難しいものである。外に出れば視線は集まり、電車に乗れば痴女だらけの世界でそもそも男性が働くななんて事も無く：親に無理を言つてまで大学に行きたいからお金が欲しい、というわけにもいかないまま、うずうずして1日1日を無駄にしていた。その実、家族もどういうわけか早くに亡くなり、あるのは毎月送られて来る給付金といくらかの遺産だけ。

治安が良くまだ物価も安めであり、男性が1人で暮らしても大丈夫なように支援がされている場所で細々と生活しているとはいえ、黙つて朽ちていくほど落ちぶれているとは思わせたくない：彼女達は今も、俺より切磋琢磨しているのだろう。しかし全ての人の人生が上手く歩めるかどうか：なんて保証はされていないのである。

どうか、どうか、と待てども暮らせども世界は変わらず勝手に動いていった。

三女神様に再び祈っていても、そうしている間に月日は流れていく。

いつからか応募要項を見ることすらなく、小さな頃から夢見ていた熱は完全に鎮火していた。無理もない話である。

そうして心が折れた俺は今日も配給されたものの確認を済ませた後、いつものようにパソコンを開いていた。一体何をしているかとい

愛とは即ち、何なのだろうか？

人の心には多くの計画がある。しかし主のはかりごとだけが成る。人の望むものは、人の変わらぬ愛である。

最高の愛とは、魂を目覚めさせるようなもの。それは私たちの心に火をともし、心に平穏を与えてくれるもの。それは、私があなたにどんなときも与え続けたいと願う、たったひとつのものである。

人生で最も幸せを感じる瞬間というのは、他人から愛されている：もしくは、自分自身を愛することを実感できるとき。或いは自分と同じように誰かを愛するときだ。

ならば俺の答えはただ一つ!!推し活だ!!ウマ娘しか勝たんっ!!

俺の味わった絶望から救いあげてくれたのは、天でも、神でもなく、愛だった：即ち、ウマ娘である。いや：誰かを愛することは、神様の顔を見れたようなものという言葉があるように、ウマ娘が神様だったと言っても過言ではないのかもしれない。もうね：尊みが通り越して輝いている彼女らに、ただただひれ伏すしかないよね!という気持ちだが、身体全体に満ち満ちている。

つまりは：ここは神の国だったのか？

と、まあ紆余曲折はあったものの、ようやく辿り着いた最果ての景色がここであった。そして文字通り人生における全てを彼女らで満たし、墮落したに相応しい生活をしているわけだ。給付金が思ったよりも高い為、推しグッズにこれでもか!と徳を詰めるなんて幸せ以外ありえないwwwというただのイタイ大人の完成形である。これについてはあべこべ世界で本当に良かった、と感謝の言葉もないほどに満喫しているくらいには楽しんでいた。

例えば給付金が安かろうと遺産は大事に取っているが、それでも推し活はどんな形であれしていたに違いない。今の俺の熱中ぶりからして断言出来るほどだ。そしてお金の管理にも抜かりはない。最後の良識であり、推しを愛することは即ち財布との相談が外せないのも、

良きオタク街道を歩む上で欠かせない。これが原則であることはお忘れ無く…。

しかし、振り返ってみれば我ながらバカだなあ…と今では笑ってしまうものだ。推しなんて目の前にいるようなものじゃないか！と発見をしたときは、それこそ泣いた。号泣した。良い大人がワンワンと1時間くらい泣き叫んでいたのだから。

ウマスタ、ウマツター、ウマライブ、ウマチューブ etc etc…考えてみれば、見方を変えてみれば、推しとは直接会えずともフィルター越しに会うことは出来る…我ながら天才では？と思つた程に頭がイッていた。

金にも困らず、推しに愛を与え、人生は豊かになるのだと！これこそが、第二の生なのだ！すううううううう…はあああああああ…：…：俺は感じている。三女神様…本日も良きウマ娘ライブをこうした形でも見せていただきありがとうございます。ごちそうさまです！

『そろそろ放送切っちゃうけど…大丈夫かな？』

- ・大丈夫です！写真もバッチリ！
- ・また次のライブ、楽しみにしています!!
- ・カワイイカレンちゃん！本当に可愛いカレンちゃん…。
- ・グッズ予約するから早く〜！
- ・女神カレン様、どうか最後にカワイイお姿を収めるチャンスを私にください…。
- ・今日も生きてて良かったあ…。

『ふふっ大袈裟だよ。写真を載せるときはいつものタグ付けよろしくね！任せてっ次のライブも頑張るよ！グッズは近々予約出来ると思う…かな？お姉ちゃんと相談したけど、そろそろ発表されると思うよ！んで、そのキミ…キミはなんでカレンの事…見逃していたのかなあ？カレン、悲しい…うるうる。』

・あああいすいません！カレンチャンさんに見惚れていたので手も思考も頭も止まってしまいましたっ!!

・怒ったカレンチャンもカワイイ…

・もうカワイければ何でも良いんだ。

・私が悪いんだよ…カワイイカレンチャンの写真が撮れなかったのは、私のせいだ！

・この中にカレンチャンの写真撮ってない奴なんている？いねえよなあ!!

・どうします？

・構わん、やれ。

・Currenを泣かせるなんてサイテーね、バツカみたい。

・カレンチャンの写真をよお！撮っていなかったなんて、んな事あ許せねえよなあ!!

・焼き討ちに行くぞ。

・奴の家を知るものは？

・何の成果も得られませんでした！

・とりあえずもう一回お姉ちゃんと呼んでくれないか？

・見惚れていたのならしゃーなし、私もその1人だ。というわけでお願いします本当に生き甲斐なんですお願いです300円あげるか
ら！

・私も同行しよう。

・なんだ、お前もだったのか。

・怒ったカレンチャンの顔、スクショしたけどいる？

・いる。

・いる。

・いる。

・いる。

・絶対にいる。

『もう…怒った顔が欲しいの？それともカワイイ顔が欲しいの？

どっちなのかなあ？はつきりしてくれないと…カレン、困っちゃうよ』

・ 選べるわけないでしょ、このバカちゃんがあ！
・ ……ふう、何とか堪えた。危うく魂まで持つていかれるところだった。

・ 究極の選択…！うつ、頭が！嫌だ…痛い…何でこうなるの…もう耐えられない、カレンちゃんの写真全部撮りたい…。

・ これがカレンちゃんのやることかよお
・ ごめんなさい…ごめんなさい…。!!!!!!!

・ カレンちゃんを撮り続ければよお！私の尊み貯金がパアだぜ!!
・ 私は撮り続ける…お前らがどう撮ろうが、それはお前らの自由だ。
・ 救いはあ…？救いはないのでしようかあ…。

・ 汝、カレンちゃんのカワイイを見よ。

・ 私のウマ娘ですね。

・ 結婚したい。

・ これからが地獄だぞ。

・ 選べ、カレンのどの表情が見たい？

・ ダメ、ワタシ…Curren…ツヨイネ。

・ カレンちゃん「ほら、頑張れ頑張れ。」

・ カレンちゃん「カレンの表情一つ一つ…その全てにおいて神にも勝る程に非常に魅力的だ。文字通り、私たちを殺しかねないと言っていい。」

・ どうした急に。

・ そんなの嫌だ！どちらか一方のカレンちゃん「カレンの表情しか見れないだなんて…一生私たちだけに見せて欲しい！私が死んだ後も10年以上は天国に残っていて欲しい！」

・ 天国はここにありますがよ、頭の中…脳味噌の中に。
・ やってみせろよカレン！
・ なんとでもなるはずだ！
・ カレンちゃんだと☒
・ お姉ちゃんとして、最後まで責任を果たすことだ。

・お前らに一つ問う…どんなカレンがタイプだ！
・どんなカレンがタイプだい？
・カワイイカレンチャン！
・カワイイカレンチャン！
・怒った顔も撮る、カワイイ顔も撮る。両方やらなくっちゃあならないのが…お姉ちゃんの辛いところだな。覚悟はいいか？私は出来る。

・対象のカワイイ係数が更新されました。カレンチャン、尊みオーバー。対象に完全悩殺されます、ご注意ください。

・カレンチャンがあー！可愛くてえー！カレンチャンがあー！尊すぎい！みんなの心にいー！入ってくうー！カレンチャンがあー！ちっ…近づいてえー！カワイイカレンチャン！！

・ひやいいいい！！ごめんなさいいいいい！！

『しょうがないなあ…じゃあ、これで最後だからね…はい！とっておきのポーズ、だよっ！！』

・…b

・カワイイ…しゆきい。

・ぐああああああああ…しゆきい。

・ががががががががが

・あばばばばばははははは

・ああああああ

・ああああああああ

・ああああああああ

・またデジタルが尊死したか…まあ、いい奴だったよカワイイカレンチャン！

・カワイイカレンチャン！

・カワイイカレンチャン！

・カワイイカレンチャン！

・やめて！もうデジタルのライフは0よ！カワイイカレンチャン！

- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・デジタルが死んだ、この人でなカワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・またデジタル殿が死んでおられカワイイカレンチャン！
- ・デジたんが決めたあカワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！
- ・カワイイカレンチャン！

『ふふっ、いつもありがとう！みんな！カレンのこと、ずくずくと見ててね！まったねくく!!』

みんなにカワイイを与え続けるだなんて…ドーバー海峡並に愛が深いってものですよ!!ね、そう思うでしょ!!…と顔を見合わせて分かち合う人は誰一人としていないわけだが、これは仕方のない事でありもうどうにもならない…割り切るの一択である。

それはさておき、先程撮れたカレンチャンの写真を選出しなければいけない任務に早急に取り掛かろうではないか。

あっこれ、しゅごい…しゅきい。

これは正しく神のみわざ…。

……ゴツツホオオ
!!!!

…ふう。

おつと尊死している場合じゃない。早速ウマスタにあげなければ！と奮起し、厳選した写真を載せる。無論、#カワイイカレンちゃんも忘れない。

よりカレンちゃんらしく、カレンちゃんが目指しているカワイイを追求し、カワイイカレンちゃんをカワイイカレンちゃんとして載せるべくして、何がウマ娘ちゃん好きのオタクと名乗れるのだろうか!!
見ていてくれ…これが、俺の、全力だ！（勝利の鼓動）

溢れんばかりの気持ちを近所迷惑だということを考えつつ抑え目にしながら、俺は今日も推し活の証を投稿をしたのであった。

はあ…

今日もウマ娘ちゃん達は……サイツコ~~~~ツツ!!

そうして俺は、この酔った気持ちのまま筆を手に取るようにしてサイトを開く。

「んんんんん……。流石に今日はちよつと疲れた…かもなあ」

とはいえ…私自身がちゃんとカワイイを作れているかどうか、確認作業は怠らない。流石私、今日もカワイイ。

「…ふふっ」

その中でも主観的に見て目を引くのは数人だ。取り分けこの人が撮る写真は、中でも別格である。画面越しからでも愛が伝わってくるような、暖かな写真なんてお姉ちゃんやデジタルさん以外ではそうそう見かけることが無い。

誰も正体を知らない。見たことすらない。私と同じ秘密主義者。

「相変わらずいい写真を撮るのに…うん。この人だけ、やっぱりわからないなあ。絵も描いているっぽいけど、商品として出回っている様子もないし…」

一時期はコメントが女性っぽくなくて男性なのかな？と夢見がちな乙女のような考えが頭に過ぎったこともあったけど…まだ子供とはいえそれは無いよ、と思うのが普通であり、その認識自体が常識だった。例えば病気で動けない人なのかもしれない…とか、もう少し現実味を帯びている推測の方にどうしても重みが偏ってしまうし、誰だってそう思う。しかしながら、そうした痕跡も一切無く、まるで別世界を生きているような人にしか見えないままで、私の中で揺るぎのない事実となってしまうている。いずれにせよ、私のファンの中でも異端の人物であることには違いない。

…あなたは一体どんな人なのだろう。

「他のウマ娘に対してもかなり熱心なのに…んー、デジタルさんと同種だと思うんだけど。悪い人ではないと思うんだけどなあ…不思議な人なのかな、それとも不気味な人…とか？」

椅子に寄りかかり足をふらふらとさせながら、自然と呟いたその言葉は誰にも聞かれていないからこそ言えることではある。そんな独り言をするほど私は、その正体を暴きたいという欲に魅了されていた。

愛の欠如こそ、今日の世界における最悪の病である。

「きよ、今日こそは…」

日も沈み、トレセン学園に静寂が訪れる。その静寂に紛れて静かに闘志を燃やしている小さな少女から漂う覇気は、まるでゲート入りが完了し、今にもレースが始まりそうな気迫のようにも受け取れるだろう。ピリツと背筋を凍らせるような集中力でスマホの電源を入れるその姿は、外見からして可愛らしいとも言えるし何故そこまで電源を入れるのに戸惑うのか、不思議に思うかもしれない。また、何故ここまで殺気立っているのか：様々な疑問が飛び交う事だろう。

ぽちぽちと指を動かして、とあるサイトを検索する彼女の指先は微かに震えている様子だ。

そこに入るまでに凡そ5分ほど葛藤していたが、よしと心に喝を入れて彼女は踏み入れる。

そのサイトは匿名の作者が自由に描く事ができる、無料ネット小説の投稿サイトだった。はて、そんなサイトに果たして緊張しながら入る必要性がどこにあると言えるのだろうか：覚悟を持ってサイトを覗く理由とは一体全体何なのだろうか？そのきっかけは、なんて事はない風の噂からだった。

始まりは大したものではない：本を読むという行為自体は、彼女にとつては趣味であり、それはネット小説であつても同じである。好みの作品があれば、それらに読み耽る事は、一読者としては当たり前な事だ。但し、時代によって好まれる作品や文体、物語の流れで合ったり、描写表現の違いは存在する。そしてそれらは、その都度淘汰され常に変化していくものであり、世間で受けていようが受けていまいが、読者にとつては満足度が高いか低いかの違いでしかない。所詮は娯楽である。

当然のことではあるが、トレセン学園にも本を好む人は多く居るもので、図書館で誰がどうい本を読んでいるのか、はたまたどういつ

た本が好きか、といった情報を元に新たなジャンルを読んでみようという気にもなることがあるくらいだ。そうした噂を聞いたり話したりする事自体が、彼女にとって、好意的な姿勢を持っていたという事もあるのだろう。

なんて事ないような噂が、何処からか流れてきたのはいつだったか……。定かではないが、確かにこう耳に入ってきたのだ。

「小説サイトに男性描写がずば抜けてうまい『こがね』って人がいるんだ。何故かはわからないが：胸のときめきが止まらないような甘酸っぱい物語も然ることながら、読者の想像に委ねるような心を擦ってくる描写をした短編集は至高の逸品なんだ。一つ一つの仕草だけで、とてつもなくそえられる話もあってね：正直困らない事が悩みになりそうだ。お陰で最近は寝不足だよ。」

この言葉は若い女性にとっては、はつきり言っただけの毒そのものであり、特にアスリートにとっては致命的だった。私達のようなトップを狙っているような強豪な人が多くいる中で、そんな選手までも魅了されてしまう本などあっただろうか？トレーニング本でもあるまいに、とその日は高を括っていた。

だが、その言葉を聞いてからというもの：彼女の中ではその内容が、どうにも気になって仕方がない。探究心そのもののせいでもあるが、何より男性描写が上手い人など中々に出会えないこともあって、その真相を掴みたくて仕方がなかった。本という娯楽に幼少期から取り憑かれた彼女にとっては、無理もない話であり、その魔力は募るばかりである。

取り分け、興味に対して欲求が高まる思春期においては、ある種危険なものであり、性癖が歪められる、又は新たに開発されたり：場合によってはより深みへと入ってしまう：といった事例もある。すなわち：探究心そのものが欲求を助長してしまう事もあるのだ。こうした欲求は未知数であり、抑えようとすればするほど魔力はさらに高まっていくことはザラにある。彼女はそれに耐えることができない

かった。1週間もしないうちに身体が探し始めていた。

ただの噂話を本気にするわけにもいかなかったが、空いた時間を有効に使い搜索を続ける日々はそう長くはかからなかった。

どうやら恋鐘と書いてこがねと呼ぶようで、珍しいペンネームであった。

お陰で最初は見逃していたが、意外にも投稿時間と重なっていたからか、偶々見ていた中規模サイトにてその作者とすんなり出会えたのは、一先ず幸運だったと言えよう：しかし、重要なのは中身だ。

あの噂話が本当であれば、彼女達と同様に魅了されてしまうのではないか：そのことだけが頭にふと蘇り、一瞬我へと帰るが：そう易々と逃してくれるのであれば、何故寝不足になるような作品に読み耽るのだろうか？それらの答えは明白であった。

作者が手がけた作品たちは、見るからに甘い蜜を垂らして誘っている。おいでおいで、楽しませてあげるよ？一緒に楽しみましょう？つと言っているかのように彼女の目には映っていた。なんて事のないネット小説にしか見えないそれに、見つけた達成感とようやく読めるという高揚感にバフが掛かり、小説そのものに対しての欲求がヒートアップし、幻影を見せていたのかもしれない。

そうして彼女は蜜を吸うべく、意を決して中身を覗いた。その後は言うまでもない：ズブズブと沼へ落ちていく。試しに短編集を読んだ彼女は、作者が描く男性心理の描写に驚愕していた。

確かに多少描写表現に対して時代錯誤的なものも存在するが、男性の表現においては理解が追いつかない程に濃厚で濃密であった。そして男性描写がうまい、という発言にも納得してしまった。これは上手いのではない：美味しいのだ。この世の理想が詰まったかのような男性の心理描写やセリフは飽き飽きしていたつもりではあったのだが、この作者が書いた男性は嘘臭さが無く、本物の男性のように表現されていた。それらは王子様や不良少年など様々なジャンルを問わず書かれており、一体どんな豊富な経験を書けるのだろうか？という疑問すら浮かぶほどである。だが、この作者はそれすらも超え

る逸材に見えた。

心臓に悪いという言葉も頷ける。あろう事か数作品を同時並列で挙げていたそれらは、ウマ娘×女性や百合ものは伸びていないように更新こそなく、少なくとも今現時点では、ウマ娘や女性×男性の恋愛ジャンルに絞り、力を入れている事は理解出来ていた。パツと読んでみて率直に思った感想は、この感覚が間違いであつてほしくない…というのが自身の観察眼から導き出された回答でもあり、でなければこうも綺麗な作品ばかりで占められているはずがない、と感じるくらいだ。

この前提条件がある上で作品数も踏まえると、到底1日で読めきれるものではない。いくら読書家であろうと、いかに視野が広かろうと…本を読むのは難しくそれでいて楽しいのだ。

「ふうふう…。(今日こそは読み切るぞお…頑張れライス、頑張れ…おおーっ。)」

彼女は今もこうして、1日の終わりを読む事に費やしている。

因みに余談ではあるが、同室の彼女も同じような気持ちで読んでいる事を、互いに知りながら個々人の時間を楽しんでいた。理解者も読書家な為、お互いの時間を邪魔しないように円滑に事が運んだことで、邪魔するものは誰もいない。お陰で有意義な時間を過ごせていた。

(はわわわわ…。こ、ここのここれってもしかして…この人達ここで!??)

キスをしたかもしれないシーンである。それもプラトニツクなキスから始まった、卑しき満開の始まりの行いがあつたかもしれないシーンである。読者としては果たしてどちらなのか、非常にもやもやしてしまっだろうが、それらが一切さっぱり書かれていないまま、シーンが切り替わった事でより一層、興味が惹かれてしまうのだ。

今時こんな作品は、それこそ古典作品でも読まない限り実在しない

ものだと思っていた。より正確に言えば、どのような時代であつてもある事にはあるが、恋愛小説：とりわけ隠語描写の有無や質を把握した上で、本として当たり外れを判断しなければならぬ為、判断が難しい。また、ルームメイトや他の生徒がいる環境下では買い難いものでもある。理解者が居れば別ではあるものの、少しばかり恥ずかしい気持ちに加え、本を置くスペースを確保しなければならぬ悩みも出てきたり、と中々に尽きない。

その点、ネット小説というのは便利ではあるものの、やはり味気がないのだ。紙独特の匂いだったり、本をペラペラとめくる感触などは味わえない。当たり外れに関しても差が大きすぎる。

だが、彼女の考えを改めさせるほどに気持ちがいい作品に出会ってしまった。

直接、肉体的欲求を求めるものではない。その分だけより場を想像しやすくもなり、読み耽っては断念しまた頭に過れば読んで、を繰り返していた。

(あううう…：やつぱり、ライスには早いのかな…。)

ライスシャワーは悶々とした気持ちと鳴り止まない興奮を胸に秘めながら、スマホをそっと本を閉じるような流れで電源ボタンを押した。明日もトレーニングがある為、流石に夜更かしをするわけにもいかない。

だからこそ夢の中で『お兄さま』に会える事を信じて、眠りにつく事が出来るのだ。

さて、長々とトレセン学園で密かに流行っている事を語ったが、一体何処の馬の骨が、何の為に書いているんだ！天使にも等しい彼女に何てものを見せているんだ！全く…：一体何を食って、何を考えたらそういう思考を持つんだ！…と問われれば答えは一つしか無い。

(なんだよもおおお!!! またかよおおおああ!!! 手が止まれなああ
ああい!!! たまらねえええ!!! 全くウマ娘は最高だぜえええ!!!
はあはあライクたんライスたん!!! 俺の全力の愛を受け取ってぐ
れええええ!!! これこそ愛のなせぬわざなりいいいい!!! んほお
おおおお!!! 書くのおおおお!!! 描いちゃうのおおおお!!!
!!!)

元凶である男は、全く意図していない形で続きの話を書いていた。
前世でいうところの怪文書ss杯を個人的に勝手に開催し、堂々と制
作していた。この世界に怪文書が無ければ、自身が書けば良いじゃな
い精神で描いていた。

ウマ娘ちゃん好きのこの男によって生み出された狂気そのものは、
御本人含め学園の本好きなウマ娘に見られているとはつゆ知らず、合
法でウマ娘を素材として使い、絶賛執筆作業の真つ最中である。

何故こうなってしまったのか：一言に言い表すならば『愛』である。
『愛』は時に人智を超えて、全てを可能にしてしまう未知の領域であ
り、何が起こるか予測する事など不可能に近いものだ。

(ダハハハハハッ! また今日も名作や傑作は描けないのか!? 他のや
つは、ないのかあ!!)

幼少期、前世の記憶が蘇ったことで、かつて記憶されていたありと
あらゆる情報が男の脳へと流れ込み、その影響で愛に関する感覚が捻
れてしまう。それらは、あべこべ世界だろうとまるで知ったことでは
無い、と言わんばかりに溢れ、無論止まることなく、遂には制御する

ことすら不可能と化した。当然、余すことなく彼女らに注がれる愛は、時が経つと共に増幅され、より深く、より重く、より先鋭化していき、何よりも激しいものへと昇華されていく…その様子は正しく芸術は爆発だ、という言葉そのものであり、あべこべ世界という残酷な現実が消えない限り、火種が消える事はない。

この男はウマ娘によつて、あらゆる芸術センスを磨き開花させ、文字通りガビガビになっていた。小説に限らず広い範囲で、ウマ娘が好きだからこそ、匿名性を良いことに怪文書を含めたネット世界で快感も快樂も得て、所謂愛の奴隷となつて酔つ払っていた。

(おつ、おつおおん?!おおん!!こ、これは来たんじゃないかあ!!我ながらこれは……………いや、そうでもないな。ここは消して…元ネタのお兄さまをリスペクトしているんだから、ここのシーンとここのシーンでの意味合いが違ってくるのは不味い。ありのままの世界を表現するんだ…矛盾しないように心理描写に注意しつつ、あとはライス役の少女を添えるだけ。…ジュラリラ☆キタコレ。)

前世にてウマ娘界限に居た男だ。元より面構えが違つていた。トレーナーになれなかつたその悔しさが、より彼を凶悪なものへと変貌させていく。

(お前たちが書いてきた怪文書を、前世やインターネットの海の藻屑にはしない。俺は常にお前たちとある…俺はお前たちの苗床だ。お前たちを灰にはしない…お前たちはダイヤモンドだ。)

さらには、この世界においてはあべこべ要素が大きく働き、男性が主体となる作品が乏しく、質も悪化していた。彼が好きだったありとあらゆる前世の作品達は全て消え、彼の祖国は失われていた。残ったのは莫大な愛だけだった。

(お兄(姉)さま×ライス以外のカップリング以外認めない…だの

に、多少ヒロインの設定を弄っている事に力不足を痛感する。まだまだお兄(姉)さまの魅力が全然描けていないし、引き出せてもいない。：そもそも描写表現にも納得出来ない。これでは作品や怪文書ではない。：もつと悍ましい何かだ。

しかしこれより先の描写表現を濃密にしすぎるのは、主義に反する。これでは元々の怪文書のジャンルからそもそも外れてしまうのではないか？だからといって純粹にお兄(姉)さま×ライスを書けば、それこそライス含め現実のお姉さまにも迷惑がかかる可能性があるかもしれないと言う事を、否定出来ないのがもどかしい。完成するかどうかもギリギリだ。

クソツ……こんなもの認めない……認められないのに腕が動いてしまふ！これは俺が始めた物語だろ！

すまないお兄(姉)さま……こんな駄作ばかり書いてしまつて本当にすまない……だが！俺はお兄(姉)さまを信じている！いつの日か、俺があなた達の魅力を完璧に伝えて見せるから……この世界にお兄さまがいないなら、俺が書いて見せるから……どけ、俺はライスシャワーの幸せを見守り隊だぞ！)

どうした急に、とツツコミが入りそうな情緒を無視し、話を戻そう。

モデルとなつている彼女達は、男性×ウマ娘は勿論：男性×普通の女性というカップリングもある事に加えて、モデルが巧妙に織り交ぜられている事であたかも空想上の人物であつたり、ウマ娘を人化させている事からまさか自分が……などと疑つた事がまず無い。それはウマ娘を担当しているトレーナーも当て嵌まる。

つまりは……前提としてウマ娘やトレーナーの数だけ、それに応じた作品があるという事だ。

とりわけインターネットという、現実と虚構が入り混じつた世界において、完璧に見極められる事は難しく、恐らくそれが出来る人物は、マヤノトップガンくらいだろう。

但し、彼女の場合は理解するよりも前に作者が男だと見抜き気絶してしまうか、事前知識が無い為に初めて理解が及ばない物への認識を

深めてしまうのがオチである。

(これしゅごいのおおおあお!!!怪文書を書くの辞めるなんてむう
ううりいいいいいい!!!やめりやれないのおおおあお!!!)
!!!

本人は作品を読者に読ませるためではない…ただ怪文書を書いて、自己満足を得たいが為に書いている。きっかけとして大きかったのは、やはりトレーナーになれなかった現実の壁の高さや理不尽さもあ
るが、やはり根本にして始まりの始祖は愛であった。

勿論作品を書くということは、それなりに評価含め閲覧者も居る事が前提である。しかし男にとって評価されていることは嬉しいが、それよりも快感の方が勝っている現状…それがひっくり返る事はない。そもそも男は怪文書として書いているのであって、読者がどれだけ求めても、出版社がどれだけアタックをしても、彼本人がそのような事を望んでいるわけでは無い。よって焦らしプレイを延々とされ続け、挙げ句の果てには軽々と蹴られ、躲かされてしまう始末…互いの感覚そのものがすれ違っている現状のまま、供給中毒へと陥ってしまった。
ところが、そんな彼の信条なんて彼女達は知ったことではない。前世の利用規約に縛られるなんて、世の女性達は誰も望んでいない。誰にも知られたくはないのに、直様書籍化してもっと広めたい、投資したい、もっと作者が腕を振るう姿を見たい、もっと、もっと、もっと自由に好きに書いて欲しい、という戦争が起きている事を彼は知らない。

現状は均衡を保っている。だが、無いも同然の壁が破られる日がいっ
つになるのか…誰も知らない。

くどいようだが、要するに…彼は外出する事がままならない理不尽さや苦痛を、ウマ娘関連のオタク活動によって欲求を満たし、彼女達はそれらを元にして作った物を見たり読む事で欲求を満たしたい、という謎めいた関係性が誕生した。

これは彼女達と直接顔を見合わせる事も無いまま、自然と不可侵の

協定が結ばれてしまったと同義でもある。

(三女神様ああああああああああ!!!
見ててくれよおおおおおおお
おおお!!!)
!!!!!!

それでもこの思いから来る行動は、紛う方なき純愛から始まったもの…この気持ちに間違いは無い。故に彼は描き続ける。
これは仕方がない事だった。

私の知るどんな女性よりも、私はウマ娘を愛している

今日も今日とてウマ娘ちゃん日和…彼にとっては最高の一言に尽きるだろう。

ラマヌジャンの如く、天から啓示が降ってきたかのように男の腕は止まることを知らない。男の愛は人智を超えた才能をも覆す。この想いは誰にも負けないと自負しているかのようで、その意思すらも忘れるほどに研ぎ澄まされた集中力は、さながら意図して出遅れるゴールドシップのようだ。

「さて…と。これで曲のアップロードは問題無し。小説は当分お休みで大丈夫…んで、問題は絵と動画編集ね。…ふむ。絵は配信で描いたものをそのまま挙げるとして、動画編集の方は時間をかけてゆっくりとやっていきますかねえ…むふふ」

食って寝て起きるを繰り返す毎日に嫌気が差して、そんな中でもどうにか足掻いて見つけた道に全てを投げ打って充実した分だけ、それらに関する技術の習得率、経験値、これに応える為の知識を活かす感覚と熱中ぶりはさらにさらにと増していく。ひとりぼっちで誰もいないからこそ、生きる力を捨てる事なく推しに注ぐ男にとって、失うものは何も無かった。

まるで空を羽ばたいているかのようにとても心地が良い、と錯覚するほどに頭は冴えているのだろう。彼の頭は間違いなく翔んでいた。それは小説だけに留まる器では無く、そう簡単な問題では済まされないとどこまで発展させ、その勢いが衰える事はない。

前世において死ぬまで聞いた曲ばかりでは飽き足らず、ウマ娘が歌う曲のアレンジや、著作権の問題で登場出来なかった馬をモチーフとした子をイメージに作詞作曲をするだけでなく、かつてJRAが手掛けていたCMさえも「ワシの作った動画に似とるなあ…これ、ワシの

作った動画じゃないか？」の精神でパクってパクってパクリまくった。結果として、その先に辿り着くであろうオリジナルの領域にまで昇華させたことは記憶に新しく、投稿頻度はさることながらその異様な成長速度は怪物と等しい。

利用規約？なんだそれは、関係無い！

だがここに、かつて身に染みていたある種の絶妙かつ曖昧な縛りが足されたことで、彼自身の能力を底上げしてしまう。

「ああ…終わることのない幸福…オタク活動が出来て嬉しいな」

そんな毎日を送っていても、流石に一日中部屋に閉じこもっている事に飽きてくる…というよりは人肌が恋しくなってくる、といった方が正しいのだろう。

あくまでネットでの、とりわけ一辺倒なやり取りだけでは満足出来ないのも無理はない。

かといって、今までの趣味を本業のように移すというのは、それこそ男が持つ醜いプライドが許せないでいた。これらは一貫して二次創作だと割り切っているからこそ出来る代物であって、度を超えて一線を踏み越えるような真似はしないように、と心がけている男にとっては禁じられた行為そのものだった為である。ここに屈服し欲の限りを尽くして我儘と成り果てるのは、なんとも烏滸がましい限りだ…という明確に示されていた基準が設定されてしまっていた。

これが逆に障害となつて立ち塞がってしまう。

ならリスクは覚悟の上として外に出れば良いのでは？、と疑問に思う人がいるかもしれない。

しかしあべこべかつ男女比が異なつたウマ娘の世界ともなると厳しいもので、レース場に行けば視線は主役を差し引いてこちら側へと向けられる。そこに対等な場は生まれえない。夢を見るのがこちらの特権、夢を与えてくれるのがあちら側の役目…前世から培ってきたこの精神を崩す事は不可能であった。

ましてやウマ娘以外に情熱を注げるものがあれば良かったのだが、生まれながらにして身に付いた習慣は残念ながら治る筈もなく…何

よりオタク君にとっては、如何に難しいかが理解できる筈だ。例え肉体が頑健であろうと、精神はお子ちゃまである。いきなり人目に出るというのは幾らなんでも至難の業であり、それこそ生身であれば死地へ向かうも当然の行動で、お目当てのウマ娘どころの騒ぎでは済まされない問題へと発展してしまうだろう。

ウマ娘至上主義者である男にとって、そうした厄介ごとは迷惑でありストレスであり、何よりも邪魔だったのだ。

そこで男が目を付けたのが、複垢の一つを利用して生放送をするというものだった。真似事の真似事を真似る姑息な手を用いたが、そこにプライドは無いんか？と問われれば、彼には無かった。

都合の良い事に関してだけ甘かった男は言い聞かせるように、それでも：ほんの少しでいいから：ホント邪な心とか無いから、ウマ娘とちよつと絡みたいだけだから、と欲を全開にして準備を怠ることなく、慣れた様子で行動へと移す。

とはいえ、この世界を生で感じるために始めたその選択は、間違っ
てはいなかったと思えるくらいの成果が確かにあったのだ。そのお
かげか順調に更新が進んでいるのがその証拠そのもので、いつからか
生活の一部と成り果ててしまうほどに、これまた熱中の対象に収まっ
てしまったのは言うまでも無い。

「あ…ああ、ああああ。ああああ…ンンン…アー…テストス…よ
しっ」

変声器は変わらず良好、準備が整ったようだ。

そうして彼は今日も配信を始める。

「うっし、今日もよろしくな」

- ・ 始まった！
- ・ 今日も楽しみ
- ・ こちらこそよろしくです！
- ・ よつすう
- ・ 際どいイラスト待ってるぜ

「うえ〜い：〜っておいおい、私がBANされたらあの講座のイラストも含めて全部消えるんだが？良いんか？おまいらそれで良いんか？」

・やめちくれ〜

・私たちの結晶が：日本近代芸術の結晶が：

・悪かった、120億やるから許してくれ

・いやあ、アレが消えてしまうのは勘弁してほしいっす

・面白い冗談だな、気に入った。頼むから消さないでくれ神様仏様
運営様

「おまいらのコメントに深くは突っ込まないからな。毎度話題にするからお決まりのやり取りにもなったけど：〜なんで消されないのか本当に不思議だわ。つば教育カテゴリーは偉大ってわけよ」

・AIちゃんはムツツリだからね

・教育カテゴリーって本当に謎だわ

・まあいいじゃないですか、そんな事より白髪筋肉質高身長の子ケメン描いてくださいお願いします

・ガバガバAIちゃん見てる〜？

・アレを描いた主もムツツリだけどな

・ここに集まっている時点で皆予備軍だからね？

・→お前もな

・→お前もだぞ

「まあ、それはそれとして。今日ものんびり描いていくから把握よろ〜。：ああ！イラストに入る前に話したいことがあるんだけど」

・またウマ娘の話か、壊れるなあ

・いつもの

・おまたせ

・知ってた

・親の顔より見た余白

・もつと親の余白見ろ

・三冠よりも見た余白

・もつと三冠ウマ娘出してもらて

・悪いが八百長はNG

・これを聞かないと始まらないよな
・トレーナー試験に落ちた末路がこれか…見たくないよお…
・悲しいなあ…
・現実残酷だなあ…
・自分、涙拭いてきても良いですか？
「五月蠅いやい！んで、つい最近話題になってた皐月賞なんだけど、やっぱりここまで無敗の…」

会話中に出てくる講座やアレという単語、それらは生放送をする前に挙げたとある動画を指している。

その実、生放送をするための機材などは準備が出来ているとはいえ、動画サイトの規約上ある程度の登録者が必要であった。

手始めにテキストにウマ娘のイラストや、短いアニメーションが完成される様子などを映した動画を投稿した。が、イマイチ伸びが悪いどころか、再生数の伸びがまあ酷い。登録者の伸びも本垢を加味しても総じて悪い有様で、一体全体何が起きたのか調べなければならぬ状況が発生した。

原因を探るために改めてそういったサブカルチャー全体の動画の割合やその様子などを覗いてみれば、案の定急激に伸びている動画というのは漫画などの二次創作物や考察動画、それらに関連した実況動画が大半を占められている。

ウマ娘+あべこべ世界の全体図を把握していない勉強不足が招いた問題によって、肝心の初手が出遅れるという失敗をしでかした男は、ここで一度整理しておく時間が必要となった。それがさらに余計に困惑してしまう要因となってしまうのだが…一先ず振り出しへと戻った彼が調べに調べを重ねていくと、前世とはまた違った不穏な歴史の流れが様々な形となって見えてきたのだ。

どうもこの世界での解剖に関する知識は、かつて前世での妊婦の解剖が稀であったように、男の解剖に対する知識や経験があまりされていなかったよう資料が圧倒的に少なく、殆ど現存していないそう

だ。価値観の違いに独占欲、宗教絡みや時代背景的な出来事によって消去されていたり、出所の特定の不一致問題とそもそも絵画自体の劣化が進みすぎて修正が難しい…なんてものも踏まえるとキリがないほどに複雑化してしまったのが大きいとする説が濃厚であるとのこと。

とりわけ現代においては医療機関に独占されるという、中々に秘密主義の絡んだものとなっている。

あくまで知識として、教科書に載る程度のレベルでしか知りうるこ
とが出来ないでいた。

更に追撃するかのように、人体デッサンなどの資料もあくまで形式としての運用程度としか用意されてないと来た。実用性が皆無だという理由で所謂お情けレベルなもので大半が占められているこれらは、はつきりいつて酷かった。

仮にここで男が積極的にヌードモデルを行ったとしても、万が一そういう芸術センスのある女性やウマ娘が、アート作品と名乗る悍ましい何かを作ってしまう可能性が懸念されるなど、危険性を孕むものとして扱われていた。アーティストを含めたほぼ全ての人が、男性側が行う芸術活動に関して否定的な意見を持っていることも大きかったのだろう。

そうしたジャンル関係無しに珍しく世に出ている男はどうか、と問われると…全体的に数が少ないからかかつての世界に比べれば…というレベルであり、美男が表に出てくるというだけで世界規模での記事となるくらいのお察し具合であった。それと同時に、アスリートなどの競技や力作業などもウマ娘で補われている為、発展は途絶え零に等しい。ササバリインクルシリーズなんてものを男に行えば即逮捕待った無し。実質お前ら男達は、何もしないで言うことだけを聞いていればそれで良いのだと宣言しているようなものだ。

そんな歪な環境下でどういった作品が生まれてきたか、と問われれば資料となる質の良い作品と質の悪い作品の差が雲泥とも言えるくらいに凄まじく広がった、ある種狂気とも受け取れるようなものばかりで溢れる始末。その影響力は凄まじく現代における年齢制限作品

のゲームや漫画等を調べてみると、どれも総じてヤバイ雰囲気や占められていることが、何よりも納得せざるを得ない証拠そのものだった。

この新たな認識が叩きつけられた男は既に気力も体力も奪われており、頭の沸点はどうに限界を超えていた。悩みの種が増えた矢先に待っていたのは絶望の二文字：そんな混乱状態で冷静な判断が取れるはずもなく、彼が取った行動はアホ丸出しである。

なんとこの男、ウマ娘のトレーナーになるべくして鍛えたその身体や前世の記憶、解剖や運動分野の知識などを応用し、何の迷いも無くイラストの参考として描いたものを投稿したのだ。当然、瞬く間に拡散の嵐が世界を襲う。

世の中を震撼させた大きすぎるきっかけを機に、生放送出来るようになったというのは不幸中の幸いなのだろうか：男が抱えている複雑な心境は未だに治らず、取るべき選択肢は誤魔化す以外無かった。

とはいえ男を悩ます要因はその時ばかりは流石に堪えてはいたが、動画そのものを消すにも勿体無い気持ちの方が打ち勝ってしまったのも時間の問題だった。自然と時が経てば経つほど諦めていくようになり、最終的にはスマートファルコンのトレーナー並みに匹敵するレベルでの鈍さを習得。どんな世界においても人間：そんなものか、の精神で乗り切れるくらいに冷静さを取り戻し、これら全てを無理もない話として片付けることに成功したのは、この世界の女性達と同じように尖っていたお陰なのかもしれない。

かくして流れに身を任せ、あれよあれよと日が過ぎて今に至る。

「…で、あのウマ娘が参戦してくるってなるとダービーも楽しみになるってものよ。ってわけで今日描くのは…そうだな。今話題沸騰のテイオーか、それとも個人的に目をつけているネイチャな気分なんだけど…どうする？」

・ 今年の皐月賞も面白かったよね…ってわけで抜けますね

・ はい、解散

・サツ
・サツ
・サツ
・サツ
・サツ
・サツ
・サツ
・サツ

それでも神様は微笑む相手を選ばない。視聴者を巻き込む形で彼にも溢れんばかりに与えられていくインターネットが生み出した快樂は、少なからずこの場では対等な関係でやり取りを行えるまでに本領を発揮していた。この男は運が良かったと同時に能力も兼ね備えていたのだ。

「テイオー、ネイチヤ：君たちは泣いていい。つてかおまいら本当に酷くない？」

・その子たちには悪いけど、主が描くウマ娘っていうか女の子っていうか、まあイラストなんですけど結構マイナーっていうか

・やっぱりなんかこう：独特だよ

・コメントに諦めて男を描く流れは流石というべきか…

・私たちがだつて夢を見ても良いじゃん

・手遅れなうp主にはこれくらいで丁度良いよ

「そもそもおまいら夢あるんか？元から無いような奴らがコメントしてるつてのがお決まりパターンだけどよ、こちとらガチで全てを失ったんだぞ」

・なら同類だね

・ようこそ、こちら側の世界へ

・類は友を呼ぶっていうやん？

・数多のウマ娘が辿る道と同等の痛みを味わったなんて良かったや

ん！

・チヲホヲ貫禄のあるコメント出てくるのがチ感あるからやめーや
・ほら、夢は叶えられなかったけど配信とか動画で楽しませているし！

・楽しむ（意味深）

・中央なんて通つたら通つたらでまた地獄だからええやん

・その地獄で楽しみたかったんやろ

・地方にも断られた時点で言うだけ損だよ

・つてか地方にも断られるつて何やらかしたん？

「まあ…色々あつたんだよ」

・完璧アウトなやつですなこれは…

・変声機越しからでも伝わる重み

・何した☒おまえ何した☒

・その一言に色々詰まってるの察した

・トレーナー志望（広告特化EX）

・ハルウララみたいには上手くないかなかつたんやな

・広報部もこれは断つて正解やろ

「別におまいらを楽しませたところでウマ娘ちゃんを生で見られる機会は短過ぎて無いようなものだし…直で触るなんて御法度。でも一回は目に焼き付けたかったなあ…コントレイル、ドウラメンテ、キタサンブラック、タイトルホルダー、ドウデュース、イクイノックス、パンサラッサ、ソダシ、サトノレイナス、サトノダイヤモンド、サトノクラウン、クロフネ、シーザリオ、デアリングタクト、サートウルナリア、クロノジェネシス、ディープリンパクト、ヒシミラクル、カブラヤオー、テスコガビー、ステイゴールド、エピファネイア、ハイセイコー、セントライト、シンザン、カネヒキリ、ラヴズオンリーユー、マルシユロレーヌ、リスグラシュー、アサクサキングス、メイショウサムソン、ブロードアピール、タケホープ、ジャングルポケット、ファレノプシス、ラスカルズカ、モーリス、サニーブライアン、テイエムオーシャン、ハーツクライ、アドマイヤムーン、ニホンピロウイナー、ブラックタイド、エスポワールシチー、グランアレグリア、ト

キノミノル、マックスビューティー、コパノリツキー、メイケイエル、シンボリクリスエス、ノーザンテースト、ヴァーミリアン、ヴィクトワールピサ、ラッキーライラック、オルフェーヴル、ステイルインラブ、ノースフライト、ジャスタウェイ、タップダンスシチー、テンポイント、トウショウボーイ、グリーンングラス、アップドゥデイト、ディープスカイ、メロディーレーン、ブエナビスタ、アパパネ、オジュウチョウサン、ヤマニンゼファー、バブルガムフェロー、ヴィルシーナ、アーモンドアイ、ジェンティルドナ、ロードカナロア、キングカメハメハ、ハープスター、サクラローレル、ダンスインザダーク、フサイチコンコルド、サクラチトセオー、エアジハード、シンコウラブリー、サクラユタカオー、エアメサイア、ラインクラフト、サクラスターオー、サツカーボーイ、…、…、…」

- ・頼むから一生引きこもっていてくれ

- ・URRはよくやってくれた

- ・極めて何か生命に対する侮辱を感じるんだが

- ・本当に気持ち悪いよ…

- ・せめて息継ぎしろ

- ・手を止めてから言ってくれ

- ・第一声がコントレイルはガチだ…また調べてやがる

- ・入学前の子の名前が出るたび鳥肌が立つわ

- ・世に出したらいけない存在

- ・どうした急に

- ・ダート、芝、障害適性云々の話じゃない

- ・ああ…そういう…え、そっちの人なんですか？

- ・URRは守秘義務を放棄して良いよ、全員で監視しよう

- ・アマチュア年齢問わず目星付けてるの危険すぎる

- ・腹食いちぎられてしまえ

- ・ドロップキックされてこい

- ・→お前ここは初めてか？まあ力抜けよ

- ・アカン、デジたんより酷い

- ・呪文を放つのはやめてもろて

「……、…、ネオユニヴァース、ルーラーシップとそうそう、描いている間にネタとか練っておいてくれよ？今日これ好調っぽいわ。なるべく私好みのリクエストにしてくれると助かる」

- ・ようやく折り合いがついたか、掛かりすぎだ加減しろバカ者め
- ・急に落ち着くな

・なんで平然と話を戻せるん？

・男は美味しい、ウマ娘も時折美味しい…なのに女は上手い止まりか下手という条件でお題を考える身にもなれ

・相変わらず容赦がない要求でもどかしいぜ

・動きのある絵になるとセンスが光るから固執するのはしやーなし

・厨二心を持つ、とりわけかつこいいのを求めている子には刺さっている模様

・偶に食べたくなるジャンクフード的な感じだよな

・ちよつと何言ってるかわからないです

・美しさや煌びやかさとなると話は変わってきますからねえ…

・偶にウマ娘が美しく描かれている時はあるけど、女の子！ってなると途端に崩れて絶妙な仕上がりになるのは何で？www

・タマモクロスとかの動画はそれこそ魂抉ってくるのにな

・ラモーヌ、ルドルフ、シービー、テンポイント、デープその他諸々ヤバイ奴らにこの描き方が合うのは意外だったわ

・実験作と称して毎度犠牲になるマックイーンの心境が気になるところ

・とりまマックイーンで試す↓本番の流れは最早恒例行事

・菊花賞、春の天皇賞の時の力作を見た時のマックイーン、ウマツターどころか学園でも荒れたんだって？

・学園で荒れていたって情報明らかにガセなのに拡散されまくっていたのウケる

・マックイーン「なんなんですかお!!」

・ラスボスみたいな相手を堂々と弄れるのはここだけ

・メジロ家から怒られる

・動画とか作り過ぎて一枚絵に対する意識が低いのかも？

・一番伸びた動画がウマ娘と全く関係のない男の描き方でもう答えじゃん！現実から目を逸らすのは良くないと思うな！

・これでもウマ娘ファンアート界隈の大手まで昇り詰めた人なんだ、許してやってくれ

・それよりも手を動かせ、話はそれからだ

・男描けば許される時点で既に異常だろ

何故このような現象が起きているかといえば至極単純：女性やウマ娘の数が多過ぎる事はそれ即ち、必然的に題材となる作品や売れる作品というのは、比率的に見て女性限定に固定化してしまう。当然、腐るほどに作品はあつた上での話であり、例外は出現することなく培ってきた文明にまで浸透していた。

こうした条件下かつ、前世の知識があつたとしても叶わぬ程の力量の差があり天と地ほどの差が存在していた中で、タブーを犯して頂点を搔つ攫つたのだ。元々かつての前世にてプロが作つた作品が参考元となつている以上、少なからず魅力的な作品であつたが為に彼を逃してくれるような道すらなく、今もこうしてウマ娘の道に望んでしまつているのは執念か、矜持か、宿命か、意志か。それは男も含め誰にも分らない。

「これが求められている事とやりたい事のズレというやつか：慣れたけど。ただよお：はつきり言つて男のネタがもうねえんだわ。つてか描き過ぎて流石の私でも飽きたわ。あと色々好き勝手言つている奴らも含めてフォロワーになつてねえから」

・荒々しさや生々しさを敢えて勢いのままに表現する事で数多の作品に対抗するで、は完全に性癖詐欺も良いところなんだよなあ

・もう一つジョークはどう？つていきなり【男、描いてみた】なんてタイトル付けてあんな動画を出したのもどうかと思う：釣りじゃないの、本当に心臓に悪いよ

・【定期】うp主の方が異端、ネタがないとか言いつつ描けるのがその証拠

・筋肉の動きや栄養その他諸々の知識をぶち込んだら、理想の男性の体型が頭に浮かびました！折角なんで公開しますねって思考回路は変t:勇者だよ

・うp主の描く男はヤバイわよ！

・単発消費型コンテンツの原点にして頂点

・視聴者サービスマも大概にしたまへ、うp主

・試験に落ちた恨みがこんな形で現れるなんてURRは反省するべき

・どうせ夢の大接戦やら死闘やらをシリーズ化して描くんだからさ、男の大安売りぐらいしても罰は当たらんやろ

・つてか単純な疑問:何で男が描けるんや?本当に男とかがありえるんちゃう?

・男がウマ娘を描くわけないだろ良い加減にしろ

・男が女を描くわけないだろ良い加減にしろ

・男が男の描き方を載せるとかあり得ないわ

・男が男描いてどうすんだよ

・男のコツ◎が発動しているだけだよ

・行き遅れたおばさんが最後の賭けとしてURRに就職し、稼いだお金で男を買い取ろうとしたから落とされたって考察あったんだけどマ?

・まじかよ規約違反じゃん

・その愛が歪んでウマ娘へと向けられたわけですね

・単純に筋肉質なババアが描いている可能性が高いつてスレで書かれてて正直笑った

・それ見た目ただのゴリラやんけ

・ばんえいウマ娘を無礼るなよ?

・結論、うp主は中央なめなめ小娘

「あ?普通にキメキメだろうが。ナウイイラストだろ?あと中央の話はするな、私に効く。何だったら普通に泣くぞ。ぴえんすっぞ?」

・母ちゃん:もうやめてよ...

・ほんまに20代?

・もう歳隠すのやめようよ…
・おばさんの涙はちよつと…

・男飽きた↓放送休止期間延長↓供給停止…不定期更新だからこそ危険なスパイラルに堕ちる可能性を秘めているってのにお前ら…

・これに耐えた人達が居るってマ？

・まあ色々諸々置いておくとして…描くの早っwww

・シチュエーションが必要？これで？嘘でしょ…

・ああ…その腹筋は困ります、困りますね。

・落描きでもこのレベルとは…やはり天才か？

・就職先間違えていますねこれは…

・男がいないところでこのレベルの絵を描けるなんて…信じられん

・今日の落描き89点

・うーん75

・80かな

・83だな

・92、落描きでも描いていただきありがとうございます。

「中々に好評なようで…後でウマツターに載せとくわ、リクエストありがとね。さて…腕があつたまつてきたなあ！お題頂戴、40秒で用意しな！」

と、まあ男の配信スタイルでお馴染みな、ウマ娘達が切磋琢磨して挑むレースとは真逆のダラダラと、それでいてレースとはまた違った熱さがある放送をする流れへといつも通り向かっていたのだが、とある爆弾をきっかけに事態は思いもよらぬ方向へと加速させていくこととなる。計算されたかのような絶妙なタイミングで投下されたコメントは、文字通りカオスを齎した。

・男を描かせたいって視聴者の意見と、ウマ娘が描きたいってup主の願望を合わせてさ。もしもウマ娘のトレーナーが男性だった

らつていうシチュで描いてみない？試しにダービーで活躍するかも
しれないって話題のテイオーやネイチャ、その他大勢のウマ娘がいる
けど、彼女達をモチーフに描いてみるとかどう？ 23:11

「いやあキツイでしょ…振り回されっぱなしになると思うんだけど」

・おま、それだと完全に鼻負じゃねえか

・地獄やんけ

・どんな三角関係☒

・トレーナーも入れるともっと残酷だぞ

・周りのウマ娘もお忘れなく

・急にジメジメしてきたな

・除湿機はどこ？

・トレーナーの夢か、ウマ娘の意地か…どっちが勝つんやろなあ…

無料小説でそんなん見たなあ…

・その手があつたかつてあるわけないだろアホか

・あかん、背中までムズムズしてきたわ

・天才というより天災だわ、悔しいけど

・今まで視聴者の中でタブーとされてきたネタについて触れるとは

非常識な…

・前世で鞭でも打たれてたん？

・流星にウマ耳は歓喜やろって思ったけどこれ誰も得しないやんけ

・せめて架空のキャラとか捻ろうよ

・とりあえず普通のヒト耳勢の脱落は余儀なくされたな

・まるでトレセン学園のトレーナーは人じゃないって捉え方も出来

るじゃねえかそれ

・実際その通りやろ、元最終候補を見てみい

・酷い言われようで芝

「おまいらもそうだけど、トレセン学園で奮闘しているお姉様方も生徒も含めて…その、色々な意味で、さ…キツくない？私は面白そうだとは思うけど、何か他に妥協案として手がある人は居るかね？あと私

をババアだとか色々デイスったやつらは、総じてぶっ飛ばしてやっくらな」

・目の色とか髪型とか体型とか視聴者で決めあってオリウマ娘作つて、その子と男を絡ませるとか？

・ヤバそうな雰囲気は無しで一回見てみたいわ

・後半ただの八つ当たりやん

・落ちた恨みやるなあ

・報いを受けるクソ女郎、でウマ娘界限に貢献しているの美しすぎるわ

・世に発信するってのは無しでって思ったけどメンバーシップ無いやん

・男×ウマ娘をこの人の絵でやるとどうなるのか単純に気になる

・怒りながらもさらつと構図は決めてるのウケる

・オリウマ娘にするなら三冠ウマ娘を目指すのか、トリプルティアラを目指すのかによっても性格変わらん？

・そこら辺は面倒だから省きたいし、単純でいいんとちゃう？

・描きながらもそういうコメント見てるんかい

・主：さりげなくトレセン学園全体というか、ここに居る視聴者も巻き添えにしている気がするんだけど

・こいつなんだかんだ言つて描くつてなつたら止まらないのすこ「それだとアンケート形式が無難かな…で、男の方はどうするん？」

・シヨタ

・細マッチョ

・ゴリゴリのマッチョ、筋肉モリモリマッチョUMANに守られている感じ

・やつれた感じでお願い！

・イケおじ

・彫刻作品つくぐらいの美少年

・外見は普通で良い、性格は熱血で

・ギャルに理解あるイケメン

・オタク趣味に理解ある優男

- ・白髪なら誰でも
 - ・成人しつつ、ある程度大人びた人なら
 - ・打たれ弱いけど頭が良さげな雰囲気
 - ・不器用だけどウマ娘を第一に考えてくれる人
 - ・誠実でウマ娘を第一に考えている狂人
 - ・ガチガチのインテリで見下す感じ
 - ・清楚感があれば、出来れば高身長
 - ・ちよつと抜けてる感じが良い
 - ・元気をくれそうな明るい子！
 - ・一途で素直でノリがわかってる男が良い
 - ・夢の国の王子様
 - ・ある程度の耐久性は欲しい
 - ・趣味を共有してくれる人
 - ・私を好きでいてくれる人
 - ・あたしを好きな人
 - ・確定で私のこと好きな人
 - ・本当は男5人でも10人でも良いから囲まれたいいいい！！
 - ・クソみたいな男でも愛してくれれば
 - ・とにかくモテてえよおおく…！！
 - ・外見だけでも良い感じで
 - ・嘘みたくに清い性格してる男で
 - ・もう普通の男でいいよ
 - ・私この為だけにウマ耳付けようかな
 - ・男はなんでも良いけど女の方は低身長で
 - ・耐久性より叩かれて喜ぶ男がいい
 - ・色々ちよつかい出しても許してくれる人なら
- 「おまえらのコメエグいし速いし多過ぎやあ、ボケエ！全部やり直さなあかんやつう！オリウマ娘どころじゃないやんけ！私も沢山のウマ娘に囲まれたって願望はあるからわかるけれども！」
- ・好きに描いて欲しいに一票って言わせたいだけやろがい！
 - ・ウマ娘ちゃん好きの『元』トレーナーさん候補ならやってくれらるっ

て信じてますから！

- ・デジたん構文でも的確に傷を抉っていくの酷すぎるwww
- ・オタク生活激アツちゃん☒
- ・好きに描けよって一番困る奴だろ？私らが提案したんだから有り難く受け取るってのが礼儀つてもものじゃ無いのかな？
- ・多過ぎっていうけど概念を増やしたの、少なからずお前の影響あつただろ
- ・さあ描こう（無慈悲）

現在時刻…23時17分9秒

同接人数…1064人

この時から…：…男の配信は少しずつ、おかしくなり始めた。

神は愛なり

『あ、まって、降りてきた！構図もシナリオもダービーで降りてきたあ
！』

「ひよわあー！」

たった一人の放った言葉にしてはそれこそ地鳴りにも似た歓声の
ような、そんな熱がこもった声だったと思う。

歓声には慣れていてしまった。ルームメイトである子は既に寝息を立
てており、夢の世界へと飛び立っているため、なるべく起こさないよ
うに：と音を立てないように気を付けていたのだが、イヤホン越しな
事もあってか不覚にも不意打ちが決まるとは思ってもいなかった。
飛び跳ねるようにして驚いた自分に対し落ち着け、と言いつ聞かせるよ
うに呟きながら息を整え、再度画面へと目を映す。

- ・ シラオキ様がキタア!!？降臨したあ!!？
- ・ いや、シラオキって神様じゃないやろ、ウマ娘やろ
- ・ ん？まさかこれってアレか？
- ・ あーこうなるとアンケートとか無いパターン確定やな
- ・ 久しぶりに来たってことは尚更歯止めがきかなくなるだろうね
- ・ 構図も消したってことは：ああ、確定だわ
- ・ どぼめじろう先生「イケる：捉える：ここから！」
- ・ 男×ウマ娘でも来るもんなんやなあ
- ・ 多分：というか絶対ウマ娘メインだろ
- ・ ウマ娘が入っていればええんやろな

常連である人達は何が起きたのかを知っているようで、初めてこの
動画を見る立場としては何が起きたのか全く理解できない立場で

あった。コメント欄を冷静に見ると『久しぶり』や『歯止めがきかない』という事から、この放送では偶に起きる出来事なのだろうと、そういう風に受け取る事は可能なのだが：いかんせん情報が不足している。

(そもそも『どぼめじろう』ってどんなネーミングセンスしてんのさ。)

『つてわけで、これより私は頭に浮かんだ最高の絵を描かなければなりません。後は各自よろしくお願いしまっす！』

・りよ

・へーい

・了解

・おー楽しみにしとるわー

・りよ

・了解です！

・朝になったらまた来る

・明日があるので今日は落ちますね！

・了解

・おやすみ、頑張って

・あたしは先に寝るわ、また明日な

・了解しました！

・りよー

場の流れに合わせるようして、咄嗟に初めて打ったコメントがまさかの『了解』の二文字。慌てていたとはいえ自分が書いたとは思えない返事の仕方と、それに合わせるようにスムーズに流れるコメント欄に処理が追いつかず、目が点になっていたことに気が付いたのは、暫く経つてのことであった。

改めてコメント欄を見るや否や、動画投稿者が放っていた内容にも勝る勢いで、最近のウマ娘の事情を語っている様子だった。その流れには思わず目を疑ってしまうほどのもので内容自体のレベルもそうだが、それこそそうした内部者がいるかのような情報まで飛び交って

る。あくまでも語られる範囲でのみ絞られている様子ではあるが、やれ、最近の芝の手入れはどうだ、とか広報部の人材育成が思ったよりも順調で、といった生々しい事情まで放たれていることもしばしば。

この状況には、どうしても慣れないものがあつた。時間が経てば経つていくほど同接人数は減少傾向にあるというのに、コメント欄の勢いは衰える事はなく、更に発展して海外の事情まで話が広がっていく始末。

少なからず新たに入ってきた人もこの場に慣れていいのか、直様順応するかのように入話に入るものだから、余計に混乱が生まれてしまうのだ。

挙げ句の果てにはトレーナーの悩みや苦悩、改善案、育成のコツなどが巡るように飛び交い、ある種の掲示板のような状態へと変貌していく様子は、先程までの放送とは真逆の真面目な雰囲気で統一されているような場となっていた。中には学生が書いたであろう内容に、教えられる範囲で説明をしている姿もある。それも海外の人が日本語にわざわざ直している場面もあるくらいだ。逆も然り。

こんな事は勝負の世界において敵に塩を送る行為になりかねないし、そもそもここでやる必要があるのか、と問えば決してそんな事はない：寧ろ場違いである、と結論付けても文句は言われまいだろう。総じて良い雰囲気であるため切り出す事は愚か、場を乱してしまえればただの厄介者でしかない。そんなリスクを超えてまで行動に移すような人が居るとは到底思えないが。

そんな中でも投稿者は、せつせと腕を動かし絵を描いている。こんな生放送があつて良いのだろうか？、と未だに驚きを隠せない。時々聞こえて来る動画投稿主の「あ、ミスった」という単純な呟きや「そーういやあのウマも脚が不安定だったなあ…」。それでも三冠とか取るんだらうけど」というボヤキも聞こえて来る。

それに釣られるようにして、急に慌てふためいたように騒めき、コメント欄の動きが一斉に変わったのはギャグみたいで面白かったのは秘密だ。

言葉のニュアンス的に、まだトウインクルシリーズに挑んでいない

子のことなのか、もしかしたら海外情勢の事なのかな？という疑問や予想は尽きない。だというのに画面の向こう側の腕は止まる気配は無く、筆が踊っているかのようにイキイキとしており、単純だと思っていた顔の表情の違いをここまで細かく表現するんだ、などといった着眼点などを自然と持つのは意外と楽しいものなのかもしれない：とも考えてしまうほど絵が完成されていく様子は目を引いてしまう。コメントと同時並行して見えてくるのも相まって、中々にシユールだ。

正直この現状を見逃せるほど出来ている人ではない。何が起きているのか知りたいという欲求が収まるわけがなく、いつの間にか時計の針は深夜の2時を回ろうとしている。同接人数がそれでも300人を超えているのは良いのだろうか、とまた新たな疑問が頭によぎって悶々とするのは、最早我慢の限界だったのかもしれない。

同じく止まる事なく徐々に完成されていつているリアル描写風なイラストは、少なくとも後は色塗りというところまで来たようだ。何か不安定さが醸し出されつつある不穏な流れに目を逸らしたくなるのは何故なのか：この考えを含め、理解できない事が多すぎる。故に思考は止まらず、眠気は既に飛んでいた。

あなたへのおすすめ、で偶々見ていた動画だというのにこの有様だ。運が良かったからか明日が休みだったのは丁度良かった事なのだろうか？最近はレース前だというのに水泳での調整ばかりで、少しだけ退屈な気分を味わっていたのは事実だ。だからといってこんな：選手にあるまじき体たらくはして良いものではない。十分に楽しめていることすら不愉快に感じてしまう。

・あのさ、この現象？って何？

無意識に近かった。聞かなければならないと思った。ここで納得しておかないと気が済まないと感じて、抑えられない気持ちが発射して、胃がムカムカして、自分の何かが否定されるのではないか：深淵

を覗いてしまったのかもしれない：運命的な何かを感じるなんて、そんな事あるはずがないと真っ先に否定したかったのだ。自意識過剰とも受け取れてしまうまでに怪しんで、得体の知れない恐怖心はピークへと到達し、いつの間にか手が動いていた。

・うp主ってその時閃いた！って感じで絵を描く時があるんだよ

・しかも一度この状態になったら完成するまでずっと垂れ流し

・何かに取り憑かれてるんじゃないかって雰囲気にもなるし、何だったらコメントなんて読めなくなるくらいに集中力が上がるんよ

・ウマ娘風に言うなら領域取得者って言えばわかるのかもしれないけど、実際はあたしらもよく知らないんだわwww兎に角こうなったらキめているんじゃないかって思うくらい手がつけれねえのは確かだな

・放送中になるのは半年前が最後だったけ

・7ヶ月ぶりかな、菊花賞前だったから

・海外とかになるとどれがどれだか分からんし、確定なのは菊花賞やな

・春天はまあ：ライオンには悪いけど勝てる土俵じゃなかったからしやーなし

・男を絡ませるのは今回が初めてな筈だけど、決まってこういう時に描く絵はウマ娘メインで尚且つ好みが別れやすくなる傾向にあるよ

・時々ロクでもない絵を描くから覚悟はしといた方がいい

・大体8時間はぶっ通し、覚悟はいるけど見たい人は徹夜してみるのもありよりのあり

成る程：となる内容に合わせるようして、所々何か怪しげなコメントがちらほらと浮かび上がってきて、ほんの少しだけ身構える。中でもキめている、領域という言葉は不気味であった。その言葉から推測するに、恐らくはレースで夢中になると同程度かそれ以上に無我夢中の境地へと到達しているのだろうとは推察する事は可能だ。だが、何故そこに菊花賞：細かく言うところ恐らくマツクイーンが勝ったであ

ろうレースが絡むのかがあまりにも不透明すぎる。

まさかとは思うが、レース展開の予測でもして完璧に言い当てた：とかだろわか？で、あるならば：それくらいのこととはファンであればあるほど行くだろ？し、偶然で片付けられる場合が殆どだと疑うのは必然である。強いものが勝つのではなく、勝ったものが強いと認識される最も代表的な競技において、その程度の運であれば到底語っていない代物ですらないからだ。

しかし、そんな予想は裏切られる形となって露わとなる。

・あまりの集中力からか時偶変なことを呟きながら絵を描くんよ、本人的には無意識なんだろうけど：これがまたリアルすぎるのよ

・キングヘイローの頭真つ白事件や高松宮記念一着から始まり、スペシャルウィークの日本ダービー、セイウンスカイだと菊花賞世界レコードを当て、グラスワンダーでは毎日王冠での不調から宝塚記念での巻き返し、エルコンドルパサーに至っては凱旋門賞二着を見事に的中させているのよね

・ホワイトストーンやライオンより本格化したマツクイーンが勝つって言うわ、それに向けて制作しないとくとか変声機越しに呟いて来るんだぞ？普通に怖いわ

・中でもヒヤツとしたのは、スズカが大逃げしてレース中に大怪我をするってやつね

・秋の天皇賞後に左脚骨折発覚：最悪な展開とも呼ばれた『沈黙の日曜日』が外れたってだけで実質当たったようなものだわ

・実際悪い方向での的中つていえば、アイネスフウジンやハクタイセイが最近かなあ：現に病院通いだし

・偶然なんだろうけどスズカについては、スズカのトレーナーがこの視聴者だったっていうね：未然に防げたのはデカかった

・同期にマチカネフクキタルいるしその繋がりでつてのはわかるっちゃわかるが、普通に色々な意味で心配になったわ：とはいえ、グツジヨブ

・スズカが一着を取ってようやくこの人の予想が外れたんだって

思った矢先に骨折発覚は…冷や汗パネエのなんの

・戦略を変えたからといつて今まで蓄積されていた骨の負担が軽減するわけではないからな

・まあダービーに関しては…ダービーで燃え尽きるウマ娘なんて沢山見てきたからそりやあ数打ちや当たるよね、つて話にはなるんだけど、こうも当たるものだから目を光らせようってわけ

・お告げ抜きで観に来ている人もちゃんと居るけどね

・試験に落ちたとはいえ普通に勝負勘は強いし、知識もあるおかげか話せる人達が自然と集まった結果、こうなりました

・勿論普段の放送でもウマ娘のことで持ちきりなんだけど、不気味がつて大半の人は居なくなつたし、一部の人たちからは名前を言つてはいけない人つて呼ばれているくらいには魔境だね

・あまりにオカルトすぎてスレを建てようにも建てられないし、ファンアート界で上位にいるとはいえ…配信者としてはマイナーもいいところなんで

・普段はちゃんとしてるのよ、ホント…偶にデジたん並みにオタク語り発症するってだけで

・デジタルはデジタルで新たな同士が…とか言うからホンマにどうしようもない

・この人はこの人でデジタル…というか現役の選手が公式ア力で来ただけで発狂し、最悪気絶する性質持ちつていう…ね

・お陰で明らかにヤバいウマ娘でもこの放送では珍しく抑止力として動くからさらに魔境になるという悪循環

・元々ウマ娘の話しかしないような人で、そのせいか最初期は荒れるに荒れたし?せめてこの場限りは幸せになつても良いんじゃないの

・動画主も大変だつたつて愚痴をこぼしていたけど、負けずに方針はこれでいく!つて腹に決めた途端いきなり「うおおおおお、手が止まらねえ!」つて叫びながら破茶滅茶な放送した時はポカンよ

・今でも普通にポカンだわ

・この先もイかれた放送しかないんだらうなあ

「何それ…バカみたい。」

先程の眩きにあれだけの反応があったのか、その謎が解けた。それ
もただ現実を見ないで互いを慰め合っているだけにしか見えない、厄
介極まりないもので手遅れだと側から見てもそう受け取れてしま
う程に宿痾なだけだった。

わかったようなわからないような曖昧な解答が、慣れた様子で返っ
てくる事がより病的なまでに異端な要因を増強させている。当本人
含めて気が付いていないというのがオチとして相応しいのだろう。
別段理由なんかはどうでも良かったが、自身にとっては興醒めだ。

特別な理由を欲していたわけではない。本能が納得していないかっ
ただけだ。

だというのに、普段なら魅了する側であるはずだったしなやかさす
ら霞むほどの、何か特別な力強さに魅了され続けた。

目に映っている一着は勝利の証。掲示板には20、11、13、1
2、14の枠番の文字。

4 F 4 8 . 5

3 F 3 6 . 4

時計にして2 : 2 5 . 9は彼女にとって完璧と言ってもいい内容
だった。絶対的な強さを表す横綱相撲で今年の優勝が終わる。

無我夢中に走ったわけではない。

持てる力を振り絞り、憧れの存在と同じように圧勝しただけだ。

二本の指を同時に挙げる。高らかと、後一本もすぐに挙げて見せる
と、彼女と一緒に宣戦布告をした過去はもう、互いに笑い話で済ませ

てしまうほどに懐かしく思っていた。

誓いを立てたならば、それ相応の約束は果たさねばならない。どんな世界であろうと、危険要素は常に排除した。だからといってもう安心しても良いだろう…という油断をした覚えもない。

全てのありとあらゆる事象に対して挑み、そして掴み取ってやると宣言をした伝説はもう目前だ。無敗の三冠ウマ娘が新たに生まれるその様を、彼女と共に歩めるかもしれない。初めて出会った時に見せたあの笑顔と同じようにニシシッと笑っているその姿に、少しだけ安堵からか胸を撫で下ろす。その瞬間、頬を伝っていた冷や汗が流れて落ちた。

どうかこのまま、彼女が曇らないまま栄光の歴史が続いてほしいと願っているなんて、倒れた当本人は思ってもいなかっただろう。そんな願いなんて知ったことかと突き進む彼女は眩しく、そんな彼女だからこそ夢を叶えるに相応しいと思ってしまうのだ。だからどうか、どうかそれだけは、頼むからこの夢だけは、せめてこの夢だけは覚めないでくれ、と知らない誰かが涙を滝のように流し、残酷な有様に嘆いている。

こちらの考えを見抜いていたかのように全てを嘲笑う運命は、最も容易く彼らをねじ伏せようとしてくる。この残酷さがリアリティを生んで伝わってくる。相乗効果は体感するよりも、より強く現れた形となって君臨している。彼女らの前に聳え立つ壁があまりにも強靱で歯が立たないことが、その場から立ち退き逃げてしまいたくなるほどのものだったのだ。

俯瞰してその様子を誰かが見ていた。

そんな必死に懇願している姿が実に哀れで綺麗だと心のどこかで

感じてしまった事も、既視感にも思えてしまった事も、それすらも置いてけぼりにしてしまう程に悔しくて仕方がないと感じるもの全てがぐちゃぐちゃになって、込み上げてきた怒りを何処へぶつけて良いのかすら分からず、気分は暗れずにいる。

そこで一気に視界が揺らいで、無重力から戻される。飛んでいるような居心地の良かった夢は段々と崩れ始め、気が付けば幕を閉じてしまっている。いつかは覚めて消えるのが道理だとしても、突如としてここからという時に終わりを告げられた身としては納得いかないものだった。

『完成したよ』

その一言で目が覚める。

朝の光がカーテンから漏れている。眩しさにつられて思わず腕を動かそうと意識した途端、微かな痛みと共にピリピリと腕が痺れて思うように力が入らない。

どうやらスマホを付けたまま意識が完全に落ちてしまったようで、机に突っ伏せるようにして倒れ込んでいた。変な姿勢で寝ていたからだろうか、背中が濡れて気持ちが悪い。

気持ちが悪くなったのは、果たして姿勢だけの問題だったのだろうか？

いや、違う。

寝ていた姿勢の影響なんだ、と片付けたかったのだろう…嫌な夢だった。悪夢と表現しても良い…誰の目線かもわからなかったが、生々しい悲劇を実際に体験した気分である。まるで誰かの記憶を共有して、そっくりそのまま覗き見たかのような夢だった。

バッテリーを示す赤いランプによつてもう残り僅かだという証を告げている。どうやら限界ギリギリ、というところではぶとく粘っていたようだ。充電器を慣れた手つきで取り付け、画面を覗こうとする。

ふと、不思議に思ったことがある。場の空気に吞まれてしまったのは百歩譲つてまだ良い…だが、初めてこの放送を覗いた身として、最後まで見届ける義務や義理なんでものは断じて無い筈である。そこまでしてこのコンテンツを気にする必要性は感じられないのだ。にも関わらず、ここまで理解が及ばないものに対し執着するのは、一体何故なのだろうか？

レースでもないのに昨晩から働き続けた脳は完全にキャパオーバーしている。疲れているのがはつきりとわかる。そうした思考回路は諦めた方が楽なのだと思決し、自分に対しての疑問などは完全に麻痺させ捨てた方が吉と見ていたので、そうした不都合的な異物は完全にシャットアウトしていたのだ。一度寝てしまったことが影響して少しだけ回復したからか、意識した途端にありとあらゆる考え事が過ってきたのだろう。

再びそう処理をした。しなければ耐えられなかったと勘が告げていた。

下を見た。

画面に映っている絵がよく見えない。

それでも視界に収めようとした。

朝っぴらから視聴者が偏っているにしてはそこそこの人数が集まっているようで、それに応じるようにしてコメント欄は深夜帯に比べて勢いを増し、ガヤガヤと賑わっている。

ぼやけた視界が徐々に鮮明になってきて、その様子がくつきりと目の前に繰り出されている。

『はあはあ…疲れた。はあ…はあ………ふうふうふう…。クヒヒ

……ヒヒっ、怖いなあ。何度目だよこれ……ホント……怖いなあ……怖くない……ああ、怖い。怖くない、怖い。怖いなあ……ヒヒっ』

完成したことによる笑みに混じるようにして時々涙ぐむ様子が、マイク越しに伝わってくる。恐らくは同時に溢れているのだろう……余程高揚しているのか、作者の息遣いは最高潮へと達している。落ち着きを取り戻す頃には、自身もまた頭が冴え始めていた。目に映る情報を脳が処理し、どのような絵が描かれていたのかが理解出来るまでになった時……ボクはどんな顔をしていたのだろうか。

唾然としてしまったのか、それとも興奮の余り頬が緩むほどの嬉しさに浸っていたのだろうか。
どれも間違いだ。

恐らくはあの夢に出てきた人と、全く同じ顔をしていたに違いない。

- ・ おお！完成度高えけど……
- ・ ん？ターフの上？これどこ？
- ・ 多分東京レース場やな
- ・ 府中やろ
- ・ 府中だね
- ・ 府中確定
- ・ H A H A H A ……何これ
- ・ 男もウマ娘もええ感じやん……なんか、暗くね？
- ・ 特定早すぎ

- ・なんかお互い苦しそうな顔してる
- ・お前さあ：疲れてんだよ
- ・涙が出て：あつ
- ・てめえ：ふざけてるのか？
- ・人の心とか無いんか？
- ・美しい：これ以上の芸術作品は存在し得ないでしょう
- ・心は痛まないのか？
- ・クレイジーサイコレズが真つ当な絵なんて描けない：筈だ
- ・おま、なんちゆうものを描いてるんや

場面こそ違っているものの、そこに映し出された内容そのものに大差は無かった。夢よりかは少なからずマシになってはいるものの、胸糞悪いことに違いは無かった。

作者によってよりくつきりと顕在化された絵は、視聴者の心を確実にへし折っている。描いた張本人は息を整えた後、その趣旨と内容を語った。

『つてわけで今回は今期のダービーをモチーフに描いてみたよ。未熟な男性トレーナーの指導の不安定さと世論の責任に耐えかねてハードトレーニングをこなしてしまったウマ娘がダービー勝利直後倒れてしまうシーン。これは正にその時の様子で、男が焦ってターフの上にもで侵入し、駆け寄って抱きしめている様子だね。流星に現役の選手に似せるわけにはいかなかったからアレンジはしているし、男も現存のトレーナーをモデルにするわけにもいかないから：あくまで創作上と現実上の都合ってのはわかってくれたまへ。で、こっちは純粹に主人公的な存在に負けて凹んでいるところを慰めているって感じ』

- ・やめてくれえええええ!!?
- ・おい、なんで：ウマ娘の脚が：折れている…
- ・なんだよもおおお!!またかよおおおお!!
- ・こいつ偶に全力で曇らせてくるよな

- ・悪魔め
- ・リスナー「「無理イ〜！」」
- ・神にでもなったつもりか？
- ・ガビガビしてそう
- ・視聴者の性癖歪ませるのやめろ
- ・レズのサディスト
- ・本当に気持ち悪いよ
- ・度し難いな…
- ・こんな絵が描かれていると知って…アタシはがっかりした
- ・救いはあ…救いはあ…？
- ・こんなん精神崩壊するわ
- ・どぼめじろうと視聴者、折り合いが合っていないぞ！
- ・掛かっているかもしれない、息をつけると良いのですが…
- ・私が悪いんだよ…
- ・落とされた恨みか？イヤ、ここまで来ると寧ろもう好きだな
- ・シテ…コロシテ…
- ・悪いけど現実でメスガキわからせツアーは禁止
- ・傷だらけになっても皆で痛みを分かち合えば平気という真の平等主義

主義

- ・誰かこいつを止めてくれ
- ・ほんまに今期のウマ娘から動機を得たんか？
- ・これ描いた奴絶対早死しそう…それも爆死するタイプの
- ・→究極芸術？それともダハハ派？
- ・早死だから派手に自爆の方だろうよ
- ・どっちも爆死だから似たようなものでしょ
- ・儂く散らせる一瞬の美を究極とする芸術と、人生全てを革命に捧げて無能な権力を究極に落とし込む芸術は違いますよ
- ・何考えてこんな絵描いたんや
- ・頭覗かせろ、マジで一回でいいから覗かせろ
- ・わかんないよ、なんでこんな絵を描いたのか全然わかんない！
- ・とりまボートを用意しろ

- ・まともなのは私だけか☒
- ・お前は何と戦っているんだよ…何を背負ってるんだよ…
- ・こんな子に育てた親を一度でいいから見たいわ
- ・もう絵描くな
- ・泣いておられる…女神様も泣いておられる…
- ・動機というか発端がテイオーってこれ不味くね？まあリクエストしたの視聴者側だけどきあ…
- ・一先ず描いた理由を聞こうか

阿鼻叫喚の中、冷静な視聴者は理由を聞きたがっている。勿論、自身もその一人であった。こんな絵を描いておいて流れに合わせるかの如く「何でつてそれは…面白いからだろ？」なんて言葉を発して逃げれば、スマホをぶん投げていたかもしれない。

本人がここに居ないのを良いこととして好き勝手に話に入ろうとする、という前提条件に加え、わざとらしく緩急を意図的に組み込み放送を盛り上げる手法が成り立っているのも腹正しい要因だ。その度胸の良さだけは認めるが、よくもまあおめおめと語ろうとするなどと思いつつたものだ。しかもダービーまで残り1ヶ月と少しというタイミングに差し掛かっている時に、だ。乗っかっている視聴者も同様である。

この人達は余程性格が悪いのだろう。

仮にもしも、だ。話に上がっていたある種予言めいたものの延長線上として、この絵が完成されたのだとしても本人から見ればだからどうしたとしか思えないのだ。そこに正当な理由があったとしても、ボクはそういう堅苦しいのが嫌いな性質持ちだ。曲げたことはしない、するつもりもない。いつでも全力投球で挑む…こうした人に対しアンチめいた行動をするならば、もつと真つ直ぐで欲深く頭一辺倒に否定してくるものばかりだと認識していたのだが、性質や性格をよく分析した上でさらに本番で影響しないと踏むことを必須とし、土俵に上がることなく何度も針でチクチクと刺してくるあたり、一番性質が悪い攻め方である。

あまりにも狡猾で、狂っている。

『んー、まあリクエストがテイオーだったし：視聴者のせいってのは明白だから、喋っても良いよね。これはおまいらが描かせた物語だもんね』

- ・まーたうp主の悪い癖が始まったよ
- ・もう生まれ

- ・前世で何か悪いことでもしたんか？

- ・害虫が

- ・自身の無能さをここまで露わにするって意味では芸術だよな

- ・2400m走ってこい人カス

- ・本人が聞いているとか思ったりしないの？

- ・話すよりも良い加減人としての心とか取り戻してこいよ、病院行ってこい

- ・人が気分良く楽しみにしていたところに一番聞きたくない話を持つてくるバカ

- ・お前ずつと一人ぼつちやん：そこに答え詰まっとするやんけ

- ・やめなさい

- ・これは低評価するわ

『私を芸術品に仕上げるな。それにその：テ、テイオーやネイチャ世代の人とかが？聞いている可能性とか言われても？べ、べべ別に気にしないし、こっここ、怖くないし。あくまで、ほら：私が描く人達って愛着があると言うか思い入れが強いというか：ね？あるでしょ、そういうの』

- ・メジロをネタにする時の勢いはどうした？

- ・炎上不可避ですわあ！

- ・お前他の子だつて一生懸命走っているのによお

- ・なんでそこで食べるんや、こいつのメンタル面は一体どうなってるんや

- ・ネタにされたくはないから特別扱いとかそういうのは良いです

- ・い、嫌だ：うp主にネタにされるなんて！つて思っている人の方

が多いだろ

・だからタチが悪いんだよ

・愛って怖いわ

・うちは一族かよ

『そりゃあメジロ家の人達が有難い事に見えてくれた時もあったけど、逆に怖いを通り越して吹っ切れることが出来たから可能なわけ。』

つと、そろそろ話を戻すか。んで？なんだっけ、テイオー世代の人が聞いている可能性だっけ：んー：まあ、ネイチャとかだったら1%くらいの可能性があるかもしれないけど、テイオーは普通に無いでしよ。うん：無いわ、絶対』

・急にテンションを素に戻すな

・朝っぱらから寒暖差激しすぎるんよ

・ウマ娘以上に気性難なのどうかと思う

・フラグ立ちすぎなんだよなあ

・140—120

・ダメだこいつ：早く、なんとかしないと

・ちゃんとした根拠ありそうだから面白いんだけど

・ウマ込み冷静って人間でも発動するんだね

・理由あるん？

『根拠含めて言うわ。まず人を選ぶ癖が幼少期から身に染みているし、顔も知らない他人からの押し付けとか絶対嫌悪する傾向あり。あいう子はプレゼントとか貰ったとしても、好きな人以外の：知らない人から貰ったものはまず間違いない心臓の底から喜ばないタイプだね。ああ見えて1人の方が居心地良いつて雰囲気醸し出しているし、良い意味でプロ意識が高い分相手側からの信頼も得やすいのが仇になつてるよな。全く：ぶっヒビッ。先が読みやすいお子ちゃまだぜガーハツハツハ！あ、因みにソースはインタビュー記事とかも含めて色々なところから引っ張ってるけど、出典いる？』

・それは正解かもしれない

・なんとなくわかるような：

・ソースあるんかい

・レディスト怖い

・280―240

・ドーナツ持つて土星に行く方がマシレベルの考察、これにはドン引き

・とんでもねえ、待つてたんだ

・ああ〜どんどんいかん方向に話が進んでいる気配がプンプンしませ

このまま土俵入りさせずに、ネチネチと意識外から攻撃を受けられはたまったものでは無い。なんとかかして意識させてやろうと思いついて行動に移しコメントをしてみたが、成果は得られず逆に返り討ちを喰らってしまった。

拾われた矢先にこの反応である…とてもではないが我慢出来るものではない。

少なからず無関心では無くなったが為に、関心が芽生えればそこに執着してしまう、というのはどうやら本当だったみたいだ。このような場で経験するとは思わなかったが。

これ以上下手に手を出すのは悪手だ。そう思ったが吉、丁度お腹も空いてきた頃合いでもあった為、放送を抜けようとスライドしかけた時だ。ある言葉が出てきたことによって、その手がまた止まってしまった。

本日三度目の束縛が発動した瞬間でもあった。

『さて…後付けになっちゃうけど、描いた理由について移ろうと思う。唐突なんだけどこの有名な言葉は知っているかな？「レースに絶対はない」ってフレーズ』

・勿論

・ルドルフやな

・テイオーの憧れであり目標であり夢だね

・ルドルフには絶対があるってやつだな

・後付けかよ

・それがどうかしたのか？

・後付けって事はなんだかんだ言いながらも、(これは流石に不味いですよ。) って思っちゃったパターンやな

・そもここにその言葉自体知らない人がいるんか？

・→いねえよなあ!!?

・あ、やっぱ不謹慎な自覚あったんだ

・踏み止まろうとしないで描いたあたり、やっぱこいつ性格悪いな『アタシ、正論嫌いなんだよね：ポジシヨントークしているのこちら側なんだけれども。で、正直なところトウカイテイオーには、その『絶対』があるとは思えないんだわ』

・は？

・え、それ本気で言ってるん？

・ダービーで負けるとか言うんか？

・それが燃え尽きるとか：いやいや、ないない

・でもテイオーに限ってそれは無くね？だってあのテイオーだぜ？

・お前センスねえな

・テイオーに絶対が無いと思ってるとかお前レースエアプか？

・臯月賞見たけどあの余裕っぷりは天才でしょ

・生で見ただけどあれは天才超えてる：次元が違うって

・睨みつけるような眼光、溢れ出る闘争心はクラシック級じゃないぜありや

・同期が可哀想に見えるくらいの才能を全否定は試験に落ちて正解だわ

・失望しました、低評価押しますね

『待て待て待て、ダービーに関してはお外枠だろうと99%テイオーが勝つと思うぜ？トレーナーだったら9割以上って言うだろうけど：それに勝った後だって、そこで燃え尽きるようなウマ娘ではないでしょ。無意識だろうけどあの勝利に対する絶対的なプライド、憧れの存在を超えようとする想い、そこに噛み合うように合わさった圧倒的とも言える才能、特に脚のバネに関しては正直ルドルフより上だと思

う。秀才的な、少ない力でこなしていくような器用さはルドルフの方が上だろうけど、地頭とかは間違いない天才だろうし、何よりあのレース勘はピカイチだろ。初戦、不良場で圧勝だぞ？もうね…しゅきい、つてなる。走っている時に芝が喜んでるのかって錯覚を覚えるくらい、気持ちよおおつつく飛ぶように駆け抜けるんだからさあ…マジで見てみな、飛ぶぞ？』

- ・ テイオーの素質諸々ちゃんと見抜いてるんかい
- ・ 見てみな飛ぶぞ、は一回ヤツとる人なんよ
- ・ ちゃんとデビュー戦から見てるのね
- ・ それは誰もが知ってる…のか？テイオーって頭良いの？
- ・ これは…惚れてますね
- ・ 実際人気はあるからね、仕方ないね
- ・ 上から数えた方が速いくらいには頭良いぞ
- ・ ウマスタ見てこい、あそこの部屋は天才組や
- ・ マヤノとテイオーは頭良すぎるからマジでヤバイ
- ・ 流れが変わったな
- ・ もう、止まりはしない
- ・ 飛ぶように走る子は才能あるっていうからな
- ・ 不安を煽りつつ褒めるところは褒めていくってDVかよ
- ・ 絶対があるとは思えないとか言いながら99%っておま…

G1に出るような選手は一番は私である、頂点に立つのは私だ、と誰もが心のどこかでは思っている。どんなに才能の差があつたとしても、それを覆すだけの手札を手放すような真似はしない。鍛え上げる手段を常に考え、勝利を目指すひたむきさは中央の良いところだ。そこに幻想を見るのは仕方がないとしても…それでもボク達は夢を勝手に与えるだけ与えて、己が勝ちたいからこそ走っているだけなのだから、それ以上の期待を背負う必要も資格もない。

その中で99%なんて数字を言い切るとは余程のバカだ。そんなバカにもわかるほどの一級品をお墨付きされている点で、それだけ飛び抜けた才能があるという事を意味しているのが伺えるし、自覚もし

ている。だからこそなのだろう…意味を見出し意図があると見抜けたのは。

例えはぐれものだったとしても、少なからずレースに精通していたからこそ可能にし導き出せた答えだ。正しくウマ娘の文化が生み出してしまったモンスターそのものである。

ここにいる人たちは、ボクを丸裸にする気にいる。

つまりはその先を見据えての事をこの人は発言するのだろうか…自身の身体だからこそ推察出来たわけだが、恐らくはボク自身の才能のデメリットについてだ。

その時点で既に見限っても良いのだが、折角なので見ていくことにしよう。

『ただテイオーの脚って正直ガラスじゃん』

・そこ言及するんか

・段々テイオーの弱点がバレてきたな…

・元々ガラスではないのかもしれないけど結果的にガラスになったパターンのやつね

・膝、足首含めた身体の柔らかさによるバネが異常に発達⇨負担先が骨に行く↓結果ガラスになりやすい

・何処かしら問題抱えていないと有名なウマ娘になれないんか、この世界は？

・本格化を迎えていようがいまいが、車並みの速度で走るわけだからな…普通の人間の身体ならまず死ぬ

・人間でも何かしらのスポーツで怪我をするし、そもそも怪我しないなんて事は稀だからの

・テイオーステップってそんなに諸刃の剣なん？

・細身の身体であれだけのパワーとスピードを出しているんだから、並大抵のウマ娘とはわけが違うぞ…まあパワーを上げようとしたらしたらで問題発生するだろうからなあ

・丈夫で強いウマ娘なんてそうそういないわ…強くて丈夫だけど走りたくないって子も中には居るけどな

・テイオーの骨が仮に丈夫だったとしてもキツイでしょ…ってレベルです

『流石視聴者ちゃんだ、その通りだよ。基本は柔らかい方がいいんだけど、あれは柔らか過ぎて癖が付きやすいし、単純な問題として骨に負担が行きやすいんよ。詳細は面倒だから大雑把に言っているけど身体が才能に耐えきれない：要は筋肉含めポテンシャルは一流品なんだけど、一流品すぎて壊れた時の損失がやばいパターンね。』

ちな、一応テイオーの骨は丈夫な方ではあるし、あの走りを可能にしているのは上半身が完璧だからこそなんで…それと同時に丈夫だったからこそ、これまで保ったわけで…』

- ・高級品ほど壊した時の精神的ダメージもデカイ
- ・絵画を修正しようと依頼したらミスった感じか？
- ・担当トレーナー結構葛藤してそうだな
- ・テイオーがプール練習得意なのって救いだよな
- ・ああ、だからあの練習メニューだったんか
- ・割と初期の方からウツドにしていたけどその影響か？
- ・それしかないだろ…ってかモロそれやで
- ・テイオー退屈に感じてそうだな、大丈夫かこれ
- ・理解はしていても拒絶しそうだよな

『事前に担当トレーナーの事も調べたけど、私と違って有能で試験上位15位以内のコミュ力高えバケモンだったわ。まじでテイオーのトレーナーパネエのなんの』

・あの短距離とマイルの解説上手くね？
・なんか色々強烈っていうか…超越してませんか？絵は描けるし歌は上手いし…

よなあ
・あの子ヤケになるとブランデー狂になるからなあ…飲み過ぎなん

・香港で買ったらしいけどあの安っぽそうなクソダサ龍王フロントの服は何？www

・あれでハワイに行ったかと思えばまさかのキャンプですよ
(ちやつかりサーフィンとかもしてたけど)

・独特のセンスを持っているというか…どことは言わないけどルドルフに近いんだよな

・小倉愛強すぎる人だよな？

→その人で合ってるよ

『あの人マジモンの天才+努力家でほんまに格上なんだよ。特徴はわかった上で三冠に臨むつもりだっていうのが練習メニューを見て理解出来るから、その点も素晴らしいと思うし何より丁寧でわかりやすい。軽めのトレーニング内容や水泳重視のメニューにしているのは足元の不安材料がいつ爆発してもおかしくないからこそそのもので、実質爆弾みたいな物だからそうするしかないよね？っていうのが丸わかりなくらいウマ娘第一主義でヤバイ。真面目な話、ここにいる視聴者は理解している人達が多いから余計に思うところがあるでしょ』

・ただの男好きってだけじゃないからな

・練習風景を撮ってウマスタグラムとかに載せている理由ってそういう事？

・→可能性はあるね、裏で密かに練習しているのかもだけど…と、同時に練習内容を公開したところで問題が無いって意思表示かもしれないし

・トレーナーからしたらヒヤヒヤもの、テイオーを信じたい…期待に答えて見せたいっていう気持ちも伝わってくるわけで、ある意味でプレッシャーを互いに与え続けているってことなのかも

・我儘な一面はあるけど普通に良い子…なのかなあれは

・人間性皆無な天才っているしそれで愛されているならええんとかやう？

・性格が捻じ曲がっているって感じではない事は確かだから良い子なんじゃないの？

・そりゃあれだけ真っ直ぐな子だもん

・運命の悪戯って残酷やな

・レースが全てって子ほど才能と等しく付き纏ってくるんだもん
な、ホンマにさあ…

『だから…そあの才能を潰してしまったとしても認めなきやいけない

・コレガーキュウキョクムテキノーテイオーサマダー!!?

『おまいらもおまいらで同罪だわ。心の中で良いから謝っどけ。それかテイオーに向けて一言でも良いぞ』

・無敗の三冠ウマ娘になるんだろ？お前ならやれる

・クソガキが…絶対ダービー取れよ

・何をしておる、走れテイオー

・止まるんじゃねえぞ…

・テイオーは勝つさ…何故なら私は始祖の三女神を信じている！

・こんなクズな奴らの思う壺になるんじゃねえぞ、ガキ

・ガキが…皐月賞かつこよかったぞ

・クソガキ…偶にはレースだけじゃなくて遊びも必要なんだからな

・ガキが…練習やレースだけが人生じゃないんだぞ

・クソガキ…グッズ大切にするからな

・ガキが…才能に限らず全てを大切にしろよ

『やつぱおまいらは私と同じだわ』

「……………気持ち悪い」

兎に角気味が悪い…一足先の悪意を行っている。これが所謂厄介ファンというやつか。マスコミとはまた違った飴と鞭を使い分ける言葉の暴力を、これでもかと浴びせられるであろう場に、かつてメジロ家の人達やスズカのトレーナーがいたと言うのだから驚きだ。

何度も束縛を食らって初めて理解した。こんなものを観ていたら頭がおかしくなるに決まってる…この人はそういう存在なんだ。

第一、自身のリスクなんて幼い頃から知っていなければ選手なんて務まるはずがない。今更改まって語る内容でも無いのだ。それをこうして広めるとは…今、お前がどんな顔をして語っているのかは知らないけど、本当にクソ女郎だよ。一体何を考えているんだ？本当に気持ち悪いよ。その正義感溢れたような口調も発言も、聞いているだけで反吐が出そうだ。トレーナーごっこもいい加減にしてもらいたい。半端者の知らない人が、ボクの担当についてもまるで全てを知ってい

るかのように勝手に話すのも腹立たしい。

ボクのモヤモヤごと、今から駆除してやる。

・好き好き言いながら傷を付けて蹴落としたいの？怪我を望んでいいの？どつちなの？

『ああん？蹴落とす気なんてねえよ、そんな結末…嫌に決まってる。そのコメント…良いか、言っておくけどなあ！こちとら生まれる前から生粋のファンじゃ、テイオーに対して並々ならぬ愛があるわポケエ！お前らも耳かっぱじってよおく聞け！この先10年ぐらい怪我なんてしてほしくねえ！もつともつとルドルフ以上に勝ってほしい！こんなこと言うのは最低だと思うけど…無敗5連勝なんて気にしない勢いで10連勝くらいして欲しい！！沢山走って欲しいいい！！』

・ああ…そう…そこまでカッコ悪い事言うとは…

・外野がとやかく言うつてのはマナー違反だよね？これって許されるの？

・→ダメに決まってるだろ！

・困った事にわかった上で止まらないんですよこの人

・うp主、皆が言いたい事言ってくれてありがとう

・タチが悪い事には違いないんだが…理に適っている以上言いたくなるのも無理はないか

・560—480

・ここでどぼめじろう先生が動いた、どぼめじろう先生が動いた！スパートを仕掛けたどぼめじろう先生！大半の視聴者を置き去りにしていく！

・まあ第三者が代弁してくれることで気が楽になるって人もいるから

・この後一人で反省会するんだろうなあ

・アーカイブにちゃんと残すし、この人まじで性格悪いよな

・これがどぼめじろう先生の本音か

・生まれる前からとか歌じゃないんだから

先程から呂律が回り、エンジンが回ってきているのが伺える。いや、一周回ってこれは寝不足気味からの深夜テンションなのだろうが、若干空気を読んでこうした発言をしたのだとすれば、配信者の性格的にピルサドスキーやオペラオーに通ずるものがあるのだろうか？それにしても：敢えて空気を読んでいる上での立ち回りにはまず見えない。

明らかに素で話している印象がパツと浮かぶのだ。今までの発言を振り返って見ても、話している内容自体は真面目そのものである。つまりは全てが本音であると仮定してまず間違いはないだろう。

但し、この雰囲気と知力だけは最悪そのもの：名前を言っただけではない人扱いされるのも、これそのものが原因です：と示しているようなものだ。不合格者風情が：トレーナー試験に落ちたこと自体が全てを物語っているというのに：。自慢するかの勢いで語っている知識についても、質、量共に敵では無い。視聴者を少なからず離さないようにする話術を持ってしようと、いつしか限界が訪れる。

そうと決まればやることは一つだ。相手のスタミナをいち早く消費させ後から突き放せば良い：斜行する勢いまで乗らせて、最後の最後にありつた力の力を込めて追い詰めよう。

本物の天才には敵わないって追い討ちを、余す事なく喰らわせて「理解」せてやる。

(イケる…捉える。ここから…ここから！)

・選手一人一人を信じられない人が試験に落ちるのは当たり前じゃないかな？

・それはそうwww

・ぐうの音も出ないわ

・ど直球な正論は芝

・おい、言われてんぞ

・鎮魂歌には早すぎる

・仕方なかったってやつだ

『その通りだ視聴者、お前らの言ってることはすべて正しい』

・しかも怪我が怖いから、とか言っちゃって本当はメンタル弱々なのを誰かのせいにしたいただけでしょ？滑稽すぎて笑っちゃおうよね

・ゲラゲラゲラゲラゲラゲラ

・ゲラゲラゲラゲラゲラゲラ

・惨めだなあ、この上なく惨めだぞ小娘

・ほら頑張れ頑張れ

・欲しがりメンヘラマゾゴリラ

・トレーナーさん、あとは頼みましたよbyどぼめじろう

『頼む…静かに…』

・じゃあなんで今もトレーナーにしがみついているの？何がしたいの？英雄にでもなりたいの？

・ウマ娘を一人残らず救うんだろ、お前ならやれる

・違う…違うんだ…

・お前らが大事だからだ、他の誰よりも…

・矜持も未来も！お前の全てを捧げてウマ娘に寄り縋ろうと！何も救えないとは！

・そうだ…私にはまだあの子達が…

・私にはわからない…ずっとそうだ…

『ただやるべき事をやる、ただ進み続ける…それしかないだろ』

・あのさ、そんな人がトレーナーに選ばれると思う？はっきり言って選ばれるわけないじゃん！

・んんんんんんん！！！！

・あの日、担当していた子が目の前で倒れて…二度と走れない身体になった…私にはわからなかった…何故だ？何である子は、怪我をしたんだ？

・それは…私達ウマ娘が油断したから…

・ただ…私のすべきことは、自分がした行いや選択に対し、トレーナーとして…最後まで責任を果たす事だ

・進み続けるんだ、死んでも死んだ後も

・これはお前が始めた物語だろ

・誰かに尊敬されたかった…私が悪いんだよ…

『嫌だ…まだ終わりがたくない！だから…ごめん…ごめん…ごめんなさい…ごめんなさい』

・悪いと思ってるなら償えよ！罪を被って責任取れ！

・負けた…私のせいで…契約も終わる…今日、ここで夢を諦めるんだ

・ここか…私の最後は…

・トレーナーが必要なら私がトレーナーになるから…

・もう嫌なんだ…自分が…

・私達が考えた練習メニューが、担当しているウマ娘達に直接影響しているんだぞ！トレーナーなら今最善を尽くせ！

・別にそれは普通のことだろう…トレーナーなんだからよ

・こんな結末を迎えるなんてしつていたら私は…こんな半端な…クソ女郎にならずに済んだのに…

『どうしてお前らは、私を…死なせてくれないんだ』

・これ以上、誰も苦しめなくていい。これ以上、苦しまなくていい…なのに何故？どうしてそんなに足掻くの？何の為にこんな放送をしているの？本当にウマ娘が好きなんだよね？

・終わらせるんだろ、ここで

・もういいんだ、トレーナー…もう…わかったから…
・トレーナーさん、ずっと苦しかったんだよね… 今のあたしには、
それがわかると思う…

・もう私には何が正しいことなのかわからん！

・辛いなー

・一生URAの晒し者

・しかしよくここまでウマ娘のことを好きだとわかったな

・？そんなことすぐにわかるだろ？

『自分で選んだ道だが、オタクをやるってのはどうも体より先に心が削られるみたいだな…』

・ウマ娘が好きなオタクなんだ！つてそんなことまでして言うんだったら今すぐ証明しろ！テイオーのライバルと言われているマツクイーンについて、誰もが知らないような噂の一つや二つ語って証明して見せろよ！

・なんで…そんなに急ぐんだよ…まだ何も、話し合っていないじゃないか！

・やるんだな、今！ここで！

・何故なら私はどぼめじろう先生を信じている！

・うおおおおおおお！！

・うおおおおおおお！！

・うおおおおおおお！！

・うおおおおおおお！！

・うおおおおおおお！！

・うおおおおおおお！！

『ウマ娘ちゃんを想う気持ちはよくわかる。だから……残念だ。すううう…』

これでボクよりマツクイーンについての知識が劣っていれば所詮はそのレベルという事だ。…計画通り。ボクの勝ちだ。ボクの！勝

ちだ！

(このまま…このまま！)

そう思っていた。悔っていた…ボクはこの人を甘く見ていた。

『参りましょう！』

マックイーンの最も優れているところは心肺機能が桁違いって部分。特徴としては瞬発力勝負をさせないレースに強制的に持ち込む単純に強いウマ娘。

重バ場とか雨とか関係なく無視して走れるし、レース配分と展開をミスらなければ基本どこでも勝てるヤベー奴。勝ち方がつまらないあたり、ルドルフみたいなものだね。

本格化を迎える前からあの異常なスタミナとスピードはおかしいつてくらいの才能の持ち主で、どの距離でもそれなりにこなせるが真に光る部分は約2000mを超えたあたりから。

凱旋門賞含む欧州でも普通に走れると思うってくらいのタフさは未知数で先が読めない最も良い例であると同時に、自身の体調管理には人一倍厳しく取り組む一面もあってプロ意識が高い真の強者だよ。

幼少期は体質が弱い上に名家特有の仕来りが面倒だったことから、その息抜きとして映画鑑賞を楽しんでいたっていう過去を持つてるね。その影響からか趣味は映画鑑賞になった模様だ。

特に映画に至ってはB級映画【来襲！スペース野球ゾンビ】や【大脱獄】だったかな…を最近だと見ていたと思うよ。因みにトレーニングはお休みというなのサボりをしていたってのがオチね。それが担当トレーナーにバレてしまつてね…結論から言ってしまうと、毎日楽しみにしていたトレーナー直伝の手作りスイーツを一週間没収されたそう。

マックちゃん、根っこからの頑固者で練習嫌いなのはわかるけどちゃんと練習しましょうね。

ああ、そうそうマックイーンといえば野球だよ野球。野球観戦に至ってはライアンが誘ったきっかけからなんだよね。おかげで今では野球バカと断じていくくらいの熱狂的なファンにまで堕ちてし

まったよ。ヴィクトリーズの試合で見かけたらそつとしておいてくれよな。

喉が潰れないステイヤーとしてそろそろ有名になるかもしれないって噂、広まってて良かったねマックイーン。もうこれでつまらないウマ娘って言われなくて済むよマックイーン。落ち着いてその拳を引つ込めようよマックイーン。名優って二つ名、気に入ってくれと嬉しいな、と私はそう思っている次第であります。

おおつと　：マックイーンの怒りがスパートに入ろうとしているぞ、もう言葉はいらぬか、言葉はいらぬのか！マックイーン、今年こそもう一度頑張れマックイーン。しかし噂は完全に広まってしまった！ああ〜という悲鳴はただ一人しか挙げていない！これはもう奇跡でも夢でもない！現実だ！メジロマックイーンです！

あとあのステイヤーとしての素質、応援歌や試合観戦の長丁場によってスタミナが磨かれたかもしれないって可能性が浮上しているんだよね。野球好きのウマ娘は、マックちゃんと仲良くなれるチャンス掴めるかもねってこと。いい？もうパンドラの箱は空いちやつたの。

ああ、歌といえば！サンデーサイレンスはマックイーンとコラボして応援歌歌ってください、お願いします何でもしますから！

まあ、それはそれとして、ライアンはその責任を負うべきだね。罰として宝塚記念でマックイーンから勝利をもぎ取りなさい。ちな、今年の宝塚記念にライアン来るけど仕上がりましたっついでパネエから注目しときなさい。メジロでもライアンの方だと思っちゃうほど、期待以上の出来ですわ！

りゃいあん！カツコいいウマ娘ってだけで人気が出るわけじゃないってところを見せてくださいまし！あなたはマックイーンを倒すだけの実力は確実にありますわ！楽しみながら強さを証明するのですよ、りゃー！い！あ！ん！パワー！！：ハッ。

余談だけどスイーツといえばお菓子ってイメージが強いと思うんだが、だが！待つて欲しい：マックちゃんはここに目がないんだ。さつきもネタにしたけど、マックイーンってお菓子やスイーツといっ

た甘いもの：というより基本食べる事が好きというウマ娘らしい幼さというか可愛らしい一面があるんだ。実に素晴らしいギャツプ萌えを持っているとは思わないかね？

そのあなた！今なら和栗二種の限定モンブランをパクパクと食べているマックイーンのイラストをここで描いてみせましょうか：それともプリンにして差し上げましょうか、如何です？食べる姿は正にパクパクと擬音語がその場で聞こえてくるかのように、美味そうに味わうその姿は癒されること間違い無しですわ！って感じなよね。

はああああん!!？手が止まりませんわ！美味すぎて手が止まりませんわ！パクパクですわ！って一回で良いから言って欲しいですわ。このセリフさえあれば勝ちですわ。シユパパパサクサクサクですわーっ!!

因みに料理スキルはお嬢様の癖に壊滅的に下手ですわ！米を一粒ずつ洗ったり、食材を煮込む事すら出来ませんわ！お可愛いこと：ですわあ！そんなんじやお金を沢山積まれても、男は寄ってきませんわよ！レースだけでなく自分磨きにも精進なさい！

さてさて、盛り上がりも終盤へと差し掛かってまいりました！この幸せとも思える時間と引き換え：というか犠牲にしなければならぬ事態があつてね。それがマックイーン：どうも太りやすい体質が他のウマ娘より酷いんだ。それが筋肉とかに変われば良いんだけどどうもプロレスラー並みかそれ以上に控えないと太ってしまうんだよ。けどね？それがまたね？良い味を出しているわけなんですよ：理解りますか？視聴者さんも理解っちゃった？この美学が！極端すぎてこれはびっくりマックイーン、ということなんですの！

誕生日は4月3日、靴のサイズは22.5cm、身長は159cmで体重はここ最近の様子だと2kgくらい増えたんじゃないかな？スリーサイズは上からB71・W54・H76、前が壁！体重については、トレーナーは気付いています。でも、肝心の本人が隠そうとするんですよね。気付いてない、動かない、マックちゃん、可愛いね。涙が出るくらい笑い転げてしまいますけれども。

そんなマックちゃんの交流関係はメジロ家以外にもサンデーサイレンス、イクノデイクタス、トウカイテイオー、ゴールドシップなどなど錚々たるメンツに囲まれており、本人も「私みたいな未熟者と仲良くしていただき感謝しておりますわ。」とコメントするデレた一面も見せるあざといウマ娘ですわ！そんな場面を想像しただけで……えへへへええええああ……ンッ！！……ンッ……ンッ……はああ……何とか堪えた……危うく魂まで持っていかれるところだった。

ンッ……そうした一面すらも非常に愛おしく思える私、イチオシのウマ娘ですね。

というかメジロ家ってネタにする要素なんて基本無いのよね。アルダンとかラモーヌは清楚で美しいし良い匂いしてそうだし、パーマーやライオンは見ていて元氣貰えるし、かつこよくてスタイルも抜群。ていうか、ドーベルだって姉妹想いで絵や写真といった芸術センスは羨ましいし、愛嬌があつて可愛いんだよ。ブライトはふわふわでおっとりしていて癒されるし、マックイーンだってレースが強い』

(……………えっ………は？……え？)

- ・ どうして……どうしてですのお！……ってあの子は泣いてるよ、きつと
- ・ どうした急に
- ・ マックちゃん暴飲暴食してそう
- ・ 待つてあいつ2kgも増えてんのかよ
- ・ プライバシーどこいったん
- ・ 少なからずマックイーンの影響が良くなったのは認めるけど正直認めたくない
- ・ りやいあん！りやいあん!!?
- ・ 名優つて二つ名お前が発端かい！
- ・ 【定期】マックイーンのデレた発言はどぼめじろう先生の妄想ネタです
- ・ なあんでこんなメンタルでメジロ家に喧嘩ふっかけられるんで

しようねえ

・怖いねえ、この若さ

・かつこいいい二つ名付けたなあ↓由来聞く↓ええ…

・消えない思い出がまた1ページ（物理）

・メジロ家×うp主×ダークライ

・そろそろメジロ家から訴えられても良いんじゃない？

・訴えるなんてしたら大人げないってイメージ持たれるだけです

・する時間があるだけ無駄でしょ

・ゴルシは面白いけど、こいつのボケはクソボケすぎて…

・もうお前メジロ家に入れてもらえよ

・特定の人たち以外の視聴者全員がそう思ってるんだよなあ

・「なあメジロ家、こいつどうにかして貰うことできるか？」

・「できる訳ないじゃないですか！」

・夢の対決・でメジロ家とうp主戦わせろ

た
・お前何人推し居るん？ライスシャワーやミホノブルボンはどうし

た

・スズカやシービーその他諸々私イチオシのウマ娘ですって言うて

る人なんで…

『推しは何人いようと推しであり、ウマ娘ちゃん達は総じて最高なの

です…私はただ！その光に平伏すのみなのですっ！ぜえ……はあ

……ぜえ……はあ……ふう……』

ぴえ……なんて反応では済まされない。ネタで済ましていい情報では無い。

・あの、ちよつといいかな

『あつはい!?なんでしようか?つてさっきコメントしてくれた人だよね、ネタ提供ありがとう!で、どしたん?あ、もしかして語りたい側の人?ならお詫びにウマ娘ちゃん語りの一つでもしていくかい?あ、描きたい側の人かもしれないよね、どうしようかな…』

そんなオタクがどうのこうの…とかどうでもいい。今まで描いた絵だとか発言とか、変な気遣いも少し前に抱いていた感情とかもどうでもいい。それよりも確認したかった。

・現時点でのテイオーのスリーサイズや体重とかつてのも把握してたりするのか？

『へ？テイオーのスリーサイズ？B77・W54・H76でしょ。何なら学園に居る大半のウマ娘のスリーサイズ記憶しているけどってのは置いといて、体重なんて珍しい質問するね。えっと…ああ、これかな？最近の傾向から見るに、恐らく0.4kg増加。あくまで予想なんだけど…それがどうかしたの？』

サーっと頭から血の気が引いていく感覚に、思わず顔を左右に振らしてしまう。同時に机の下や教科書の間など、身近にあるありとあらゆる隙間を探る。

管理体制がしっかりと整えられている為、そんなはずはない…あるはずがないと信じた上で尚、辺りを見回した。

(マヤノは居ないし、いつもと変わらない部屋のまま…だよな?)

それらしきものが見つかる事もなく、躊躇いながらそっとブラウザを閉じる。指は震え、冷や汗は止まらない。

ボクはこの放送を見ていなかった。

ボクハ、コノホウソウヲ、ミテイナカツタ。

ヨシ。

それでもこれだけは頭の片隅に残しておくべき事柄だった。単純な恐怖体験として、教訓にしておくべきだと…そう留めておいたのだ。

彼女は間違いなくレズのサディストなんだ…と。

ここへは二度と近寄らないと、心に刻み込むようにして誓いを立てた。

そこから先の事はあまり覚えていない。なけなしの体力を温存し、時間をこれ以上無駄にしないように、と休日を目一杯楽しんで過ごした。

休日が終われば、また何かから逃げるようにトレーニングに打ち込んだ：レース当日を迎えるその時まで、その記憶があつたことすら忘れるくらい夢中になって…

そうして訪れた忘れもしない5月26日。

『国民的スポーツエンターテインメント、トウインクルシリーズ。本日のメインレースは東京優駿ですが、なんと入場規制が敷かれました。ここ府中に多くの人々が、ウマ娘を見に集まっています。』

天候は晴れ、良バ場です。実に嬉しい限りですね』

『東京レース場のパドックにウマ娘が18名集まりました、それぞれご紹介していきましょう。一番人気のトウカイテイオーは46・0kgです。前走からは+0・4kgとなっております。二番人気に推されましたレオダーバンは49・2kg、+0・4kgです。こちらは三番人気シャコグレイド、45・8kgは前走と比べて0・2kg増えています。四番人気イイデゼンは……』

『二番人気レオダーバン、三番人気へと推されましたシャコグレイドがターフへと入場してきました。それぞれマルゼンスキー、ミス

ターシービーが期待を寄せています。そしてそれらを押し退けて圧倒的人気を誇る、ここまで無敗の皐月賞ウマ娘トウカイテイオーも姿を現しました。無敗の三冠ウマ娘シンボリルドルフからは『言及する必要が無い出来だ、勝つ確率は十二分にある。』トウカイテイオーの担当トレーナーからも『9割以上の確率でテイオーが勝つだろう』、とそれぞれコメントを貰っています。果たして無事に二冠を制する事が出来るのでしょうか、こちらも注目です』

『スタート地点の方ではターフから湿気が立ち昇って、全体の熱気により蒸し暑い感じがしています。選手の方ですが…えー、少しばかり汗が流れている様子は見られますが、各ウマ娘ほぼ掛かる事なく落ち着いています。特にトウカイテイオーの集中力は悠然といった表情です。ではファンファーレ!』

『レオダーバンが少しばかり枠入りを嫌がりましたが、順調に枠入りが進んでいます。各ウマ娘の枠入りが完了していつています。あとはトウカイテイオーを待つばかり。最後、トウカイテイオーが落ち着いた様子で…今、入りました。皐月賞に続いて、無敗で東京優駿を制する事が出来るのか!』

『……ゲートが開いて、スタートしました!トウカイテイオー中々良いスタートであります。逃げ宣言をしたアフターミラーを始めとしてホクセイシプレー、シンホリスキーが続いています。内にスーッと切り込んでいつていつた隊列を見るようにして、第一コーナーへ向かいましたトウカイテイオーは1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8番手、外目8番手で第一コーナーをカーブしていきます』

『各ウマ娘の現在の並びを整理していきましょう。アフターミラーが先頭、2番手にシンホリスキー、その外目にホクセイシプレーが続いて、レオサイレンスが4番手、5番手にイイデサターン、6番手にワンモアライブ、中団アウトコースここにいた!ここに居ましたトウカイテイオーです!トウカイテイオーが7番手で向こう正面へと回りました!その後ろであります、ロングタツクル、レオダーバンはこの位置、ここから先頭までは1. 2. 3バ身といったところか。イイデシビア、イイデセゾン、イブキノウンカイを見つつ後方からジワジワと

狙っているのはシャコーグレイド、シャコーグレイドは後方から二番手であります。一人遅れる形でコガネパワーがその様子をじっくりと伺っている。ここから前を狙えるのか、早くも第三コーナーの手前、坂を登って下り坂、1000mを切ろうかと言うところであります。先頭アフターミ、1000mを切りました。四コーナーへと向かっていきます！トウカイテイオーは依然として7番手！好位置をキープした形でトウカイテイオー、そしてそれをマークする形でレオダーバンが前を狙っている！さあ！トウカイテイオーが6番手、5番手と上がってくる！トウカイテイオー少しだけ外に寄せたか、残り400mと少々！400mを切った！坂を登る！早くも先頭争いは決着か、レオダーバンが2番手！』

『帝王が皇帝を超えるか！抜けた抜けた抜けたぞトウカイテイオー！悔しいと思える程の天才が現れました！格が違う！強い、強すぎるぞトウカイテイオー！プレッシャーなんて何のその！全ての不安を退けて、憧れに向かって、三冠に向かって爆進するのみ！トウカイテイオーが先頭！トウカイテイオーが先頭！3バ身と離れた！最後は余裕を持って圧勝！今、ゴールイン！二冠達成！トウカイテイオー二冠達成！これは文句なしの横綱相撲！堂々と夢を追うようにして、見事勝利を収めました！トウカイテイオーです！』

無事に勝利を飾った後：いや、ゴール直前になる寸前だろうか。突如思い出したかのように嫌な記憶が蘇った。

余りにも夢と酷似している。

徐々に侵食していく左足の痛みが、ジンジンと身体を犯していくかのように広がってきた。

意識を奪われそうになるも、観客にだけはバレないようにと自分を偽った。

そうして控室で待っていたトレーナーに告げる。

暫くして場内にアナウンスが響き渡った。

その時、ボクはレース場には居なかった。

『お知らせいたします。トウカイテイオーに故障が見られた為、ウイニングライブに出場しないことを表明致しました。繰り返しお伝え致します。トウカイテイオーに故障が見られた為……………』

ダービー勝利後、ボクは本当に怪我をした。

愛することによって失うものは何もない。しかし、愛することを怖がっていたら、何も得られない。

怪我をした。あのレースでボクは怪我をした。

脚が折れている現実を直視した。

あのレースが終わるまで耐えてくれていた脚が、終わった瞬間に折れた。

既に運命によって決まっていたかのように、最も容易く折れていた。

本当にポツキリと気持ちよく折れていた。

勝利直後、しかもダービーともなれば酷く混乱するのが普通だと思うのだが…なんか落ち着いていた。

笑えた。乾いた笑いが起こった。

その割には精神的な痛みを感じなかった。多分だけど、欠けちゃいけない何かポキッと折れて一生戻らないということ悟ったからなのかもしれないし、その先に待ち受けている運命に対して見据えていたからなのか、心が鈍くなっていたからなのかもしれない。

とはいえ、流石に痛みを感じた瞬間は恐ろしくはなつたし動揺もしたの事実である。

(ああ、とうとう折れたんだ。…ええ？あ、うん、痛いわ。…んん？あ、え、ああ…うん。そつかあ…へえ、ああ、うわあ…痛え。普通に痛いな、これ。んー、となると三冠は無理だなあ。ふーん…ボクの脚ってこんな都合良く折れるんだ。ここまで来ると凄いなあ。)

それも病院に運ばれている間に、必然とどこかが冷めていた。

まだ一回目だというのに、この悟りっぷりには寒気がする。

それはそれとして片付け、次の復帰戦となるレースのことを考え始めていたので、骨折なんて悲しい事実を目を向ける余裕が無かった。正直この薬品臭い場所に居る限り、落ち着いて判断が取れるわけがな

い。

その環境下に居るからだろうか。はつきりと骨折どころではなかったということもあるけれど、やっぱり第一に思ったことは心が軽くなったということだろう。夢も希望も失ったようなものなのに、妙に気持ちが悪くなった。

いや：本当はそうはなっていない。

まあ：決意した矢先に強くなるなんて展開が待ち受けているなんてこともないわけで：そんな真っ先にメンタル強者へと変貌するならば、白衣を着た人達に慣れるのは必然なのだ。だが、やはりというべきか：凄く怖かった。小学生並の感想になるくらい身の毛もよだつのはボクらしいといったところだろう。扉が開いた瞬間、ボクは帰りたくなくていい。滅茶苦茶だ。普通の人ならばこうはならないけれど、ボクは何故か全身がプルプルと震え出して、涙が溢れそうなのを堪えて、堪えて、堪えて堪えて堪えきれなくて、見たくもないものが視界に映ってしまった。

どうか、どうか、どうか！どうか注射器をそのままブスリと指すのだけはやめてほしい。せめてちゃんと打ってほしい。それでも本当にやめてほしい。医学の進歩によるものだろうとなんであろうと、本当にやめてほしい。あまりにも非常識だ。

これは願いだ：どうかこれだけは聞き入れてほしい。ボクの前で白衣の姿で来ないでくれ、というかもう着るな。その白い服を着た姿で視界に入るな。

支離滅裂だろうと、本当に勘弁してほしい。

とりわけ奮い立っていた気持ちが飛んでいってしまうのではないか、プライドが高いボクが放つ悲鳴で全てが台無しになってしまうのも恥ずかしいではないか。

だからトレーナー：涙を流してまで、ボクにそんな「ああ、やっぱりテイオーはそういう子だよな」。みたいな視線を向けないでほしい。付け加えるなら言葉に出すな。

生まれて初めてボクは泣いた。泣くべき場ではないけど、泣いて楽になった。プライドがズタズタに引き裂かれて、わんわん泣いた。

痛み止めを打つ瞬間、カツコつけて三冠を目指していた自分が羨ましくもあり妬ましくもなるけれど、それでもさようならをしなければならぬ時が来ただけなんだと実感した。

ボクは昨日のボクに悲鳴と共に別れを告げた。ボクは特別な存在なんかじゃなかった。ボクは普通のウマ娘だったんだ。

どこか諦めていたものが、絶望だったものが、希望へと変わった瞬間が訪れる。

負けたわけではないのに、悔しくて仕方がなかった。

黒歴史があったあの日から数週間後：悔しさを晴らすために治療に全力で励む毎日。

治療も一つのトレーニングであり、普通のウマ娘が特別へと進化するための一歩でもあるわけだ。

全力で向き合い、全力で取り組む。ただ、ダービーの時と同じように全力で走れる日を夢見て、悔しさをバネに前へ前へと進むのだ。

なんとなくだけど、以前までのボクならこういった行為そのものも、負けて悔しがる子達を見るのも何処か、ほんのちよびつとだけだけど、軽蔑していたような気もする。いや、行為そのものをバカにしていたわけでは無い。無いのだが、少しだけ甘く見ていたのだ。自分は才能に満ち溢れていて、余裕があった。だからあれだけ緊張もせず挑んでいたのだと：現実的に見れば異常そのものだ。いや、極度の集中状態ならばそうした気持ちも消えてしまうのかもしれないが、少なからず得体の知れない恐怖心みたいなものは心の中にしまいつつ挑むのが当たり前だったのだ。ようやく自覚出来ただけのこと、やっぱり何処かに潜んでいるものと改めて認識することとなる。

レースの世界で一人の選手としてあるはずもない幻想を抱いていたならば、それ相応の罰が降り注がれるのは当たり前だろう。

自分が普通のウマ娘だと自覚したことで、視野がほんの少し広くなったのは幸いだ。だから次は負けないと、負けたとしても無様な姿は見せないようにしようと思つて、少しずつ明日が良くなるように：と、今度こそ奮起した。

休むこともトレーニングの一環だぞ、とトレーナーとの約束に入っていたので試しにゲームを買ってみた。

暇で始めたFPSだったり、ゲームセンターでFPSをやったり、クレーンで楽しんだり、偶には紅茶を飲みながら本を読んで、レース動画を見て勉強して、走り方も勉強し直して、中々に充実した生活を送る毎日。下手したら三冠を掲げていた時よりも満足感が強い。

次の復帰戦のためにやるだけのことをやって挑む。それしか出来ないからこそ、出来ることは全力で、休んでいる暇は無かった。

休む意味を履き違えているぞ、と軽く冗談っぽく揶揄われたりもした。偶には何もしない日っていうのも良いんだから、だなんてトレーナーと一緒に散歩をしたり、いわき市の温泉に行く計画も立てた。なんだかんだ結局レースからは逃れられていない訳なのだが、面白かったからそれはそれで満足した。

そんなこんなでダービーや宝塚記念が終わって約一か月が過ぎたある日、初夏もとつくに過ぎて少しばかり蒸し暑く感じる日のことだ。

大半のウマ娘が夏合宿へと向かっている中、ボクは河川敷に居た。

完全に暇を持て余していたのだ。

走りたくても動ける可動域は、未だ限られている。それ故に退屈なのだ。ボク自身、何でも出来てしまう天才肌だというのは自覚している。だからこそ手を抜くことは許せないのだが、人はどうしても矛盾を抱えてしまうもので…完全に飢えていた。

あからさまな嫌味である。

走りに関して特定の相手以外、誰にでも勝てると思っていた分野でその武器の使用を止められたのだ。縛りプレイをするのも悪くはないのだが、やはり気持ちよく勝つにはお気に入り武器で戦うというのが戦士としてのプライド、というものなのだろうか。

ほら、ゲームでもよくあるだろう？初期では強くてお気に入りだった武器やキャラが、アプデを機に弱体化を喰らったり、追い抜かれた

り…と目まぐるしく環境が変わる…あれだ。インフレとも違うあの気分と、少し似ているのかもしれない。それで辞めるつもりなんて毛頭ないし、そこから勝つってというのが王道展開であるわけで、だからこそよりゲームが楽しくなるのだが…大抵の人達は生き残ることや、そこから妥協した楽しさを考えたりするものなのだろうけれど、それでも最低限好きなことでは手を抜かない。

手を抜けない。

手は抜けないが、暇すぎる。

そんなことを思っているボクを1ミリも理解してないで寝ているトレーナーは…まあ、ほつといた方がいい。疲れているんだ、休ませてやろう。漸くボクの足の容態が安定してきて不安から解放されたと同時に、今までのストレスがどつと押し寄せてきた証そのものだ。こうして隣に居てくれるだけでありがたいというものだし、ここへ誘ったのもボクだ。我儘になっても許してくれるのは良いんだけど、こちらの我儘で無理になってもらっては困るのだ。

我儘を通して休ませてるっていうのは、清々しいほどの鬼畜なんだけれども…本当に嫌なのであれば、ちゃんと断るといふのは知っているからこそ出来る付き合い方なのだ。だからボクは悪くない。

さわさわと風が頬を撫でる。髪の毛がふわふわと流れるように手に絡みついて暫くした後、手の甲にツーツとした感触と少しだけ暖かい熱が伝わった。そつと目を開ければ、キラキラと反射光が川の流れによつて様々な表情を見せており、草木は暑さに負けないようにせつせと背伸びをして、音を立てている。

暇だからこそ暇を全力で楽しんだからこそ、楽しみすぎた幸福な時間は退屈を迎えた。だから新たな楽しみが必要になった。

何も考えずに外へと向かう。ぶらぶらと何もしない暇な時間を楽しもうとして、彼女と一緒に出了。そうして今に至る。

こうして風が吹いたりしている中、書物を読むという行為に耽るのは、アホのようにも天才のようにも見えてしまうのが豪というやつか。いや、ボクの外観的な特徴から見てかっこいいとか思う人は居ないだろう。カイチョーならば、形になっているのだろうが、生憎と意

識高い系ではない。それでもやってみると中々に楽しいもので気持ちがいい。

(最も…こんな時に読んでいるものはネット小説なんだけどね…あー、暇だなあ…暇…ヒーマー…暇だよトレーナー…)

ボクが持つてきた本は何処に行ったかと思えば、風に吹かれて何処かに飛んでいるとか、読んでいたページとはかけ離れてパターンと閉じられているとかではなく、トレーナーの鼻息が何回も当たっている場所に陣取っている。当分の間はそこに居てやってくれ。

さて、そうこうしている内にまた物語が読みたくなってきた。目の休息を終わりにし、電源を入れ電子世界へアクセスする。

するとそこには溢れんばかりの快樂が待ち受けていて、ボクはそれに屈服するかのように次のページへと画面をタッチするのだ。誰が書いているものを読むのか、迷うことなく選ぶと、直様没入して世界にのめり込んでいく。その人は、ペラペラとめくる音など無くても読者の心をニュートラルにするもよし、ワクワクさせるのもよし、ありとあらゆる愉悅を味合わせてくれる変幻自在の持ち主だ。

P・Nは恋鐘。私に創作をやらせたら右に出るものは居ないぜ？というイタイキヤツチコピーが売りではあるものの、その自信を力にするだけの才能っぷりは誰もが認めるくらいのもので、今密かに話題となっている作家の一人である。

但し本人は作家と名乗りたくないとかで、実のところ亡霊扱いにしてほしいとかほざいていたが、ボクからしてみれば趣味で終わらすには勿体ない人材だ。そんな贅沢な悩みをお持ちのようで、正直殴りたくなる。そのまま嫉妬心すら軽く吹き飛んでしまいそうだが、それ以外は至って普通の人のようで、割と好感を持ちやすい印象を受ける変わった人である。まあ、文面からしか読み取れないから実際どういう人なのかは、サイト運営者含め誰も知らない。夜や洞窟に紛れるコウモリのように、ひっそりと活動をしている為、その本性は未だ未知の世界に包まれている。

ただ感想欄に行くとか何故か決まって、度々登場する男性キャラに対し

「かーっ、見んね読者。卑しか男ばい」

…と、一種のミーム汚染が発生しているし、作者は作者で所々ドジな一面がある。書いている作品が並行してか時折自身の作品同士で混ぜてしまう事があったり、女性の心理描写が苦手だったりと珍しい書き手ではあるが、それはそれで愛嬌があつて面白い。しかも文章の綺麗さ、作品自体の綺麗さで褒めるとあんま面白い反応が無い、というのも良い意味で捻かれている。

変な凝り性なのかは知らないが、男性と女性やウマ娘の関係は絶対に悪化もしないし、適度な関係を保っている。モゾモゾとするような際どいものではなく、サツパリとした純愛小説で、この世界での価値観は全くの皆無。さながら異世界にでも彷徨っているような物語ばかりだ。付け加えるならば、ここまで男性が考えているような描写を見るのは稀なのだが、それだけでやりくりしているだけの人ではないのは確かだ。

そうした作品を書いているにも関わらず、何故かしら運が絡むと良い方向に向かつていってしまう…まさに読者に愛されたタイプの作家と言つていい。

そんな中で、どうしても嫌いな作品がある。いや…嫌いだからこそ見てしまう作品が一点だけあるのだ。

簡単に流れを言うと無敗30連勝を達成するウマ娘と、夢見るトレーナーの物語だ。しかもそのトレーナーは男性である。その中で様々なライバルと駆け引きをしたり、勝負を仕掛けたりと言うのを繰り返すだけの謂わば王道のギャグもの。所々恋愛要素もあるが、男性が少ない世界において従来の常識を覆すような暖かく優しい雰囲気は、読者の心をキュンキュンにさせ驚掴みにしてくる。

ボク自身の感覚で表すならば御涙頂戴の大衆芸能に近いのだが、王道のギャグものは誰にでも書けるものではない。寧ろ一番難しいジャンルなのだ。

それらを上手くいきすぎるほどに描いているのが、あまりにも現実離れを起こしており、そのギャップと意外と血生臭いようなりアルさが噛み合つて、シンプルかつ少しだけ深みもあるという曖昧な出来と

見せかけつつも実はそこに隠された満足感を覚えてしまう作品ばかりが乱立しているのだ。サイト全体を含め、気に入っている人は意外にも多い。

だがしかし、ボクはこの作品が頗る嫌いである。大っつっつっ嫌いなのである。正確に言うくと主人公が嫌いなのだ。

はつきり言って同族嫌悪だ。レースを舐め切っていた才能のある子がたっぷりと蜜を味わうお話。それなりに挫折はあるものの最後は栄冠を手にする物語だ。逆にいえば本当に幸せしか無い。だからこそ面白く、これは創作ですと俯瞰して観れる。そうして初めて楽しめるものである。

楽しめるからこそ嫌いなのだ。医者が医療ドラマを見てる時、楽しめそうだけど楽しめないように…芸術系の学生物語を一般人は楽しめるけど、本当の学生や卒業した人達が笑えると肌を通して感じ取れるが、やっぱり一部の人は見たくないように…トレーナー業の中身を知らないまま、好き勝手改変したものの方が見やすくて丁度良い贖罪になってしまうように、ボクはこの作品を見て笑えているのに見たくないのだ。よく出来た作品である、というのは認めるがボクが嫌いなのはそこじゃない。

人間なんて腹の奥底はこんなものだぞ、と説教される作品を見ている方が数倍マシなんだけど、あの配信と同じくどうしても見てしまおう。理屈があるなしに関わらず、気になって仕方がないのだ。

この作品に出てくる主人公のウマ娘が自身と酷似している、というのは余りにも自意識過剰ではあるが、自身で疑ってしまうほどに性格や中身が似ている事が原因なのだろうか？口調や外見は全くの別人なのではあるが、モデルがそっくりそのまま酷似しているとも見てもいい…いや、ここまで酷いクソガキ感は全く無いと思いたいのだが、何故かムカムカして仕方がない。

「見るべきは私か、他のウマ娘か。その目でちゃんと確かめてよ」

この台詞でボクはやられた。そもそもトレセン学園をモチーフとして、何故そこに恋愛要素などを入れるのか。学園ものだからこそ恋愛もあった方が面白いというのは一理あるのだが、いかんせん現実的

では無いし大人と子供で掛け合わせるとか性癖が歪んで仕方がないとも思えてしまうわけで、文字通りカオスそのもの：結果的には酷い有様である。

頼むからそこを変われ、変わってくれ、という感想も珍しくはない。無理もない：よほどの富裕層でも、ウマ娘が男性を見かけるなんて機会は少ないのだ。力の差や能力差、美貌の差による恐怖と、本能とも呼ぶべき行為によって、最も容易く化物へと変貌してしまう可能性を秘めている時点で近づいてくる人はそういない。そこまで酷くなるなんてことは無いと思うが、自身もウマ娘の一人である。わからないことは考えないようにしておいたほうが、楽にはなるが：確かに容姿端麗な子が、狂ったように迫ってくるというのは、遥かに怖いだろうと想像出来るし、ウマ娘や女性同士でもそういう事故的な衝突はあるわけで大きく否定も出来ないのだ。肝心のボクはそんなこととはどうでもいいんだけど。

話を戻すが、ここまで均衡を保っていかつ調和が取れている作品を描けているのは、元トレーナーでも無い限り滅多にないそうさ。無論、男性描写も同じように議論に挙がる事がある。しかし近年を見ても、ウマ娘界に男性が入った事は無い。

つまりは、ウマ娘をよく知っているからこそ書けているのか、はたまたただの世間知らずのバカが面白がって書いたのか、ただの鬱憤を晴らす為の自己満足で書いたのか、この可能性は低いが男性が書いたのか、が不透明なのだ。実際に男性なんですか？、と感想が付けられたこともあったそうで、正直言つてボクもそこはツツコミしたかった部分でもあるが、ウマ娘の表面的な描写にあれだけ詳しいともなると疑いの目はかかりにくくなり、結果的にそうした説は消えて行ったのだ。

これこそ本物の才能、と言つても良い：つてこんな感想をバカ正直に本人に向かつて褒めたら褒めたでまた拗ねそうで、その反応や表情を想像するだけでまた笑えてしまうのも、これまた魅力的な部分なのだろう。そうした一面からも、この作者に惹かれてしまうのだ。

因みに：ただの気まぐれでトレーナーにも勧めたら、時折その小説

内のネタをかますようになった。やめてほしい。

それでも、この作品を見てみるとふと思ってしまうのだ。

何故ボクの足は壊れたんだろうって。よりにもよってあそこで、ダービーで壊れるのか、と。この子みたく好き勝手に好きな時に走って走って走りまくって勝つ。それが自分には出来ると思っていて。漸くわかった。

認めたくなかったのだ。

何より負けるものかと意地っ張りになつていた。たかが創作物に憑依していたと言ってもいい。怪我をして初めて、創作物に嫉妬した。自身は主人公ではなかったのか、と嘆きそうになった。

この子とは違って才能が強すぎるから抑えよう、とトレーナーと相談をしながら練習をしていたからか？

三冠達成までの道のりや歴史を、夢ではなく現実として掴んでみせると憐れにも焦がれていたからか？

未だに無敗という偉業が残っているからか？

この小説のせいなのか？

それともあの動画に出会っていたから、余計に意識しているだけなのか？

少なくともあの狂気に染まった動画の影響ではない、と信じたい。そもそもただの暇つぶし程度に見ているものに対してそこまで影響を受けるとは思いたくは無い。

ただ、あの配信者が言っていたように、ボクは脚が折れたり偉業が潰れたりしていたとしても、精神力が思いの外強いみたいだ。勝ちに行きたいという欲は他のウマ娘よりも何倍、何十倍も大きいみたいで日に日に増している。それは良いことなのだろう…癩に触るけど、決して悪い経験ではなかったからだ。その事には感謝はする。けど、いつかはぶん殴ってやりたいとも思ってる…なんて冗談を混じえてみたりして、その都度ニヤニヤするのだ。腹の底で煮えたぎっているなんて久しぶりだ。

今も尚、早く走りたい、楽しみたい、走って勝ちたいという想いは

溢れんばかり。まさに手のひらで転がされている最中だ。

あの人はボクをどの程度まで見抜けていたのだろうか？事前に調べていたのだろうか？それとも不屈とも言えるプライドの高さを考えた上での計算によるものだろうか…いや、あれは骨折前の話だ。それもダービー直前での出来事である。どの道辻褃が合わない。

どちらにせよ…時代の玉座に踏ん反りかえって運命に逆らえなかったただのウマ娘一人が、何をどう考えたって答えなんか見つかる訳がない。

ため息をしても一人…いや二人だけど、今は何も答えてくれないから実質一人。

現実には実に虚しいものである。

ふと、音に耳を傾ける。音自体は珍しいものではない。距離にしておよそ200m、と言ったところか。タタタタツとこの近所では特有の音が耳に聞こえてきた。

よくよく聞いてみるとそのタタタタツと言う音が、ダダダダツと力強くなっていることに疑問を感じて、その違和感がより強く強調されていた。

この時期、このような強く踏み締めるような走りをする子は、大抵夏合宿へと向かっている筈だ。

はつきりと違いが判明したのは、まず匂いだ。流石はお嬢様だと…ボクも少しばかりその実績みたいなものが残っているとはいえ、優雅で可憐でライバルとしてかっこいいと認めてしまうようなウマ娘の匂いに鈍感なわけではない。

彼女も同様にボクに気が付いたようで、ザツザツと草木を踏む音と共にこちらへと駆け寄ってきた。その後ろでヒイヒイと自転車を引っ張っている人物にも見覚えがある…というより知人だ。凄腕のトレーナーで誰もが知っているからつてもあるけれど…あんな一

面は初めてみる。

対して芦毛の彼女の様子を見て見れば、息の乱れからの回復の速さから見ても、本気で走っていないことは明白だ。しかしながらボク達はウマ娘…本気ではないというのは、あくまでウマ娘基準での話である。加えて彼女は学園最強格のステイヤーであり、スピードは他のウマ娘と比べて数段上にいる。従ってついて行けないというのが大半であり、理解の範疇なのだ。

なのだが、果たして只の人間が、その彼女について行けるものなのだろうか？ウマ娘の後を追えるものなのだろうか？

しれっと高級料理店とかに行っている一面もあれば、栄養剤をチューチュー吸っている一面もまた彼女の姿だ。そんな彼女がこうして、実際のトレーニングについて行ける人だとは思っても見なかった。不健康そうな生活スタイルの割には、健康体を維持していることを再度自覚した場にもなってしまった。そしてこうも思う。

トレセン学園のトレーナーってやっぱり何処か変だ、と。
そんな独り言を打ち消すようにして、彼女は口を開いた。

「あら、テイオーじゃありませんか」

「マックイーン…とマックイーンのトレーナーだよね。天才の野望見たよ。魔術師の…って大丈夫？」

「はあ…はあ…こんにちはトウカイテイオー。…んぷ。大丈夫大丈夫。後、そのあだ名で呼ばないで。ふう…すう…ふう。んで、この先輩は黄昏たパートナーを…前に爆睡…中？ふう…」

「アハハ…色々疲れてたみたいで」

最強のコンビが、ボクの元に訪れた。

「夏合宿に行ったんじや無いの?」

「静かに過ごすのも良いので:トレーナーさんにはワガママを言って付き合わせています。調整が済み次第、数日後には向かいますわ」

「:そっか。また暇になるなあ」

「テイオーも海へ行ってみてはどうですか?ハマノテイオーの異名、轟かせる機会ですよ?」

「まだ許可が降りてないんだ。当分はこつち」

「そうですか:テイオー:その、お大事に」

「ありがとうマックイーン」

「ふう、ふう、はあ。ごめん、話割っちゃって。はあ、ふう。マックイーン、ちよつとこれ持ってて」

「すみませんトレーナーさん。だ、大丈夫ですか?」

「良いつて。ウマ娘を支えるのが僕の役目:だから。はあ:はあ:」

「にしても珍しいね:マックイーンのトレーナーがこうしてトレーニングに付き添うだなんて」

「いや、僕が頼んだ。:ちよつと頭をすつきり、させたくてね。:ふう。」

「私も少しばかり走りりたい気分だったので:ええ。こうして気分を晴らさないと、どうにかなりそうだったので」

「:なんでまた?」

「まあ:少しね。もう:大丈夫だよ、ありがとう」

「:??」

暫し、沈黙。

「ダービー、おめでどうございます」

「僕からも、ダービーおめでどう。一年ぶりとはいえ、やっぱり興奮するね」

「ありがとう二人共。そつちこそ、宝塚記念二着で惜しかったね。ラ

イアンが先行策で来るとは思ってたけど…ステイヤーだけではないってところ、見せられたんじゃない？結構人気も張り合っていたし、それに応えていたのは本当に凄いなと思うよ」

「…ええ、まあ。あの時のライアンは本当に絶好調で…見事にやられましたわ。そういえば先ほどから何を見ていたのかが、気になって仕方がないのです。スマホの中身について見覚えがあったので、もしかしたら、と…」

「え？マックイーンも読むんだ。そうだよ、ネット小説。偶にはこういうものに触れるのも良いかなって。知ってる？恋鐘さんって人なんだけど」

「まあ、テイオーもですよ！ええ、私も一読者として見ていますから！ご都合主義には目を瞑りますが、あれはあれで面白いもので、この絶妙な加減具合があの人作品の長所ですわ。コメディらしく抑えているのでつつい読み耽ってしまいますが…まさかテイオーも読者だとは思いませんでしたわ。ね、トレーナーさん」

「僕も驚いたよ。実を言うと僕も偶に見ている口でね。マックイーンから勧められたんだ」

「偶に見ているって…結構気に入ったんだ。ってことはあの天才トレーナーをも唸らせた、って解釈、生まれちゃうんじゃない？」

「まさか。でも、難しいコメディをよくあれだけの形に昇華出来たとは思うよ。トレーナーの心理描写とか、解決方法は目に余るけど、頭を無理に使わない作品は貴重だし、それでいて面白い発想も持っている。かと思えば、実際のトレーニング方法をまんま載せているところとか、小ネタもあるから見ていて単純にウケやすいんだよね。そのネタ知ってるよってなったら、目には入って来やすいから。唸らせるかは…うーん、どうだろう。頷いちやうかなあ？男性描写には頷いちやうけどなあ」

「辛口ですわね。私はああいうネタ、好きですよ」

「流石B級映画マニアコンビ」

「僕は違うよ、マックイーンがそうなだけ」

「マックイーンのトレーナーは、どっちかっていうと落語とかの方が

好きなんだっけ?」

「うん。やっぱり僕の感性だとねえ…どうしても小説や映画よりは落語になるかなあ。野球観戦とかは合うんだけどね」

「ちよつと待っててくださいまし。テイオー、そのイメージは何処から得たのです?そもそもあなた、恋鐘さんの読者ですわよね?あとトレーナーさん?」

「まあまあ、良いじゃん。にしても流石は魔術師の娘。トレーナーの鏡だね」

「君のトレーナーこそ、素晴らしい人だよ。…センスがあれなだけで。マックイーンのセンスもどうかと思うけど」

「トレーナーさん?」

「冗談だよ冗談。さて、このまま話すのも良いけど、ちよつとばかし喉が乾いたから飲み物でも買ってくるよ、君たちは何が飲みたい?」

「ならニンジンジュース2本で!」

「はちみーじやなくて大丈夫?」

「さつき飲んだばかりだし、集るなら担当からにするって」

「わかったよ。マックイーンもそれで良い?」

「大丈夫ですか?トレーナーさん確かニンジンお嫌いでしたよね?」

「名前見ただけで吐くとても思ってるの?…なら僕は買ってくるから、二人ともゆっくりしてて」

「ありがとう!」

「ありがとうございます、トレーナーさん」

暫しまた沈黙…特に語る事もなく、偶然この場に居合わせただけ。何も語ることもなく、ただ風が吹くように自由気ままな空気が気持ちいい。互いに気を使うことなく、特に何かをするわけでもなく、ただただ時間がまた過ぎていく。

このなんでも無い時間が、互いにとって心地が良いのだ。勿論語る時は語るけど、無理して語る必要性は無い。互いに気を遣っていないだけだ。

「ひゃああつ!」

「うへえあつー！」

突然隣から声がしたかと思えば、マックイーンがトレーナーとイチャイチャしている。流石、巷では王子様と呼ばれるその異名に恥じぬプレイガールっぷりだ。まあ誰だつて冷たくいペツトボトルを頬に当てられればびっくりするというものだ。ボクには弁えているのか、手渡して渡してくる。冷たいマックイーンの視線が、少しばかりの悪戯心を刺激して笑ってしまった。すかさず咳払いをし、お礼と共にジュースを一口飲む。

「うへえあつー！つて…ぷつ」

「そつちこそひゃああ！つて…トレーナーのせいだからね？」

「なんのことやら。僕はただ、ジュースを渡しただけだからねえ。」

ゴクツと喉を鳴らして、一気に流し込む。

うん、甘い。この場には甘すぎるようだ。チビチビ飲もう。

さて、ここに来てクエスチョンだ。ボクにはどうしても気になっていることがあった。

それはあの不愉快な配信者の事である。知っているのかは不明ではあるが、メジロ家の人々の誰かがリスナーであった事には違いはない、というのには明白であり、隠しきれようもない事実だ。

先程までの鬱憤や腹いせと、ちよつとした悪戯心、後の大半を占める純粋な疑心によって聞いてみたくなつたのだ。

「そういえばさ。この前ウマチューブで長時間配信を見ちゃって、夜更かししちゃったんだよね」

「テイオーが夜更かしを？」

「明日は雪でも降るのかな？珍しい事もあるもんだ。…んで？夜更かししちゃった根本の原因つて？」

「あのテイオーが気になるお方ですもの。もしかしたら恋鐘さんと同じく、私達も知っている人なのかもしれませんわね」

そう、知っている筈だ。その程度の認識でいた。弄られているからこそ、当分は居ないものだ…。そもそもマックイーンのようなウマ

娘が、あんな放送を好きで見ている筈がない、と頑なに否定していたから聞けたのだ。

「どぼめじろうって人なんだけど。絵とか描いてて…ひっ！」

「…。」

「ふんっ！」

「びえ…びええ…」

「何…どうかしたの？ テイオー…あ、ごめん寝てた。…よつと。…んー？ おやおやこれはこれは、よりにもよってライバル組が地の果てまで追ってきて…って、え？ お前ら真剣な表情してどしたん？ マツクイーン達はなんでそんな顔してるの？ え、何？ これ、私何かやらかした？ え？ え？ 一体全体これどういう状況？」

「…」

「…」

「びえええ…」

「テ、テイオー？ そ、そそそんなに怯えなくても…お、おーい、お二人さん？ どつたの？ セッセ先輩なんだし…な、悩みがあるなら聞くよ？ ね？ テイオー、聞いてあげれるよね？」

「びええええ!!」

ポタポタと流れ落ちている。幸い赤く染まってははいない。

彼女達の手元を見てみれば形有った何かが凹んでいた。ぐしゃ、なんて生ぬるい効果音ではなくぐちゅり、と。まるでトマトが潰れたようなプラスチックが二つ、歪んでいた。完全に潰れていないのが生々しいを通り越して…というか、物理法則が完全に死んでいる。にんじんにジュースの残り滓が人の頭を潰したような、流れちゃいけない液が流れているかのようにだった。僕は聞いたことを後悔していた。今までも、そしてこの先もあの令嬢達が見せたことのない表情をしていた、だなんて口が裂けても言えないレベルである。こっちの顔を見るや否やそのしかめ面はなんだ、と聞いてききそうな勢いだった。

続けるようにしてトレーナーにその理由を問う。

「マ、マツクイーン達にどぼめじろうって人を知ってるのか？って言ったら急にこうなって…な、何がどうなってるの?! 訳がわからないよおー!」

「ごめん…そもそものどぼめじろうが、何なのかがわからないんだけど…本当に訳がわからないんだけど!」

片や二人発狂、片や二人沈黙。この空気の壁とも呼ぶべきものの境界線が、重たく険しくなっていくのがわかる。向こう岸を見て見れば混乱、狂気による困惑…いや、まず始めに感じるのは、あれは怒り…だろうか。あの現役最強と呼ばれている二人をここまでさせた、どぼめじろうとは何者なのか…益々興味深くなると共に、ボクの間違った感情が間違っていないかったという証明にもなった。

ああ、ボクもそんな顔をしていたんだな、と振り返れたからだ。

「取り乱して申し訳ございません」

「僕からも、怖がらせてごめんね」

「い、いや、謝るならボクの方だ。ボクが変なことを聞かなければ良かっただけだし…」

「んで？そのどぼめじろうって…結局なんなのさ」

「一言では言い表せないです。僕の体感では、一歩先を行ってるレズのサディスト狂人…ですかね」

「もつとわかりやすく言うത്?」

「迷惑すぎる変人配信者ですわ」レズのサディスト

「ちよつと何言ってるのかわかんない」

「顔出しもせず声も変えている人が、好き勝手にウマ娘を批評家目線で語ったり、時には予測してその先を当てたり、それらをネタに絵を

描いているって感じだよ。あと何故か男性の身体を描くのが美味かったりする、文字通り残念すぎるオタクって言えばわかる？」

「男性の身体を描けるって存在だけで貴重なのに、中身がアレなタイプってこと？ああ：成る程、つまりあれか？卑屈すぎて超絶傲慢な良い性格をしている人が、わかった気になってペラペラと語り、当たればそれ見たことかと、興奮しっぱなしでいい気になってるって感じ？」

そんなのネットに溢れるぐらい沢山居るでしょうに：ウマ娘関連じゃなくても、そういうイタくて寒い輩は、珍しくは無いんじゃない？迷惑っていうのも取り巻きの可能性だってあるわけだし：え？そんなにヤバいの？」

「うん：トレーナーが思っているより、少しばかり性質が悪いんだよ」

「ええ、何この巨悪に向かっていくような含みは：羅生門か？」

「老いた婆さんが一人寂しく閉じこもるようになって部屋に居るなら、よっぽどマシです。婆さんって線は否定出来なくはないですし、流石に鬘は作ってないと願いたいものですよ。僕はそれでも御免被りたけれど」

「やけに詳しいね：何か因縁でも？」

「栄光と沈黙の日曜日って言えば、お分かりいただけるかと」

「：ああ、それ以上は言わなくて良い。そのフリーズ絡みだと、思った以上に劇薬だな。そんな大事が当たれば、興奮しっぱなしだろうに」
「いえ、案外そうでもないと言いますか：兎に角泣きっぱなしで、あんな泥酔しかけたトレーナーさんは：初めて見ましたが、同時にその配信者もわんわんと泣いていましたわ。互いの涙は違えど、この世の終わりみたいに喚いていた人も稀でしたので、否が応でも印象に残っていますし。」

：別の意味でも印象に残りやすい人なので、その点以外でも厄介な人物であることは間違いないですわ。ある種私達のストーカー：とも呼ぶべきでしょうか」

「それは度し難いというか：絶妙なキモさ加減だね。だが、またしても気になる単語が出てきた。ええと：そのストーカーっていうのはウマ娘に対してってことでもいいのかな？」

「ええ、まあ…」

「その時点でおかしいとは思いますが、続けようか。ストーカーの質とすべきものは、一体どれくらいの基準を満たしているのかな、その変人は？」

「レース以外も含めた体調変化などを速やかに察知、推測する能力は知れる情報が少ないからか、完璧に把握することは出来ていない。しかし、そうした細かな観点をすっ飛ばして、こうなるであろうという出来事については、割と的中させている。現にテイオーが夜更かしをして視聴していた配信では、骨折のしやすさを見事に見抜いています」

「ボクの体重とかも当てていたけど…あれは？」

「当ててたんだ。まあ…スリーサイズは、変態なら可能って事で済ませるとして…だ。」

多分だけど、試合開始時と同じ体重だったってことも踏まえると、君ほどのストイックな選手は居ないから、それだけ予測がしやすいんじゃないかな？なんだかんだでウマ娘を信じているからこそ出来る芸当なのか、疑問は尽きないけど…僕が担当している子たちの秘密を当てたことも少なからずある。要するに偶然当たっていただけだよ。にしてもテイオーはやっぱり天才なウマ娘だね。あの放送後でもダービーウマ娘の称号を取るんだから…」

「えへへ…ありがとって言いたいところなんだけど、ちよつと待って。体重とかが偶然…？ってことはそれっぽい事を言っているだけかい！もしかしてマックイーンの体重とかも？」

「お恥ずかしい話ではありますが、あの時は2.4kg増加…2kgではありません。誤差の範囲で済ませて仕舞えば、それで終わるわけですが…」

「ダービー前に夜更かしをしていたっていうのは…後でじっくりと聞くとして。ふむ…テイオーについても触れていたのか。その人とは、少しばかりお話しをしてみたいものだね」

「トレーナー…ボクに100%非があるとはいえ、その…手心を加えていただけると…」

「次からはちゃんとやってよね。…んで？ 実際その厄介な人の活動痕跡は？ 未だに配信は続けていそうだけれども」

「いえ、最近は更新もなく…強いて言えば、1ヶ月前の宝塚記念あたりにチラツと動画を出したくらい、ですかね？」

「ふむ…因みにどのような動画を出していたんだい？」

「表向きはメジロライアンに向けてのファンアートでした。それがまさか…ね」

「あくまで深読み考察をしなければ、の話ですが…雑さに目が奪われるとは、失態でしたわ」

唐突に始まったその打ち明けて、マックイーン達が何故疲労困憊していたのか、辻褄が合った。

「この動画を見てほしいんです」

そうやって出されたウマホに映し出されたのは、筋肉モリモリのマッチョウーマン…のコラだ。顔だけライアンになってる。雑すぎるクソコラだ。今しがた会話を広げていた内容以前に、別の問題として話題に取り上げられそうなのだが、その辺はもうどうでも良くなっていた。色々と酷すぎるあまり、明らかに大切な感覚が麻痺していることに、もう笑いさえ起きない程だ。

なのに笑える。このコラが酷すぎるあまり、笑えてくるのだ。実に悔しい限りである。

「こういうネタにも手を染めるの？」

「いえ、今までの傾向からしてこれが初めてだったかと」

この動画が宝塚記念前、ライアンに向けて発表されていたファンアートなのかと、鼻で笑ってしまう。しかしながら、それなりの高評価と再生数は稼げているようだ。信者的な視聴者によるものなのか実態こそ掴めないが、あくまでもファンアートとしてネタにされている向こう側の人達が、騒ぎを起さなければ良いと踏んだのだろうか？

「概要欄には…あ、なんか書いてある。『映し出されている彼女は神経

質です。だから肩の力がぬけるような、それでいて笑いが取れるような動画を目指しました。某芸人さんのネタ、丸パクリです。その代わりと言ってはなんですが、自分が傷付きます。ですが気にしないでください。ヤー!!? P・S・ 今日のご馳走ですわ! カメの出汗でウサギ肉パクパクですわー!!?』 : って、なんで亀とウサギ?」

本当になんでウサギ肉なのだろう? 旬は冬から春にかけての間だし : 絵本とレースは関係ないし : 謎だ。

「マックイーン : これって本当なの? ライオンが神経質ってボクには見えないんだけど」

「神経質かどうかは : 正直わかりません。ただ、緊張しやすい心境はあるのかと。メジロ家では私より期待されていたので、恐らくはその一面を指しているのではないのか、とは考えられますが : 。事実一番人気に推されていましたし、ライオンカットは体質の影響 : 夏癪があったとはいえ女性受けが良いですし」

「マックイーン : 大丈夫だ。僕が絶対、君を輝かせてみせるから」

「トレーナーさん : 」

「あの二人は置いておいて : メジロライアンね。第一印象からだ筋肉にしか興味がありません、みたいな感じの子だったけど : 裏を返せば、精神面までも筋肉で誤魔化していたのだろうか? その時、ふと閃いた。これはテイオーとのトレーニングに活かせるかもしれない!」

「トレーナー : 今、そのギャグはいいから。でもさ、実際流してみてもわかることだけ : その、どうってことのない動画じゃない?」

やはり筋肉が一番ですよね! マッスルマッスルウウ! みたいな熱血なノリしか知らないんだけど、ああ見えて繊細なのか? あの様子のマックイーンから読み取るのは不可能だが : 少なからず重圧はありそうだな、とは予測出来る。流石名門メジロ家だ。

そのメジロ家のイメージを払拭するようなものではなく、真逆の方向へと舵を切ってこうしたネタをぶっ込んでくるとは : 生放送で見せていた過激さは、完全に消えたと思っていたが、別の角度から飛び込んできているとは思いもなかった。まともなのか、と一瞬評価が覆りそうになったが、あの狂った放送をアーカイブに残している時点

で、単純に性格が悪すぎる事が判明しているのだ。やっぱり変わる訳がなかった。

とはいえ、だ。冷静に見てもこの動画を見れば、確かに緊張は解けるだろう…これに関しては納得である。

「ええ、本当にどうってことのない動画ですわ。何も考えずに見るだけなら、ライオンがパワーというだけの動画なので…にしても、一体どこの音声から抜き取って編集したのでしょうか…セリフ捏造のツイートとはよく言ったものですわ…」

「それって…ファンアートなの？」

「さあ…どちらなんですしょう」

「言わないからね、筋繊維傷つけないからね」

「ここにいる人達全員が、少なからずトレーニングバカではある。だからといっていきなり「パワー!!」、なんて言うわけないだろう。」

「私も初めて見たけどさ。段々と笑えてくるような動画にしか受け取れないんだけど…これ、本当に噂の人物なのか？なんか拍子抜けというか…」

「僕も最初はそう思いましたよ。宝塚記念前、緊張をほぐせますように、とかなんとか理由を付けていることに対して云々は別として…流りのギャグと組み合わせるなんて珍しいな、ぐらいのものとしか考えていなかった。掲示板に映るとある数字を見るまでは…」

たった48秒の動画だ。彼女達が注目する理由が、掲示板に映る数字に関連しているとは到底考えようもない。

「掲示板とこの動画に、何の因果があるの？」

「あくまでバカな考察って思ってもらって構いません。けど、彼女ならやり兼ねないって前提を踏まえた上で話します。さつきも述べた通り、この動画は確かに頭を空っぽにして見れば、ただただ彼女がパワーって言っているだけのものです。それ自体に変わりはありません。しかし、この配信者は時折不可解な行動を見せる、という事がご理解頂けた筈です。この動画は48秒で構成されています。内、最初のパワーを言い始めるのは0.3秒後、パワーを言う数は36回でした。つまりは47.7秒から始まりだと仮定すると、あらびつくり」

「それが動画と、どう関係し…て？あれ、確かあの時の掲示板に映った数字って…」

思い出してしまった。そして嫌悪してしまった。似たような経験を、この身で体験してしまっただからだ。初めて経験したボクのトレーナーは、口をワナワナと震えさせながら、その答えへと導かれる。

「メジロライアンが勝った時の上がり3ハロンは36・0：4ハロンは47・7…だったよね」

「…そうですね。加えて投稿時間も6月1日、12時13分でした」

「なんでそんな中途半端な日付と時間で…611213…11213…11213…11213秒6ってこと？」

沈黙を割るように、ヒューヒューと風が吹く。気持ちの良い風とは真逆の空気が、重圧のようにのしかかってきた。

こんな言葉を聞いた事がある…恐怖というものには鮮度があるそうだ。

怯えれば怯えるほどに感情とは死んでいくもので、それは恐怖とは呼べない。真の意味での恐怖とは、静的な状態ではなく変化の動態を指している。希望が絶望へと変わる瞬間だと…そしてその瞬間が訪れるのは、いつだって公平さを求めた時であり、身に染みる経験をする可能性は皆平等で、理不尽で、それでいてコントロールなんて出来やしないのだと。

思わずゾツとした。それでもすぐに治ったけど…だって、ありえないから。

「いやいやいや…偶然でしょ？出来過ぎだよ、陰謀論や漫画じゃないんだし。噂の予言ともまるで違う…これだと啓示じゃんか。解説方法も簡単過ぎるし、いかにもあからさますぎるって」

「そうした予想が上手い人だからといって、それはありえないよ。宝塚記念の枠番発表って7日の午後2時だったし…深読みしすぎじゃないのかな？」

この発言すらも、彼女の術中に嵌ってしまったことによるものなのだろうか。

「あの人ならばあり得てしまう…そう考えただけで、僕達は二度目の

敗北を味わいました」

「あの試合で勝つこと以外に目を囚われていたのか、もしくはほんの僅かな油断をしていた可能性が頭に浮かんだ時点で、既に敗北は決定していたのです。それを見抜いていたのかもしれませんが。亀とウサギの物語ではありませんが…思い知らされましたわ」

「何それ気持ち悪っ！マツクイーン達もマツクイーン達で、なんとうか…らしくないよっ！」

「ええ…それは重々自覚しています。だからこそ、少しでも雑念を入れないよう、こうして走っていたのですから…ああ、今でもムカムカして仕方がない」

ボクも、ボク以外の人達も平常心を保つ為に必死になっているのか。考えすぎなだけもするが、それにしたって不気味であることには違いない。いや、いつその事こと深読みお姉さん、と称されて罵られた方が良いのかもしれないけれど、それにしたってこれは…ジョークの域を超えている。

実に笑えない冗談だ。

「そもそも彼女の何が気に食わないって、彼女自身がレース場に来た事がないみたいなんですよ。だから話し合いをするにも、素の状態が一切わからない」

「え？レース場にも来たことがないってホントなの？何で？」

「何か余程重大な理由が？」

『『怖い』んだそうです』

「…は？」

「なんだって？」

「ですから、『怖い』んだそうです」

ここにいる全員の額に、怒りを表すマークが浮かび上がったかもしれない。今すぐにでも目の前の川に向かってパンチを放ち、その怒りの全てを発散出来るものならしてしまいたい。

今のボクでも、数秒くらい川の水を割れる自信がある。

それ程までに、怒りのボルテージが上がっていた。

「そりゃあ…二人して走りたくもなるわ」

「ごめん、まさかここまでとは思わなくて…ボク、深く突っ込みすぎた」

「いえ…テイオーも被害者です。全く…私達が戦う時にコンデイションが悪くなったら、あの人はどう責任を取るおつもりなんですか」

「最近になって段々と慣れてきたので、僕は案外平気ですよ。ハハハ…はあ」

偶然で済ませたい。済ませてほしい。もうボク達を掻き乱すのは、やめてほしかった。でも、こうした悪役みたいな人にどう対応していけば良いのか、ボクも含めわからずにいる。夢を与える事は出来ても、正義の味方にはなれない。一体全体どうしたものかと悩ませて…そうしていつの間にか、その変人についての話で盛り上がっていた。

「あんましこういう事は言いたくはないんだけどさ、風評被害とかで訴えるっていうのはどうなの？」

「問題を提訴しようにも、確たる証拠が有る無いに関わらず、提訴したらそれで時間の確保も見つけなければならぬ。実質表に出てきたところで、こんな訳のわからない人と、生で出会すのは御免なわけさ。向こうが欠席してくれるのであれば、万々歳なんだけどね。」

それに風評被害で提出するには、それなりに損害を受けたっていう、ある程度の条件を満たしていなければならぬんだ。これがまた厄介で…事実、彼女のお陰でマックイーンや他のウマ娘も、以前より数倍か、それ以上に増して人気になってしまった。つまらないウマ娘と言われていたのに、彼女のお陰で明らかにそうした書き込みが減ったんだよ。

それに…彼女のチャンネルも、今では世界各国のトレーナーやウマ娘の集まり場にもなってしまうってね。その影響力を無くすっていうのも悩ましいんだ」

「夕チが悪い悪戯にも程があるな。罪が生まれていなかったとしても、私だつたらぶん殴つていそうだ…。」

顔を隠してコソコソと行動するなんて典型的な悪者のする行動なのに、やっている事が小さいとも言えないし…ウマ娘の存在そのものを感わすなんて、それじゃあまるで、まるで悪魔そのものじゃないか。

しかしまあ、悪魔と契約をしたつて囁かれたあのサンデーサイレンスとも違うベクトルの持ち主か…どうしたものか」

「今のところ何の対処法も無いでしょうね」

「ウマ娘に対して悪口を書くとか悪魔に呪われ崇られる、なんて過激な考えもありますわ。あとサンデーサイレンスさんは、ペパーミントでも与えていれば大人しいだけの、至つて普通のウマ娘です。彼女とはまるつきり違います。『あたしの歌を聞けえ!』つてリサイタルを開くこと以外は別に…」

「それは…多分マックイーンだからそうしてるつてだけだと思うよ。今はアメリカに帰っているんだっけ?」

「ええ、スズカさんに付き添っています」

「関係ないかもしれないけど、マスコミや世間の人達が優しくなくなったのつてまさか…この人が原因だつたりする?」

「少なからず影響はあるかと」

「話を聞けば聞くほど、まさか…とは思つたさ。そのまさか、だつたなんてね…私、テイオーの骨折で少なからず、そういうのが来ると思っていたから構えていたのに、そんな背景があつたなんて思うわけないじゃんか…」

「先輩の気持ち、痛いほどわかりますよ。うまく丸め込まれた気分だ」

「どぼめじろうつて人こそが本物の悪魔なのかつて扱いは、なんとなしに違和感があるような…なんか、エゴそのものみたいな人にも思

えてくるんだけど」

「そうだよね。なんか…こう、悪魔つてのは失礼じゃない？男で釣つてウマ娘に引き込むって普通は逆だと思っただけど、割と小悪魔な可能性はあるかもしれないよね」

「本物の神や悪魔に失礼ですが、あくまでも現時点での話です。一部ではウマ娘にとつての救世主、神の使い、勇者、反面…悪魔、邪神、純粹悪と称されたり、そのめちゃくちゃな行いにある者は怒り、ある者は逃げ惑い、ある者は崇拜し、ある者は存在そのものを否定して悪戯をしているだけの道化師、運命に抗う切り札といった意味でジョーカーなんて呼ばれています」

「そこまで酷いのか…うへえ。お話ししたいといった自分の発言、撤回したいんだけど」

「先輩が弱気になつていいるだなんて、珍しいですね」

「いやいや、狂えばカリスマ、吠えれば天才、死んだら神様、何もしなけりゃ生仏つて言葉が似合いそうな人間じゃん？流石に心に來るものがあるというか…まるで夢を見ているような気分だよ」

「何そんなに深刻になつてんの？つて笑われるよ」

「違うない。そういえば…他のトレーナーやウマ娘も、その配信を見ているつて言つてたけどさ。んな悪趣味な放送、誰が見ているんだろうとかわかつてたりしてるものなの？」

「本人名での垢で視聴した痕跡があれば可能です。僕がわかっている限りだと…シンザン、トキノミノル、ノーザンテースト、セントライト、セクレタリアト、シアトルスルー、スペクタキュラービッド、サンデーサイレンス、イージーゴア、ダンシングブレーヴ、モンジュー、ガリレオ、ハリケーンランは実際に生放送を見ました。トレーナーならクリスやゴットマザー辺りだったかな？」

「サンライン、デイラミ、ホーリックス、レイチエルアレクサンドラ、ラムタラ、スノーフェアリー、ゼニヤッタ、シングスピール他多数…各国で活躍するしないに関わらず多くのウマ娘が、彼女の放送を見ていたことを公言していました」

ここに乘つかるようにして海外の反応集、海外の切り抜きチャンネル

ルも勢いを増していった過去があります。もう何がなんだか…」

「そんなレジエンド達が見てたの?!」

「滅茶苦茶だあ…互いが化け物同士だと、こうも惹かれ合うのか? いや、もう本当に…フフフ…笑いが止まらないって」

「そんな人材がいるならさ…U R Aに拘らなくても就職出来ていそうだよ。ほら、最終選考には残ってたんじゃないか?」

「それについては、どうやら手綱を握ってくれるような人が居なかったらしく…惨敗だったそうだよ」

「…えっと、つまり?」

「暴走しっぱなしの人を入れるわけにはいかないらしく、数多のウマ娘関連での企業という企業から落とされたそうです。面接で色々問われるうちに、どうしてもウマ娘の話題へ発展したが最後、そこでどうも…掛かってしまうとかで…」

「何処ぞの真面目すぎる天才少女か何かかな? んなもん拘束具でも付けないと、制御なんて出来ないでしょうに…本格的に頭がイカれている人なのか」

「ウマ娘に会っただけで爆発しそうな、文字通りの時限爆弾を抱えてまで金なんて払いたくないし、誰も面倒を見たいだなんて物好きもないんですよ。例え優秀であろうと、優秀さとその会社にとっての利益がどうなっていくのか、というのは大事にはなりますが、優秀すぎる上での問題というのも存在するものなんだと思います」

「彼女のような人は規律や周囲を乱しかねないので、どうすることも出来なかったそうです。それを直接言われた本人がネタにしていたくらいなので、本当の事なんでしょうね」

「なんか…悲しいなあ」

「私は寧ろ身近な怖さだな、と感じたよ…自分にもありえそうな話だ

からね。トレセン学園の関係者って、どこかしら頭のネジが外れている人多いし」

「先輩、それ以上はいけない。その言葉は僕達を追い込んで、やがては逃げられなくなり、最後に狙いを定めて差してきますから」

「あ、トレーナーも自覚しているんだ」

「トレーナーさん達、自虐ネタは辞めてくださいまし」

日も真上から少し傾いてきた。徐々にこれから涼しくなっていくであろう夕暮れに向けて、鳥が鳴いている。

彼女達と喋ったからだろうけど、色々と話したことで僅かな気力と体力が回復した。その分だけ周りの体力を奪ってそうだけど、気にならないったら気にしない。

マックイーン達もそろそろ練習に戻るとのことなので、ボク達よりもよく知っている彼女らに、思い切って口を開き最大の疑問をぶつける事にした。

「最後にこれだけ聞いておきたいんだけどさ。彼女のことを男性だと思ってる人って、どれくらい居ると思う？」

「え、これだけ大層に暴れている人が男性なの？恋鐘さんは兎も角、どぼめじろうって人はありえないでしょ。いくら男を描けるからって、んな破滅的な変態野郎が居るとは思えないけど……テイオーってもしかして、意外とムツツリ？」

「なんでさ……今までもこの質問も、純粋な疑問から生まれてきたものだよ。第一、世間から見たらボク達ウマ娘の選手って10代が大半じゃん？仮にネットを騒がせている人達が男性なら、それこそ向こう側が破滅的な変態だよ」

ロマックイーンさん大好きです!! いや待て、初対面でしかも動画越しで告白って不味いよね。違う違う、そうじゃない、そうじゃない……こんな慌てっぷりを世間に晒すなんて、さながら弥生賞でゲートから抜け出るサイレンススズカじゃないんだから。すうううう……落ち着け、今度こそ落ち着いて……えい、えい、むん……まずはちゃんと、ちやあんと好印象を受け取ってもらえるように……ン……ン……！あーああー……んん、良し。

初めまして、綺麗なお嬢さん。菊花賞での初のG1勝利、本当の本当に……感動……致しました……。あ、だめだ。思い出したら涙が出てきた……うう……うええええええん!! 本物のメジロマックイーンた……あ……あ……あ……あ……!! う……れ……し……い……よ……お……お……お……お……お……お……!!』

諦めた。その一言に尽きる。

「中等部の生徒相手にこのテンションです。どうあつてもまともじゃありませんわ」

「これだからオタクちゃんは話が通じないって言われるんだよ……」

「ああ、これ演技じゃなくて素なんだあ……ア、アハハハ……」

「……これは……その、末期だ……ね」

『……ごめん、泣き止むまでに時間かかっちゃった。……ああっ！メジロマックイーンさん、メジロマックイーンさんがこの場にいるならば是非とも！是非とも聞いておきたい事が！』

最近はどうなトレーニングシューズを愛用されていますか？サイズはあれから変わりました？それとも筋肉量とか？まだ未発達な足の筋肉を重点的に増やそうって感じですよね？ああ、でも走る事がメインに変わりはないから……そうだ、それでしたら消臭剤のおすすめなど情報入ります？大変でしょう？あれだけ走るともなると蒸れるのでってメジロ家だからオーダーメイドか。そうだよ。あ、じゃあそのオーダーメイドされている材質とかって主に何使っていたりしま

す？拘りとかありそうですね。そうだ、あのブーツってやはりステイヤー適正ぶつぱですか？他のステイヤーとどのような違いがありますか？例えば筋肉の負担を和らげる構造に特化しているとか、ラストパートのスピードを出しやすいように足の形に合わせているとか、単純な靴の柔らかさによって怪我のしにくさや転びにくさ、動きやすさに重きを置いているとか：ほんの少しの伸縮性によって変わってくるじゃ無いですか。才能を活かす為に、そうした努力も積み重ねているはずなのですが、いかに生で実物を見た事がない分、推測の領域を超えられないので、気になっっている事が山ほどあるんですよね。メジロマックイーンさん程のウマ娘の脚力に耐えられて、しかも完全にフィットしているソックスとかも気になるんだよね：つかぬことをお聞きしますが、穿いている下着や勝負服その他諸々についてもお話を聞きたいと思っております、是非ともお時間のほど頂きたいのですが：特注品でしたら産地だけでも、教えていただけないでしょうか？あと練習後やレース直後の足って蒸れていますよね。実際蒸れたとき、匂いとかつてすっぱいですか？臭いですか？体調の良し悪しで変化つてありますか？体調が悪くなつて熱発した時とか、体感してどんな感じですか？メジロマックイーンさん本人の感想を聞いてみたいです。それからそれから、髪の毛、尻尾の毛の艶など見せてもらつてもよろしいでしょうか？走る時のフォーム、いつでも均一化されていて綺麗で、もはや芸術品だと私は感じているんですよ。そうした走りの教育というのは幼少期から訓練を積まれて？遺伝子的にも興味があるなあ：血液検査の結果とかも見てみたい。是非、一度で良いので、喉なども含めて体内を覗かせてくれませんか？つてこれだと私に変態みたいですよね、すみません冗談です。話を戻しまして、蹄鉄についても色々聞きたいことがございまして、私の調べではこの業者の特注品かもしれないと予想したのですが、当たっていますでしょうか？おっと、肝心な事を聞いていませんでしたね。マックイーンさんといえば、やはりトレーナーさんとの一心同体が強さの秘訣なのではないか、という疑念もあるわけです。本格化を迎えて、更に一心同体に磨きがかかるわけですが、最近ではトレーナー

さんに手を掴まれていたりします？私から見れば羨ましい限りですよ。本当に羨ましい：私も掴まれたいいいい！！：ン、失礼しました。お詫びと言ってはなんです、盛大に人參料理を作らせていただきます！と思っっている次第でございます。どうぞよろしくお願いします。ああ、そうそう、次のG1は悲願である春の天皇賞ですよ。私はこの世代の誰よりもあなたが勝つと思っっているわけですが、その際に発表したいと思っっているファンアートについて、本人様からのご指摘など頂けると：製作者としては恐悦至極でして、丁度今ここに候補が12作あるのですが、実際に目を通していただけますでしょうか？勿論練習やミーティング、学園内での授業やイベントなどを優先した上での話ですので、どんなに時間が経つても構いません。お願いします：あ、ダメだ：まだ聞きたい事があった。レース開始時のスタートについてなのですが、足にまだ不安があった中でどう克服していたのか、調整中は何を心がけていたのかなど教えていた…：……………」

単純にウマ娘に対して純粋な質問をしているのが、非常にムカつく。

「…やっぱり僕の事も知ってて揶揄っっているのかな」

「悪意無しでこの発言…これでどう男性だと思えば良いのでしょうか」

「もういい…わかったから」

「なんかもう…驚く事が出来ないや」

一切の望みを捨てた。ボク達は改めて思い知らされたのだ。

「別に男性であろうとなかろうと、この人は変態です。かつ歴史的に見て、こんな男性は見たことがありません。

現代のヘロストラトスと一括りに纏めてしまうのは危険ですし、完全に納得がいくか…：というとスッキリしない事もあって、そうしてズ

ルズルと引き摺られて、今に至っているわけです。

その間にさまざまな見解が生まれ、この人はこの人で陳腐な自由によって得た万能感に負け、やがては…その、極めて残念な女性レスのサディストへとなってしまう…という考えが自然的な形で収まりました。私も、そう結論付けています。

あの放送を見ている視聴者の多くは、男性の絵に釣られ、こうしたウマ娘の話にも耐え、数多の試練と修行を経て全てを悟った人か、それでも尚希望を見て男性だと信じている、極め付けの猛者しか居ません」

「成る程」

「ここって日本だよな？」

「先輩…ここは日本ですよ。日本の府中です」

運営は何らかの手違いでBANにしても、世界から表彰されると思う。

「これ、被害者は私だけではありませんからね？現役、OB問わずウマ娘の公式アカウントが来れば告白は序の口、サンデーサイレンスさんは崇められていましたし、シンザンさんが来た時には勢い余って両肘、両膝を強打しながらも止まらず、セクレタリアトさんに対しては言いたい放題言った後気絶。セントライトさんやトキノミノルさんには、開口一番でそれぞれ戦車やパーフェクトと評価する無礼さを見せた後、3日間発熱。併せて計11名ほど犠牲者となりました。

案の定、海外の人達からは『こいつを日本から出すな』『日本に攻め入ったりでもしてみろ？この人外が海を割ってウマ娘に会いに来るぞ』『私達は日本との戦争を望みません。この変態を目にしただけで狂いそうなので』『この人が街中を平然と歩いていて平気な日本人はイカれてるぜ』『愛を燃料にして行動する悪魔』『ヤツが帰ってきたぞ、もう来るな』『いやここに封じ込めておけ、おかえり』『世界のウマ娘ファン達よ、見てくれ。これが日本の文化が生み出した変態の結晶だ』『絶妙にキモい』『無敵の人が映画の世界から出てきた』『恋鐘さん

の小説で日本語を学んだことを後悔しました』『悲劇の末路』などと言われる始末…なのに、ネタで済ませられるからこそ、こんな…こんな…ヤベーですわあ!!」

「マックイーン、口調」

「これが日本かあ…」

「せ、先輩?」

もうどうにでもなれ。

「あのさ…気になっていたんだけど、マックイーン達つてもしかしてどぼめじろうのファン?」

「だ、誰があんな人…大嫌いですわ!!」

「ジャパンカップ、海外からちゃんとするかなあ…ガラパゴス化しないよなあ…心配だなあ…H A H A H A」

「先輩?!」

素性も明かさずコソコソ隠れながら社会やウマ娘を惑わすなんて、最高のジョークじゃない?っていう相手のネタは笑えないのに、心の底からお腹が痛くなるほど笑えた。

丁度その頃、話題にしていた人物は回っていた。

道化師と呼ばれていた男は、悠々と踊り続けてくるくる回る。

くるくる。

くるくる。

涙を流しながら、時には足を上げ、時には手を振り回し、笑顔をかべ楽しそうに、悪魔をも魅了してしまうほどに、優雅にくるくると踊っている。

そうして徐々に動きが収まって、息を吸い声を大にして叫んだ。

「今日もお!!元気にいい!!ウマ娘ちゃんっ!!そしてえ!!お兄さまの物語が完結したぞおおおおお!!世界よ!!ハッピーエンドの小説だ、喰らいやがれてっんだ!!タララーララーララー…ふんっ!!投稿しちゃったぜうっひよおおお!!ライス、ライス、ライスちやあああああん!!やはりウマ娘ちゃんこそ良薬!!本当の本当に、お前らは最高だぜえええ!!」

ウオー!と返してくれる人はこの場に居ないとしても、彼の心は有頂天に到達した。文字通り嬉しすぎて舞い上がっていたのだ。彼の中では、完結した事こそ偉業に近かったのだから、無理もない。

「ンンンンンン!!良いねえ!!楽しいお仕事だぜ!!」

仕事ではなく趣味なのだが、そんな事はどうでも良かった。

「ホワハハハハハハア!!」

見よ、この神をも惚れさせてしまいそうな素敵なお顔を。

彼の人生は希望に満ち満ちている、という象徴だろう。

彼女達を想いながら涙を流して、ケタケタと笑い、願いが成就するようにと、ウマ娘が幸せを掴み取れますように…と、心から祝福を祝っているその慈悲深い姿は、正に普通の男そのものであった。

後日、パソコンを開くと彼宛にファンアートが届いていた。儂く色鮮やかな色彩で、この絵を見た誰もが幸せな気分になれる輝かしいイラストは、正に美味しい絵と言ってもいい。

その絵を見た瞬間、男は直様パソコンを閉じ、そして立ち上がる。

一步、二歩、三歩、と足を進めて、また舞った。

メラメラと燃え上がるような嫉妬心を抱いて、くるくると踊る。

儀式を終えた男の顔はどこかすっきりとしていた。そうして息を整えた後の彼は準備を整えて、秋の天皇賞へ向けた作品の最終チェックを始めた。

I think that I am tripping
off your love

「僕はね、やられたら数倍にしてやり返したくなるというか…どうしようもなく良い性格をしていると自負していてね。それが堪らなく好きなんだ。後輩は兎も角、外野で好き勝手ネタにしている彼女には、是非とも一泡吹かせてみたいんだよ。ヒッ：マックイーンも好調を維持したままだあ…。次の秋の天皇賞…フヘッ、フヘヘヘ。スズの借り、百万倍にして返してやる…フヘッ。結末が楽しみだなあ…」

そう口にしていたあのトレーナーは…完全に殺る気目の目をしていて。笑っているのに笑っていない。油断も隙もない。そんな言葉が似合うくらいの笑みだった。

レースをするのはマックイーンのはずなのに、と彼女にも視線を向けてみたが、マックイーンも同様にして笑みがこぼれている。少なくとも共通の目的を持った相手というのは、どうにもこうにも似たもの同士になりやすいのだろう。

先程まで恐怖に染まっていた顔が、今では二人揃って般若面だ。

降りかかる雷がこちらに落ちないように、くわばらくわばらと願っておいた方が良いのかもしれないが…何はともあれ、あの変態は一度痛い目を見たほうが良いというのはボクも思っていることだし、この手のことに関してはボクにはお手上げだ。

対するボクのトレーナーは、若干…いや、少なくとも7割以上は引いていたと思う。というよりこの状況に慣れていた。「またか…」つてぼやいていたの、ボクに聞こえていたし…。

恐らくは…マックイーンのトレーナーがこうなるのは、何度も見てきたのだろう。勿論、全てが彼女のせいというわけではなく、天才と呼ばれる由縁や経歴に嫉妬した人達によって生まれた障害、とも呼ぶ

べき物が積み重なってしまった事が主な原因なのだろうが：それでも、ここ最近はやまっていたはずなのだ。

だが、天才と呼ばれた彼女の堪忍袋は、突如として現れた天災変態によって緒が切られてしまった。こうなってしまうては、手が付けられなくなるのも無理はない。

やはり一度だけ：一回でいいから、何でも良いから、とりあえず鞭でも叩いて：それも思いつきりバチンツと音を立てるくらいに豪快に叩いて調教した方が良いのでは？と思ってしまうた。

「強引に勝ちに行く必要は無いからね？そんなことをしなくても勝てる實力はあるでしょうに：君は普通に才能があるんだから、余計なこととは抱え込まないようにした方が良いのに、こうなると君の悪い癖が出る。そういう勝負に対する姿勢はまだ良い。とは言っても、限度があるからね。特に重賞を得ようとする気持ちが強くなりすぎて、自分で自分の首を絞めていくのは何度も身に染みているでしょ？」

それでも：それでも、少なからず一人のトレーナーとしてしつかりとウマ娘達を見て理解し、あれだけの好意を向けていながら：悪口は言わない。時折揶揄うネタはあかも幼稚園児並みで、冷静に分析するところは分析し、それでもレース場には顔を出さないで意地悪をしてくるんですよ？正直言って虐められるよりタチが悪い。んなもん嫌いになるに決まっているじゃ無いですか。正々堂々と勝負をしていれば別ですけど、彼女は土俵にすら上がってない。

それでいて真面目に語れば、トレーナーは皆尊敬しているとか平気で抜かしてくるし、ヘツタクソな絵を描いてファンアートですってプレゼントしてくれた時もあった。彼女、僕がネットにあげている日記とかも、欠かさずチェックしているんですよ。で、やっていることはコソコソとそうしたオタク活動に身を削って、その都度僕達の事を嘲笑うかの如く、ああいうことをしてくるわけですよ。

この際はつきりと声に出して言うのですね：いやらしくてエゲツない、冷酷無比のヒットマンのあだ名がある、あの熱い性格をしていて、僕より天然のクソボケで、僕と同等に勝負に打ち込んでくる真剣

なトレーナーよりも、こんな性格をしている僕よりもつつ!!誰つつよりも陰湿なんですつつ!!あのどぼめじろうとかいうふざけた女郎はつつ!!」

「こうなったら否が応でも引き摺り出して、即木っ端微塵にする勢いのまま叩き潰してやりますわあ!」

「出来れば一気に決めたい:出来るだろうか?」

「なんともなるはずですわあ!こうなったらもう予祝しかありえませんわあ!!」

「マックイーン:そうさ、変えるんだ!僕達の手で!」

その奮起に呼応するかのようにして立ち上がったかと思えば、いつの間にか二人の世界に入っていた。もう彼女達は手遅れなのかもしれない。

「身構えているときに死神は来ない、とか言うけど:こりゃあ、当分の間はダメかもしれないねえ」

「:ボクは、こんなマックイーン達の姿を出来れば見たくはなかったよ」

にしても、だ。流石は腐つてでも中央のトレセンに所属しているトレーナーである。片や精神状態が不安定だが、二人共素晴らしい観察眼だ:それをウマ娘に対して発揮すれば良いのに、あろう事かあの変態絡みに使っている。あの天才達が、ボク達にとってはどうでも良いような人間に対して使っているという事実は、何とも受け入れ難いものがある。どぼめじろうよ、ボクは涙が出てきそうだ。なんと悲しき事なのだろうと、涙が出てきて仕方がない。

しかも、よりもよって比較対象がヒットマンと呼ばれているであろうトレーナーとは:彼女には同情する。よりもよってどぼめじろうと比べられるとは、と。

実にヒットマンが可哀想だ。

無理矢理汚されたに等しい、度し難い行為である。

加えて、天才にして同志である彼女達の仲まで引き裂こうとするのは、いかんせん気に食わない。が、これら全ての事象が彼女の知名度上げとしての戦略による影響によって生じたものだとしたら、こうし

たボク達の混乱は必然的に起こり得たものなのだろうか？

いや、そんなはずは決して無い。あんな本能的に行動する人が、計画性なんて持っているわけがないのだから。

それに、不可解な疑念はまだまだ数多く存在している。

第一に、基盤とされている行動の根幹：つまりは愛だけで、ここまです成せる事が可能なのか？という事だ。

確かに愛情のもつれによって最悪犯罪にまで発展する…といった事件は確かに存在はしたが、これはボク達が生まれるよりも以前の時代に起きた事だ。それにサンプル数も少ない。しかしながら彼女とされている例のあの人は、力を余す事なく披露して、現代においてここまでの認知度に至るところまで発展させている。

果たしてこんな事が、たかがウマ娘界限のみでなり得る事なのだろうか？

いささか規模が大きすぎるのである。

第二に、仮にこれまでの功績が失われた事態が発生したとして、配信者側の人間が考えているのかどうかだ。冷静に見てみればリスクだらけの代物なのだ。つまりは、もし訴えられた際の勝機はまるで無いも同然の状態で、横から喧嘩を売ってくるのである。

富裕層の塊のような場でもあるトレセン学園に対し、こんな無茶な事をしてタダで済むとは思っていない筈だ。

だとしたら何故こうも、イラつかせてくるのだろうか。ボク達に嫌な思いをさせて、何らかのメリットがあるのだろうか？これらが全て点と点で結ばれていないのである。やっている事全てが、本人に対して報われない方向性へと向かっていつているのだ。

しかしながらこうしたりスクを犠牲にして、それだけライバル…とは呼べないものの、互いが互いを意思あるウマ娘の理解者として認識しているという関係にまで上り詰めたという点では、少なからず偉業は達成しているのかもしれない。かの天才達から一目を置かれてい…それが例え、たかがネットが無ければ注目されないような人物だとしても、だ。

試験にも落ちたような素人に意識が奪われるなんてあつてはなら

ない。が、この配信の全てが悪いか、と問われればそんな事は決して無い。各国のウマ娘やトレーナーが一同に集まり、日々対策や故障に講じて原因の解明を突き止めたりする動きは、必然的に各国のトレセン学園が抱えている課題に取り組ませることに繋がるからだ。

だが、そんな強制的な組織改革をたつた一人で行うなんて、人外にする事：そんな生き方は人ではない。獣と成り果ててしまった人間を犠牲にして、ボク達はその死体を跨いでこれからを歩まなければならない重荷なんて、感じたくはない。

その事実らはどうしても覆せないものであると同時に、現実を直視し受け入れ認めなければならぬという、前代未聞の異常事態に我々は直面していると言い換えても良いだろう。

だが、果たしてここまでしなければ納得がいかなかったのか？世間的に許されることか、正しいことを正しいと言えるか、ひたむきで誠実さがあるのかどうか、これ等全てを犠牲にしなくてはならなかったのか、それほどもまでに私利私欲を優先しなければならなかったのだろうか？子供でも理解出来てしまう程に、歪で、内向きで、兎に角醜く、それでも戦う姿勢は評価はするが、何故逃げないのだろうか。

そもそも、これらが副産物であるとしたらどうなのだろうか。これらにもし意図なんて無かったとしたら：それだけでゾツとしてしまう。

ああ：そうか、どぼめじろうよ。あなたもまた、ボクラと同じプレイヤーでいたいのか。プレイヤーとして生きていなければ、価値がないと思っっているような：残念な人なのか。そういうのは才能や運などを持っているものがあなた達の方も引き受けて、全部を背負って昇華し叶えなければならぬといった、強者の中でも：誰かの為に動いたものだけが背負う事の出来る、信念がある人でなければ到底不可能だ。ああ、少なからず強者ではあった。強者でなければ自分の為に欲のままに行動することも、他者の為に行動することも不可能だからだ。

だが、彼女は恐らく弱者だったのだ。だから心も身体も全て壊れて、理想も現実も混ざってどうしようもない破壊衝動を解消するしか

方法が無く、挙げ句の果てには導くようなこともせず、平気でただ救った気でいるようなクズに成り下がった。：そんな輩に人の気持ちがあわかってたまるか。

あなた達も私と同じ痛みを知るものですよね、なんて同情を誘われているんだなんて、冗談じゃない。

自分自身を救えずに、他者を救おうとしているなんて：いや、自身で救えないからこそ、他者に頼ることなく生きたいなどと、よくもまあ愚かしいことを：こんなにも自惚れた人は初めてだ。

ならば：やっぱりボクは君を恨んでもいいのだろうか？

きつと彼女のことだ。ボクに恨まれるというのも、嬉しそうに受け入れそうだな：なんて思ってしまった時点で、ボクからして見れば、蔑ろにされたも同然だ。だから恨みたくはないけれど、それでも彼女の倍以上に恨むと思う。

覚悟しておくが良い：君の罪と罰は、あまりにも重すぎたようだ。絶対はボクだ。最強の名を懸けるのはマックイーンだ。その邪魔はさせない。

こんな風にしてしまった責任は取ってもらわねばならない：それがどぼめじろうの義務である。

と、ここで再度トレーナーが閃いたように疑問点を投げかけた。

「：あ、そうだ。ヒットマンで思い出した。そういえば彼女もマックイーンのことを好きだったよね。確か、走りに一目惚れをしたとかで…」

一瞬だけ戻ってきたマックイーンによって、詳細が明かされた。が、それも役に立てるような情報では無かった。彼女もまた、紛う事なき変態だったのは確かなのだが…、

「えっ、ええ、まあ：函館で初めてお会いした時は、丁度レース前だったのですが：その際、少しだけお話をする機会がございました。

開口一番に、『おお：おおっ!!メジロマックイーン、メジロマックイーンだ。何と美しいのだろう：！いやはや、これはこれは：素晴らしい：実に素晴らしいねえ。それでいて君は必ず強くなる、そんなウマ娘だ、間違いない。私の勘がそう告げている。だからそうだな：君

が完璧な出来に仕上がって、文字通り世代の頂点へと君臨した時は、是非とも君を完膚なきまでに正攻法でボッコボコに倒したい。勿論、私自らが手がけた子でね。その時は、是非ともよろしく頼むよ』って笑顔で宣戦布告された時は…とてつもなく怖かったですわ。…ああ、ほらトレーナーさん！次のレースでは彼女にぎやふんつと言わせてやりましょう！」

「ああ、マックイーン！やってみせるさ！僕達の力で！」

「あ、ああ、そうか…ありがとうマックイーン。腑に落ちないなあと言いたいところだけど…大丈夫、クリーク呼ぶ？」

「いえ、お構いなく」

ボクはボクでうわあ…と別の意味で軽く引いてしまった。勿論これはこの場にはない人に対してである。と、同時に確かにタラシであるが、あのような異質な危険性は感じられない。やはり、中央に居ない事は確定なのだろう。そも、トレーナーがあんな長時間配信出来るわけが無い時点で、当たり前前の話であるが…。

これではマックイーンにも致命的な問題があるようにも感じてしまう。例えばだが…その…交友運が偏りすぎている節があるのではないだろうか、といったものだ。ゴールドシップ然り、サンデーサイレンス然り、ヒットマン然り…まともに接しているのはボクだけなのでは無いだろうか？

因みに、イクノデイクタスはノーカンとする。あれはマックイーンの方が意識をしすぎているから、ノーカンったらノーカン。

声に出して言いたくは無いらしい、認めたくはないけれど…あの変態が言っていた通り、マックイーンもマックイーンでおかしなところがある…と思うところは多々あるし、正直トレセン学園内に限らず隠しきれていない…というのは最早周知の沙汰である。まだマックイーンは、常識も備えている分比較が出来るだけマシである、という材料のみが彼女の印象を良くしてくれているだけなのかもしれないのだ。

まあ…そこがマックイーンの良さでもあるわけで、退屈しなくて済むし、ボク以外にもわかつている人が多いというのは嬉しいが、複雑だ。

なんて考えをしながら、話を聞いているだなんて彼女達は思ってもいないだろう。とりわけ様々な方向へと喧嘩を売る羽目にもなるし、失礼にもなってしまう。だからここら辺で、彼女について色々と考えるのは辞めておこう。命拾いをして良かったと思え、どぼめじろう。

あの後暫くして、まだ練習メニューが残っているというマツクイーン達と別れ、それぞれがそれぞれのペースでトレセン学園へと帰る途中の事だ。

並んで歩いてくれる人もまた、例のあの人について気になっているようだったので、自然と話を深めることとなる。

「まさかとは思うけど、あの絶対強い奴倒すゼインストールが発動すると止まらないトレーナーが、この配信者ってことは無い？」

「いやいやいや変態の種類が違うよ。ボクでもありえないって感じるのに、トレーナーなら尚更知っているでしょ？あの人があんな変態だったら、担当していた子たちの方が度肝を抜かれているってば」

「まあね。あんな叫ぶような人じゃないし、優しすぎるからね。こういうことは絶対しないって言い切れるわ」

「第一、グラスワンダーやライスシャワーは兎も角として、芝、ダート二刀流はお手のものと豪語する、アグネスデジタルやエルコンドルパサーの方が変態じゃない？あ、ドクタースパートも変幻自在なタイプだっけ…」

「そうだよなあ…。ってなると、何か引っ掛かるんだよなあ」

「引っ掛かるって何が？」

「んー…わからない。私達とは何か、決定的に違う何かがあるんだと思う。それさえわかれば、多分…わかる気がする。でもなあ…男性で変態…？いやいや…」

トレーナーの発言が、妙に記憶の片隅に残った。

その日の夕日は、清々しい程に綺麗だった。

トレセン学園に得体の知れない何かが蔓延っているという事実を、そればかりか屈強なウマ娘とそのトレーナーでも壊れてしまうのでは無いか、という怖い一面を見たあの日を境に、何かから逃げるようにして、ボクという意識や記憶の中からフツと、まるで存在していなかったようにしてどぼめじろうの実態が掴めなくなっていた。

というよりは、リハビリが忙しくてそれどころでは無かった、というのが正確な理由……といったところである。

とは言っても、レースに対して見逃すような人やウマ娘はこの場にはいないわけで、ボク達生徒も、そしてトレーナーも、時間さえ見つければレース内容を振り返る事や、実際に見物しに行くというのは最早常識中の常識だ。

だからだろうか、これは必然的に起こり得る事だったのかもしれない。

事の発端は、丁度セントライト記念が終わった頃だ。ウマッターにて、トレンドに挙がっていたツインターボと関連して、不可解な人物の名前が登場したボクは見逃さなかった。

レース自体は、手に汗握るような熱さ以外は何て事は無かった、と思いたかった。有力候補であった一番人気であるレオダーバンに先着、そして予想外では無いものの伏兵であったストロングカイザーに對してもクビ差の1着を挽ぎ取る内容で、粘り勝ち……という点ではラジオNIKKKI賞よりも勝ると言っている。

問題はツインターボ本人の成長具合と、レース展開によって生じた認識の変化だった。

確かに能力面で突出して変わったようなところは、はつきり言っていないのだ。だが、走ることに對しての余裕……というべきか。落ち着いて考えながら挑み、それらを踏まえて全力を駆使して走っているような……がむしやらに、もがくようにして走るのはなく、きちんとスタミナを管理した上での無茶に見える逃げ戦法なのだ……ボクにははつきりとそう見えていた。

以前にも偶々だが、ツインターボが走っている姿を見かけたことがあった。その時の印象は、兎に角走ることに對して一直線なバカ……と

いすべきだろう。あんな破天荒で頭を余り使わない走りをした彼女だったのだ。思わず鼻で笑っていたことは、この際認める。

それがどうしたことか。前走よりもしつかりと実力を付けてGⅡのレースの一つを制したのだ。この結果には、認識を改めなければならぬほどの驚きを隠せないでいる。

加えて追記するならば、ネタウマ娘にされがちとはいえ、今回は『はつきりと強い』と表せられる程の内容だ。文字通りボク自身の正当な評価によるもので、勿論絶対的な強さや勝利に欠かせない才能という点は現時点でも…そしてこれからも現れることは極めて低いだろう、と推察はしている。けれど、あそこまで観客を沸かせられるのは稀だし、見ていて気持ちが良いと感じられるのもまた、ウマ娘界にとつては重要な要素の一つである。

そんな彼女が勝ったのだ。端的に言って感動するに決まっている。思わず自身も含め周囲から拍手が沸き起こる程の、彼女自身の強みを活かせた良いレースだった。

ここまででは良かった。

では何が問題と言えるのだろうか？そう、ここに関しては本当に何も問題は無かったのだ。だが…

『それでは、セントライト記念を見事制しましたツインターボさんです。GⅡ初勝利おめでとうございます!』

『ありがとうございます!』

『今のお気持ちはどうですか?』

『嬉しい! やったよ! ターボ勝てたよ! ニヒツ!』

『宣言通り、先頭を維持したまま逃げ切れでしたね! 見ていて心が躍るような、そんなレースとなりましたが、その辺りはどんな感覚だったのでしょうか?』

『兎に角楽しかった! あと、ちよつとだけ怖くなくなった!』

『怖くなくなった...とは?』

『:んー。ターボ、本当はレースで他の子と走るのが怖いんだ。それで...【走っている時ちよつと怖いけど、それでも! ターボ負けたくない!!】って相談した時があったの! そうしたら【ただ1着を維持してそのまま突き抜ければ良い: 試合は楽しんだもの勝ちですよ。ちよつとしたきっかけさえあれば怖くなくなるでしょうし、君が諦めなければまだまだ強くなれます】って返ってきたんだ!! それでね、それでね! その後楽しんだもの勝ちって意味を考えて: トレーナーと一緒にトレーニングして: で、今日勝ったら: なんかね、楽に: :こう、ぐわーってなって: :いつもより楽しかったんだ!』

『日々の練習の成果が現れたし、苦手なものも克服した: :ということでしょうか』

『多分! : :まだちよつと怖いかもだけど』

『いやいや、十分凄いですよ! :んー、そうですね: : 今後はどのレースを目指しますか? 菊花賞については: :』

『菊花賞はターボ、考えてない! : : まずは11月の福島記念に向けて、1つの勝利の為に調整する!』

『成程: : では最後に、その相談に向き合ってくれた人について何か一言あれば』

『え、いいの?』

『はい。どうぞ』

『…すううううう、ほんつつつつつとうにありがとう！トレーナー
!!】どぼめじろう【!!』

『あ、ありがとうございます。ツインターボさんでした』

再び目にしたきっかけが、レース直後のインタビューだった訳を誰か説明してほしいのだ。

何故彼女自身の口から『どぼめじろう』という、悪名高い人名を聞くと思えるのだろうか？

しかもなんだ、その気持ち悪い回答の仕方は…ボクが見ていた放送の時と全くと言っていい程に、優しすぎる物言いじゃあないか。

そもそもあれは本当にツインターボなのか？口調の変化の無さに捉われて、本質を見失ってしまいがちになりそうだ。事あるごとに勝負勝負、と絡んできたり、ボクと戦う為に菊花賞を目指すとか無謀な事を話していた頃とは余りにも…これではまるで別人だ。

一体何がどうしてこうなったというのだろうか。

元氣いっぱいの朗らかな笑顔とは打って変わって、現場から離れた場所ではザワザワとちよつとした騒ぎとなっているだろう。

記者会見でもその片鱗は見られていたし、学園でも同じかそれ以上か：現にボクは未だに気持ちの整理が付かないでいる。

この一旦を把握するべく、自室へと向かわなければならぬ。治りかけの足に気を向けつつ、現時点での最大速度を使って急いで病院を後にした。

その日の夕焼けはあの日と同じく美しいもので、それでいて何処か憎いものと化していた。

「…あ」

ふと、立ち止まって我に返る。肝心なことを忘れていた。

まず『どぼめじろう』とは何者なのかを知る必要があったのだ、ということに。

早速どぼめじろうについて検索してみると、中々に面白い記事が出来る上だったので、それについて目を通すことにした。

とりわけ検索ヒットした際、何故か「インセル」という単語が多く出現していた事が自身の中で引掛かっていた、ということもあるだろう。

一体どういう背景があったのか、と不思議に思う人がいるかも知れない。だが、どぼめじろうを語る上では欠かせない要素なのだと見解を述べている人たちが多数いる事は事実のようだ。

そもそもインセルとは、海外において性行為も結婚もしたいけど何かしらの障害によって出来ない人を意味する言葉である。

元々は、日本でいう永世四強時代に、カナダ人女性が作った出会い系サイトにおいて、世に蔓延っている処女が傷を慰め合うために生まれた混成語だ。要するに非モテの事を指す。

「involuntary celibate」

具体的に表すとこれらは不本意の禁欲主義者、非自発的独身者から汲み取られた造語、という事になる。まあ：そこについて触れるのは、この際置いておくでしょう。

さて、典型的なインセルは、若年層の白人女性に関わらず、全世界共通の独り身である異性愛者を指している。勿論、これらはウマ娘にも共通して言える事であり、ネットによる加速時代に伴った影響によって、典型的とも呼べるミーム汚染が始まり、瞬く間に広がった。ただこれらは、外見至上主義を抱えているかの問題もあつてか、多くの派閥が発生する要因となる。加えて、インセルの特徴的な思想には少なからず女性至上主義の要素も入ってしまい、一部の過激派が出現してしまうのは目に見えていた。

とりわけウマ娘は自然と外見至上主義に片足を突っ込んでいることもあつて、派閥同士の亀裂は徐々に大きくなっていき悪化の一途を辿った。とは言ったものの、ウマ娘にもそれ相応のデメリットが存在する：だなんて事は自身がウマ娘である分、とつくの昔に認識している。

つまりは、両者共に醜い争いしか繰り広げられていなかったのだ。数多の女性が社会的に抑圧されていることに変わりはないし、「モテたい！」という共通項が結論として画一化されている事に違いはない。

そうした派閥同士の争いは少しずつ数を減らしていった。

しかしながら、そこには数々の歴史が絡んでおり、結果として数多の女性達の頭を悩ませていることには変わりはない。

ネットが普及して、かつその主張が揺るがぬものとして、大分時間が経ったある日：突如としてここに一石を投じるためにズカズカと入り込んできた爆弾魔が現れる事例が発生した。

それこそが『どぼめじろう』であり『恋鐘』である。

奇しくもどぼめじろうの嘆きのイラストや、恋鐘の心震わすような小説は、心が飢えていた人達に刺さりまくった：というのがあくまでも俯瞰的な観点から見たものようだ。

どうやらボクが思っていたよりも、彼女らの経歴は複雑なようであ

る。まさかインセルも含めた、より難易度が増した恋愛的価値観を求めていた人達が絡んでいたとは思わなかったからだ。

但し、確かにこれらの刺激的ドラッグが全世界に拡散した記録は、そうした背景や配信に映っていたコメント等などからも一致することが確認されている為、こうした出来事は事実であると見てまず間違いないだろう。

「要するに悲しい人達同士が起こした悲劇だったと……いや、楽しそうにしている時点で喜劇なのかな？にしても恋鐘さんもそっち側だったなんて意外だったなあ……まっ、タイミングが被っただけなんだろうけどさあ」

ただボクはそれ以外について知りたかったのだが、これといつてめぼしいような情報は無い。あくまでもネタとして、

……、……。因みにトレーナー資格は会得しておらず、現に試験でも4度落ちている。その為、収入源は配信のみとなっている。

(中略)

また、彼女の放送は様々な理由から余りにも過激すぎる一面がある、と捉えられたことがある。が、勿論これらは消し炭が如く燃えに燃えて大惨事へと発展し、鎮火されるまでにそれなりの時間を費やしてしまった。(少なくとも配信していた張本人が認知しているかは不明であり、真相は闇の中である。)

加えて、視聴者の中には地獄の住人から来たような人達が多数存在しており(創作物に出てくるような表現ではなく、文字通り歴戦のウマ娘やトレーナーなども含んだ、少なからず挫折を経験した者達の事を指す)、そこで互いが互いを慰めあっている構図となっている。

しかしながら毒をもって毒を制す、という言葉の通り、ある種の抑止力となった過去も存在し、一時的にだが世界全体規模で性犯罪率が

下がった。また、どぼめじろうに感化されトレーナーを目指し、見事合格を勝ち取った者もいる：なんてデータもあるのだとか。

一見するとウマ娘に対して表面上は折り目正しく慈愛に満ち溢れた淑女だが、彼女自身もまた傲慢で悪趣味なトークを唐突に曝け出してくる、腐れ外道のような素振りを見せるなど不安定な一面が多い。さらには、偶に確信をついたかのようにして先見性から発せられた言動は、それらに対する過程と結果が伴っていない予測的なものも多い。

しかし、確たる根拠に基づきながら供述した時の的中率は見事なものであり、トレーナーやウマ娘達からは呪いのようなものだという声もあるが、あくまでも都市伝説めいたスタンスとして受け取ることも可能であったため、基本的にそうした発言に対する指摘は放置されがちな傾向となりやすい。また、こうした二面性の激しさなどの破茶滅茶な行動は、最早慣れる以外に手段がない。

要するに、とにもかくにもどうしようもない人物なのである。

このような状況を生み出したからか【ラジオの悪魔】に因んで【配信の悪魔】と呼ばれることが多々あった。他にも不気味なあだ名で呼ばれているが、主な原因はこうした所以だと認識されている。が、その呼び名が定着する事はなく、放送やコメント内におけるリスナーからの呼び名は基本的に『どぼめじろう』で統一されている。

普段の放送でのリスナーに関して簡潔に表すならば、どこの知恵袋のような民度である。これは、配信者が至る所に核爆弾を打ち込んでいくような人である為：つまりは、視聴者なびきもせず、ここまで一貫して配信スタイルを維持したまま、ウマ娘への愛を語るわ、男性を描くわ、発狂するわで、まさに地獄絵図と化した配信の影響力が大きく、物好きの物好きによる物好きの為の溜まり場へと変化してしまっているのが理由として挙げられる。よって、基本的にどちらも自由であり、民度や倫理観なんて価値観は無いも同然である。

ついでにこれは余談ではあるが、『どぼめじろう』という名前の元ネタは、同人誌や雑誌掲載など多岐に渡って活動をしている『メガドボ』から取ったものである、と本人が供述している。

尚、本家である『メガドボ』とは一切の面識が無いまま、実質無許可で使用している。これについて本人、そしてサークルメンバーである『アリスデジタル』らも言及せず……

みたいな一般向けな情報だけが記述されていた程度のものであった。確かマックイーンも：彼女はジョーカーと呼ばれているそうであるとか、言っていた記憶がある。

やはり、どうしようもない人物であることは確かなようだ。

ボクの感性は間違っただけではなかった。

だが、それだけだ。結局は何も知ることは出来なかった。

とりわけ目立つのは、かの恋のメガドボとも呼ばれているくらい的人物だが：生憎と面識なんてものではないし、顔すら知らない。ボクが認知しているのは、とぼとぼと歩いてそうなアイコンが特徴的な人：というくらいだ。

いくら知名度はあるとはいえ、ウマ娘と才能が無ければただの中等部である。ボクは子供で、世界的に見てもそこまで知名度があるとは言えない。それに対して片やボク以上のプロだ：まさに雲泥の差とも言える。そもそも交流なんてボクにも、どぼめじろうにも許されていないのかもしれない。

手がかりは：ほぼ無いに等しい。

「あとは恋鐘さんとどぼめじろうが同一人物か、はたまた関係者なのではないか、といったゴシップだけかあ：んー、困ったなあ。ワガハイでもこれはお手上げかなあ：ひゃあああ、ここまでとはねえ。そっかそっかあ……」

ここまで釈然としないのはある意味清々しいものだ。今までの短い人生経験と片づけられても仕方のないことではあるが、はつきり言っただけだ。

せめて……と検索するが出てくるのはどれもこれも同じような記事

ばかり。挙げ句の果てには彼女を信じましょう、などといったいけないブログまである始末。

悔しい…実に悔しい。

いやそんなはずは無い…何か、何か無いのか…と攻めあぐねている自身を振り返る。なんて情けないのだろう、と率直に思ってしまったボクは、いよいよどうかしてしまったのかもしれない。ここまで執着する理由もないというのに、酷い話だ。

彼女よりも先にボクは、ボクが強いウマ娘であるという積み重ねてきた証を疑ってしまった…その時点でボクは彼女を恨む資格なんてあるはずが無い。

だからこうして、回り道をしているのかもしれない。回り道をしたところで、変わるわけではないだろうけれど…自分自身の本当の強さの根幹とも呼べる、そう…絶対的な夢を取り戻そうとする行為は、余計に必死になってしまうものだ。

かつてのどぼめじろうも、こんな気分だったのだろうか。

(あ、でもそれはそれとしてどぼめじろうの事は気に食わないしイラつくから、当分の間は付き合ってくれても良いでしょ？今度はボクの番だから。一方的に踏み寄ってきた分だけ、こちらも踏みに行く権利はあるってものでしょ？仮にそれがあのマヤノやカイチヨーが同じ環境下に晒されていたとしても、ボクと同じことをするだろうし…あーあ。これではまるで、本当に悪魔とやたら魅了されているのではないのではいか、とか言われても仕方がないんじゃないかなあ…ハ、ハハ、ハハハハ…はあ)

情けなく、いつにも増して思わず苦笑してしまった。

ボクはなんて、なんて弱くなってしまったのだろうか。

三冠を取る事が出来なかった。カイチヨーを超えると約束していた。それが出来なかったからなんだ。まだ選手生命が終わったわけではないというのに、元の走りは出来ないんだと悟った気にいる。

ああ、確かに痛い。心がキュツとして、折れた。

だから何だ。諦めて、はいそこでおしまいですってなれば気が済むのか？残念でした。ワガハイは無敵のテイオー様だ。弱者であるど

ぼめじろうがあれだけ暴れておいて、天才であるボクがここで落ちぶれるだなんて：ありえない。

確かに今は弱っているだろう。反面、今だけだ。これから先、待ち受けている苦難があつたとしても、荊棘ばかりの道でも道があるだけまだマシだ。

成る程：どう足掻いても彼女は悪魔になるしかなかったのだろう。同情なんてものはなく、ただただ狡賢い。婚期を未だ諦めていないインセルとも、相性がいいのも頷ける。

そういえば：と頭に過ぎつた事柄を思い出した。

これだけ騒がれているならば、少なからずウマ娘関連で話題にするとしても、その界限では有名にはなっているのが通説だ。ボクらやそのトレーナー達に印象が残っているのなら、尚更である。

なのに目立っていないのだ。存在自体は目立っているのに壁があつて見られない。いや、確かに配信者としても有名ではないだろうが、それにしてもそうした名前が一切ない。アンチが付きそんな人格を持つていながら、ここまであからさまに気配すら感じないなんてあり得るのだろうか？スレを建てるのが怖いとかそうした意見はあつたが、果たしてこの状況が納得出来る形である訳が無い。

これは妙だ。

雲を掴め、と言われているような：それこそどぼめじろう本人ですら気が付かないような、何か：もしかしたら隠語のようなものがあるかもしれないのではないかと推測を立ててみる。すると不思議なことに、スラスラとパズルを解くようにして答えが導かれた。

絶対何かあるに違いない：とボクの勘が告げている。

ほんの少ししかない手がかりを頼りに、入力をしてはEnterキーを押して、を繰り返す。

そうして探すこと約10分：

「…本当にあった」

インセルが集まっている大手出会い系サイトの掲示板には、堂々と彼女についてのスレが建てられていた。

World gone mad , let's
start the show

ウマ娘ニユース速報

92 : ウマ娘ちゃん好きの民

今日のセントライト記念、誰が勝つと思う？

98 : ウマ娘ちゃん好きの民

つば、レオダーバンっしょ

103 : ウマ娘ちゃん好きの民

内枠すぎてキチイけどブリザード、いかせていただきます!!

112 : ウマ娘ちゃん好きの民

ここでレオダーバンには勝ってもらわないとね、菊花賞きついで
じで

114 : ウマ娘ちゃん好きの民

まるで堂々と賭け事してるみてえに見えちまうけどよ…お前等
応援のつもりだよな？

116 : ウマ娘ちゃん好きの民

>>114 あたぼうよ!

121 : ウマ娘ちゃん好きの民

あたしはツインターボ師匠のグッズに全ぶっばする予定なんで

122 : ウマ娘ちゃん好きの民

>> 121 お、同士だ 私もターボ師匠に全力で応援するんで、その時は対よろ

134 : ウマ娘ちゃん好きの民

ターボ師匠って確か前走の福島で1着だっけか

135 : ウマ娘ちゃん好きの民

上がり3F37.3 勿論逃げです

142 : ウマ娘ちゃん好きの民

怖がりじゃなけりやなあ：

149 : ウマ娘ちゃん好きの民

>> 142 バカ、ターボ師匠はあれでこそ師匠なんだよ

158 : ウマ娘ちゃん好きの民

私のレオダーバン外枠やんけ!!キチイ!!鬼!!悪魔!!

159 : ウマ娘ちゃん好きの民

>> 158 お前のじゃねえからあ!!

160 : ウマ娘ちゃん好きの民

>> 158 私のだから!!あと、正直その気持ちはわかる

166 : ウマ娘ちゃん好きの民

ってかレオダーバンは菊花賞確定で行くんでしょ？

170 : ウマ娘ちゃん好きの民

>> 166 まあ、それはそうでしょ

171：ウマ娘ちゃん好きの民

>>166 テイオーの骨折もあつたし、出ない理由がないな

172：ウマ娘ちゃん好きの民

>>166 この世代テイオー以外パツとしないからね、仕方ないね フジヤマケンザンとかヤマニンゼファーとか走りそうな子はいるけど あと大井で暴れそうなハシルシヨウグンとか？

173：ウマ娘ちゃん好きの民

>>172 は？骨膜炎から復帰したヤマニンゼファーちゃんの強さをご存知でない？!

175：ウマ娘ちゃん好きの民

>>172 殺すぞガ○ジ てめえみたいなテイオーしか見えないようなニワカが来ると迷惑なんだよミーハーが ゼファー魂舐めんなよ

177：ウマ娘ちゃん好きの民

>>175 キレすぎやろ草 言いたいことはわかるけど風が泣いてまうからその辺でやめとけ

178：ウマ娘ちゃん好きの民

>>178 すまねえ ちと風を感じてくるわ

179：ウマ娘ちゃん好きの民

あと目立つ子って言ったたら：ナイスネイチャくらいかな？どもどもくみたいな：なんていうか脇役が似合う雰囲気の子だったと思う

181：ウマ娘ちゃん好きの民

夏までに3連勝してるけど、この感じだと多分京都新聞杯で出てくる疑惑あり

187：ウマ娘ちゃん好きの民
ナイスネーチャン!!ナイスネーチャン!!

188：ウマ娘ちゃん好きの民
おいつすうくつてやるの好き

195：ウマ娘ちゃん好きの民
小倉でラストスパート3F33.3出したのは強いやろ

196：ウマ娘ちゃん好きの民
>>195 小倉かあ：小倉で：うん？普通に速くない？大体3
6秒後半くらいなんじゃないの？（感覚麻痺）

203：ウマ娘ちゃん好きの民
で、肝心のセントライト記念についてなんだが、勿論あたしはオカ
フネちゃんで行きます

212：ウマ娘ちゃん好きの民
>>203 渋いと思うけど、その姿勢は好き

213：ウマ娘ちゃん好きの民
ワイは安定と信頼のレオダーバンだな

218：ウマ娘ちゃん好きの民
>>213 このメンバーだと、いくら外枠不利でもレオダーバン
しか選べないというか：

222：ウマ娘ちゃん好きの民
もしかして：やつぱりこの世代ってレベル低い？なんかパツとしな
くてほーん（ホジホジ）って感じなんだが

231：ウマ娘ちゃん好きの民

>>222 テイオーが強すぎたからそう見えるってだけの可能性はあるけど…今のところ否定は出来ないね ってか前後世代が強すぎるんだよ メジロ家の暴れっぷりは兎も角として、ブルボンやフラワー、ライス、サンキュー等強い子がポンポン出てきたからなあ

232：ウマ娘ちゃん好きの民

>>222 レベルは全然低くない ただ、あくまで総合的なポテンシャルのみに絞るけど、正直言つてテイオー以上の才能を持っている子は居ないよ 今のところは…だけど

241：ウマ娘ちゃん好きの民

>>232 んな才能がポンポン出てきたら皆の足が壊れちゃう
うろうう♡♡♡♡♡♡

245：ウマ娘ちゃん好きの民

>>241 キモい あとテイオーに失礼だからねそれ

252：ウマ娘ちゃん好きの民

>>245 スマソ あ、因みにあたいはターボちゃんで

254：ウマ娘ちゃん好きの民

ここまで現段階2番人気のアサキチ、名が挙がらずワイ悲しみ

261：ウマ娘ちゃん好きの民

>>254 わかる 健気な子やのに報われないの悲しいわ、ほんま

268：ウマ娘ちゃん好きの民

>>254 ワイも好きな子や なんとか勝って欲しいって思っ

てるけど…ちよい厳しいかもしれない

269：ウマ娘ちゃん好きの民

>>268 おいおい、それがフアンの姿勢かあ？テメエは黙ってグイグイ推しときやいいんだよ！

279：ウマ娘ちゃん好きの民

アサキチちゃんなんでこんな人気なの？誰か教えてクレメンス

280：ウマ娘ちゃん好きの民

>>279 ラグビーボールの妹だからそりや人気は出るやろなあつてだけだと思ふ あとは若葉ステークスでトウカイテイオーの2着、シャコーグレイドはその時3着だったから…とか？知らんけど

281：ウマ娘ちゃん好きの民

>>280 はえ〜くさんがつ

288：ウマ娘ちゃん好きの民

イブキマイカグラちゃんは…ワイの推しのイブキマイカグラちゃんはどこ行つたんや!!

294：ウマ娘ちゃん好きの民

>>288 京都新聞杯まで待てや

303：ウマ娘ちゃん好きの民

京都新聞杯に恐らくナイスネーチャン、カグラちゃん、ワイのお気に入りシャコーグレイドたんも出ると思われ…今のうちに期待しとけよしとけよ〜

308：ウマ娘ちゃん好きの民

もうセントライト記念の話題を誰も広めようもしないだなんて
…民度終わってんなあ

317：ウマ娘ちゃん好きの民

>>308 今更すぎて涙が出、出ますよ…

325：ウマ娘ちゃん好きの民

とりま師匠に全ブツパしたンゴwwww勝負服欲しかったんだあ…
ムフフ…ムフフフフフフフ…ジュルリ

333：ウマ娘ちゃん好きの民

神戸新聞杯はどこ…どこ…?

334：ウマ娘ちゃん好きの民

>>325 涎拭けや

542：ウマ娘ちゃん好きの民

ターボエンジン全開だあ〜っ!!

546：ウマ娘ちゃん好きの民

だらあっしやああああああああああああああああ!!

552：ウマ娘ちゃん好きの民

ターボ舐めてんじやねえぞお?!アアン?!

553：ウマ娘ちゃん好きの民

ひゅううううう!!ターボ師匠最強オ!!ターボ師匠最強オ!!ターボ
師匠最強オ!!マジ逃げ最高ふうううう!!→→→→→

555：ウマ娘ちゃん好きの民

全開だツ!またもターボエンジンで逃げ切ったツ!

563：ウマ娘ちゃん好きの民

レオダーバン3着かあゝ

569：ウマ娘ちゃん好きの民

アサキチエ：

579：ウマ娘ちゃん好きの民

ストロングカイザー惜しいいい!!クビ差はでけええええ!!

589：ウマ娘ちゃん好きの民

一匹狼+コーナー巧者が上手く働いたんかな?おめでどうターボ

!!

592：ウマ娘ちゃん好きの民

おまいらターボ師匠好きすぎるだろ：

595：ウマ娘ちゃん好きの民

>>592 独り身だもん

606：ウマ娘ちゃん好きの民

普通の逃げでこの距離勝てるんかい!堪らねえぜ!!

609：ウマ娘ちゃん好きの民

え?普通に強くね?菊花賞ワンチャン：

612：ウマ娘ちゃん好きの民

>>609 それは無理 ツインターボがG1で勝てる確率はウマ娘が学生の内に男と出会う確率と同じくらい無い 天地どころか異世界転生でもしない限り不可能

613：ウマ娘ちゃん好きの民

>>612 ほぼ0に等しいってか0%じゃないか 辛辣ウ…でも残念だな 強者から勝利を搔つ攫うところを生で見てもたかったが

621：ウマ娘ちゃん好きの民

まあターボ本人は意気込んでそうだけどね テイオーに勝つって口癖のように言ってるし

641：ウマ娘ちゃん好きの民

あれ？ちよいとおかしくね？普段のターボと様子が違くない？雰囲気とか？

646：ウマ娘ちゃん好きの民

なんか吹っ切れてるよね

653：ウマ娘ちゃん好きの民

およよよよよ？およよよよよよよよよよよ？

663：ウマ娘ちゃん好きの民

あれ？ターボどしたん…偉く大人になったというか…え、最早誰？

673：ウマ娘ちゃん好きの民

初めて重賞勝った時のインタビューなんて緊張しすぎてムーンウォークして入ってきたっていうのに…そっか、成長したんだねターボ

680：ウマ娘ちゃん好きの民

なんか…パソコンの画面が滲んでるんだけど、まさか故障したのか？

685：ウマ娘ちゃん好きの民

>>680 偶然だな 私のパソコンも調子が悪いみたいだ

695：ウマ娘ちゃん好きの民

そっか…ターボももう、一人じゃないんだね

697：ウマ娘ちゃん好きの民

あんなに臆病だったのに…支えてくれる人が見つかってよかったね

707：ウマ娘ちゃん好きの民

ワイも旦那探さなきゃな

713：ウマ娘ちゃん好きの民

>>707 諦めろ

721：ウマ娘ちゃん好きの民

本当に師匠が師匠と化してるんだけど

725：ウマ娘ちゃん好きの民

その師匠に師匠が居るってマ？

736：ウマ娘ちゃん好きの民

ターボ 次走は福島記念か

740：ウマ娘ちゃん好きの民

菊花賞よりも勝利を求めている…というよりはやるべきことをやるって気持ちの方が強いって感じた。これがあのターボ…だと？

744：ウマ娘ちゃん好きの民

一体ターボに何があつたんだ？

751：ウマ娘ちゃん好きの民

あ…

757：ウマ娘ちゃん好きの民

あ…

760：ウマ娘ちゃん好きの民

あ…

771：ウマ娘ちゃん好きの民

あ…

779：ウマ娘ちゃん好きの民

あ…

782：ウマ娘ちゃん好きの民

あ…

785：ウマ娘ちゃん好きの民

あ…

796：ウマ娘ちゃん好きの民

はーこんなんやってられませんわ！グビグビ

798：ウマ娘ちゃん好きの民

あ、あああ…

804：ウマ娘ちゃん好きの民
な、ななななな、なんてことを…

809：ウマ娘ちゃん好きの民
(例のあのの人に) 汚されちゃっ…たあ!

814：ウマ娘ちゃん好きの民
あたしn：何で泣いてんだ

824：ウマ娘ちゃん好きの民
怒りで震えるゾ…

827：ウマ娘ちゃん好きの民
絶対「素晴らしい…実に素晴らしい結果です!」とか言ってるぞ

828：ウマ娘ちゃん好きの民
つい先日やめろオ(建前) ライスウ(シャワー) って反応があった
ばかりだぞ! 正気かよ!

831：ウマ娘ちゃん好きの民
>>828 「や、やっぱりライスが1番強いってことなんだよ!!
応援ありがとお…ふえええこんなの無理だよお!」 ってなんか急に
キヤラ変わったなあ…厨二病かな? っと、皆が不思議そうにしていた
原因が、まさか恋鐘氏の小説が発端だったっていうオチね 正直言っ
て驚愕を通り越して呆れてしまうわ あの二人はどれだけ汚染させ
れば気が済むのやら

833：ウマ娘ちゃん好きの民
やめろオ! (建前) やめろオ… (本音)

836：ウマ娘ちゃん好きの民

予祝！予祝ですわ！

838：ウマ娘ちゃん好きの民

これは、ウマ娘ファンの恩返しですわ　いりませんわ

841：ウマ娘ちゃん好きの民

??? 「何故かトレンドに載りそうだったので」

845：ウマ娘ちゃん好きの民

>>841　偶然だぞ（偶然だと思いたい）

846：ウマ娘ちゃん好きの民

>>841　判断がはやい（仕事しないで）

849：ウマ娘ちゃん好きの民

来週のsprintターズステークスの予想でもするかあ…

Does that make me insane? ↓ Yes.

13：Jane Doe ID：M94Dob5r6

ちよつと！なんで例のあの人の名前が…はあ?!何がどうなってる
のよ全く!!

21: Jane Doe ID: a g A G 6 H r D d

>>13 現在、確認している最中であります!! 暫し待たれよ!!

31: Jane Doe ID: H a 3 V / q M J 9

おいおいおい、おいおいおいおいおいおいおいおい

37: Jane Doe ID: s Y o e l p v N L

まだ慌てるような時間じゃない

42: Jane Doe ID: a W / E 3 3 i j +

あいつらほんま何してるん? 恋鐘はまあ良いとしてあのババア
さあ これ以上騒ぐと本当にジャパンカップに支障が:

51: Jane Doe ID: A T J F k K l f J

>>42 ジャパンカップって誰が来るっけ?

60: Jane Doe ID: d I Z N R i P T W

>>51 ゴールデンフェザント、シャフツベリーアヴェニュー、マ
ジックナイトあたりが公言してたと思う

64: Jane Doe ID: l k d U 5 X N t X

確か来日予定のゴールデンフェザントって:サンデーサイレンス
のどこじゃねえか (絶望) 胃が:胃が痛いンゴ:(吐血)

67: Jane Doe ID: 0 C L d f J y A i

あつ (察し) スーツ (絶命)

70: Jane Doe ID: j g 3 j t l 0 z 8

なんなんですか!?!?!?!?!
!?!?!?!?!

79: Jane Doe ID: M K c 2 Z U I 2 O

よくもズケズケとウマ娘の界限を荒らしてくれる!!ええい!!恥を
知れ、俗物!!

85: Jane Doe ID: Yu6hgF/eo

あの変態が淑女みたいな行動するわけないだろいい加減にしろ

94: Jane Doe ID: kxO13Xuod

カリフォルニアから見ているんだけど何があったの?状況説明
please

96: Jane Doe ID: +6SdLUkep

>>94 例のあの人の名前がインタビューに載った とあるウ
マ娘にアドバイスしていた 君はまだまだ強くなる、と供述↓今日そ
の子がGII勝った

97: Jane Doe ID: kxO13Xuod

>>96 あー:なんだって?私には冗談だと思いたいレスだね

98: Jane Doe ID: +6SdLUkep

>>97 残念ながら本当だ

99: Jane Doe ID: kxO13Xuod

>>98 :oh ロックだねえ

111: Jane Doe ID: Holi+mlt2

ニュージールランドよりケンブリッジから確認した 私も現状、何が
起きたのかわからない:兎に角探ってみるよ

117: Jane Doe ID: 19SDw811s

>>111 頭をド突かれたような気分だよ:こちらロンドンで

確認！私も手伝おうではないかハーツハツハツハ！！

119 : Jane Doe ID : 1986SSh10

>>111 あのクソクズが：ケンタツキーより確認、加勢する

123 : Jane Doe ID : Eg2269934

>>111 同じくニューヨークで確認：私も手伝うわ

126 : Jane Doe ID : 8vFtcvw9J

こんなに騒ぐ必要はないだろ、たかがアドバイスだろ？

127 : Jane Doe ID : NsQ9Lwma

>>126 そのアドバイスを受けた子がバk：天然なんだよ！！

万が一お告げだったらどうすんだ！！他に不吉な事を言っていたら、もしそれが当たったら責任取れんのかアアン？！

128 : Jane Doe ID : 8vFtcvw9J

>>127 …正直すまんかった

146 : Jane Doe ID : 5uOupQQa

(運命に) 抵抗しても無駄だ！三女神様に勝てるわけないだろ！！

157 : Jane Doe ID : cliz5LYp+

>>146 バカ女郎お前あたしは勝つぞお前

167 : Jane Doe ID : zn83u/cRV

お告げがこのタイミングで来るとか、そんな冗談とかで済まされないから：本気で○すから(異端審問会)

170 : Jane Doe ID : xHkOgyiPI

そろそろゴミ箱の中にあの人の為の席でも用意したほうが良いか

しらす

180 : Jane Doe ID : pFR9X65FK

いい加減にしてもらいたいね…もうあの白い部屋から引き摺り出した方が良くないかな

183 : Jane Doe ID : fBsFj4ses

またBossの宣伝みたいに怪文書でもやらかしたのかな…とか思っ
て見に来たら、予想以上に異常事態へと変わっていて芝も生えな
い…マジふざけてる

189 : Jane Doe ID : aeg4!6lBxr

私達の感動を返せよおおおおおおお
!!!!!!!

195 : Jane Doe ID : 82UA3/yAe

おーおー好き勝手やりなさる

201 : Jane Doe ID : WJRojmEBA

これも八百長だろ

207 : Jane Doe ID : RM/ADZwag

万が一、彼女と手を組んだ可能性は？

213 : Jane Doe ID : 0BnnyXTlk

>>207 インセル民よ…マジレスしましょう 彼女達トレ
ナーは中央の人間ですよ？ただの厄介ファンと取引するわけないで
しょう ましてや、あんなクソ女と誰が手を組むかあ!!死んでも嫌だ
ねえ!!帰りなさい!!負け犬どぼ めじろう君!!

219 : Jane Doe ID : slip5bavxo

三女神様に逆らったらどうなるか…君達がよくわかっているはず

でしょう？もうトレセン学園に居る君達はおしまいです…お・し・ま・
い・D e a t h!!

2 2 3 : J a n e D o e I D : 6 T W S Q b c F J

>> 2 1 3 随分と情けないですねえ…あの中央のトレーナーと
もあろう者達が、ただの一般人に良いように利用された挙句、すご
ごと退散ですか？だったらあなた達こそ負け犬だ！このままやら
れっぱなしで終わるつもりですか？

2 2 4 : J a n e D o e I D : 0! B n n y X T I k

>> 2 2 3 うるせえええええええ!!! 1 0 0 0 倍返し出来るものな
らとつくの昔にやつとるわあああああ!!!

2 2 9 : J a n e D o e I D : 6 k e V / 1 8 v G

このご時世に本物の濫吹が見れるとは思わなんだ

2 3 0 : J a n e D o e I D : V P T n L t x w T

>> 2 2 9 その表現から察するに貴様、知識しか友達が居らぬ悲
しきインセル民でござるな？

2 3 5 : J a n e D o e I D : M 4 a f 9 C j a u

>> 2 3 0 その返しが出来ている時点でおまえらは類友なんだ
よ お幸せに

2 4 1 : J a n e D o e I D : 5 0 B r h + B d L

あの人程マフティーが似合う者はいないんじゃないかねえか？正当な預
言者の王ってピッタリやん

2 4 5 : J a n e D o e I D : x j F 3 C f X O N

>> 2 4 1 ??? 『わたしは、現在のU R A 団体に対し、反省を促す
ためにやむを得ず攻撃をした』 あれ、なんだか…

248 : Jane Doe ID : tH7Z8qGZv

>>245 あの人の事だから『これでわかったらどう？私だって神様ではない：人として扱ってほしいな』って言うてるぞ、絶対にそもそも攻撃する対象が違う：どちらかと言うと、今まで食べたパンの数を覚えている側の人間なんで

252 : Jane Doe ID : zSNgH0M10

>>248 当然のことです ウマ娘は可能性の塊であり人類の宝なのですから

254 : Jane Doe ID : MOsddevsM

>>248 初めて契約をした時のことから、トレーニングを積み重ねた時、一緒に夢を語り合った時、頑張ったことが報われた時のことまで、その思い出の結晶が勝利の証へと繋がるってのに、それを奪うだなんて：お前は人間じゃねえ!!って考えた方が楽

257 : Jane Doe ID : Ss4HHeHWw

>>248 『君は君の未来を進め。私にも誰にも、縛られてはいけないよ』とか台詞借りて言いそうだけど、それはそれとして言いたい事は言いまくるって自分勝手すぎる

本物の無敵の人ってああいっただ人のことを指しているんだろうなって毎度騒ぎになる度に思ってしまうよ

264 : Jane Doe ID : KG4au4anA

とりまインタビューの内容から察するに恐らく7月あたりが怪しいかも(相談↓トレーナーとトレーニング↓本番 の流れだから)気になる人は当たってみて

265 : Jane Doe ID : ycTjt1Q6H

>>264 有能

266 : Jane Doe ID : fMX9Luqb p

>>264 ぐう有能

279 : Jane Doe ID : boJexq7Hx

全く：いつまでも世話の焼ける奴だな

282 : Jane Doe ID : 1986SSh1O

>>279 後方彼女面すんじゃないやねえよ阿婆擦れ女が

524 : Jane Doe ID : H+EMQkLEP

んで、とりあえず何人かで検証して確認も取れたって事は、今回の件に関してはお告げでは無かったってことでおけ？

526 : Jane Doe ID : agAG6HrDd

>>524 はい！本当に偶々来た相談に乗っていただけだった、と動画内から確認出来ましたので！

541 : Jane Doe ID : hSdFH+9gZ

まさか本当に本人だったとは誰も思う訳無いじゃん：

548 : Jane Doe ID : IODYTYH8M

アカウントが公式じゃなかったから、本人もネタのまんま答えちゃってたのね：：道理で私達が見逃すわけだよ：

555 : Jane Doe ID : h3W3uj05w

>>548 まあ…それで勝っているんなら良いんじゃない？
やっぱりどんな天才よりも天然が1番恐ろしいわ…

565 : Jane Doe ID : EW5DhSsI4
流石ツインターボ師匠…私達やどぼめじろうの先を常に行く先頭
民族め…

574 : Jane Doe ID : 7fQOKMbTS
放送の内容もいつもより健全だったし、色々な意味でセーフだな

584 : Jane Doe ID : LiJML9HO
>>574 ターボ師匠やっぱ凄えや…運良すぎやろあれ…

591 : Jane Doe ID : /iafDTpcd
>>574 まるでいつもの放送が健全じゃないって言い方だが
？

593 : Jane Doe ID : wcEbIcE+L
>>591 だってあれ運営の忬度で…

596 : Jane Doe ID : j69InlNd m
>>593 それ以上はいけない

607 : Jane Doe ID : OlWnMd3+n
見えてないからセーフ

609 : Jane Doe ID : RNghEaf4P
>>607 見えてないからエツチなのでは？

622 : Jane Doe ID : PjmRuKLxc
どぼめじろう自体が変態だからね仕方ないね

628 : Jane Doe ID : bJUmIuot+

>>622 変態だと感じてしまう我々が変態なのでは？

629 : Jane Doe ID : UKM2tccg

そもそもエロスって何？

630 : Jane Doe ID : 4wbMCcJ21

この惑星の住人は、時折奇天烈な行動に思考を巡らせたりすることがある：

631 : Jane Doe ID : CghHFAJ3e

淑女は普段、多くを語らない だが、時に溢れんばかりの感情を形として残すことがある それがエロスだ

632 : Jane Doe ID : Mr198C47b

まさにせいしをかけた戦いである 御後がよろしいようで…

634 : Jane Doe ID : Eg2269934

私は長年、ここで多くを学んだ。この住民はよく騒ぎ立て、私の記憶に根を深く延ばしている。けれども、彼女ほど私の記憶に深く足跡を残したものはいない。彼女が経験した尊厳破壊も、その矛先が意図しない方向へと伸びていったことも…全てが卑猥だと感じてしまったからだ。

このふとした描写からエロスを見出して、それを一人で楽しむからこそ最高に淫靡なんだろうが…やれやれ。

635 : Jane Doe ID : 1986SSh10

>>634 文豪っぽくやるなら真面目かつ本気でやれ

636 : Jane Doe ID : Eg2269934

>>635 「君たちはそうやってすぐに結論に急いでしまう」悪い癖だよ、と彼女はB O s sのコラボ缶コーヒーを片手に、話を切り出した。

「そうした考えは損だよ」

「損？内から込み上げてくる愛、すなわち人間のありとあらゆる欲は全て子孫を残そうとする生物的本能が直結しているんだ。それらが愛だ。つまりはエロスだ。それらに損得勘定の類があるなんて思いたくないのが人間なんだよ。ダヴィンチの絵画やミケランジェロの彫刻、ブグローやシーレ、ピカソに至るありとあらゆる芸術作品を見た時、言葉を忘れてしまうような感覚に陥る時がある。愛とは盲目的で、同時に優生的なんだ」

「違う、そうじゃないんだ。エロスの本質の話じゃない」

「本質でないなら何だって言うんだ」

頭を振りながら否定する彼女は、さながら出来の悪い担当バを見つめるようだった。傲慢だった為に引退していったトレーナーを思い出した。

「エロスは共有すれば味が薄れる」

「味？」聞いたこともない表現の仕方だった。

「そうさ、エロスはエロスでも内に隠って一人で発散するからこそエロスとしての鮮度が保てる。寮内で隠れながら妄想に耽ったりすること、それこそが真のエロだ。」

エロスとはまた別の領域へと足を踏み伸ばす者は、それを一粒の麦のように大事に抱え込むようにして死なないように維持し続けるだろう。

自分の命を愛するものはそれを失うが、この世で自分の命を憎むものはそれを保って永遠の命に至るって訳さ。

何かが起きるたびに殊更に騒ぎ立てることは、何処か生きること必死すぎて虚しく感じられてしまうものだよ」

私は苦笑した。

>>636 だからって村上瑞樹みたいなレスを残す奴がいるか

639:Jane Doe ID:KSRIJ8sGF
>>636 N.Y.ネキは仕事を選んで

640:Jane Doe ID: 1986SSh1O
>>636 キャツキャツ

650:Jane Doe ID:NetR7ozM4
人間、失格だな(太宰)

687:Jane Doe ID:k+gLXnBzA
実際このスレにいる人達はクレイジーサイコレズのこと、どう感じているの？

699:Jane Doe ID:idqvT/4IK
>>687 人類最大の汚点

702:Jane Doe ID:kieVPOB0e
>>687 おやおや気になっているようですね…

703:Jane Doe ID:H7w329htk
>>687 クズ

704:Jane Doe ID:GAiMrA0CU
>>687 ゴミクズ

705:Jane Doe ID:lM+udmIAu
>>687 外道

706:Jane Doe ID:T5139691k

>>687 全ウマ娘の敵

707:Jane Doe ID:Y51k15891

>>687 一足先の悪意に平気で行く女

708:Jane Doe ID:H92ly6791

>>687 核爆弾のスイッチを押しても何とも思わないクソ

709:Jane Doe ID:bt5119591

>>687 身体の至るところからナイフが出てきそう

710:Jane Doe ID:721KO8691

>>687 ウマ娘の髪の毛で醤油を作って食べてそう

711:Jane Doe ID:723Ik9791

>>687 我儘な：あとプライドが高い人間じゃないっすかね
逆に可愛いっすけどね、逆にね

713:Jane Doe ID:68914587C

>>711 恋人にしたいですか？

716:Jane Doe ID:723Ik9791

>>713 いやあ、キツいつす(即答)振り回されっぱなしになると思いますよ 手のひらで転がされるというか：並の人じゃない
と思ってるんで トレーナー試験でね：良い結果が出せると良い
ね、とは思ってるっす

740:Jane Doe ID:g8lmgE5p

女の子は女の子同士で、ウマ娘はウマ娘同士で恋愛すべきだと思う
の

746 : Jane Doe ID : 6DXWkVBDc

>>740 神聖ローマ帝国みたいに嘘つくじゃん…本音は？

754 : Jane Doe ID : g81mngE5p

>>746 んなもん男が欲しいに決まってるだろ、バカテメエぶっ飛ばすぞこの女郎

ホントクソなレスだよな

お前死んだ方がいいよ

インセルの掲示板に居る時点で男を求めているって事が見てわからない？

お前クソ？

そもそもふつうに男が好きだから出会い系サイトやら婚活サイトやらに買い込むようにして自己アピールしているってのにクソの役にも立たねえじゃん

それを自虐ネタとして昇華してみんなで慰めあっているところに急に現れて本音語れって言うてくるお前みたいなやつらに邪智されたくないね

私は未だに男を求めてんだよ

それは私がこの世に生まれたからに他ならない

それを良薬口に苦し的な文脈で知識に任せて現実を見たほうが健康的ですよって上からマウント取ってくるバカ！もうすごいバカ！ありえないくらいバカ！信じられないくらいバカ！許せないくらいバカ！

クソレス送ってくんじやねえよボケ

二度と来るな

762 : Jane Doe ID : DQie5HiT8

どいつもこいつも狂いすぎ

764 : Jane Doe ID : ErRlr tHtM

現実がそもそも汚いものに蓋をしているような世界だもん、そこか

ら逃避したい時に流行るのは総じて救いしか無かったってだけ

775 : Jane Doe ID : GYGLDOP L

復讐をしてもしなくても大切なものは帰ってこないの、復讐した方がスッキリするんじゃないかな？

778 : Jane Doe ID : lf9qCqKOh

>>775 つまりオスが悪い(適当)

779 : Jane Doe ID : KBqca / D + y

>>778 過激派は消えろ

783 : Jane Doe ID : / NoQnGYvG

現実世界でんなクレイジーな人はそもそも求めてないんだよあ
のサトノ家の令嬢が良い例だぜホント狂っ t

785 : Jane Doe ID : JsXlRhblm

>>783 余計なこと書くから…

795 : Jane Doe ID : epyOLLVvy

時計仕掛けの的中率

14度目の派閥戦争

世紀末も出会い無し

画面の中の暗殺者

年齢のカウントダウン

美浦寮の亡霊

迷宮の十連出走

魅惑の奇術師

恋愛戦上での陰謀

独り身の鎮魂歌

男の棺

戦慄の配信
婚活の敗北者
黄金難破船
沈黙のメッセージ欄
11人目の犠牲者
絶許の探偵
異次元の課金額
業火の結婚届
初恋の悪夢
空回りの恋歌
性義の執行人
未婚の拳
正論の弾丸
空想の花婿
これがワイらの今までの人生や

802: Jane Doe ID: uVMM9fZki
>>792 なんだろう。。

806: Jane Doe ID: llU+cxo46
>>792 泣きたくなりますよ人生く

809: Jane Doe ID: NZijRdECj
>>792 マジギレしそう

810: Jane Doe ID: ZEPQ+WENZ
>>792 そらあんな人が出てくるわ

811: Jane Doe ID: BjkOVBE mQ
>>792 でもまだ治安良い方だし…

813 : Jane Doe ID : V6B9x3gL
F
>>792 これでもまだマシ定期

814 : Jane Doe ID : sHEd8idfY
>>810 あれほど日本人を怒らすなど言ったのに、刺激するからこうなるんだよ

816 : Jane Doe ID : dfJhZ7nL3
>>814 パスタを奪われたイタリア人より、ポルノを奪われた日本人の方が怖いからね 似たようなものさ

818 : Jane Doe ID : o85YC9qOU
>>816 温厚になるために発散するんですね、わかります

826 : Jane Doe ID : rOMaR+Vk3
>>816 何でもかんでも二次元にして楽しめば良い訳じゃないから

827 : Jane Doe ID : tNcx5IFFM
海g : 海外の女性に比べて日本の一部の人はですねえ :

835 : Jane Doe ID : 3ZrZabL/k
クソレズと同じ酸素なんて吸えませんかよ (窒息)

841 : Jane Doe ID : bMrJ38HL7
選択肢は凍結か、炎上かだ

844 : Jane Doe ID : ct2moxFwn
>>841 全世界にエチ絵をあげるンゴ！ウマ娘に勝利を与えるンゴ！これで許して欲しいンゴ！

849 : Jane Doe ID : aHGL0Dhvn
>>844 アヘン戦争より絵面が酷い

855 : Jane Doe ID : UiBURuGTh
にしても、何であいつこのスレには来ないんだ？同じ穴のムジナだろ？

856 : Jane Doe ID : 6E5+PUO4V
>>855 普通に殺されるわ 特にウマ娘関係者に

857 : Jane Doe ID : Gr at g x 7 k u
>>855 お前ここは初めてか？力抜けよ

862 : Jane Doe ID : tDWSOR5J5
>>855 普通に考えたらわかるけどここには飢えた猛獣達しかいない それは確かにあのクソと共通点なんだけど：彼女の場合はその対象がウマ娘だから、わざわざインセルの掲示板に来る必要が無いのよ

つてか来る暇が無いらしいよ？ありとあらゆる時間を制作と配信とレースに置いていくからエゴサなんて出来ないんだってさ んで：ここなら荒れても問題はないと皆が判断して今に至るってわけ

867 : Jane Doe ID : EqRaJom9T
>>855 あのババアがここへ来ないとか今更すぎwwwエア
プ乙www

869 : Jane Doe ID : jWBZUQjWp
怖がっているのは：君達なんじゃないのか？君達こそ名前を言つてはいけないあの人を恐れているんだ

871 : Jane Doe ID : T5139691k

>>869 勿論です プロですから

874:Jane Doe ID:nimtirDjz
ネット情勢ハ複雑怪奇ナリ

880:Jane Doe ID:89fNU242n
とりまあのクソボケが痛い目を見るならそれで良い

895:Jane Doe ID:iuP/t6rri
ああ、そういえばあのクソ女郎…暫くネットには顔を出さないと
思
う
ぜ
?

900:Jane Doe ID:bYiSsbQJD
次のスレ建てたわ

https://:/:/

901:Jane Doe ID:WSTHeL7Ua
乙乙

906:Jane Doe ID:aW5gsu3sA
>>895 なんで?

909:Jane Doe ID:iuP/t6rri
>>906 ウマッターで絶頂してた アドバイスした事とか忘
れているくらい絶叫してた

929:Jane Doe ID:aW5gsu3sA
>>909 ああ…いつも通りだね

933:Jane Doe ID:K5V4lhM3C
ほんまもう許して…なんでもするから もう搔き回すのはやめて

ください…

940 : Jane Doe ID : 2bKsfU sch

>>933 彼女をどうかURAに入れてあげてください

945 : Jane Doe ID : K5V4lhm3C

>>940 世界平和の方が簡単なので謹んでお断りさせていただきます

641 : Jane Doe ID : DxJNYHmg0

8月のマツチヨを沢山描いていた配信と、最新の動画の予言について、解説班より通知が来たからここに載せて置くぞ

・スプリンターズS、ケイエスマイラクル1着ダイイチルビー2着ヤマインゼファア3着↓ケイエスマイラクル調子良すぎ&走り過ぎ問題&虚弱体質が原因でマイルCSに出走した場合掲示板入り後故障発生可能性大

・レース前日付近又は本番にて、雨が降ったら秋の天皇賞メジロマツクイーン降着…というかあのスタート位置ほんまクソ カミノクレッセなど多くのウマ娘に対し甚大な被害が見舞われると想定

真の愛にハッピーエンドはない。なぜなら真の愛に
終わりはないからだ。

一方その頃、というやつである。

一言で表すならば…

「世界は今日も彼に味方した」

が、正しい表現となるのだろうか。

例のツイントーボの事件から約3週間が過ぎたある日の事である。
あの男は久しぶりに生配信を行っていた。いつも通りの、所謂あり
きたりな絵描き配信だ。

しかしながら、普段の様子で配信を行っていたわけではなかった。
内容自体は過激ではあったのだが、とりわけ目立ってしまったであろう
例の予言やリクエストに答えるような放送ではない。

では、どういうことで強烈な配信と化したのだろうか。この一文か
ら、どれだけの異常さが繰り広げられているのか、と気付く者が果た
して居るのだろうか。答えは否である。

誰もが困惑していた。誰もが正気の沙汰とは思えない、と呆れてい
た。世界中の人々が、この男の正体に気付いてしまったのだ。

一種の炎上商法だったのではないか？やはり愛が深かった人だったとしても、ちゃんとした常識があつた上でやっていた事ではないのか？…といった憶測めいた願望は無に帰した。

幾ら人間の脳がある程度観察に特化し、1000億個ものニューロンと100兆ものシナプスが活動して計算し支えているとはいえ、どうしても過去の性質に拘ってしまう事や面倒な時に怠けてしまう認識を持っている以上、前例のないことについては頭がフリーズしてしまうのも無理はないのである。

何？理論が滅茶苦茶だと？安心したまへ、その状態が今、正に起きてしまっているのだから、こう表現してしまうだけの事だ。理系の皆々様、最先端で研究をなさっている方々へお詫び申し上げよう…どうか、自身の語彙力と怠惰にお許しとお情けを頂きたい。原理がそもそも違うとか、比較対象にすらなつてないよ…と言つたご指摘は勘弁してもらいたい。

さて、そんなどうでもいい話は捨てて内容に振り返つてみるとしよう。

もう一度述べるが、そうした望みは一切絶たれてしまったのだ。

男は男で、幸運に恵まれていることすら忘れたまま、未だにあのインタビュに執着しツイスターボの台詞を聞いている始末。これにはゲーム含めたアプリ、アニメ等の作られた音声ではなく、生身の声というのも要因として大きく、より枷となつたのである。

こうして互いが究極の真理へと辿り着くには、時間の問題となつてしまった。

月は、宇宙の中心ではない地球を廻る。だが、地球を含めた多数の惑星は太陽を中心に回転する物体の一つでしか無く、また太陽も無数の星の一つにすぎない。そして、宇宙を旅する全ての生物は、数学で

へえええええへへええええへへええええあうううう……ありがとう……ありがとう……かあ。ムフフ……ありがとう……ありがとう……なんて素晴らしいんだ……ターボしゆきい……これは正しくマーベラスですわあ……ほわあ」

・お前それ10時間ぶっ続けで聞いているこちら側の身にもなれよ
・ずっと笑い続けてるの怖いんだけど

・ああ……壊れちゃったあ……

・これでどぼめじろうが何者なのか、漸くわかっただろうバカ共が
・変態だ！度し難い変態がいる！

・何この人可愛い……

・オカシナヤツ

・ワラツチャウヨネ

・ダレモトメラレナイ

・こりやドエライナイ

・何回ウチらがブラウザバックしたと思ってるねん

・なんで筆も止まらないわけ？

・あう……あううう……

・マーベラアアス??

・可愛い……可愛いよ、愛しのどぼめじろう……

・いよいよ狂信者にまで幻覚が……

・あうあう

・これはもう手遅れかもしれせん！

・主治医!!主治医を呼んできてくださいまし!!

・一周回って可愛い

・酔っ払った絵描きとかゴツホかよ　もしくは雪舟か？

・始まった当初よりかは収まってきたから良かった

・おおつと！画面外から来た来た怖い配信者どぼめじろう！画面外から来たのはどぼめじろうか！どぼめじろうが一気に突き抜けた！噂に違わぬ変態であります！

・よりにもよってあのオグリが勝ったペガサステークス……現アーリントンカップの実況を改変するとは……やはりリスナーの倫理観も

皆無だな

・正直ネタで済まされないレベルでオグリキャップみたいに震えが止まらないんだが

・それ恐怖から来る身震いだからね？武者震いと勘違いすな

・どぼめじろうはツインビーを見習え サポーターとして大事な要素を彼女から学ぶんだ ジャナイト手遅れになる

・→もう手遅れだから諦めろ

・なんやかんや言いながらおまいら必死になって見てるの 一周回ってあつたけえなあ…

・放送開始直後から計5000回はありがとうって言ってるぞ

・狂っている暇があるなら手を動かせgmがよ

・手は動いているんだよなあ、手は

・お前らもgmなんだから人のこと言えないおー^^

・誇張してなさそうなのがリアルすぎて引くわ…

・ターボ師匠のセリフ聞きすぎて死にかけてたってマ？

・あのさあ、おまいらもおまいらでこんなネットの隅っこで傍観して陰口言ってる時点でどうも思わないの？恥ずかしくない？

・今日は放送の内容自体もさることながらコメント欄も一段と酷いな 涙出てきた

・割と真面目な話、気が付いたら1日経ってたってさ 飯作ること
も寝ることも忘れてずっと聞いていたらしいよ

・何それ本当にキモい

・A r r r r

・ただただ怖いんだけど

・あげません発動しろよ!!なんで脳逝きさせちゃうのさあ!!

動画開始の合図と共に、これが半永久的に持続されてしまうともなれば…話は変わってくる。

皆が皆、この状況に慣れてしまっっては手の施しようは無い。

正に、ウマ娘の耳に念仏とはこの事なのだろうか？

もしくは誤用の意味での天上天下唯我独尊か。

己の快不快のみが生きる指針な感覚だけが残った男にとって、今はただただ、この瞬間が心地が良かったのだ。ウマ娘達にとっては悪い状況ではあるが…それは些細な事だ。それ程までに、彼にとっては劇薬であった。

そしてこの現状そのものが、彼女達にとって決定的な瞬間となってしまった。

より詳しく説明すると、どぼめじろうは本当にどうしようもない人なのだという認識を植え付けてしまった、といった定義のようなものである。だからといって、それだけで視聴者が素直に離れていくとはならなかった。

何故ならば、彼ら彼女らの需要と供給が常に平等に分配されてしまう限り、この公式が覆ることはあり得ない為である。

要するに、なんだかんだ言っても皆、それなりに楽しんでいるのだ。でなければ、長時間配信に釘付けになるだなんて状態が維持されるわけがない。

再度書いてしまう事だが、これらは同時に永久機関が完成した瞬間でもあったのだ。ノーベル賞受賞待ったなしである。

さて、これらを語る前に前提として押さえなければならぬ事項が存在する事をご存知だろうか？

そう…何故ツイインターボがどぼめじろうに対してもお礼を述べたのか、その真相についてである。

ツイインターボ…彼女が一度走ればスタンドからは笑いが沸き起こり、向こう正面に達する頃には地鳴りのような歓声が変わる。そし

て、レースが決する頃にはターボには触れる事なく眼中に入らなくなり忘れ去られてしまう…そんな魂が、どのようにして彼に導かれたのか…。

結論から述べよう。答えは実に単純なものである。

何故ならツイ^師インター^匠ボだからだ。何？答えになっていない？いやいや、これこそが本質そのものなのだ。

きっかけそのものは大したことではない。しかしながら、彼女達特有の奇妙な縁によって出来たものであるが為に、これらを阻む事は不可能であった。

それは果たして何なのか？

賢さトレーニングである。

それも、学園生活特有の交流関係の広さと深さによって、史実とはまた違ったやりとりが行われてしまった事が原因となっていた。

「1着になる！」

「バクシンですね！」

「2着にならない！」

「なるほどバクシンですね！」

「レースに出ない！」

「どぼめじろうのようにですね！」

「あと大逃げする！」

「やはりバクシンですね！」

「ん？どぼめじろうってなんだ？」

「私のトレーナーさんの親友でもありライバルでもあり最早家族同然でもあるD・トオリが注目している人物の名前です！何でも逃げの天才だとか！やはりバクシンは全てを解決する、という事です！バクシンバクシン!!」

「なるほどお!!ってことは、もっと逃げれば良いって事なのか？」

「わかりません!!直接本人に聞いてみた方が手っ取り早いのでは無いのでしょうか？ウマチューブによく現れるそうですよ!!」

「…そっか、そうだよな。よおおし!!ターボ、聞いてくる!!」

「学級委員長であるこの私に!!解決出来ない悩みなどありません!!困った事があればいつでもご相談しに来て下さい!!では!!バクシンバクシンバクシイイイイイン!!」

…と、たったこれだけのとんでも会話全ての始まりである。

エビデンス、出典の確認には常に警戒し批判的に見ること、とりわけ反証性があるのかどうかなど、細心の注意を払わなければならない。

だが、そんな事は彼女、ツインターボ芸人には関係無い。

これが一連の珍事件の真相である。要するにバク：天然な2人によって生じたものだった。それも究極的にダメな方での勘違いによつて、さらに悪化。しかも悩み事が嘘偽りでないのも重なつて攻撃力は倍増され、あれよあれよと導かれる始末。まるで宗教の勧誘から誘われ、あれよあれよと穴へ落ちるねずみ構のように……。

担当が気が付いた時には、もう遅かった。

複雑な事に、ツインターボを担当しているトレーナーは、どぼめじろうの性質を体感していた勢の1人であった。それもあつてか：彼女は恐ろしさの余り三日三晩眠れなかつたというが、真相は謎のままである。(Q. 担当している子が勝てません：どうしたらいいのでしょうか？ A. 兎に角逃げなさい。逃げは全てを解決します：あなたに幸あれ。↓結果は言わずもがな)

事実や真実は時として残酷だ。原因の全てを解明すれば、それには痛みを伴う事も時としてあるだろう。

これらは注意深くゆつくりと進行していくものであり、私たちは俯瞰した上で観察しなければならぬし、怠つてはいけぬのだ。

さて、それらを踏まえた上で冒頭へと戻つてみよう。

「師匠の……生の声だあ……うへへえ……最高だあ……なんだこれえ……なにこれしゅごいのおお……こんなにも気持ちが良い言葉だったんだあ……ありがとうつて素晴らしいんだね。良い響きだね……生まれてきて初めて言われた言葉だよ。キャツ♡初めてが奪われちゃった。この薬で私はまだまだ生きていけるわ……ふう。なんだつたらこれをオカズに

してご飯を食べるのもまた至高の一品にい…………クチャア」

・生とか言うな

・初めてって言い方がキショイ

・うつつつつつつわキツツツツツツツツモ!!

・うつつつつつつわきつつつつつしよ!!

・本当にやめて

・しつとりとしていてベタついてる しかもすつきりしない

・何がキヤツ♡だよ!

・やっぱりゴルシよりイカれてるんじゃないか?

・ゴルシに失礼だからそれ

・キモいキモいマジで無理!!本当にキモい!!無理無理無理無理無

理い!!

・悍ましいからマジで消えてくれない?

・ターボに狙いを定めるなよ ガチじゃんお前

・まさかとは思いますが:

・カナリキケン

・コワイコワイ

・コワイモノシラズ

・犯罪ですよ犯罪

・合法の言動でここまで狂うとかあり得ないだろ普通

・うおおおおええええええええええええ!!

・ごめん本当に吐いた

・うまびよい警察が黙ってないぞこれ

・お前、意図的にワインに汚物を混ぜそうだよな

・薬つてか最早薬物常習犯で芝生えない

・師匠を汚すな

・お前がターボ師匠の師匠とか死んでも認めたくない

・鳥肌が:鳥肌が:

・こいつ:ウマ娘の声で開発されてやがる

・この層のせいで、中央に所属している子達が走らなくなるかもしれない

とうつて言ってくれても良いんだよ？サアドウゾ！ささっ！どうぞどうぞ！」

・うわでた

・でたわね

・ダメだ、全く聞いちやいねえ

・（一）↑こんなもの被ってないですよね？

・顔にピエロみたいなメイクしてないよな？

・自分の命を犠牲にしたらこうなるんだね 身を持って知ったよ

・一言一句全てがキモいんだよこいつ

・どんな生き物なんだよお前

・信じられぬものを見た

・頼むから本当に死んでくれ

・LGBTQに配慮した結果がこれか

・多様性なんて求めるからこうなる

・多様性の虹が見える見える…許すなそんなもの！真実はいつもひ

とつなんだよ！

・→どしたん、悩み聞こうか？

・本性表したね

それでも、生きていれば何か良いことはあるものだ。彼にとつても、それは例外では無い。当然ウマ娘側にも同等の権利がある。

「あ、そうそうそうだった。秋の天皇賞後に、なんとびつくり！メジロマックイーンからDMが届いたんだよね！内容は…えつと？あなたを詐欺罪と名誉毀損の罪で訴えます？…なあにこれえ」

・やっとそれが付いたんだ

・いや、遅っ

・今更？

・は？

・マ？

・チョットマテ

- ・ アリエナイ
- ・ 普通に芝生えた
- ・ 巫山戯ろ
- ・ ……ハア
- ・ 本当にお前さあ…
- ・ あのさあ…

秋の天皇賞：その序盤において、外の方を走っていたメジロマツクイーンは雨のぬかるみによつて横滑りしてしまい斜行が発生、審議の結果、1着から4着への降着処分が下されていた。

幸いにして、大きな事故にはならなかったものの、その影響によつて未然に起きるかのようにして避けていた1着プレクラスニー、2着のカミノクレツセラは、代償としてスタートが出遅れたりするなどの、別の問題が発生してしまった。

これは所謂彼を訴える上での条件をクリアした、ということに当て嵌まるのである。

「で、これ偽物？ウソデシヨ？」

- ・ なんてそこ疑うんだよ
- ・ さっきまでのテンションはどうした
- ・ 本物だからねそれ
- ・ あ、それ本物です
- ・ 《メジロマツクイーン》嘘付いてどうするんですの…私がウソツキに見えますか？
- ・ 本人からやぞ
- ・ 優しいなあマツクイーンは
- ・ マツクイーンって良い娘なんだな 少し誤解してたわ
- ・ この配信では好感度高めな印象やで

しかしながら、その幸運の頻度と質の違いを彼女が正確に認識しているわけでは無い。

そして彼もまた自覚する事もない。本人が居るともなれば、尚更バグるのは当然である。

「…いやいや、よく出来た垢から悪戯で来たんじゃないの？私無視されまくっていたんだけど…かれこれ半年以上ブロックされていたし」

- ・ 当たり前だわ
- ・ 普通無視するよ

- ・ 真面目に書くと本当に本物ですよ

- ・ 本人居るやん

- ・ 本人居ただけど

- ・ ホンマカイナ

- ・ つてか名誉毀損つてウケるwww

- ・ 《メジロマックイーン》書きましたわ 責任として土下座して詫び

てくださいまし

- ・ 本当に居るんかい

- ・ 本物やんけ

- ・ アラミテタノネ

・ マックイーンさんはじめまして！いつもどぼめじろうがお世話になつてます！

- ・ イエーイ マックちゃん見てるー？…

- ・ 最強と最凶のコラボやん

だが、彼も早々にやられる訳ではない。

「あー、マックちゃん…オヒサシブリです。ねえ…本当に土下座しないとダメ？つてか練習は？中3週でジャパンカップに挑むんでしょ？もうすぐ開催されますけど。ゴールデンフェザントの末脚、凄まじく凄いですわよ？」

- ・ 賠償金支払うよりはマシでしょ

- ・ 流石にもうメジロ家には慣れたね

・メジロ家に慣れるとか天地ひっくり返るわ
・やっと普通に会話が成立したか
・キモい やかましい 独善的 事きれてる 性格終わってる 5
Gという名の粗大ゴミ

・最先端だね 次世代だね 人類初の快拳だね
・凄まじく凄いかいいうパワーワード
・寛容すぎるっぴ

・まあ、正直メジロ家からしたら金なんていらなからな
・《メジロマックイーン》なんであなたが心配するんですか：寧ろあなたの頭の方が私は心配です

・とはいえ、よ？万が一事故ってたら：もしかしたらメジロ家の方に損害賠償が求められていたかもしれないし？ま、多少はね

・ある意味両方痛み分けて事で
・いや普通にその前提オカシイから

・どぼめじろうに100%非があるのに許されているこの状況には
芝4023

そう：早々にやられる訳では無い、という事はつまりそういう事である。

「お覚悟…の上なんですよね？」

・覚悟って何の覚悟だよ

・お前の覚悟が足りているのかって話じゃないの？

・いや覚悟するのどぼ先生の方だから

・どぼめじろうに先生とか付けるな メガドボ先生が可哀想だろ

・この日 みんな心の何処かで思い描いていた どぼめじろうが負ける姿を 突如として現れた怪物が 中央の猛者を蹴散らした罪で 現役最強のメジロマックイーンを犠牲にして最凶を打ち破れる
なんとなく そう思い描いていた

・え、何？マジで意味がわかんない

・あなた覚悟してきている人ですよってこと？

- ・ →ってかどぼめじろうは負けてこうなっているんだけど…
- ・ ん？んん？
- ・ やけくそまみれで清々しい気分にもなっているんか？
- ・ オレニホレルナヨってこと？
- ・ イヤダイヤダ

かつて抱いていた夢、真実の愛…それらは決して嘘偽りではない。あの日、あの時、何度も挑んでは敗北した苦い思い出は、彼にとつては価値が否定された事に等しかった。この絶望感途轍もなく重くのしかかってきて、思い出す度に襲いかかってくる。

知識不足、実力不足であるならば納得はするだろう。だが、前世を含めたこの道のりはとても険しく、そして長かった。おまけに最後に見せた追い上げは風か光か、まるで稲妻のようにトップスピードで加速していたのだ。

こうなれば反動はより大きくなってしまふ…と書いた事を思い出してほしい。

彼女達に出来て彼に出来ない事は無い。無論、その勢いは良い意味でも悪い意味でも衰える事も無い。

科学は全てを解決する…と言わんばかりに、男は愛によって目覚めているのだ。

連絡を受けた際の彼の記憶は曖昧だった。

覚悟はあった。それでも認めたくは無かった。実際にはあべこべという明確な理由があるが、そんなことは彼にはどうでもよかった。正しく認知する感覚は無く、腕は痺れ、肺は呼吸困難によつて今に

も破れそうだった。これが「限界」だと…そう思っていた。

ここまでなのか、と彼が躓き苦しんだ時、その瞬間は突如として訪れる。

誰と組んでも戦えるくらい強くなつて…絶対にトレーナーになつてやる！という信念が、自らの限界の先の先を超えて可能にしたそれは、所謂超集中状態を指す。一度そこに足を踏み入れれば、感覚は研ぎ澄まされるどころか、普段とは比べものにならない程に圧倒的なパフォーマンスを発揮できるという未知の何か。

【領域^{ソーン}】

身体の芯から滾る躍動感は、文字通り言葉に表せられない代物だ。まるで世界に1人しか居ないような一瞬の煌めきは、時代を作る存在にのみ与えられる。

男は男自身を証明すべく、全てを懸けて無理矢理開花させていた…それも無意識に。

故に代償として…彼は制御不可能の限界オタクと成り果て、暴走する。

加えて、ツイーターボの一件にメジロマックイーン本人のご登場ともあれば…勘のいい読者の人は察してしまうだろう。

その証拠に、彼が所持するスキルも同時に解放されていたのだ。

彼はこんな縛りに収まらない。逃げて尚差すあの快速馬のように、速さは自由か孤独か…その景色は誰にも味わえないような、正に「とまれなくいい!!」状態となつてしまった。ならば、止まることは疎か、止め方がわからないのは当たり前である。全力疾走で走る馬のように、加減を知らないまま愛に飢えてしまつては諦める他ない。

この時、目に焼き付けた勇姿を、胸が震えるほどの感動を、彼女達

は忘れることはないだろう。英雄は彼の心の中で走り続けている。

春：彼もまた、名も無き一人に過ぎなかった。静かに闘志を滾らせ、その時を待つ。

眩い夏の煌めきのように、若さ故の無鉄砲さは、その時だけ放つ輝きがある。弾けるように大地を蹴り上げ、彼は未知なる感情を知っていく。

この瞬間から、HEROは生まれるかもしれない。そして証明して魅せた。自分こそが新たな英雄なのだ。

常識を嘲笑い、震撼させた変態。

影をも踏ませなかった孤高の変態。

圧巻のスピードで全てをねじ伏せた電撃の変態。

負けても、負けても愛された変態。

切ないほどひたむきな想いで、時代を変えた変態。

最強、至高、究極、そんな言葉さえ置き去りにする衝撃の変態。

ライバルを、血統を、期待を、常識を、己自身を。

さあ、越えて行け。

未来を作れ。

その名を刻め。

例え眼前に高き山々が聳えようと、断つのはその頂のみ。

不撓不屈は顕在する。

刮目せよ。

『どぼめじろう』

闘魂注入

頭トぶ』

『逆襲の末脚』『かかり癖』『ベースアップ』『ベースキープ』『ノンストツ
プボーイ』『奇跡に最も近い男』『大レース』』『HERO IS C
OMING』『一着至上主義 DEEP IMPACT』『アイヲトド
ケマス』『ヒットマン』『歓喜の大作進』『一念通天悲願の為に』『Ac
robat4』『決死の覚悟』『アナタニロックオン』『ウマ娘キラー』
『愚者は己の道を往く』『永遠へ続け黄金の意志』『その魂の運命 血の
宿命』『轟け我が名が如く』『今こそ天地開闢の時』『狂王杯の思い出』
『心頭滅却煩惱退散童帝F修行の旅路』『全身全霊』『遊びはおしまい』
『凶暴狂風強襲の乱』『鬼支配 仏の褒め言葉』『神の御加護』etc
etc…

彼もまた、紛れもない『怪物』だ。

文字通り、極めて異常な化け物だ。

最後の壁である理性が消えれば、黒い衝動に耐えられる筈も無い。

ましてや、本能に逆らうことなど不可能なのだ。

論理的に成立しているのか、だなんて基準は通用しない。

よって彼は、破壊の限りを尽くしていた。

「そういうプレイだつて受け止めていいの？責任、取ってくれるの？まさかマツクちゃんと、いや…これはまさか、私もついにメジロ家の仲間入り!!かゝつ!!もしかして、もしかするとお!!私を独り占めしたいつて意味で求婚とかですかねえ!!」

・お前が責任取る側なの!!

・お前モテねえだろ？ 勝手に人の気持ちをつかた気になるなよ

・ナーバスタマちゃんみたくなっちゃった…

・どぼめじろう 治す 方法一検索 404 not found

・ギャクダカラ

・確かにカミノクレツセ達の怪我を防げたのは良かったよ でも

さあ…どぼネキによる損失の方が大きすぎるんだよ

・やっぱこいつインセルだろ

・ソナナバカナ

・あかん、これじゃご褒美になつてまうて

・《メジロマツクイーン》画面越しに、という意味ですわ!!何故いつ

もこうなるんです?!

・あれ?これつてタイムシフト?

・《↑monad》なッツでそうなるっ!?

・覚悟つてそつちいいいい!?

・モナドネキ!?

・モナドネキちつすちつすうゝ

・あ、モナドネキだ

・ツツコミが上手そうなのに下手くそなモナドネキ!!

・ロジカルじゃないと堪らずツツコむの芝

・自作曲だけ上げていたスタイルをこの変態のせいで崩壊してし

まったにも関わらず、未だに絡んでくれる謎にストイックなトラックメイカーネキじゃないか

・何でモナドネキがこんなところに居るん？ウケるんですけどww
w

・また被害者がゾロゾロと…

誰にも捕らえられない。彼と彼女達の距離が縮まる事はない。

「詐欺罪でしょ？名誉毀損罪でしょ？何なら侮辱罪もセツトに入るよね！って事は、それ相応の罰でなければ意味が無いって私は思うんだ！だからさ、誠心誠意謝るにはネットの中じゃなくて現実で行動しないといけないんじゃないかな？ってわけで、マックちゃんの前で土下座してお詫びしたいと考えている最中でありませう。なんならブーツも舐めます！練習直後の足でも良いです！寧ろそっちの方が好みのシチュエーションです！公衆の面前の前で、トレセン学園でやっても構いません！人としての威厳は捨てます！トレーナーでもウマ娘でもド突きます！ポニーちゃんに対してもド突き回します！ウマ娘ちゃん達が練習中であろうと空気は読みません！読まなきゃいけない空気に価値は無いのです！私はどぼめじろうなのですから！！カミノクレツセやプレクラスニー、ホワイトストーンらを呼んでくれても構いません！もっと！私は！彼女達に謝らなければなりません！ケイエスマイラクル、ヤマニンゼファア、ダイイチルビー、ダイタクヘリオスに対してもです！

なので是非とも！！私を地ベタに落ちているゴミのように、思いつきり踏んで下さいまし！！

どうか…どうか！蔑んだ目で、私を見下ろして下さいまし！！

鞭を使って、思いつきり扱いて下さいまし！！

その場合はオプション付きとして直足でお願いしまっす！！あ、蹄鉄で踏まれるのもいいかもしれませんね…そうですね、それでいきましよう！！共に夢見た世界へと旅立ちましよう！！当日会った瞬間に即執行、拷問も好ましい限りです！！マックイーンに叩かれたり踏まれる

なら本望であります!! 関節技でも構いません!! マックイーンは格闘技が得意なので、あなたにはあなたの得意分野で私自身を痛め付けるのが吉であると考えた次第であります!! ああ… 想像しただけで最高の気分を味わえました。彼女ならば、私にやってくれると信じています。ですが、私は良いとしても彼女が億が一否定した場合はどうしましょう… あ、そうですね! 周りに迷惑をかけたか無いと申し上げるのであれば、メジロ家で撮るのもアリですわね!! 私、是非とも生きているうちに一回は生でメジロ家のお屋敷を見に行きたかったんですよ!! そうしましよ!! メジロ家のお屋敷でコラボ動画を撮りましょう!! 今日の私は冴えますわ!! やはり天才ですわあ!!」

《メジロマックイーン》申し訳ございませんでした、告訴を撤回させていただきますわ!

・マックイーンどころか、さりげなくトレセン学園を襲う気だぞこいつ

・会う気だ… やっぱり会う気だ… !!

・そうはならんやろー

・スゴイノミタ

・マジヤバーイ

・襲う感じやなくて襲われる気満々なんだよなあ

・現実で悪役かましてくる人初めて見た

・全てのウマ娘に経験でマウント取れそう

・ダメだ、やっぱり会話が成立していなかった!

・趣味が悪すぎるだろ

・ワタシマツテルワ

・オレハマツテルゼ

・このままじゃメジロ家がR18禁になってしまふ!!

・タイミングが全く噛み合わないウマ娘 メジロマックイーン

・そういう施設だったっけトレセン学園って

・名門メジロ家がモザイク塗れになるとか何がどうしてこうなった

・《monad》どんな思考回路してんだよ

・トレセン学園の話題でセンシティブに繋げる人初めて見た

ですよね!?そういうことですわよね?!ブロック解除してくれたんですね!嬉しいですわあ:このような形で採れたての人参に一心同体の特典付きで安売りされているだなんて、こんなもん買うに決まっていますわ!って決意表明と受け取っても良いんですか?コラボOKって事でよろしくて?では、日程も決めましょうか!私を裁いてくださいな!メジロ家から直々に罰、くださいな!なんなら今から私とお話し致しましょう?そうしましょう!!ね、ね?行きますわよ行きますわよ!参ります、お覚悟を!!」

・今すぐこの枠を閉じろおおおおお!!

・ゲンキハツラツ アイジヨウイツパイだね

・刹那的で厭世的だあ

・メンヘラムーブは置いておくとして、人参で一心同体は不味いですよ!!

・人参で何をする気だよ

・マックイーン逃げてくれ、彼女みたいに全速力で大逃げ!あと今すぐウマッターブロックだ、早く!!

・ブライト逃げろ!!頼むから動いてくれ、逃げろおおおおお!!死ぬぞブライトおおおおお!!

・ライアンちゃん逃げてえええええええええ!!

・メジロ家に変態に襲われるうううううう!!

・パーマー爆逃げえええええええええ!!

・ドーベル、無事でいてね!!

・ラモーヌうううううううう!!

・アルダン今すぐ高飛びの準備だ!!早く!!

・アサマ様ああああああああ!!この不屈き者からお引になられてくださいいいいい!!

・テイターン、さつさとフランスに帰るぞ!お姉様方と連絡を取って!!

・デュレン、必ず助けに行くからな!!

・メジロ家に恨みでもあるん?

・やはりウマ娘はどぼめじろうに勝てない運命なのか

しかし【領域】とて、そこまで使い勝手の良いものではない。
幾ら人外じみた男とはいえ、それが3週間以上も続いたともなれば、いずれ限界が訪れる。

やがて彼は、徐々に落ち着きを取り戻していた。

だが、猶予は一時だけだ。

「さあ、その見ている貴女！いかがです!? あっ…DM拒否された。
………んで…なんでだよお!! どうしてだよお!! ……って当たり前だよな。何をしているんだ私は…」

- ・なんでどぼめじろうに劇薬を与えてんだよ
- ・教えはどうなってんだ教えは
- ・お前ら禁じられた接触を平気で選んでんじゃねえか
- ・分かってんのか!?

・どぼめじろうがクレイジーサイコレズになったのはURAがトレーナー達に甘えたせいだろうか

・治らないのかよ!?

- ・↑monad≫くそつたれ!
- ・やつと賢者タイムに入ったか
- ・ジンセイハオマツリ マツリダワツシヨイ
- ・フリムカナイデ
- ・きちんとウマ娘から裁きを受けてもらいたかった
- ・今日はいつにも増して酷いな
- ・お前もうチームI・Kに入れよ

【朗報】モナドネキ意図せずネタに絡む

「ま、まあこれで練習に集中してくれば良いけど…それに、今流行りのMoiraiもあるし大丈夫大丈夫。なんたって私もよく愛用しているからね。ワタシノオクノテってわけよ」

・↑monad≫こんなんでもトレーナーになれる訳ないだろバカか

お前 あとM o i r a iは万能の神様じゃねえ…ただのプログラムだろうが

・ ホント、なんでこうなったんだか

・ フォローの仕方が下手

・ 随分と勉強しているな…まるでウマ博士だ

・ クズ

・ 不器用すぎ

・ 流石ヒール

・ クソボケ

・ ルドルフ 「みんなが平等で、幸せになれる、パラダイスみてえな学園を作りてえ」バカ達「よっしゃあ、パラダイスを作るぞお！」うーんこの

・ だからって普通さ…メジロ家の主力メンバー全員を敵に回す？

・ ほんまに試合に響いたらどうすんねん 海外勢に有利になるだけ

やんか

・ ガチで怖がつてたら意味がないんだよ

・ 《メジロマックイーン》きよ、今日のところは退散いたしますわ！

ごきげんよう!!

・ どぼめじろうさまあwww

・ あーあ、またウマ娘に嫌われた

・ 本当に罰が下りそう

・ マックイーンがガチで逃げている件について

・ ひでえ話だ

・ お前はもうトレセン学園から離れろ ゴルゴル星に帰れ

・ 誰かどぼネキをブツトバセ

「や、その…さ、最近はやけにウマ娘にモテモテだなあ…嬉しいなあ、えへへ」

・ 頭沸いてやがるぜ

・ モナドネキもどぼネキに対してバイガエシしてもバチは当たらんやろ

- ・ほんまナゾやわあ
- ・ナンノコレシキって感じの鈍感さ 私も見習いたいよ
- ・ノックアウトだよ
- ・ごめん：サヨウナラ
- ・オツカナイわあ
- ・サイキョウノオンナってこいつの事だろ
- ・どぼめじろうのヤバさがバレてきましたわ！
- ・ギャフンって言わざるを得ない
- ・誰かこいつの愛を受け止めてくれる人はいないのかね
- ・《↑monad》とうとう人間辞めたかこいつ
- ・この狂った思考が私を狂わせる
- ・メデタシメデタシではよ終われ
- ・撤退、撤退よく！
- ・ザワザワザワザワ
- ・ナムアミダブツ

そしてその猶予は、限りなく短いものである。

悲劇は歴史のように繰り返されてしまう。

この意図せずして起こってしまった緩急のある天才的な幻惑ラップは、彼の羽を生やしてしまう原因ともなってしまった。

ソラが発動した訳では無い。また、残念ながらここにゴルシクリニツクは無い。今やもう、ただの危険地帯だ。

彼にとって今の時間は、踏み切つてジャンプした後の末脚を溜めていたような、その程度の小休憩でしか無かった。

再度舞い上がるようにして加速した彼は、いつの日か見た絶対王者の伝説のように、崖つぶちの最前線でいつものように燃え上がってい

た。

存在が大障害とはこういう事を指すのだろうか…いやはや、御免被りたいものである。

「え？モナドって…！monad様じゃん!!は？なんで?!ふええええええええ!!」

・《↑monad》見事なまでノ天井だな

・二の矢

・リスタート

・ビツクリシタナモー

・ふえく、ではありません

・カンパイ

・モナドネキ…あなたは正常な人なんだから無理して相手しなくて良いんだぞ

・モナドネキのツツコミが虚しすぎる

・ヤクシヤハソロッタ

・マッタナシ

・モナドの発音芝3000w

・この枠唯一の常識人が泣いてるぞ

・モナドネキ振り回されっぱなしで可哀想…

・やっぱりツツコミに関しては上手くないね

・絶妙に微妙なツツコミをするモナドネキ、私は好きよ

・中指を立てても相手が無敵状態じゃあ意味ないんだよなあ

・つてかどぼめじろう先生、モナドネキのファンとか良い趣味してるじゃん

・現実から逃れるために曲を作っていたらこいつが居たっていう悲しみ

・こいつのせいで曲がバズったのはなんか納得がいかない

・モナドネキは今頃泣いてるなこりや

・この2人コラボしてくれないかな

・ やめとけやめとけモナドネキが過労で死ぬ

・ 《!monad》ンなこと、今どうでもイイわ!!お前らも好き勝手書きやがって 第一、こんな奴とコラボなんてするわけねエだろ

「え、酷い…酷いよモナド…あんなに優しくしてくれたあの頃のモナドは何処に行っちゃったの?もう!モナドなんてしーらない!こうなったらプンスカしちゃうんだもんね!ホント意地悪なんだから…この前作っていた曲も最高だったよ、愛してる!あ、そうだ!今確認したんだけど頼んでいた曲、もう作り終えていたんだね!ってわけで早速聞く?聞いちゃう?聞かせちゃう?この瞬間を今以上にトラウマにしちゃう?私も色々あつてまだ聞いてないんだけどさ、折角だしかましちやおつか!多分今季一神曲な予感がしているんだ!新技披露する予定、あつたんでしょ?ここいらで組み込んでいるだろうなあつて思っていたんだけど、私の憶測って合ってる?合つてたら非常に嬉しいんだけどなあ!」

・ どぼ「モナドの曲気持ちよすぎだろ!」

・ モキモキモキモキモ

・ Don't stop Don't stop

・ 美しさ、優さ、強さ、男性らしさがあつて、自らの生まれを呪い世界を憎む女、どぼめじろう

・ その話し方まじで古傷抉れるからやめーや

・ 「くく疲れましたw」並にウザいの凄いわ 感心する

・ 言葉を慎めよ

・ 見境なさすぎ ワープしすぎ

・ 《!monad》…キモツ ああ、組ンだよ これで満足か?

・ どぼどぼどぼめじろう

・ ねえ きもきもきもきもなどぼネキを 愛してる

・ 大概URAのせいにしてるような天使ですが

・ くっだらねえなんだよそれ!バカバカしい!

・ あーダメだこいつら まるでなにもきいていない

・ なぜここにいるのかさっぱりわからないモナドネキ。(どぼネキ

のこと）結構好きなのかも。

「ありがとうございますー！そのキモツってコメントも含めてご褒美ですっ！かつこかわいいモナドネキ、また作曲よろしくう!!」

・ 抜かりなしかこいつ

・ ホントめげないねえ なんだかんだで作るモナドネキもどうかと思っうけど

・ 《!monad》：んだそれ っつかBGM作れる癖にわざわざ依頼してきやがってよお：ホント、面倒だなお前 こいつらとも関わるんじやなかったぜ もう行くからって変な発言すんじやねえぞ

・ ノイジイでイライラするだろうにわざわざ来てくれてありがとうねえ

・ モナドネキどぼネキに対してちよいトラウマ抱えてそうなのに：来てくれるのマジツンデレ!!バリやばっ!!

・ 雑穀のノリで大胆な告白をするのは女の子の特権だっではっきりわかんかね

・ どぼめじろうはツインビー同様にモナドネキを見習えよ

・ っつかここまでどぼネキが反応するって事は、もしかするとモナドネキってウマ娘なんか？

・ え、そうなん？確かにウマ娘特化してるけどまさかそんな：

・ 反応からして中身知ってそうなのが怖い 流石レス

・ つまりモナドネキとどぼネキがデキてるってこと：?!

・ →脳味噌正常か？

・ 言及していないだけでメガドボ×どぼめじろうかもよ

・ アリスデジタル×どぼめじろうも微レ存

・ 3人ともどぼめじろうに狙われてて可哀想：しかも受けなんか

・ おまいらの頭も鑑定してもらったらどうだ？

・ 社会は時に自然界より厳しいなあ：

「この際だから言っちゃいますけど：私、モナド様から良くインスピレーションを受けるんだよね！もうなんて表せば良いんだろうね：

社会なんてクソ！全部ぶっ潰しちまえば良い！ってガンガン鳴り響く勢いが実に攻撃的で情熱的！だけれども！音のリズムや重ね合わせ方は繊細で丁寧で時折弱々しいというか、ちよつとした優しさが音色として響いてきて、なんとというか前向きにさせてくれるんだよね！いやもうホント…：キュンって感じ。茨の道でも道ならそこにあるじゃねえか、歩けよバーカ。クソなのはテメーだって言われているよ。うで…：実際にゾクゾクするんだよ！そこに怯えようものなら「おらよっ！進んで検証してみろや！」って背中を押して実際に言ってくれるみたいで、ホントかつこいいんですわあ。こんなの病みつきになるに決まっていますわあはあ…：…最&高…：」

・ まあわかる

・ ゾクゾクするって…：そんな方向性じゃないからね？

・ 確かに前向きにはしてくるよな

・ 元気出る

・ モナドネキの音楽って救われるよね

・ 精神安定剤

・ モナドネキ間接的にプライマリナーシングしてる疑惑

・ →いい加減モジュールナーシングに変えろよ

・ ここに病院が来い

・ Q. もう魔王とか無視して逃げれば良いのでは？ A. でもあなた、ゲームをやめませんでしたよね。の作品くらい精神汚染されてんなお前

・ ≪!monad≫てめえ、いい加減なこと言うンじゃねえって言ったよなあ!?!しばくぞゴルア!!しかもこの場に残らせる気マンマンな企みがうぜえ！お前らもマジでしつこいッツ！どいつもこいつも勝手に満足しやがって…：いつかてめエらにも思いつき中指立ててやるからな、覚悟しとけ!!じゃあな

・ どぼネキ本当にさあ…：オヌシナニモノ状態なんだけど

・ 私…：モナドネキの事好きになっちゃった。惚れたわ。今すぐ抱いてちょうだい

「ああ…怒って去っちゃった…ううくん、やっぱダメかー！もつと感想もお礼も言いたかったんだけど、仕方ないかあ。…さて、残り時間もあと僅かだけれども、ここまで盛り上がったんだから…最後までウマ娘の話で締めたいよね。」

そ…こ…で、ヤグラステラにも勝った師匠について語りたい所存であります。で、これってさ。有マ記念にも勿論出れるんだろうけど距離は適性外だし、疲れも取れてなさそうだけれどもって感じで…大丈夫かコレ？

…つか、次の世代滅茶苦茶強くない？オイオイ、オイオイオイ。次の阪神ジュベナイルフィリーズも朝日杯フューチャリティステークスもホープフルステークスも化け物しか居ねえや！サイコーッ!!」

・私達にわざわざ中指立ててくれるとか良い人すぎん？

・ドンダケー

・そつとしておこう

・イチヤイチャすんじゃねえよ

・あ

・まずい

・オトナノジジヨウによりこのキンジラレタアソビは終了致しました

・ホープフルにライスが来るのは嬉しいけど、マチタンはブルボンに勝てるんか？6バ身のレコードは立派だけど、流石に追いつけないよなあ…

・あれだけ喋ったのにまだウマ娘の話するのかよ…

・本物のゲエジ

・ヌマ

・g m g m g m

・これはびつくり

・ナニハサテオキ ゴクロウサマ

・今日はモウイイデショウ

・オイオイ民?!

・マチタン朝日杯とホープフル両方出走するってガチなん？

- ・ マッチそのローテはキツツイぞお
- ・ 今更ではありますが…この動画主は何か悪いものでも食べたんですの？
- ・ どぼネキバカ あ、なるほどねえ…最悪だぜ
- ・ やゝめれゝ！
- ・ 逝くツ！！
- ・ 化け物が化け物について語ってらあ！

そんな中、突如として現れたご本人の1人はというと…

「……、怖かったですわあ。魔の手が…魔の手が忍び寄ってきましたわあ…私もトレーナーさんも掌で転がされていますわあ…もううんざりですわあ…イクノさん、助けてくださいまし…勝手に口が…動いて…パクパク…パクパクが止まりませんわあ…パクパク…パクパク………」

「テイオーさんと一緒に潮もみ治療していた際に、色々とお話する機会があったかと思えば…まさかこのような形で頼られるとは。それに…皆さんが熱中しているものがこの配信者というのも知れるだなんて、人生とはわからないものです。…ですが、こういった形でもマックイーンさんと関わる事が出来て、少し嬉しく思いますよ。意外な一面も見れましたからね」

「……、こればかりは、あの憎きどぼめじろうに感謝してやらなくもな

いですわ。あつ…イクノさん…癒やしていただきありがとうございます。ああ…ああ…イクノさんが優しくすぎて気分が高まつてしまいます…ハッ！困りましたわ！この状況が最高すぎますわあ！」

「マックイーンさんが楽しそうで何よりです。提案なのですが…普段からこうして自然体で絡んでも良いのでは？私は今のマックイーンさんも好きですよ」

「ウツ…ううう、うう…そ、それは…その…恥ずかしいと言いますか、何と言いますか……」

「ふふっ顔が赤いですよ。まるで好きな人に告白でもするみたいですね」

「こ、こ（こ）こ（こ）こ、告白う!？」

「あの…テ、テイオーちゃん？マックイーンさんの様子がちよつとどころか、いつも以上に変なんだけど…大丈夫なんだよね、コレ？」

「ああ、うん…いつも通りだよ。プラスして所謂コラテラルダメージが入っているだけだろうし大丈夫大丈夫。あとで治るよ、きつと」

天国には居た。少なくとも一部にのみ、理想郷が存在した。

片や、誰も解けずに未だ証明が得られていない数式を解こうとしているが、そんなことを男が知る由も無い。

「にしても…イクノが休養中で本当に良かったよ。でない、こんな事は滅多に出来ないからね…この犠牲は無駄にはしないように気を付けないといけないよね。つてことで…マヤノ、何かわかった？」

「いつからそんなサイコパスになったのテイオーちゃん…マヤ、凄く悲しいよ。マヤとテイオーちゃんのトレーナー…ちゃんが気にしている人が…こんな悲しい人だなんて、知りたく無かったよ…。あと、そんな便利な屋みたいに使われたのは初めてだよ…目的遂行の為に手段も選ばなくなってるよ…お腹が痛い…クーちゃん…ケーちゃん…助けて…マヤ、今すぐにもベイルアウトしたいよお!!こんな訳がわかんないよ!!どうしたら良いかわかんないよお!!」

「マヤノ…ボクにはその無関係ゾーンとやらは効かないからね。はい、頑張って特定しようね」

「テイオーちゃん酷い!!マヤの事、なんだと思ってるのさあ!!ヤダヤダヤダヤダあゝっ!!だったらカイチヨーさんにも頼んでよお!!」

「それは関連性が見えてからだよ。途中式が大事ってトレーナーから習わなかった?それに…確証も無しに突っ込んでも遇らわれるだけだから。わかったら返事、ユー・コピー?」

「ア、アイ・コピー。…これ、もしかしてテイオーちゃん洗脳されてるんじゃない?」

彼女達の…特にウマ娘に携わっている界限の人からすれば、こうした行動は決して珍しいものではない。ある意味で命の危険性を孕む可能性を秘めている為だ。

却って、底なし沼にハマるようなものである。

そして必ずしも、このような動きを起こす人が、1人や2人というわけではないという事を我々は理解しなければならぬ。

さらに言えば、人によつては解き方が違う場合も存在している事も加味していなければならぬだろう。

だが、そんな暗く目の当たりにした現実なんぞに悔やむ事は無い。確実に一歩ずつ進んできただろう彼ら彼女らにとつて、この過程は歩むべくしてしつかりと結末へ向かっている。

よつて、これらは必然的に訪れる結果でもある。

「さて、これよりボク達はどぼめじろうの正体について深く迫つていこうと思う」

互いの脳が焼かれる瞬間まで、残された時間は少ない。

愛は寛容にして慈悲あり 愛は妬まず、愛は誇らず、
騎らず、非礼を行わず、己れの利を求めず、憤らず、人
の悪を想わず

《天の国は次のように例えられる

ある人が良い種を畑に蒔いた

人々が眠っている間に敵が来て

麦の中に毒麦を蒔いて行った》

なんて一節がある。アメリカに居るセクレタリアトの2世と呼ばれ、さらには癌も克服したウマ娘と、そのトレーナーであるパットが教えてくれた言葉の一つだ。

色々と解釈は多々存在するらしいのだが、ざっくり簡潔にそのままに表すと、『この世の終わりに神の御使によって刈られる悪しき人々を指す比喻』なのだそう。

悪人は裁かれる。いや：：そうであってほしい、と思う人々の気持ち
は古来より存在するのだろう。

まあ、サンデーサイレンスとかはそれを利用して集金人を撃退した
いとか言っていた気がする。なんでも、とある動画に触発されたのだ
とか：：正直そっちは面倒だし、わりかしどうでもいいから置いておく
とするとして：：話を戻そう。

もし、この世に神なるものが存在するとして、その悪人が人間に
とって善なるものなのか、ウマ娘にとって善なるものなのか、神の判
断基準によって善なるものとされているのか：：そんなことはつきり
とはわからないのが現状だ。というより人が知れるわけがない事柄
で、実質不可能である。

仮に神にとっては善いものだったとしても、人々やウマ娘達にとつ
ては害になり得るかもしれない、なんて可能性も生まれてくる。だか

からこそ両方を育てておくようにしなさい、的な解釈だつて場合によってはあり得てしまうのも、書物の魅力なのかもしれない。

何故唐突にこんな考えを述べたのか：それは、今しがた起きた惨状が、紛れもない現実なんだと認識したくなかつたからだ。

誰か、この惨たらしい悲劇を事細かく説明して欲しかった。

ただボク達は、君が放つその言葉の続きを、もう一度聞きたかつただけなんだ。どうしてそんな歪な魂の叫びを浴びせてくるのか、秘密が知りたかつただけなんだ。

例えそれが危険な存在だつたとしても、いかに甘く美味しい蜂蜜の味を知ってしまったのなら、誰もが盗もうとするのは必然的である。それが熱狂的な信者であろうとなかろうと、だ。

どんな戯言でも嘘偽りでも、なんでも構わなかつた。

だからこうして群がったボク達が、きつかけさえあれば狂犬のように変わってしまうのは無理もないのである。恐らくは、あの時のボク達は異常だつた。

こんな気持ちはオグリキャップの有馬記念以来だつたこともあつて、久しくその気持ちを忘れていたからなのかもしれない。

その日、ここに居るウマ娘全員が初めて「神がいる」、と心の底からそう思ってしまった。その時点で既にボク達は敵うはずが無かつたのだ。

と、同時に騒動を起こした張本人：どぼめじろうも1人の：普通の人間だつた、ということも理解した。いや、そもそもあれは普通と表しているものなのだろうか？

敗北など考えられない生物としての戦いに、人はどこまでも夢を見ていた。だが、こんな得体の知れない何かが存在しても良かったのだろうか？

まだ何処ぞのウイルスや菌のほうがマシだ。感染症の菌体がグラム染色によって、青に変わるか赤に変わるかで治療に用いる抗菌薬や病気の選別が変わるように：もしくは創作映画に出てきた青い薬か赤い薬かの違いで、運命が決まってしまうように：存在自体を疑い、

実際にどのようなようになっていっているかが判明し、それらを選択して初めて、人類は対処していけるのだ。

それでもこの目で見て初めて…奇跡に最も近いのは奴なのだろう、というのを感じ取れていた。正に深い衝撃が登場した時のようだ。現実なんて、たった少しの出来事で変わってしまうものなのかもしれない。

こうなってしまったのは、偶然か必然か。時代が強者を求め、運命が交差した影響なのだろうか？とはいえ、当たり前の常識を平然と打ち破って欲しくはなかった。正直言って…目を逸らしたい。あまり直視したくない。自らを燃やし尽くすのはウマ娘だけであってほしい。負けられない想いはボク達に、ボクに背負わせて欲しかった。それでも…この約束された予想外は一世代の、己が勝利を求めた結果なのだろう。

これは、ボクを含めた同類が勘付いた時から既に決定されていたことなのだろう。

但しこれだけは言わせてほしい。本当に神というものが存在するのだとしたら、

お前は最低最悪最高最良のクソ以外の何者でもない…と。

時は遡る事、地獄と化した配信の10時間前…

『どぼめじろう』がライブ配信を開始しました。』

『…すうすうすう、ほんつつつつつつとうにありがとう！トレーナー!!どぼめじろう!!』『……彼女達ウマ娘は私のものです。……肉の一片から血の一滴まで、その魂に至るまで私のものなのです。…結局この記憶だけが、これから見るウマ娘をなまなましく覚えているのですよ。貴女方の忠実なる永遠の僕、どぼめじろうにて御座います！彼女達こそは我が光。彼女達こそは我が導き。彼女達が私に命を与えたのであれば、それはもう我が人生に意味を齎したのです!!んほおおおお!!!ウマ娘ちゃんは本当に最高だよおおおお!!!おっあっ!!!ウマ娘ちゃんかっっ♡今日も尊いいっっ!!!♡』

・《Kabuo》初っ端から飛ばし過ぎ

・《テスコのガブリエル》「狂気」はいつも人を置き去りにする

・んじゃこりゃあ?!

・《回転寿司》きよ…驚愕ツ!!どうした急に!!

・《探鉱者》南無三

・《受話器》どうして…どうして…

・《白夜叉》どぼめじろうはどぼめじろう以外の何者でもない。それ以上でもそれ以下でもない。

・(色々な意味で)浮いてる…す、すげえ…

・《SS》オレは宗教になんざ興味ねえんだよ

・《東洋美術》どぼめじろうはとってもいい子だよ

・《サニー》コンセントレーション持ちとは流石umatuber

トレーナーを志した知識がこの生配信にも生きていますね

・《流星の令嬢》皆には3ヶ月後にどぼめじろうを治してもらう 私達はな!1人の人間として命の大切さを知って欲しいんだ!

・なっとなっ!なんだテメえく!!

・《踊るインディアン戦士》ナクニしてんだアンタは

・あ どぼめじろうの暴走が止まらないよオッ!?

・配信の悪魔どぼめじろうが先週、マイルCSの予想を的中させ、ケ

イエスマミラクルの怪我を防ぎました

・《ワガハイちゃん》今私は、どぼめじろうの配信を実際に目撃しています。ではここで、見ている視聴者の人達にどぼめじろうをどう思っているのか聞いてみたいと思います！

・《EG》どぼめじろう？好きだよ。他の娘にはグロくてちよつと見せられないけどね

・うーん。私は彼女を認められないねえ…嫌いかなあ

・《桜街道一人旅》どぼめじろう!?!?ウチらのクラスでめっちゃ流行ってる！

・メジロの犬はトレーナーの仕事を奪っているよ

・ウマ娘に対する印象を悪くするような勘違いを生むから嫌い。人を粗末に扱う人私ダメ

・うん…どぼめじろう？サイコ〜！

・目立っててウザい

・《フジマサ》どぼめじろうってウマ娘の尻尾の毛で醤油作っているんでしょ？

・ババアでしょあいつ。良い加減早く良い人見つけなよ

・《黄金旅程》私の友達がどぼめじろうに救われた。めっちゃいい奴です

・《pui》どぼめじろう本気ラブです！これ見てたら電話番号教えてほしい！

・どぼめじろうはこの世に存在しないんですよ…実はね！アメリカが作ったプロパガンダ！

・どぼめ。じろうでしょ？どぼめ。じろうサイコー

・昨日メジロ…なんたらがウマ娘を怪我させたんですよ？あれ八百長をするために仕組んだのよ絶対

・《後光》私の予想ではどぼめじろうはウマ娘に危害は加えていないと思いますネ！私の学校ではどぼめじろうはみんな好き！良いよね。カノジョ。グロいけどそこがかっこいいんだよね。どぼめじろうは私の予想だときつとすげえマジでいい奴です。因みに私の予想ではどぼめじろうの電話番号は090の

・《A l m a》ちよつとキミやりすぎやりすぎ 電話番号ネットで書
いちやダメ!

『お^ッお^ッお^ッお^ッう^ッう^ッう^ッ……う^ッう^ッう^ッう^ッう^ッう^ッ……』
・いや、もうこの際だ 正直書いても罰は当たらないと思う（誰も
知らないけど）

・やっぱり私、この悪魔嫌い

・《フラン最強!》どぼめじろう鬼つええ!!このままウマ娘全員救つ
ていこうぜ!!

・《ペリー》未だに夢バトルやってるんだ…

・《b r u s q u e m e n t》オーエス!!?オーエス!!?オーエス!!

?

・《魔性の青鹿毛》素晴らしい…これがどぼめじろうの力なのですね
・《ワガハイちゃん》それではここにいるみんなでどぼめじろうに
メッセージを送りましょう!セーの!

・《p u i》どぼ めじろう!

・どぼめじろう!

・どぼめじろう!

・《探鉱者》どぼ めじろう!

・《東洋美術》メジロ!メジロ!

・《黄金旅程》どぼ めじろう!

・《フラン最強!》どぼ めじろう!

・《回転寿司》どぼ めじろう!

・どぼめじろう!

・どぼめじろう!

・《E G》どぼ めじろう!

・《桜街道一人旅》どぼ めじろう!

・どぼめじろう!

・《流星の令嬢》どぼ めじろう!

・《K a b u O》どぼ めじろう!

・どぼめじろう!

・《テスコのガブリエル》どぼ　めじろう！
・どぼめじろう！

「テイオーちゃん最近楽しそうだね！何見てるの？マヤにも見せて見せて!!……………んえ？おおっ？ん？んん？んん!!…ええ、うわあ……うへえ……うおおお………何、これ？」

「何って……本当に何だろうね。それに、楽し……聞き間違いかな？」

「ううん。不気味なくらいテイオーちゃん楽しそうに見ていたよ？それに……最近、なんか調子も良くなっていると思うし！その理由って何だろうって思っていたんだけど、そっか!!うん……うん!!何がなんだかわからないけどこれのおかげだったんだね!!」

「マヤノ……珍しく勘違いしているようだけど、これは別になんでも……あれ？」

マヤノにどぼめじろうの配信を見ていることがバレたあの瞬間から、明らかに歯車が変わっていたのだと実感してしまうとは、この時は思いもしなかった。

まず初めに思ったことは、単純な疑問だった。

楽しそう……このボクが、楽しそうにしているだと？……と実際にボクの頭に宇宙が広がっていたのだ。

その時、マヤノが嬉しそうに微笑んでいたのを覚えている。その表情が少しだけ憎く感じながら、顔を背けるようにして反論を述べようとした。彼女は何も知らないからそんなことが言えるのだ……という気持ちを込めて、吐き出そうとした。そして止まった。胸の内から出かけた言葉が詰まり、上手く言語化できなかったのだ。

ふと、感じたことがある。ボクは確かに前までは意識的に見るようにしていた。それは確かに知るためであった。

そう……ボクはそもそもどぼめじろうを良く知らない。ただ知ると言っても……そんな1〜100の全てを、本気で知ろうとはしていなかった。それがネットのマナーだから、という潜在意識もあったのだ

ろう。

にしては、だ。このエネルギー効率の高さは異常だ。

何故ボクは放送が始まってしまった直後から、下らない身内ノリをするように至ってしまったのだろうか。それもたつたの僅か…視聴回数5回以内で。

経験した事もないような驚きだ。放送が始まった直後からスムーズに自動化されたゾンビみたいなきはなんだっただろうか。特定のインプットに対して適切なアウトプットで反応する回路設計図のような自然的な構成が、いつの間にか構築されているだなんて思いもしなかったのだ。

今この瞬間から、まるでどぼめじろうを疑っていた意識が消えたかのようにして観測出来なくなっていた。

さらによくよく観察して見ればボク以外の周りの人、ウマ娘達までもがそうした環境下や現関係を抜きにして執着している。走れなくてイライラした鬱憤が晴らせないからとか、ストレスだとか、病んだとか関係無しに、なんとなしに目が離せないのだ。まるでボクの脳の中にある全ての遺伝子や神経ネットワークが、こいつだけは逃がさないようにして、とプログラムによって設定されているかのように、頭からこべりついて離れようとしめない。

そこに選択肢なんて存在しないかのような意識が、果たしてこんな放送を見ていて発生するのだろうかと疑問に思った時点で、ボクの口は閉じる他無かった。

執着する理由が無いにも関わらず、この中毒性だ。

以前感じたような感覚では無い。

これは最早病気だ。歴とした症状だ。何か特別なホルモンが命令を受けて、臨戦態勢に入ったというような…そんな例えが適切なのだろうか。

ボクは恐らく前提を間違えていたのだろう。見るべきは彼の言葉の内容では無かった。言葉の中にある意味……というよりは、それらによってボクらにどのような変化が見られたのかをより俯瞰して見る事だった。

大正時代に平城京があつたと発見された様に、ナスカの地上絵がどういうものなのかを観測する様に……それらとどぼめじろう自身の行動履歴を合わせて初めて理解出来るものかもしれないのだ、と。

間近で見ているは気付けないものが沢山ある、みたいな薄っぺらいビジネス書に書いてあるような大胆さを活用し、地に足をつけるのではなく、浮ついた人でしか発見出来ないような、相手の土俵に合わせる発想が必要だった。

何せ、あやふやな状態でネットに検索したところで何もわかるわけが無かったのだから当然だ。

これを言っただけは元も子もないが、何だったら放送を見ている間に、何か別の勉強をしつかりするだとか、資格を取る等の行動をしていれば良いのだ。だというのに、何故かボク達はコスパを求めるかのようにして、無駄に浪費しにいつている。まるで報酬系の回路が新たに形成されてしまっているかのよう、快楽を生み出す鎮痛剤に手を伸ばしている。

これではまるでどちらが執着しているのだろうか、ボク達の方がストーカーと呼んだら良いのかわからない。

それでも背に腹はかえられなかった。

不可思議な事はボクの身体にも起きていた。例えば想定よりも綺麗に折れたお陰で回復が早くなりそうだとか、走り方に変化が現れた事が該当するだろう。菊花賞は確かに間に合わなかったのだが、春までは確実に走れているという見解は述べられている。

振り返ってみれば、これは恐らくスズカやケイエスミラクルの件等とケースが似ている可能性を秘めている。

反対にターボ師匠やヤマニンゼファー、ダイイチルビー、そしてメジロマックイーンやカミノクレッセなどは、成長速度……もしくは意識の変化なのだろうか。どちらにせよ、全体的に見てウマ娘の能力の向

上が見られているという点については、まず間違いが無いだろう。

無論、これはトレーナーや各関係者を含めての話だ。もしかしたらこの業界に携わる全ての人たちに当てはまるのかもしれない。

仮に本当に世界を巻き込む形で起きている事柄だとしたら…：それも以前よりも大規模化されていたら、と思うと…：ゾツとする。

今更ながらだが、これらを初見の人にこの有様を一言で表せるわけがない…：だなんて言い訳は通用しない。

だがしかし、この一連のやり取りで我へと返ったボクは、頭の中が真っ白になっていた。こんな現象は未だかつて観測された事がなかったからだ。

ましてやマヤノがわからない現象を、ボクが理解出来るわけがない。それが言い過ぎだとしても、実際にその通りなのだという絶望的な現実に気が遠のきそうだった。

とはいえ、2人してさっぱりわからないのは中々無い事である。これもまた事実だ。よって、ボクより勘が強いマヤノの頭で理解が及ばない範疇であるならば、地道に計算式を作り解いていくしか方法は残されていない。

ボク達はどぼめじろうを、今度こそ観察する様にして視聴する様になっただけだった。

この取り組みにマヤノを強制的に参加させたのは内緒だが…

その行いのせいで、まさかあんなことになる時はこの時、思いもし

なかった。

場は戻ってあの放送直後に遡る。

流石に進展が無くてはどうしようもないので、ジャパンカップ前ではあるものの、どぼめじろうについてボク達より良く知っているであろうマックイーンを、イクノデイクタスを同行させる形で呼んだのだ。無論、マックイーンのとレーナーからも許可は得ている。ご覧の通り、マックイーンにとってイクノデイクタスはある種の精神的要であるから釣られやす…一緒に来てくれるだろうとは予測していた。こうした縁は大事にしておいて正解だった。

それは兎も角として、他にもどぼめじろうや恋鐘を観察していく内に、色々と判明してきたことが増えてきた。

大原則として、どぼめじろうの配信が盛り上がるのは決まってレース前だ。それもその筈、彼女は曲がりなりにもトレーナー試験に殴り込むような形で挑んできていることや、配信そのものの行為によって証拠が示されている。

そして決まって恋鐘が小説を投稿するのは、どぼめじろうが配信を終えた後だった。それも周期的に行われているそれらは、時折突発的に投稿すること以外は一部を除いて、高確率のパターンで見事に一致していたのだ。その一部を除いて…というのは、例えば秋天の時やその前ツイーターボの一件など、目紛しい出来事が多々あった場合などである。サンプル数が少ないという理由から検証するには非常に難しい。仮にこれらが偶然だったとしても、この一連の共通点が奇妙なほどに浮かび上がったという発見は、自身にとって重要だと感じ

ていた。

こうした指摘は恋鐘Ⅱどぼめじろう説を信じている界限にも多く見られていたのは、記憶に新しい。が、インセルの掲示板やこの放送の影響によつて、完全に異教徒のような扱いと化している。こちらとしても、半ばお遊びのようなものである…と仮定した方が楽ではある。

しかしながら、この不安定材料は確証を得られた訳ではない為一旦保留としよう。

さて：科学における未知に対する発見の歴史かよ、と思うほどの偶然が図らずも重なった。

それも客観的に見て、この様子である。

お陰で疲労困憊だ。何せ、この薄気味悪い悪寒が早く治まってほしい、と願いながらの作業だ。当然である。

初めてどぼめじろうを視聴した時のように、こうして一つ一つを冷静に見極めようとしなければならぬ心構えを常に維持しなければならぬのだ。

これらの事象をこのレベルまで本格的に検証した人が居なかった、という事も除けば別になるのだが…やはりそこは当事者だ。当事者なりに知ろうとする欲求が高くなってしまう…いや、今まで以上に調べなければ、気持ちも落ち着かせることが出来なかったのだ。

そう言い聞かせなければならなかった。

怪物と戦う者は、その際自分自身が怪物にならないように気をつけなければならぬ。獣と自分を別つ最後の一線が常識で、向こう側が常識から外れてしまったような異物にすぎないのだから、より一層身を引き締めなければならぬ。ただでさえ、ウマ娘はとりわけ怪物のように例えられやすい。だからこそ互いに怪物同士として惹かれあうのだろう。嬉しくはないが、それも仕方がないのかもしれない。

底の深い沼へ飛び込まなければならぬ時、飛び込んだ回数や慣れ、単純な向き不向きといった要素を踏まえた上で考えて行動しなければならぬ。

【深淵を覗き込む時、深淵もまたこちらを覗き込んでいるのだ】といっ

た言葉が実際に存在するように、ボク達は怪物を覗き込んだ。

「んで、今のところわかっていることについてはこんな感じなんだよね。どうかな、マヤノ？」

「流石にマヤでも男性か女性か、だなんて完璧にはわからないよ…男の人なんて見たことないし、こんな人も実在するんだ…って感じ？それに…ほら、タキオンさんのフアンの人達とかと似たような層なのかもしれないし…」

「確かに…その可能性は否定出来ませんわね」

「確かにマヤのママは、女優のお仕事とかパイロットをしていたから色々な国を見てきているけど…ウマ娘にのみ影響を与える、なんて人は知らないんじゃないかな」

「進展は無し…ですか」

「材料としては力不足だね。ボク達のも含めて」

「決定打には欠けていますが…トップガンさんの感じた事を述べてみてはいかがでしょう。まだ仮定の段階ですし、主観的な意見も必要なのでは？」

「…確かに」

「流石イクノさんですわ。さすイクですわ」

「で、どうかなマヤノ」

「んー…リースみたいでわかんない」

「…まあそうだよね」

「そう簡単にはいきませんわよね」

「思っていた以上に難解ですね」

「そうなんだよね…そもそもわからないのは身バレを防ぐにしては変声機は大袈裟だよねってことなんだけど、それは初期の動画でのトラブルか、もしくはブラフかの違いなのかなあ…。それに、イラストに

使われている筋肉は完全に女性の人でもウマ娘でもないけど、解剖学なんてやったことないからわからないし、保健の教科書とイラストがほぼ瓜二つってだけで判断はできないよね。音声検証する価値はあると思うけど、アリゴリズムやメカニズムがほぼわからない限りは無理かも：！mondさんもといシャカールさんも流石にそんな探偵まがいな事が得意かどうかはわからないし、幾ら数字に強いからって周波数が分かったところで：特定出来るものなのかなあ？VRウマレーターとかある現代の技術力は洒落にならないし：」

「うん：：ん？」

「あ、あの？」

「何処かで見た光景が」

「だけど愛は本物だと思うな。ただ、少なくとも並の精神状態でない事も確かだよ。こんな風にウマ娘の音声だけで狂える人なんて女性でも歴史的に見ても居ないわけだし：男性なら尚更だよ。前例なんてないんだから、どうやったって立証することは不可能。なんらかの精神疾患だったとして、こんな人が外に出歩いていたらまず警察に捕まるだろうし：富裕層だったら多分精神病棟に入院することは可能だったりするだろうけど、配信の記録を振り返っても普段の様子から考えるに少なからず健常者ではある筈。これらが演技だとしても：それを年単位で続けるだなんて相当なエンターティナーだよ。いや：エンターティナーではあるんだろうけど、どう見たって素：：普段の様子もこの取り乱しっぷりも素、ということとは単純に純粹な人って事で良いのかな？解離性同一症なら幼少期がきつかけだったりするし、記憶もあやふやになるといった症状が出るらしいからここはグレーだよ。というか素人が断定するのは危険だし：。それに、仮に酷い虐待を幼少期に受けていたなら、作品に多少なりとも影響は出てくるケースが多い。でも、それらは性的虐待などの恣意的な要素が大きかったりするものが大半で、こんな風に自然的なグロさを表現するというのは、どちらかといえば表現者が使う技術に近いイメージか

な。泡ついた流行り物なんてジャンルでもなければ、歪んだユーモアやメッセージ性がイラスト全てにつき込まれているって感じでも無い。この人にとつての作品に関する情報は、あくまで下準備でしかないように見えてくる。…となると、この人にとつての根源的な主張はやはり愛情…愛情だというの？マヤのこのドキドキは…何なの？愛の形は千差万別って言うけど、これはそもそも愛なの？」

「マヤノ？おしい、マヤノってば〜」

「マ、マヤノさん？」

「これは…もしかしなくても不味いのでは」

「不可解なことはもう一つあるよね。仮にこんなヤバい人が試験に来ていたら個人情報保護しているとはいえ即身バレして嚴重注意かスカウトを受ける筈。なのに、UR Aや上層部は無視するどころか、何が起きているのか把握すらしていなかった。だから春の天皇賞や宝塚記念、スプリンターズS、秋の天皇賞、そしてマイルCSに至る今日までカンパイすら上げられなかった。ウマツターのアカウントから個人を特定して秘密裏に注意するにも、予言だなんて推測の域でしか無いし、注意も出来ないだろうし…注意したらそれでそれはおかしいわけで…そんなポンポンカンパイを出せるものでもないだろうしって。色々な要因が重なるに重なって、どうしても後手に回っているのが証拠そのものだよね。しかも、この騒動についてはメジロ家や名家の桐生院家も含めて誰も分かってない…いや、正体について知っていたとしても信じたくないってのが、ひよっとしたら心の片隅にあるんじゃないかな？それに…」

「マヤノ、ストップ」

「落ち着いてくださいまし」

「い、一体何が…こ、これがどぼめじろうの力だ、とでも？」

「あ、ごめんね皆。こんな解けない数式とか初めてだったからつい…。ただ一っただけ言えるのは、多分こんな感じになったのは試験に落ちた

後だと思う。確証は無いけど…その時点では誰も本性が掴めていなかったのかもしれないかな…なんて」

「冷静さを取り戻せて良かったですわ。つまりどぼめじろうは…当時は猫を被っていた、ということでしょうか」

「面接とか大体そうなのでは？」

「否定はしないけど…うん。すぐバレるって人も居るからね。相当上手く無いと無理でしょ」

「あ、でもここまで熱中している人だったら、もしレース場で見かけたらわかるかもっ！」

「そんな人が居たら否が応でもわかるよ。ボクですら気付くと思うし…」

「待ち合わせなり場所を指定して実際に会ってみる、みたいな力技はどうでしょうか。その人、ウマ娘に誘われたら直様にでも飛びかかって来そうな勢いで駆け寄ってくるのでは？マックイーンさんも…確かDMでのやり取りは数度行われているはずですし、喰らいつくと思えますが…」

「……イ、イヤですわ。せめて人数がいればやってみても良いとは思いますが…流石に1人では荷が重たいと言いますか…第一、それで釣れるのであれば、私達は苦勞していません」

「仮に【東京レース場の正門前にてお前を待つ!!】って言っても「シヨウモンマエ？」とかなんとか言ってボケそうだよ。何よりも…アイツはレース場に顔を出した事がないらしいから」

「むむむ、これは難問!!」

そうしてまた振り出しへと戻るの繰り返し…これにはもういい加減に終止符を打たなければならぬ。

と、その時だ。

「単純にSNSに詳しい人からどぼめじろうについて探れば良いのですが…」

「え?」

「あ」

「…そっか」

三人寄れば文殊の知恵とはこの事か。イクノデイクタスから放たれた聡明な言動が、流れをさらに大きく変えることとなる。

「あ、そうだ! SNSならマヤ以上にカレンちゃんが何か知っているかも! 聞いてくるね!! マヤちゃんテイクオクフ!!」

「マ、マヤノ!! つ…足早!! ええ…じゃあダメ元でエアシヤカールに聞いてみるかあ…苦手なんだよなあ…」

「あら? あなたモナドの曲をよくお聴きになられていませんでしたこと?」

「マックイーン。内心、やった! とは思っているのはこの際認めるけど…それはそれ、これはこれね」

「私達はどうしましょうか…」

「この手の事に関しては、ドーベルが一番でしょう。イクノさんと私は、そちらをあたりに行きましょうか」

「わかりました。では、各自情報が集まり次第集合で、宜しいですね」

そう…この3人に聞いてそれで終わる筈だった。

「構図の撮り方の規則性、色彩感覚が一緒ってどういう事!?というかなんでウマスタにもどぼめじろうが居るの!?何であの人は呑気に写真なんか撮ってんのよ!!」

「ドーベル。少し落ち着きましょう。大丈夫大丈夫：わたくしが一緒ですから。だいじょうぶですわあ」

「ちよ、ちよちよちよつと待ってください。：ということとは、別名義であたし達のそうした配信にも入っていた可能性が浮上してくる：という事になります。同時視聴なども考えれば：それだけ範囲は広がります」

「それだとカレンがお姉ちゃんだと思っていた人がお兄ちゃんだった：なんてこともあり得るのかな？んー、これだと聖徳太子：とかの方がわかりやすいかもね」

「い、いやいやいやいや：さ、流星にそんなことはないんじゃないかな？今までウマドルやっててもそんな人見たことないしやい：」

「うわあ：オグリさんに、タマモクロスさん、ゴールドシチーさん、イナリワンさん、サツカーさん、クリークさん、アルダンさん、ヤエノさん、わ、私も描かれてる」

「表面上だけでは決して成り立たない儂さが感じられて、なんというか：綺麗ですね」

「観賞とは：無我の境地へと至る際の良い修行になるやもしれませんが。そしてこれは：ボーンクラツシャーさんとホーリックスさんに：イブンベイさん、ホークスターさん、キャロルハウスさん、トツプサンライズさん、サンデーサイレンスさん、ペイザバトラーさんでしようか：トレーナーのクリスさんも居ますね」

「：まつ、下手くそだけど悪くはないんじゃない?」

「なんや、褒めるの下手くそか」

「ほほお：流星はどぼめじろう。マーちゃんよりも炎上芸がお上手なのです。そしてこの追われっぷり：ふむ、よい愛されっぷりです。どややん」

「頼むマーチャン：優等生が呆れて何も言えてないからその辺にしといてくれねえか？あと何のドヤ顔だよ…」

「いや、今日は逆に助かるかも：しれないわね。それとウオツカ：ドヤ顔の理由は、どぼめじろうがマーちゃん人形を購入した痕跡があるからよ」

「はー：うめすたやらポニッターやらマメチューブってのは難しいんだねえ」

「アキュートさん：ウマです。せめてポニーとは区別しましょうよ」

「相克とはいえ：こういう時に物怖じしないアキュートさんの精神力は、本当に見習いたいよ」

「ネットでの情報源は当てにはならないことが多いが：確かにウマ娘の情報をやたら収集しているって噂はあった。が、想定していたよりも収集している度合いが桁違いだな。ってことは：きてはあいつ、ガチで働いてねえな。時間的に考えても、よっぽどな暇人でないと不可能：良い加減目障りだったノイジイの変数の定義完了。ハッ！これで証明終了かあ!？」

「ひゅううう!!その笑顔素敵だよシャカール!!最高つつ!!」

「それでシャカールくん？過去ログとかからも何か手がかりは見つかったかな？」

「タキオン：ドーピングが嫌いな性質だつてのにやけに食いついてくるってのはよオ：クレイジーなてめえも一端の女だったってわけかア？そんな一面を少しでも早くに見せていれば、フライトも喜んでいたと思うぜエ」

「人の想いでここまでウマ娘が進化する、活性化するなんて事例は初だからねえ：胸が躍っているだけさ。ただ：この現象がアドレナリンやらコルチゾールやらアンフェタミンなんてものが、外部から入っていたせいで起きているのだとしたら：膝から崩れ落ちるくらいにはショックを受けるかもしれないがね」

「タキオンさん：アドレナリンは兎も角アンフェタミンは覚醒剤ですよ。そんなものが手に入っていて、こんな規模で起きていたらこの業界は終わりです」

「はあ……それで、肝心のどぼめじろうが男性なのかをどう見分けるの？SNSや情報サイトに書かれているタレ込み、あとはニュース記事から引用するとなると……信憑性もそうだけど、入力数にも限りがあるわ」

「そうした記事のプレスリリースが確かであるものから、よりウマ娘関連に選定していく作業が必要になりますう〜」

「……あれ？これってヤバいじゃん。そんな限定的にしたら、確率なんでもっと下がるに決まってるじゃん……」

「ウェイ!!それならウチに任せて!!よく新聞とかネット記事見るのが趣味だし、怪しい記事には目をバリバリ光らせてるから、少しはバイブスが上がる結果にはなるかも!!」

「カブトシローやエリモジョージが居ない今、ダイタクヘリオス……君だけが頼りだ。……それよりマルゼン、君はこの状況についてどう思う？私も何か……生徒会長として出来る事は無いだろうか」

「そうねえ……刺激的で良いんじゃないかしら。けれど……ちよつち羨ましいかなって。あたし達が中等部だった時に、こんな風を楽しめたらな……なんて。まあ、それはともかくとして……少なからず後悔のしないようにしてあげるのが、先輩としての最低限の勤めじゃないかしら。今はとりあえずあの子達を見守りましょう?」

「あのマルゼンが……皇帝様も目が点になるような素直な感想を言うなんてなあ」

「どぼめじろうって、ホント……アタシよりもタブーな存在だよ」

「で、この錚々たるメンバーは何なんですの?」

「鍋パーティーでもするんじゃないやねえの?」

「しませんわよ!!」

「あー……あはは。マヤノが気絶しちゃって……それから勘付かれちゃった」

「いいではありませんか。知恵は多いに越したことは無いですよ？」
「イクノ…その考えは脳筋すぎるって。いや、その執念はボクも好き
なんだけど…ホント、時折怖くなるから」

「あのテイオーからお墨付きを貰えるとは…より一層磨きをかけると
しましょうか」

「お手柔らかにお願ひするよ」

「ほらそこ！イチャイチャしてないで手伝ってくださいまし！」

「明らかな嫉妬だな」

「嫉妬ですね」

「今の嫉妬なんだ」

何故彼女が倒れたのか…その真相は本人にしかわからない。マヤ
ノが目を覚ました時に真っ先に思い浮かぶとも限らない。話せる状
況になったとしても看病しているフジキセキには止められていて、と
てもじゃないが寮長室に聞きに行くこともできない。付き添いのス
イープトウシヨウは、教える気にならなければこちらに振り向いては
くれない為、中々に難しい。

それでも彼女が気絶する際、寮中に響き渡る程の大声で「アイコ
(→)ピイイイイツツ!!」なんて叫ぶんだから…そりゃあ大事にな
る。

声が裏返るような何かがあった、という噂は美浦寮へ事情を聞きに
行っていたマツクイーンらの耳にも入っていた。そのうち、あれよあ
れよとカイチヨーやメジロダブルは兎も角として、他のウマ娘や何
故か一人暮らしをしている人までもが、続々とここ栗東寮へと集まっ
ている。

だが、この騒動のお陰で一番乗り気でなかったエアシヤカールが、本格的に手伝うと承諾してくれたのだ。

なんでも、ウマ娘全体のデータを収集している内に、徐々に…そして確実に能力の上昇や興奮作用が高まる傾向が認められたことが不可解だったようで、個人的に追求していたらしい。情報を彼女自らが開発した Parcae へと入力していくと、それらはある年を境に始まっていたようで、こんな事は歴史的に見てもありえないのだと、彼女は述べている。

ボクも、それは聞いていて確かに妙だとは感じていた。しかしながら、こうした能力全体の上昇に至っては可能性はいくらでも考えられるのだ。例えばレース場の改装工事の影響や、トレーニング施設の改善、戦術の変化、栄養価が高かつバランスの良い食事を徹底的にしたことなど、大まかに表すならば複合的かつ総合的なことが影響している。そうして変化していくのが社会である。

これはあくまでボクなりの思考から生まれた産物であって、正しい記録ではない。だからこそ、試しにわからないなりに意見も述べてみたのだ。その時は揶揄うようにして、偶然なんじゃないの？ 的な感じで口を開いていたと思う。

それに対し、彼女はこう答えた。

ならば何故、この現象が日本だけでなく世界中で同時に確認されているんだ、と。

「こちらも解けましたわ。見直しも済んでいます」

「…前提条件の一つとして欠かせない【収入源が無くても生活出来る

人」：なんてのは、よっぽどの富裕層だ。ここに：バカらしくもなるが、本当に男性かってことを踏まえた上で性別を抜きにして：オレらが求めた計算だと、高くても6・74%だな。いや、こんなに確率が高いってのも正直ありえねえんだが、相当甘く見積もっていると仮定してくれ」

「ふうむ：まっ、普通の計算で求めたからねえ。寧ろこの根拠に基づく数字は、安心する心地良さだ」

「当然です。きちんと法則に則ったものですから」

この計算にはボクも携わった。だからこそ自身もホツとしている。イレギュラーが生じない0と1の世界で定義されて求められているからだ。

「さて、今度はシャカール君お手製Parcaeの定番だねえ。一体どんな導きをするのか：実に興味深い。：お手並み拝見と行こうか」

ここからが本番だ。気持ちを引き締めるように、エアシャカールは不安げにパソコンに条件を入力する。どこか戸惑うような雰囲気を感じ、何度も何度も確認している彼女は、いつも見せているような強気な姿勢を完全に失っていた。

「ウマ娘の変化：オレもこれに関しては自身で体感している事だしなア。この原因が簡単に証明出来るなら苦労はしねえ。あわよくばマヤノトップガンが気絶した理由もこれで説明が付くんだろうが：。だが、100通りの策を考えてもそれを超えてきやがるどぼめじろうに関して、俺らでも知らないようなことを予測させて計算しているつてのは無茶振りに近エし、最近はParcaeも、まるで意志があるかのように可笑しい数字を叩き出すことが多くてなア。ならばいっそ、URAに侵入する方がまだマシかもしれないねエってのが、ここ最近の笑えねエ冗談だ」

「本来であれば：あり得ない現象ですな」

「ふうむ…それでもその通りに世界が動いていてかつ正常であるならば、本当に私達の身体に何らかの変化が起きているということになるねえ。しかも、この解答によってはウマ娘と人との違いも生まれてくるだろう。より綿密に設定した方が証明しやすそうだ」

「そういう事になるなア。……うっし、これで一応…入力完了だな。さアて、一体どんな数字を叩きだ…す…の…や…」

その様子は余りにも不自然だった。そんな様子だからこそ、誰もが気になって覗き込んでいた。そして、後悔した。男とイチヤコラしい、という邪な夢がある人ならば別だろうが…そこに歓喜などはなかった。こんな時、どんな顔をすればいいのかわからなかった。啞然と突きつけられた現実が、未熟なボク達の魂を震えさせる。

『95. 0961274013%』

ん？んんん？あ なっ 身体がハリツケになつてくよオ！?レベルの、あまりの衝撃的な数字に皆が動いていない。あのハジケリストなゴルシでさえ、固まっていた。

「シャ、シャカール…もう一回計算してみよつか。何か見逃しているのか、故障なのかわからないし…」

「あらやだシャカールさん、いけませんわあ。これはもしかすると故障しているのではなくて？わたくしが治してさしあげますわあ！」

「チツ…ゴルシが戸惑うってことまで想定しなきゃいけねエのかよオ…面倒だなオイ」

一生あるかないかの瀬戸際かもしれない珍しい場に、ボク達が立ち会えるんだなあ…で、済めば良いのに。

『95. 4712447178%』

あれれ、おかしいぞお？と言いたくなつたのは初めてだ。こんなもの、科学の領域を超えている。【宇宙・肉体・悪魔 — 理性的精神の敵について—】を読んだ時よりも、現実を受け入れる姿勢を維持しなければならぬなんて、誰も聞いていないからだ。

「なんでアガるんだよ!!」

「エクストリウム、ハッピーイ!？」

「落ち着けシャカール…具体的に条件を縮めて再度計算だ。こういう時…積み重ねが大事になってくる場面で、入力する側が焦っても良いことは無いだろ。ゴルシちゃんからの真面目な助言だ。今回の相談料はタダでいいぜ」

「ああ!?!…そうだったな、悪りイ。だけどよオ…これ以上何を入れるってんだ?！」

「例えば…ウマ娘が好きな男性だった場合とか、男性だけドトレーナーの才能があるとか…」

「カフェ…今日はいつも以上に冴えてるなア」

「鬼が出るか蛇が出るか…実物だねえ」

今度こそ0%になるだろうと踏んで、頭を動かし記入しても…

『97. 0133499971%』

あれ…今、ボクはどぼめじろうの配信を聞いていたんだっけ？

いや、違うよね。今は証明する時間だよ。数学のお時間だよ。

ん?…どうということ?…え?…こんな…こんなことってあり得るの?…こんな血の一滴で海の青を赤く染めようとするようなものだよ?…ねえ、どぼめじろうさん?…あなた、森羅万象という言葉はご存知?…ご存知でない!?!

今度こそ本当にどぼめじろうが何なのかを知れたってことになるのかな？…そうするとボクは一体どうなるの？ねえ、答えてよ…ど、どぼどどど、どぼ、どぼどぼ…どぼめじろう…。

「ああ…あう…うう…な、なアコイツ…全くと言っていいほどロジカルじゃねえんだが、こ、これは壊れたってことで良いよな？」

「…ぎ、残念ながら故障はしてないねえ。寧ろ絶好調じゃないかな」

「…万が一 Parcae や情報自体が細工された可能性は？」

「だ、断定は出来ませんが…それは無いと思います。まず、ここまで繊細な機械を他の人がイジるとするのは、相当頭がイカれていないと…無理ですからあ」

「あ…その気持ちすっごいわかりマウス」

「確かに…神絵師さんから渡された下書きとか筆が進みませんからねえ」

「そうですね。線一本描くだけで緊張して手が震えたりしますし」

「あの…まさかとは思うけど、その PC が自我でも持っている…なんてことはないわよね？それか中身が人間…とか」

「アヤベさん…そんなカワイくない事言わないでくださいよ…」

「え？まさかの電脳化？」

「意識の研究は、まだ進展がなかったと記憶にありますが…」

「Parcae にひ、人が宿っているとか怖い事言うんじゃねえよ…」
「というか、どういった計算方法でこんな出鱈目な数字を叩き出しているんだよ…ゴルシちゃんの頭がいよいよどうにかなっちゃまいそう
だぜ」

「いえ、あなたは元からその素質はありましたわ」

「ドレイクが生み出した公式が、悉く潰されるとは…」

「こんなことって…へ何故私に恋人が出来ないのかの数学的証明が崩れるわね」

「なあ、姉貴。こ、これは単純に表すとどういう事なんだ？」

「恐らくバグとかでなければ：世界中にあるゴシップの中に一致する人物像が居たんだ。：それも一過性でなく、継続的なパターンを示しているから、現在進行形で影響を与えている：ってことに」

「そうだとっても理解出来ません：何故こんな数値を叩き出すのかわかりません」

「風水は統計学男性も統計学風水は統計学男性も統計学風水は統計学……」

「え、待って、本当にどぼめじろうって男性なの？」

「こんな高濃度高密度な事実を1人で受け止められるわけがない：マヤノトップガンが気絶したのは、やはりこれが原因なのか？」

「シッラ、オ、キ、さ、ま、あ、あ、!!」

「も、もももう一回だけ再検証してみようよシヤカール。トレセン学園に就職するような前例があるかないか：とか、どうかな？」

「：ああ。頼むこれで0%になってくれ。でない日本政府だの面倒なところにはか個人情報データのデータが入っていないことになる。病院ならまだ個人でハックできるが：男絡みともなれば国家絡みにまで発展して最悪は：クソツ前科なんて付きたくねえ。頼む、頼むぜ P a r c a e ……オレはまだ……」

『97. 7959871199%』

ふあっ！…あつ。あつ、あつ！…あつ！…ああつ！あ！

「……、恋鐘とどぼめじろうが同一人物である可能性も入れてやる！
これでどうだア!？」

『98. 722222222222%』

あ、あつ！あつ!!あ!!あつ!!あつ!!ああつ!!

「どぼめじろうはウマ娘を愛しているか！こんな抽象的なもので数値
に置き換わるなんて言わねエよなア!?!そうだろParcae!!」

『99. 10310212222%』

天才はいる、悔しいが。

「つだああクソツタレ!!オカルトより運命の女神様の方が怖えよ!!
99. 1%つて実質確定じゃねえか!!」

エアシヤカールのあまり上手くないツツコミが、ただただ寮にこだまする。ロジカルじゃないから嫌だ、というような理由ではなく、決して嘘偽りのないカミングアウトまで添えてのお墨付きで。この禁断の扉は待ち望んでいたかのように開いて、そしてボク達を闇で包み込む。その先に待ち受けていたのは、ただ唯一無二の恐怖だけだった。

「なんかここまで来ると、逆に安心するなア。これが正常性バイアスツてヤツだったかア?」

「私の研究における可能性とやらが、さらに広がったねえ…!」

「新たな勝利の方程式が、そこにもあつたのか!」

などと、頭の良い人はきつと、こういう風に落ち着いて対処している…というのが理想なのだろう。

だがしかし…現実では、

「な、なななななんかここここここここここまで…ツ。つてか、オレ…おとおおおうおとととここここここにあああんな中指なんかたてて

…そそそういえばあいつ…オレのファンファン？…オオオオレのファンにおお男が居るからって気が緩むとか…：…：…：…：…：…：…：マジでキモいじゃねエか…想像以上にしようもねエ…。論理的になろうにもダメだア…肝心のロジカルも通じねエ…！ねえよ…これを破るデータなんかねえよ…ふざけんなバーカ！…ええつと、バーカバーカ！」

「全人口における割合のうち、その中でも男女比率は1：80を更新していた筈だ…さらにそこからトレーナーを指すような狂人が出る確率は0.000…やめよう。これは罠だ。どぼめじろうが私達を揶揄うために仕組んだ罠だ！そうに決まってる！」

「……………」

「やばい、姉貴が息してない！」

ファンもびっくりな阿鼻叫喚の嵐だ。

それは決して特定の彼女達に限った話ではなく…

「嵐が吹き荒れています。あからしま風です。野分です。飄風です。煽風です。乱気流です。ビュービューです。ヤバいです」

「あわわ…あわわわわわわわわ」

「カレンは今日もカワイイ…カレンは今日もカワイイ…よし」

「ハーツハツハツハ、ハーツハツハツハツハツハツ。…え、ちよつと待って」

「エラー発生、エラー発生」

「あ　ラ　ライスおかゆになっちゃうよオ…」

「ちよつとセイちゃん横になりますね…」

「ケツ!？」

「おれの脚に目を向けてくれていた人が…おと…ここ？」

「華麗であれ…優雅であれ…己を律するのです…己を…律…するのですっっ！」

「Oh…My God……」

「消えろ、闇のわだす!!」

この場にいた全員に、ありのままにブツ刺さっていた。無論ボクもそうだ。

そしてこの中でも一番にショックを受けていたのは、他でもないメジロ家のお嬢様方であった。

そうして迎えたジャパンカップ。

『……スタートしました。先頭に立ったのは6枠10番のメジロアルダ……え?メジロアルダン!メジロアルダンです!さ、最高のスタートを切って、先頭に躍り出ています。二番手に追う形で……な、なんとメジロマックイーン!メジロマックイーンです!これはどういう事でしようか!?一体何が起きているのでしょうか!?三番手はフジヤマケンザンか、ジョージモナークといった形で競い合っておりますが……』
『通常の先行策……というわけではないようですね。この2人がレースを引っ張っていく、といった形になるかと思われませんが……どのようなレース展開になるのか目が離せません』

メジロ家の2人がレース直前から領域を展開。

『ほ、他のウマ娘は様子見をしているようですね……団子状態となっております。』

『いえ、これは様子見ではなく……何処か怯えているようにも見られま

すね。い、一体何が…』

実況席も困惑するほどの狼狽えっぷりは、一瞬であったが彼女達の仕事をも奪わせる程のものだった。

『最終コーナーへと入ってきましたが、依然としてメジロ家の独壇場となっております！差が…差が縮みません！』

『な、なんとという事でしょう…！ここから如何にして着いて行こうにも、残りの脚の事を考えては厳しいでしょう！先頭までは10バ身以上あるでしょうが…これがレースの恐ろしさです！こんな光景は前代未聞ですよ！』

他のウマ娘に対し、まるで彼は誰にも渡さんと威圧するかの如く独占欲に塗れた争いが、そこで繰り広げられている。

『アルダンだ!!メジロはメジロでもアルダンの方だ!!メジロアルダンが僅かにハナ差で勝利を掴みました!!ガラスの脚を見事に克服し、悲願のG1達成イイイイ!!2着にメジロマツクイーン!!3着5バ身差でゴールデンフェザントが今ゴールインツツ!!4着マジックナイト、5着シャフツベリーアヴェニューも見事に食らいついていましたが、日本勢の、特にメジロ家のウマ娘には驚かされましたね!!』

『メジロアルダンは今季で引退という方針が立っていたそうですが…こ、これはわからなくなってきましたね。あの威圧感と共に走ったオグリキャップやそのライバルタマモクロスに並ぶほどのものです。まさに【無敵のウマ娘】と称されても良いかもしれません。良い試合展開でした。そしてそんな彼女に食らいついたメジロマツクイーンも、最強の名を語るに相応しい逸材であると、私は感じています。』

この結果には、どぼめじろうも予想だにしていなかった事だろう。恐らく彼がこの場に居たら、動揺の色が間近で見取れるんだろうが

：予言が外れたかと思えば、この有り様だ。

もう滅茶苦茶だ。

こんな単純な思い込みで調子を取り戻すマックイーンもそうだが、あの一件のみでメジロアルダンを完全に開花させるとは、ドーピングよりタチが悪い。プラシーボ効果なんて度を超えている。

というか、勝利への執念の動機が完全に『男を抱きしめたい』だとか『男とイチャイチャしたい』だとか『男の胸に顔を埋めたい』だとか『腕に尻尾を巻き付けたい』だとか『抱いてくれ』だとか！完全にやましい事しか考えてないそれだもの。

女の戦いなんて、誰も巻き込まれたくないもの。夢バトルそのものだもの。誰だって悪魔同士の戦いになんて参戦したくないもの。

ボクとマックイーンが喋っているだけで暴れ散らかすあのサンデーサイレンスだって、困惑しているんだもの。ボクだってワケワカンナイヨー！と叫びながら、今すぐにでもどぼめじろうの胸元で泣きたいくらいだ。ワンワンと泣きついて怒鳴り散らかしてやりたい。そしてそのまま：いや、ないない。ボクがあんな狂った人を好きになるとか：あんな目にあっておいて、ボク達がどぼめじろうの事を好す：いや、認めない。絶対に認めてなるものか!!なんて葛藤はこれで何回目だろうか。

下手したら100は超えてるんじゃないや：なんてことは断じて無いったら無いのだ。

この世界はおしまいだ。

男を支配し：男に支配されたいと夢を抱き、男を得るために戦い、男に飢え、男と共に死にたいと願う：そんな世界なんだ。

この時より、どぼめじろうという名の騎士の封印が解かれたのだ。

だがこれは、どぼめじろうを語る上での…まだほんの序章に過ぎなかったのである。

12月、第二の封印が解かれようとしていた。

全てを我慢し、全てを信じ、全てを期待し、全てを耐え忍びます。愛は決して絶えることがありません。彼は、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。

定例となりつつあるどぼめじろう対策会議は、記念すべき3回目を迎えて記憶に新しい。

…あのジャパンカップがあつてからというもの、ボク達の日常は変わってしまった。

今や、半ば異端と化した宗派は完全に覆ることなく、ごく一部のトレセン学園内での派閥のみ存在している形となっている。

とはいえ、それはあくまで傾向だ。実際にどぼめじろうが男なのではないか？という考えを捨てていない人も少なからず実在する可能性は否定されていない。

というよりは、そういった人たちがここ最近になって、少しずつ増えてきた…というのが現状だ。またもや彼が何か思わせぶりなことをしてしまったのではないか？と思う人もいるのかもしれないが、これについては完全に別件である。

そう…とあるウマ娘がやらかしてしまったのだ。

まず初めに、この季節…特に12月は世の女性達にとっては地獄と なってしまう。それは何故か。

答えはクリスマスである。

この月に行われるレースは、主に一年を締めくくる上で重大な位置

付けを意味している。こと有マ記念においては、クリスマスに一番近い日である事が多いためか、会場は魑魅魍魎の悪鬼羅刹で溢れかえってしまうのだ。そしてそれは今や、一種の恒例行事とも言ってもいいほどに、悲惨な姿へと成り果ててしまっている。

なんでも、男に会う機会などが滅多に訪れないトレセン学園の生徒を、そうした独り身の女性達が哀れな自分に見立てて重ねることで、一生懸命走ることだけに集中するというウマ娘の構図を利用して共感して、自身を慰めてくれる格好の生贄として活用することで、新年を迎えようとする試みなんだとか…。勿論、元来から生粋のレース好きな人達はそんなことはしないのだが、どうにもこれが年を締めくくる最後の祭りなんだそうだ。

いつの間にか、夢を見る場が、夢に敗れた人達を慰める場へと変貌を遂げるだなんて、一体誰が想像出来たのだろうか…。なんて話は置いておくとしよう。

例年通りならば、そうした人達がいると分かった上でレースをし、ファンの人たちと共に心機一転し、来年もまた夢を見ようと奮起させるのが、ボク達ウマ娘の役割みたいなものだった。

しかしながら、今年は明らかにウマ娘の動きが違っていた。

それを語る上で欠かせない要素の一つが、朝日杯フューチュリティステークス、阪神ジュベナイルフィリーズ、そしてホープフルステークスの試合結果だ。

まずはミホノブルボンだ。このウマ娘は、今や来年の三冠ウマ娘の

候補を語る上で欠かせない存在の1人として話題に挙げられている。

そしてこの朝日杯においては、ミホノブルボンに対して不安となる課題が存在していた。それは距離云々といった心配事もあるが、第一の絶対条件として考えなければならなかったのは、クラシックを見据えた上での走りをしななければならないということだった。

勿論、現時点で最強格の器であることは、ウマ娘界限に一般教養レベルでの共通知識として認識されている。その上で、ミホノブルボンがレース展開に対して控えめな走りをしてしまうのでないか？という予想が一部を除いて広がっていた。

だが、その心配は無用だったと人々は痛感する。あの無表情でサイボーグのような彼女が鼻で笑ってしまうほどに、過敏になっていたファン達を嘲笑うかの如く、2着に対して7バ身差を付ける圧倒的な勝負劇をマジマジと見せつけた。

これに世間は食いつくように驚いた。なんて娘だ、来年のクラシック：いや、それこそシニア期でも活躍すること間違いなしであると、確信してしまったのだ。

そして1週間後に迎えた怒涛の阪神ジュベナイルフィリーズ。ここではサンエイサンキュー、シンコウラブリイ、ニシノフラワーの天才組三強によって戦いが繰り広げられていた。まるで歴戦の強者が現れたかの如く、烈風のように一瞬にして他のウマ娘を置き去りにしていくそれは、時代の変化を感じさせる一撃を一瞬にして放ち、数多の女性に強さとはこういうものだ、と証明することとなる。

世間はここで、目をパチクリさせるかのような惨状を前に、現状を把握出来なくなっていた。ジャパンカップ、朝日杯ときて、何故ここまで強いウマ娘が急激に現れてきたのだと、皆が皆疑うようにして、その原因についての話題が飛び交うようになっていく。しかしながら根本的にわからない為、話題が収束することはない。

時には、『なんかそういうデータあるんすか？』とまで言われる始末だ。

そこにホープフルステークスが、息を潜めるかのようにして控えていた。「希望に満ちた」「望みを持つ」といった意味が込められたこのレースで、幸運を届けるかのようにして勝利したライスシャワーは、正に黒き鬼神のようだった。

距離が短いのではないか、という懸念を他所にして魅せた走りは、ミホノブルボンにも勝る勢いの見事な一文字。その走りっぷりに人は歓喜し、祝福の声を彼女へと浴びせた。

さらには、朝日杯、ホープフルステークスの両方へ出場したマチカネタンホイザもまた、平凡とは思えない走りを見せつけていた。どちらのレースでも2着をもち取るその異端さは、はつきり言って普通のウマ娘ではないと評価される位置付けともなっていた。

加えてその勝利者が、毎度の如くインタビューなどを通して少しずつ入れてくる例のあの人へと向けたメッセージ。特にライスシャワーは、前回恥じらう様にして行っていた小説のキャラを完璧にコピーし、

『まずは現時点で最強と名高いミホノブルボンを倒せるまでに強くなります。G1を取ったからといって、決して慢心はしません。あの朝日杯を間近で見て、確かに凄いウマ娘だな、と実感しました。だからといって、超えられない壁ではないとも思いました。この発言によってライスがヒールと呼ばれようと、関係はありません。弱いヒールは存在しないんだ、と証明し、絶対的王者を倒す様な…そして、見ていて心が熱くなる様な…そんなレースが出来るよう、これからも精進していきます。応援の程、よろしく願います』

なんて言葉を、1ミリのズレもなくご丁寧に残している。これには多くのウマ娘ファンが感激していた。元ネタがどうであれ、ここまで胸を熱くさせる宣戦布告は、久しぶりであったためだ。

かつ、その話題に拳がっていた全員は、総じて度肝が据わっていた。なんとさえばいいのだろうか…そう、まるで瞳に熱がこもり、何か途

轍もないものを手に入れようとしているような、覚悟をしている目をしてきたのだ。

これに疑問が疑問を生んで、さらには拍車をかけていく事となる。

まあ：こうなってしまった理由は、我ながら理解出来てしまうのだが、前提として、ボク達はどぼめじろうの正体を掴みかけていた。実際のところ、彼女だと思われていた人が実は狂った男で、ウマ娘を愛しているという行動心理まで解けている。

しかしながら、彼が日本の何処にいて、どんな暮らしをしているのか皆目検討もつかないでいた。あれだけ拗らせた人な為、探すのも一苦労なのだ。あと、国や法律等を敵に回したくないという普遍的なものもある。

また、どぼめじろうを探す理由は幾つか存在する。

1、どぼめじろうに向けている好意が消えてしまった状態で、ウマ娘のリミッターが解除されたまま走り続けていた場合における損害が、怪我だけでは済まされない危険性があること。（目標が絶対に手に入らないものだとかわかった時の精神的な損失が計り知れない、というこゝとも入れておく）

2、どぼめじろうの正体が、他国や市民に認識され特定された時において考えられた際における大規模的な犯罪に巻き込まれる確率が、非常に高くなってしまったこと。

3、現段階では短期間におけるウマ娘の成長比率や本格化だ、という声がU R A 上層部から上がるほどに、この現象がどぼめじろうによって起きていることだと知らないこと。（長期間に渡る調査にて、この状況が本格化以外の要因で続いている、と知ることができれば、発生源を特定する提案くらいは出されると予想される）

4、政府の力だけでは、たった1人の男のために動くという事態に発展はしないということ。（事件が起きれば対処はするが、未然に防ぐのは難しいという現状はどうにも出来ない）

5、各国：主にサンデーサイレンスやイージゴア、ダンシングブルレーヴ、サドラーズウエルズ、ホーリックスといった名だたるウマ娘が、この不可思議な惨状に対して特有の勝負勘が働いており、十中八九バレーている可能性が高いということ。

6、今のところ正体を知っているウマ娘は、いつになく調子が良いなどの体調面における変化が見られているが、これが本能のままに欲の限りを尽くすような行為に結びついてしまった時に、互いが不幸になるという最悪の事態を未然に防がなければならぬということ。

7、6つ目の出来事によってウマ娘と男性の接触が、一切禁止になつてしまう法が整備されてしまうかもしれないということ。（ウマ娘と人間との人口比率の問題）

8、単純に、これ以上男性からウマ娘に対しての誤解が広まれば、いつかはネットなどにて悪質なデマなども混じった情報が拡散してしまう恐れがあるということ。

9、男尊女卑、女尊男卑共々の面倒臭い連中によって、URRが衰退してしまった事による損害額が億を軽く超えること。（そうなること、ウマ娘の社会進出も難しくなってしまう、結果的に誰もが不幸になつてしまう結末を迎えてしまうので、それは絶対に避けたい）

10、予言めいたものが実は予言などではなく、どぼめじろうの声を聞いた事によって、身体が無意識にそれを望み意図的に怪我などが発症してしまう恐れがあるということ。

11、どぼめじろうが民間や国営の男性保護警備員を雇っていない可能性が浮上したこと。（雇つてなくても日本は他国に比べて治安は良いので問題はない。が、問題が発生した場合は保険適用外のような扱いになる）

12、どぼめじろうの影響力の再分配が必要不可欠だということ。（メジロ家や、それよりも大きい王族の権力等を使われてしまった場合、誰も太刀打ち出来ずに白旗を上げる事になりかねなくなる。そんな事になってしまえば、彼の国は勿論、ロシアや中国、中東諸国が黙っていない。とはいえ、今日に至るまでその兆候は見られていない）

他にもまだまだあるとは思いますが…一先ずはこの辺にしておくでしょう。簡潔に述べると『飢えた女性ほど怖いものはない』のだ。最早、ギャグでは済まされない事態へと発展させたのは、他でもない彼本人とボク達全世界に存在するウマ娘のせいである。例え彼が放つ言葉が借り物であろうがなからうが…そこには罪しか無かった。罪深い男の詰みである。

だからといって、このまま放っておく訳にはいかない。男の愛の形はどうであれ、本物だ。だからこそ煩わしさが半端ない。

よって、こつそりと…かつ偶然を装ってどぼめじろうに接触し、やんわりと収束させる形の方向性で事態を済ませたいのだ。

その為に、ボク達はトレーニングの合間を縫っては情報の答え合わせを行った。その求め方は至って単純だ。どぼめじろうや恋鐘が活動を始める前の記事を追えばいいのだから、今までに比べればこれほど楽なことは無い。

どぼめじろうがURAに落ちた後に、男性の従業員募集を無くしていることから、意外にも目星は付きやすかった。

ただ、そこから先がなかなか手強かったのだ。

男性の記事からウマ娘やレース関連に絞っていくと、大体は何処ぞの富豪と婚約したのだといった、この世界でよく見られる報告が多数を占めていた。

とある一件を除いて…の話だとは、この時思いもしなかったが。

ヘリオスが仕入れた情報の中に、一つだけ異彩を放つ記事があった事が、発端の始まりである。

『滋賀県の賀茂神社にて、男性が参拝!!』って何この記事。ヘリオスが入れたにしては大分胡散臭いんだけど…」

「ああ、それ？なんかウチらがまだトレセンに入る前くらいに、個人的にテンションブチ上がっちゃった鬼ヤバニュース：みたいなの？こないだの一件があつたじゃん？んで、データを入れる時にミラクルでんてーとお嬢に「この記事もどうよ？」って見せたんよ。そしたらさ、「いやいや、その記事を入れるのはないない」って珍しく一緒に笑い合つて：それが余りにも可笑しかったから、とりまウエイウエイ！ヴオンヴオンヴオン！的なノリで入れてみたってわけ！いやあ、そしたらあんな風にかましていたどぼちんが　らびゅ　てんあげよいちよ！　だつたなんて思わないじゃん？まじパなかつたつていうか：あれ、なんか不味つた？」

「つてことはこの男が…つてかこれどぼめじろう確定なの!？」

「噂話つて0<P<1の人数が多ければ多いほどPに依存しないから、確率つて半分になつていくじゃん？だけど、これに関してはマ！どぼちんかどうかはわかんないけど：ただ、その神社がある場所つてのがさく、ちよくど田舎なんよ。周りは田んぼだらけつて感じで。しかもイケメンすぎてフェイクニュースだつて噂まで流れたりと踏んだり蹴つたりの嵐。結局他のニュースに比べて上手くバズらんかつたつてオチ！なんか：そこら辺がどぼちんらしいな〜つて」

「こんなにも早く候補が見つかるだなんて：時系列的にも一致するし：マジで瀬戸際じゃん！ね、ねえその神社つてどこにあるの？」

「栗東！あ、いや：確かその近くの篠原つてところだつたと思う！」

実態が透明化していく程に、段々と残念になつていくというのは彼らしい。いや、元々残念な人であるのは間違いないのだが、ウマ娘至上主義者の末路が狂信者であるとは考えたくなかつたのだ。現段階

でこれについては定かではないが…あれだけボク達を翻弄しているとなると、どうしてもその考えが頭に過ぎってしまう。

いや、こうして狂っていないければ出来ない行動なのだろう。どぼめじろうという例外が最も良い例だ。

さて、こうして彼が唯一出現した居場所は判明した。

この段階では、まだなんとかして画策を練っている段階だった。どぼめじろうに本来の意図を悟られないよう、最新の注意を払って行動を起こす寸前だったのだ。その試みとは、元々開催される予定だった名古屋や笠間、園田、姫路、そして高知といった地方トレセン学園の生徒と、栗東にあるウマ娘専用のトレーニング施設で親睦を深めるイベントである。

正に、両校の生徒が交流を深めるにはもってこいの場所だ。

どぼめじろうが現れた場と栗東トレーニング施設が近かったのは運が良かったが、それを抜きにしても…それらを踏まえた上であったかも奇遇を装うそんな策略を、カイチョーが上手いこと形として提案し上からの承諾を得る。あとはどぼめじろうの内面を信じるのみ…そういう手筈だった。

では、冒頭へと戻るとしよう。

その矢先に…有マ記念において、やらかしたポンコツがいる。

「そう…ボクの心を読めるような勘の良い人は気付くだろうが、ボクの友だ…強敵ライバルであり、尊敬しているウマ娘の1人…

メジロマックイーンである。

通称「何やってんだマツクイーンオマエツ!!、これはびっくりダイユウサク」事件だ。

「ご存知の通り、彼女はどぼめじろうの被害を一番に受けている被害者であり、どぼめじろうを興奮させてきた加害者でもある。この関係図が彼女を混乱させていたのだ。しかも、居場所が判明したのはレースが始まる1週間前だ。」

「『人の心はわからない。正体が誰であったとしても、行動が人の本性を決める』なんてことを過去にあなたは仰られていました…ということとは、私を弄っていたのは愛情の照れ隠しのようなものなのでしょうか…いえ、判断を見誤ってはなりません。いついかなる時でも誇り高きメジロ家のウマ娘として優雅に…本当に存在する男性ですか？だとしたら、私はなんて…なんて勿体無いことを…でも、仮に男性でも

どぼめじろうは…キツイですわあ。それでも…好かれているという点は悪くないですし、何より年上です。あの暴れっぷりは看過出来ませんが、でもそこが…：ハッ！いけませんわ！これはどぼめじろうが私を弄んでいるに決まっていますわ！」

こんな四苦八苦をした後、開き直ったかのようにして叫ぶ彼女は：

「ああ、もう！散々な目エばつか遭って…：こちらは我慢しかしておりませんのに…：まだまともな会話もしたことが無いんですのおおおとおおお！！」

ただの1人の少女であった。

梓順が決まる前から、リーマスでも処方された方がよろしいのではないか、と感じるほどに、躁鬱患者に見られがちな浮き沈みの激しい気分がマックイーンを襲っていた。挙げ句の果てには、処方薬なんか飲んでもいないのに、副作用によく見られるリチウム中毒のような手の震えの症状まで出る始末だ。そのうち暴れるに暴れて、歯が3本くらい折れたりしないものか、と心配してしまう。

そんな状態で、有マ記念の前日に交流イベントが開催される事が決まってしまった。

これにより、マックイーンは目がバッキバキの興奮状態のまま、レースに挑むことになる。

無駄に気力も体力も消費しながらのコンディションは最悪でいつになっても治らず、関係者は勿論のこと、ナイスネイチャやダイタクヘリオスなどの選手達はマックイーンの様子に集中出来ず、観客も一番人気に推しているとはいえ、流星に心配が勝った。

余談だが、この有マ記念。

秋の天皇賞では降着によってプレクラスニーが繰り上げで1着、メ

ジロライアンは屈腱炎明けで本調子でなく、ツインターボも疲労状態が解けず、ナイスネイチャはマチカネタンホイザの例があるとはいえ鳴尾記念からのぶっ続けで、ダイタクヘリオスは距離適正の問題、オサイチジョージはこの有マで引退、レオダーバンやイブキマイカグラは菊花賞での限界を超えた走りの影響か疲れが取れず、カミノクレツセは初めての中山レース場での舞台と、総じてスタボロなのだ。1人を除いて…。

ここで我先に、と躍り出たのがダイユウサクだった。この試合に賭ける思いが誰よりも強く、仕上げに仕上げた彼女は、錯乱状態だったマックイーンを物ともせず、1着を掴み取る。

レース好きにとって、ウマ娘が好きの人にとっては、なんて素晴らしいんだ、と感動の嵐が吹き荒れただろう。実際、レース場はライブ会場で盛り上がった時並に皆が雄叫びを上げた。

だがしかし、今年の有マ記念はクリスマスの3日前だ。そしてこのメジロマックイーンの取り乱しようは、新作のスィーツが発表されるわけでもないのに1人呑気に浮かれていたことから、ある種の予想を生み出してしまう。

正直言つて、こんな疑いが出る以前に、ダイユウサクはボク達全員を一発ずつ殴つても良いと思うのだが…所謂「もしかしたら…あのメジロマックイーンに『男』が出来たのではないのか」という推測だ。

これが冒頭でも述べた可能性だ。ブルボンやライスといったメンツとマックイーンの共通項があるとすれば、それはもうどぼめじろう恋鐘以外に存在していなかったのだ。

このぶっ飛んだ論調に、どぼめじろう界限での噂が噂を呼び、日夜論争が繰り広げられているのが常となっている。

やはりこの界限は侮れないのだ。

そんなこんなでスレも現実もクリスマスその後ということもあって、いつもよりも少しだけはっちゃけている12月30日。ボク達は栗東で交流会を楽しんでいた。

このトレーニング施設の隣町には、スケート場などの活気に溢れる娯楽設備も建てられている。

そう：スケートといえばカイチョーとオグリの黒歴史もあるが、それを踏まえた上でイベントも大盛況であった。

それは個人的にも言えることであり、地方との交流は中々に喜ばしいものだった。

中でもオグリの同期でもあり、ライバルでもあり、友達でもあるマーチトウシヨウは、東海ダービーを勝ったということもあってか、中央の娘と張り合える程にストイックだし、ノルンエースはダンスが得意だということで、意気投合した。久しく忘れていた走るのが楽しい、という感覚はボクの走りをさらに変えるきっかけの一つにもなったし、その2人のおかげで完成形には至らなかったものの、大きく昇華できたのだ。

まあただ：この、当日に「会わせたい人がいる」と言って連れてきたオグリのチョイスが、なんというか：相変わらずだった。

何せ、トウカイテイオーがダービーを取ったから東海ダービー繋がりだっていう洒落でマーチトウシヨウを繋げようとしてくるのだから。いや、これはこれで：らしいというか。

あの怪物はどこまでいっても素直で天然なんだな、と自然と笑顔になつてしまう。その様子にネイチャはツボリ、キタハラやベルノ、タマモ、イナリは総ツツコミをし、クリークとマルゼンが微笑ましい表情を浮かべ、カイチョーはしょんぼりしていた。

そして運命の12月31日：キタちゃんの幼馴染であるコパノリッキーからの提言により、ボク達はマーチ達の案内の元、年末詣へと出向いた。近くにある大野神社ではなく賀茂神社へと行きたいのだと言つても、快く引き受けてくれたマーチ達には申し訳なさで一杯になる。

最寄りの草津駅まで走つて30分弱：良いランニングコースではあるが、流石にここはバスでのんびりと向かう。

駅へと近づくにつれて、タワーマンションや商業施設が増えてきて賑わいを増してきた。少し古臭い小さな立川駅や船橋駅とでも表せば良いのだろうか。適切な表現が思い浮かばないが、田舎らしい田舎か？と問われれば別段そうだったわけではない、極々普通の街がそこにあつた。

改札を通り、米原方面行きの電車に乗る。

このまま約15分弱電車に揺られると、目的の篠原駅に到着する：のだが、ここで周りの風景を見て、少しずつだが雲行きが怪しくなつてくる。守山、野洲辺りまでは軒並み住宅街が車窓から映ることが多かったのだが、野洲より先に行くにつれて一面田んぼだったり：：快晴も相まってか、目の前に長閑な風景が広がってきたのだ。

一同は不安へと駆られた。失礼にはなるが、こんなところに男がいるわけがないと、目を逸らしたくなる勢いで思ってしまった。

『今から1270数年前の奈良時代に天変地異が起こり、国土が危機的な状況となった。この時、当時の天皇が日本の荒廃を憂い、天変地異のない世を願い、国土の災厄を封じ、人々の幸せを願う神社を創造した。：さらには、元々琵琶湖や土地の影響でウマ娘が育ちやすかった環境下であったことや、遙か昔から人間と共同体で暮らしていた痕跡が見られた事、この神社を建設する上で携わった書物などが残されるなどの事から、全国的に見てもウマ娘の心と人の心が寄り集まった神社であると言える。』

このことから当社の事を人々は【ウマ娘の聖地】と呼ぶ声も多い』：へえ、由緒正しき神社なんだね」

「あつそれとね？一般的な神社の場合、本殿の向きは南向きか東向きなんだけど、本殿が鬼門の方角、北東にあつて結構特殊な方位にあるんだ。それに加えて本殿の向いている方位が裏鬼門：つまり南西を向いている。よつて、この建設には陰陽道が関わっていた、なんてこともわかるんだよ！」

「流石リツキー大先生。あれ、でも三女神様の像つて…」

「ああ、それは：今日までのレースがここまで発展したのは、偏にイギリスの影響が大きかったからだそうだ。

これもその一つ：ではあるのだが、この取り組みにはどうやらアメリカも関与していてね。多額の支援の下もあつて、三女神の概念がそこいら中に広がった、というのが通説らしい。

事日本においては種正、種道、星旗、星若、星濱、星谷、星富、星友と呼ばれたウマ娘が欧米諸国と率先して整備に携わったからこそ、トクマサやクレオパトラトマスが活躍できたとも言われている。テイオー：これは歴史の勉強で習う項目だぞ」

「あ、あはは。ごめんカイチョー」

「お、なんかアタシのゴルシちゃんリーダーが受信しちまったぜ！サンエイサンキュー共々、唐突に褒められた気がする！」

「どうしたんです、急に。これから『決戦！どぼめじろう』って意気込んでいらしたのに…」

「テイオーちゃん、ウマスタライブの視聴者達からも『それは一般教養だよ』みたいなこと書かれてるよ」

「へ、へえ…じゃあ聞くけどマヤノは知っていたわけ？」

「も、勿論？テイオーちゃんと違って天才だし？いっばんじょーしきだし？」

「田んぼかぁ。…お腹が空いてきた」

「オグリは相変わらずだな」

「つば、オグリしか勝たん…！」

「いや、そこツツコミ入れんのかい！」

…何て笑い合っではいるが、正直なところ…わーい、観光つてたっのしー…みたいなノリで完全に諦めていた。表面上取り繕っでいても、内心酷く荒んでいて、雨がザーザーと降って止んでいないまま、歩みを進めている。止まない雨はない、なんて言葉を投げないで欲しい…誰かボク達の心に傘を差してほしい、と切に願う様子は、完全に通夜ムードだ。

真面目に考えたら、こんなノリでウマスタライブなんてするもんじゃない、とも思うが、テンションを上げるためには犠牲になってもらうしかないのだ。仕方がなかったのだ。

それでも折角ここまで時間をかけて、この地へとやってきた。そうになると、何かしらの証は残したいもので、色々な葛藤の末に、なんだかんだこうして向かっているのは、最早意地ではない。

自惚れてる訳ではないが、この見渡す限り田んぼしかない場所で、

知名度がある子供がウマスタライブをやっているのは中々シニールすぎる光景だ。響き渡る声は、静寂さに比例してより目立っていく。

どぼめじろう本人が来る保証は無いにしても、釣りをする場所から選んでほしいものだ。正直に言つて、本当に勘弁してもらいたいものである。

『とにかくね、私にはね、広いライ麦の畑やなんかがあつてさ、そこで小さな子供たちが、みんなでなんかのゲームをしているところが目に見えるんだよ。何千つていう子供たちがいるんだ。そしてあたりには誰もいない——誰もつて大人はだよ——私のほかにはね。で、私はあぶない崖のふちに立ってるんだ。私のやる仕事はね、誰でも崖から転がり落ちそうになったら、その子をつかまえることなんだ——つまり、子供たちは走つてるときにどこを通つてるかなんて見やしないだろう。そんなときに私は、どっかから、さつととび出して行って、その子をつかまえてやらなきゃならないんだ。一日じゆう、それだけをやればいいんだな。ライ麦畑のつかまえ役、そういつたものに私はなりたいんだよ。馬鹿げてることは知ってるよ。でも、ほんとになりたいたいのといったら、それしかないね。馬鹿げてることは知ってるけどさ』

麦畑がないにも関わらず、何故かこの本の一節が唐突に頭に過ぎった。

しかし今のボク達にとっては関係のないことだ。余計な考えに捕われてるな、と再度心を引き締める。

「はあ…最悪だ。嘘みたいな記事に踊らされることもそうだが、このオレがここまで未練がましい想いをするなんてなア…アイツと同じように狂っていたって訳かよ。クソツ」

「そ、そんな事はないと思いますう」

「そういえばドーベルさんやデジタルは？」

「そういや見かけねえな。こっち側に来てねえっぽいし」

「デジタル君達ならコミケだよ。それに…現実離れしているが、万が一向こう側にも現れる可能性もあるかもしれないからねえ」

残すは、ボク達小娘の作戦がバレないことを祈るだけだ。

「これは命令です。良い加減…姿を現しなさい」

初めに感じたのは鼻腔を擦るような違和感だった。トレーナーや周りの人達は気が付いていなかったが、ボク達ウマ娘にはこの神社に入る前から今までに嗅いだことのない、甘い香りが漂ってきたのだ。

最初は甘酒かと思ったが、それとも違う…どちらかといえば、マツクイーンやイクノなどと…人やウマ娘とすれ違った時にフワツと香るような、その人その人が出す特有の体臭に近かった。

その匂いは神社の奥に行けば行くほど、濃度が濃くなっていくようで、驚くべきことにマーチトウシヨウやノルンエースは耐えられない程であった。

結論から言うと…その匂いの発生源はコパノリツキーが言うには、最も気が集まる場所に隠れるようにして居るそうだ。鬱蒼と生い茂る木々から、こちらを覗き込むようにしてボク達を見ているのだ、と怯えながら彼女は語る。

そうして皆が固唾を飲んで待っていた。

ボクも、その匂いの発生源もどれだけ手間を要したかはわからな
い。ただ、向こう側が先に折れたことだけは覚えている。

ガチャツと音を立てて登場した訳ではない。

ゲコツと季節外れの蛙が鳴いた訳でもない。ましてや暗闇から出てきた訳でもない。

だというのに、その存在は途轍もない威圧感を放っていた。

冬ということもあって、コートを纏いフードを被ってはいるが、歩き方からして質の良い筋肉の持ち主であることがわかる頑健さは、男性とは思えないほどのものだ。加えて、ボク達よりも遥かに高身長であることも確かで、価値基準の認識が一瞬にしてガラツと変わってしまった。

「早く顔を見せなさい」

「ひゃいひゃい、ごめんなさいひゃいひゃい!! ツツ!! ぎゃああああ!! 姿形がもの見事に輝いてるうううう!! くっそ美人ですわああああ!!」

「ひゃあああ!! ツツ!! 生で見てもくっそイケメンですわああああ!! 本物の男性ですわああああ!! マジやべえですわああああああ!!」

「ウマ娘ちゃん達が余りにも美しすぎるううう!! 魂が輝いていて本当に眩しいよおおおお!! これが、これが彼女達の光ン力だああああああ!!」

「いや、それただの日光のせいじゃん…」

「テイオーちゃん突っ込むところそこ!?!」

「うああああああ!! あっああ!! あううううう………」

「あああああっつ!!あっあああ!!ああ!!あううう……………」

ガラツと変わらざるを得なかった。

男というよりは間違いなく変態だった。なんだこいつ…いや、ホント…なんだこいつら。

幾らネットで何度もやり取りしている仲とはいえ、なんだかんだで息びったりなのもどうかと思う。まず第一に…なんでこんなところに、本当に男が居るのだろうか。いや、こんなところだからこそ…なのだろうか。

待ちきれないとばかりに声をかけたマックイーンも、それに直様従ってしまう彼も…なんというか、残念美人という言葉がお似合いだ。

それに、そんなにいきなり顔を上げたら困るのだ。こちらとしても心の準備というものが出来ていない。ご尊顔を見るにも一苦労なのだ。どうしてこうも皆してかかり気味なのだろうか…せめて深呼吸くらいしてほしいものである。

「ああ…これが…神だ。この世で唯一、この目で見ることの出来る…神だ」

どちらが眩いたのかもわからないが、その言葉によって意識がギリギリ現世へと戻ってくる。そうして見せた顔立ちを改めて見てみれば、一言で表すならば過剰な程に整っていた。例えるならば、彼もまたウマ娘のような美貌を持っている、と言っても過言ではない。発言の内容に目を瞑れば、キリツとした表情からは発せられたとは思えないほどの美声と相まって、まるで雪原に舞い降りた天使のようだ。

いやちよつと待って…これが天使なのか？天使の見た目をした悪魔ではないのか？そもそも天使と悪魔とは何だ？

誰がどう見たってこんなイケメンがどぼめじろうだとは思えない。だが、こちらを見つめたまま…いや、顔はこちらに向けているが、何処か虚空を見つめている彼が、紛れもなく本人であるという確証もなく察してしまうのは、ボク達がどぼめじろうに毒されている影響によるもののだろうか。

とはいえ、このまま反応もなく固まっただけでは埒が開かない。

互いが互いに伺いあっている中で動いた彼女は、この瞬間を待っていたかのようにして名乗り出る。

「そ、そう！そうだよ！あれだけ熱心に活動していた人の前に、いきなり目の前に推しが現れちゃったら固まっちゃうのも無理もないよね！それにほら…ウマ娘って物凄い力あるし…実際に目を合わせたりするのが怖いっていう可能性だって考えられる。こ、ここは年長者であり、ヒト耳同士でもある私が近づいてみるよ！よし！行くぞオ!!」

「ト、トレーナー？無理はしないでよ」

「トレーナーちゃん、頑張って！」

少しずつ歩み寄っていく姿はさながら勇者のようだが…そういえば、マヤノの情報が正しければ、彼女もまた心酔していた疑惑があるんだった。

ダメだ…幾ら目の前にいるのがどぼめじろうだとしても、男だという事実が、ボク達の思考を鈍らせていく。八方にらみでもされているのか、疑い深くなるほどだ。

そんな中、カイチョーだけが何かを察知していた。普段の様子とは違い、額から溢れる冷や汗がその深刻さを表しているようだった。

「彼がどぼめじろうなら…この状況は失策だった」

その発言に一瞬耳を疑ってしまったが、彼の眩きが聞こえてきたことと、ボクの危険察知レーダーのような勘によって、漸く我へと返ることが出来た。

「トレーナー、その人から今すぐ離れて!!」

「トレーナーちゃん危ないっ!!」

「…実際にこの目で見るなら、こっそりと壁になってじつくりと観察するのがモットーだったのに…。こんなにも瑞々しい沢山のウマ娘ちゃんと凄腕トレーナーが見れるだなんて…もう耐えられないよ。…ここがヴァルハラ？略してタヴァアラ、タヴァアラで…生気に満ち満ちてやばいでぶふえっ!!」

「あ」「ひっ!」「しまっ…」

「え、なん…で…………ええええええええええっ!!」

そう叫びながらブボボボボボボツと音を立てて赤い閃光を散らす男。それに唾然とするボク達。ATフィールドに侵入し、その反動で思いつきり液体を浴びてしまい、注射を打たれたボクのように発狂するトレーナー。これらがギャグ漫画の展開のように、いきなり訪れてしまった。

ドロドロと血を流している男は今にも死にかけて様子である。それが目の前にいるものだから、この男を生かさなければ、と逆に冷静にもなる。

とはいえ、こんな余韻に浸っている暇はない。悠長に語っている暇もない。

現場は大混乱だ。

「あああああああ男に認知されてる私いいいいいい!!名字だけど読んでくれたあああああ!!会って数秒で惚れちゃううう!!惚れちゃうのおおのおお!!」

何せ壊れてしまった人が居るのだから。

「あああああああツツツツツツツツツ!!!!!!」

「違うからねトレーナーちゃん!!?細かいけど名前違うから!!?あと血で真っ赤っかになってるよ!!?もの凄い勢いで大惨事になっちゃったよお!!?」

「やばっ…み、水…水持つてこないと」

「あ…え?まさかとは思うけど…ウマ娘だけでなくトレーナーでも反応するの?ちよいとナイチャさんの思考が追いつかないわ」

「うわばばっ!だ、だだだだ、大丈夫ですか?は、鼻から血が!!」

「普通、反応的に逆じゃありませんの?こんな無駄にイケメンな人が恋鐘でどぼめじろうって…涙が出てきますわ」

「だ、誰かゴム手袋やビニール袋を持っている人はいませんか!急患なんです!やばいんです!出血が止まらないんです!」

「男の人が鼻出血で倒れるとか、あり得るのか?」

「いやあ、キツイわよ」

「…どぼめじろうの死因が鼻出血って普通に笑えませんか。20%以上の血液を急速に失うと出血性ショックを起こすので気を付けてください」

「なっ…クソッ!!? ガーゼで圧迫止血するにも何で鼻なんだよ!!? やり難いにも程があるわ!!? 顔面に触れろってか!!? 許可なく触れろってか!!?」

「命よりも下らないものなんてあるかっ!!? もっと強く抑えろ!!?」

「タキオン、テメエ手が震えてガツタガタじゃねえか!!?」

「もしかして医療関係のマニュアルが最近になって配られたのってこういう事だったの?」

「ただの偶然では?」

「倒れたのが日本で良かった…欧州は兎も角、アメリカは今年に入つて漸く連邦政府の規制が整ったばかりだ。下手したら大半のウマ娘もこの男自身も死んでたぞ」

「薬物よりタチが悪いべ!」

「手の空いている者はこの場を包囲して!

」どぼめじろう死んじやだやだやだやだあ!!」

「A B C D、及びM A R C H 確認良し。脳死だけは絶対に防ぐのです…マーちゃんにお任せあれ」

寧ろ倒れる方なのはこちら側が正しい筈なんだけど!!

「エ、エフツエフエフツ…良い匂いがするし…沢山のウマ娘に囲まれて死ぬるだなんて、幸せそのも…の……だなあ……」

「テメツ、何でまた赤くなつてんだ！どうすんだよこの空気をヨオ！コイツ、オレらより耐性がねえって本当にロジカルじゃねえな！何度もサイエンスを冒瀆しやがって！ドトウ、清潔なタオルを慌てずに沢山持つてこい！」

「は、はいいゝ!!?」

「貴方はもう喋らないでください…本当に危険なんですから。ここで死んだら許しませんからね！」

「我が生涯に…我が生涯に一片の悔いなし……」

「言つてる余裕があるんなら、いい加減大人しくしてくださいませ！」

反応的に正しいのかは不明だけど、深刻なのはトレーナーの方なのかもしれないしさあ!!

「ど、どどどどどどどぼめじろうの血液が私の体内に入ってきてりゅうう!!誰か助けてえええ!!PEAが分解されないのおおおお!!血液脳関門が強制的に開いちやううううう!!脳が…脳が…震えるうううううう!!」

「もう血は拭き取ったよトレーナーちゃん！それとフェニルエチルアミンなんか入ってないから！仮に入っていたとしても体内で分解される筈だから！お願いだから戻ってきて！」

「不味いな…水で洗ったけど錯乱状態が治らない。このままだと…先輩これ無期限の関与停止処分下されないよね？大丈夫だよね？」

「冷静に分析するのやめて、それ洒落にならないから」

こんな茶番劇があつてたまるかつ!!

「ああつ！抑えているのに何で…血が、血が止まりませんわ！そうですわ…主治医！主治医を早く呼んでくださいまし！何かしらの薬を持っているかもしれないので！それと緊急搬送先にも随時連絡を！ゴールドシップさん、輸血の準備はどうなっていますの！」

「んなもんこんなところにあるわけ…おい、ゴルシちゃんの目に映っているこの行列は何だ。何で臨時の献血場が開設されているんだよ！意味はあるけどこの場においては全く意味無いだろ！検査とか保存するための設備はどこから持ってきたんだよ！仮に輸血をするにしても副作用が発生したらどうすんだ！」

「今連絡が入ったよ！近くの病院が持つてきてくれるって！」

「TACOやTRALIが起きる心配よりも、今は血だ！ありったけの血を寄越すように再度連絡！報告は怠るな！私達は私達なりに出来ることをやって、適切な処理はプロに引き渡す形で後を託すんだ！」

「心もとないですが、余ったタオルで脚下を中心に保温するのです。冬場なので身体を冷やしたらダメなのです」

「わかったぜマーちゃん、こういう感じか」

「マーちゃんが居てくれて助かったわ」

「この状況で持つてくるならユニバーサルドナー優先のものだろう。それで輸血全開って感じか…それまで耐えてくれよ」

ああ、もうっ!!? ワケワカンナイヨー!!?

「あとマツクちゃん達よ、抑えるのは良いんだが…多分それ逆効果だ」
「どういうことだア?」

「どぼめじろうってあれだけウマ娘に熱中してただろう? タイミングが悪いとはいえ、アタシ達が触っているからこうなっているってことの可能性もあるな、と」

「それは否定できねエが、今抑えなきや死ぬのはコイツだぜ?」

「…まさか、そういう。な、ならどうすればいいのでしょうか…」

「うう…天国が見える。天国の外が見える」

「冗談なのか本気で言ってるのか…ダメだ、どぼめじろうだと知れば知るほどコイツの生手がわからなくなってきやがる…」

「マーチャンさんのお母様は確か美容専門ですし、困りましたわね…頼みの医学でもどぼめじろうともなるとどうしようも…リッキーさん、こんな時どうしたら良いのでしょうか」

「うえっ!?? そ、そうだね…とりあえず症状が鼻血だつて事に変わりは無いから、頭を上げてなるべく冷やすようにするのが基本だけどつてうわっ!!」

大地の聲が発揮されやすい場所で…まさかの風水の考えにならなかつただけで、ドジスキルが発動するまでに至るとは…恐るべし。

血が流れている方向に倒れていたら危なかったのだろうが、間一髪で触れていなかったのは唯一の救いか。…多分、青龍らが護ってくれたんだらうけど…いや、寧ろ厄除けより厄除けするどぼめじろうの幸運に惹かれたのか。これこそ『最高の地勢に、最高の運氣!』【勝利を

呼ぶ縁起者】と呼ぶに相応しい逸材だ。

「コパあっ!？」

「倒れたにしても何でそっちに倒れたの!!?え、ここでドジっ子が出るの!?!?」

「コーツパパパ〜…パパア〜…パパパパ〜…パパパパ〜…パ〜パ
パツパ〜パ〜パ〜パ〜パ〜…パ〜パ〜パ〜パ〜パア〜…パ〜
パ〜パアツパア〜…」

「おやまあ、リツキーにしては偉く大胆な攻めじやのう…」

「何寝ぼけた事を言っているんですか!アキュートさん、ほら…リツキーを運ぶので手伝ってください!」

相応しい訳あるか!!被害者がさらに一名追加とか笑えないわ!!

「え、これってまさか私のせい?嘘でしょ…」

「スズカの真似して誤魔化そうとしても無駄だぞ。とりあえず袋詰めにして攫った後、ダートに埋めつか?」

「マックイーン…信じてたのに」

「嘘だろ…嘘だと言ってくれよマックイーン…」

「La victoire est moi!!?」

「私をイジる時だけ、結託したかのように行動するの辞めてください
まじー」

「つてもなあ…こればっかしは犯行現場を見ちまったからなあ」

「アクトウマーチャンよりも悪役をしているのです。ワイドショー行き確定なのです」

「マックイーンはそろそろ厄祓いとかした方が良いんじゃないかな？ほら…秋の天皇賞やらジャパンカップやら有馬記念やらで悔しい思いをした訳だし、何よりあの時のマックイーンの顔を見たらそれはもう…ね」

「嫌なこと思い出させないでください!!」

「とりま、その話は置いておくとして…マジでこれどうすんだ?」

「科学もダメ、環境学もダメ、頼みの統計学も綱も切れたとなると…」「いや、まだ…まだある!こういう時こそカワイイの出番!こんな時はカレンちゃんにお任せ!」

「…そっか、その手があつた!」

どぼめじろうが繰り出すジョークは本当に笑えない。jokerの方がまだマシだ。ならばいつそ…究極無敵のカワイイで上書きをする他に、手段がないのかもしれない。もう正常な判断が出来そうにないボク達にとっては、救いそのものだ。

ヨシ…後は任せた!頼んだよ、カレンちゃん!!

「とりあえず心肺停止だけはダメだからね!脳死なんてもつてのほか

だから！わかった？お兄ちゃん！」

「もういつかい呼んでくれないか？お兄ちゃん……と………ブハツ！」

大喜利かつ!!まさかまさかの……ボク達何も分かり合えていない!?

「ひいひいひいひいひい!?!」

「お兄ちゃんなんて呼ぶからさらに血が！」

「あ、あれ……おかしいな……これで蘇ると思ったんだけど」

「カレンちゃんでもミスる時があるんだ……」

「いや、少なくとも血を飲み込むよりはマシだから結果オーライだな」

「わかりません。何故こうなるのですか……怖い」

「どぼめじろう……どうか蘇って。アタシ達を……」

「私達の智見を深めて尚、バカの行動は理解が出来ないな」

なんだ……ここは……地獄か？

「あ、なんか意識が……」

そうこうしている内に、本格的にどぼめじろうの容態が弱り出してきた。全くもってふざけてる。まだボクは…ボクは…！

「ちよっとー！しっかりしてよー！」

「その声は…テイオーかな？ごめん、なんか…視界が歪んで見えないや」

もう本気で怒ろう。男だろうと関係ない。一発怒鳴り込んでやる。

「ここで死ぬなんて許さない！逝くんなら、せめて…せめてボクだけを見てから逝けよ！ほら、ちゃんとキミの側にいるんだよ!!念願の!!待ちに待ったウマ娘が今隣に居るんだよ!?!勿体ないと思わないの!?!」

一体…何を言っているんだボクは。

「ミッッ!？」

これで大人しくなったか!?!? 気絶したな!!? 今度こそしたんだよなあ!?!? よ、よおし…一件落着。

「ようやく治まったぜ…つたく、手の込んだ自殺かよ」

「男でダーウィン賞とか取るんじゃないやねえぞ…と言いたところだけでも」

「なんか…告白みたいな感じだったね。さっきのテイオーの言葉…少し心にグツときたわ」

「ボクだけを見て、だなんて…テイオーちゃん大人だあ…」

「な、何言ってるの…あれはどぼめじろうを大人しくさせる為に言っただけで…」

「何はともあれ、これで…医療関係者に引き継げることが出来る。よくやったテイオー」

「とはいえ、心臓も肺も動かなくなるのは最早時間の問題か? PCP Sも準備するよう伝えておいた方が良いのだろうか」

「まだ生体機能を維持しているからそこまではしなくていいねえ。そもそも、あれは心肺蘇生、重症呼吸不全など必要となる事象が起きた時に使うものだ」

「意識レベルとかをこちらで決めるのも良くないんだよね」

「JCS、GCSの程度にもよるからそれも気にしなくていいぜエ。素人が手出し出来る分野じゃねえからなア。向こう側が決める事は向こうに任せるしかねエ…ああ、疲れた」

「トレーナーさんも大人しくなりましたし、2人とも呼吸は安定している…一先ずは一安心出来そうですね」

「漸く私のコパコパも落ち着いてきたよお…いやあ、酷い目にあつた」

「コパコパって何？ってツツコミしても良いレベルにまで戻ってこれて…本当に良かったあ」

この様子は忽ちネット上に拡散した。

世界標準協定などを抜きにして、血の大晦日や神の聖父が降臨なされたと称されたこの日…世界は瞬く間に赤く染まることとなる。

騒動が起きてからの世界は、悲惨な展開を迎えていた。

日本 26秒後 5万7912人 発狂
アメリカ 124秒後 54万8012人 洗礼を受けたといつて改宗
カナダ 7秒後 8481人 各地に配属された献血場に殺到
香港 0.4秒後 780人 各地に配属された献血場に殺到
中国 37秒後 31万6932人 軽度の幻覚症状を訴える患者が発生
ロシア 210秒後 15万5302人 洗礼を受けたといつて改宗
フランス 3秒後 1万3304人 発狂
イギリス 15秒後 4869人 日本のUR Aに就職志願
南アフリカ 182秒後 3544人 軽度の幻覚症状を訴える患者が発生
ドバイ 44秒後 407人 日本に対し計数十億円の寄付
アラブ首長国連邦 56秒後 1200人 日本に対し計数十億円越えの寄付
ドイツ 180秒後 3万2501人 各地に配属された献血場に殺到
オーストラリア 92秒後 7380人 発狂
アイルランド 12秒後 670人 日本のUR Aに就職志願
アルゼンチン 45秒後 9294人 軽度の中毒症状を訴える患者が発生
ブラジル 222秒後 2万4610人 軽度の幻覚症状を訴える患者が発生
チリ 67秒後 3276人 軽度の中毒症状を訴える患者が発生

生

発生
ペルー 99秒後 5100人 軽度の幻覚症状を訴える患者が

ニュージージーランド 0.9秒後 4297人 発狂

能力値の上昇が大きく見られたウマ娘は以下の通りである。

ダーレーアラビアン

ゴドルフィンアラビアン

バイアリーターク

ダーシーズホワイトターク

オルコックアラビアン

フライングチルダース

マツチエム

ヘロド

ジムクラック

エクリプス

ポテイトウズ

ハイフライヤー

キングファーガス

etc etc :

セントライト

ブランドソール

ミナミモア

Owen Tudor

Whirlaway

クリヒカリ

ハヤタケ

バンナーゴール

ミナミホマレ
Alsab
Big Game
Devil Driver
Sun Charriot
Vagrancy
Windsor Slipper
クリフジ
ダイエレク
ヒロサクラ
ミスセフト
Count Fleet
Nasrullah
Princcquillo
The Phoenix
カイソウ
クリヤマト
ヤマイワイ
Armed
Stymie
Twilight Tear
Busher
Caracalla
Court Martial
Dante
Gallorette
Pavot
Polynesian
Rising Light
アサフジ
アツマライ

オーライト
カツフジ
トヨウメ
ミツマサ
Assault
Hypericum
Khaled
イーストパレード
シーマー
シマタカ
セフテス
トキツカゼ
ブラウニー
マツミドリ
Isabelle
Migoli
Pearl Diver
Petition
Phalanx
Sayajirao
Tudor Minstrel
タマツバキ
ニユーフォード
ハマカゼ
ヒデヒカリ
ミハルオー
ヤシマヒメ
Alycidon
Angelola
Bewitch
Black Tarquin

C i t a t i o n
C o a l t o w n
N o o r
オーエンス
キングナイト
シラオキ
タチカゼ
トサミドリ
ヤシマドオター
A b e r n a n t
C a p o t
C o r o n a t i o n
G a b a d o r
H i n d o s t a n
N i m b u s
P o n d e r
S o l o n a w a y
T w o L e a
W i s t f u l
ウイザート
クモノハナ
コマミノル
タカクラヤマ
トサミツル
ニユーバラツケー
ハイレコード
ハタカゼ
G a l c a d o r
H i l l P r i n c e
N e x t M o v e
T a n t i e m e

イツセイ
キヨフジ
クモワカ
サチホマレ
ツキカワ
トキノミノル
トラツクオー
ヒロホマレ
ミツハタ
A r c t i c P r i n c e
C r a f t y A d m i r a l
S i c a m b r e
アサトモ
キヨストロング
クインナルビー
クリノハナ
スウキイスー
セントオー
タカハタ
リンボー
レダ
G a y T i m e
G u e r s a n t
O n e C o u n t
R e a l D e l i g h t
T o m F o o l
T u l y a r
オパールオーキツト
カンセイ
クリチカラ
ジツホマレ

ダイサンホウシユウ
ダイニカツフジ
チエリオ
ハクリヨウ
ファイナルスコア
フソウ
ポストニアン
ロイヤルウツド
ワカクサ
Aureole
Native Dancer
Nearula
Pinza
Premonition
オーセイ
カネリユ
ゴールデンウエーブ
セカイイチ
ダイナナホウシユウ
タカオー
ヒヤキオーガン
ミツドファーム
ヤマイチ
Darius
Infatuation
Never Say Die
Royal Challenger
Zarathustra
オートキツ
カミサカエ
ケゴン

サールス
サスケハナ
セイカン
セカイオー
トウセイ
ハクレイ
ヒデホマレ
ヒロイチ
ブレツシング
メイヂヒカリ
ヤサカ
ヤシマベル
ヤマカブト
Meld
Nashua
Our Babu
Robot
Swaps
Vimy
キタノオー
ケニイモア
トサモア
ハクチカラ
フエアマナ
ヘキラク
ミスリラ
Gilles de Retz
Lavandin
Needles
オンワードゼア
カズヨシ

キタノヒカリ
セイユウ
セルローズ
トツプラン
トパーズ
ヒカルメイジ
フリー
マサタカラ
ミスオンワード
ヨドサクラ
ライジングウイナ
ラプソデー
Ballymoss
Bold Ruler
Crepello
Gallant Man
Round Table
Todman
Tulloch
アヤノボル
エドヒメ
オータジマ
オーテモン
ガーネット
カツトシ
カツラシユウホウ
クリペロ
ゴールマイト
コマヒカリ
シユンエイ
ダイゴホマレ

タイセイイホープ
タカハル
トサオー
ヒシマサル
ホウシユウクイン
ホウシユウサク
ホマレリユウ
ミスマルサ
メイジミドリ
ヤマニン
リンデン
ロールメリー
Alcide
Bald Eagle
Hard Ridden
Nadir
Silky Sullivan
Tamanar
Tim Tam
ウイルデール
ウネビヒカリ
オーカン
オンワードベル
カネチカラ
キヨタケ
コマツヒカリ
シゲミノル
スイートワン
ダイマンゲツ
トキツヒロ
ハククラマ

ハタノボル
ハローモア
ホマレーヒロ
ミンシユウ
メイタイ
ヤシマフアースト
ヤマトノハナ
ライトリア
Fidalgo
First Landing
Intentionally
Parthia
Petite Etiole
Quill
Saint Crepin
Sovereign Path
Sword Dancer
ヴァイオレット
オンスロート
オンワードスタン
キタノオーザ
キューピット
クインオンワード
グレイトスタン
ケンマルチカラ
ゴウユウ
コダマ
シーザー
シヨウザン
スターロツチ
タイゴンオー

タカマガハラ
チドリ
トキノキロク
トサキング
ビツグヨルカ
ヘリオス
ホマレボシ
マツカゼオー
ヤマジヨ
ヤマニンモア
Airmans Guide
Die Hard
High Hat
Kelso
Pharamond
Si Friend
Sound Track
St. Paddy
T.V. Lark
アズマテンラン
イーグル
エムローン
グラントタイム
クリヒデ
シンツバメ
スギヒメ
チトセホープ
チトセミノル
トウコン
トキクイン
ハクシヨウ

ミスケイコ
メジロオー
ユキロウ
リュウライト
Carry Back
Cipriani
Eagle
Floribunda
Hail to Reason
Match
Moutiers
Right Royal
アサマフジ
オーハヤブサ
オヤシオ
カツラエース
カネツセーキ
ゲンタロウ
ケンホウ
ゴウカイ
ゴールドデンスター
コレヒサ
シモフサホマレ
スズトツプラン
スズホープ
タカシゲ
タカライジン
チトセハーバー
トースト
ヒカルポラ
ヒロキミ

フエアーウイン
フジノオー
モトイチ
ヤマノオー
ライジングマサル
リュウフオーレル
リュウムサシ
Cicada
Crimson Satan
Gustav
Jaipur
Larkspur
Native Diver
Romulus
アイテイオー
アサホコ
カネノヒカル
キングダンディー
グレートヨルカ
コウタロー
コウライオー
チトセリバー
テツノオー
パスポート
パナソニツク
バンドル
ヒメカツプ
ヒンドソネラ
フジノホマレ
ミオソチス
ミストヨペツト

ミスマサコ
ミハルカス
メイズイ
ヤマトキヨウダイ
Affectionately
Chateaugay
Crocket
Gun Bow
Never Beat
Never Bend
Only for Life
Partholon
Ragusa
アスカ
アデルバウエル
ウメノチカラ
オーギ
オーヒメ
オンワードセカンド
カネケヤキ
クリベイ
シンザン
トキノパレード
ハクズイコウ
バリモスニセイ
フジイサミ
フラミンゴ
フラワーウツド
プリマドンナ
ブルタカチホ
マスワカ

ヤマドリ
ヤマニルビー
Derringer Do
Faberge
Indiana
Neptunus
Northern Dancer
Raisena Native
Santa Claus
アオバ
アストウエー
エイトクラウン
エプソム
カブトシロー
キーストン
キノスズラン
ゴールドデンパス
ゴールドバンカー
コレヒデ
スピードキング
セエチヨウ
セフトウエー
タイクラナ
ダイコーター
ダイニテンラン
チトセオー
パシカリーム
ハツユキ
ハツライオー
ハマテツソ
ヒガシソネラオー

ヒシマサヒデ
ブツシヤン
ベロナ
ホウラン
メジロマンゲツ
ヤマニンダイヤ
Aunt Edith
Bold Lad
Diatome
Meadow Court
Reliance
Sea—Bird
Spanish Express
Tom Rolfe
アポオンワード
オンワードウエル
オンワードヒル
キヨウエイヒカリ
キヨシゲル
クリライト
ゲンカイ
シエスキイ
シヨウグン
スピードシンボリ
タイシユウ
タイヨウ
タマクイン
タマシユウホウ
テイトオー
ナスノコトブキ
ニホンピローエース

ネイチブランナー
ハードイツト
ハイアデス
ヒシヤクシン
ヒロヨシ
メジロサンマン
メジロボサツ
メジロマジヨルカ
ヤマニリユウ
リュウフアールロス
ワカクモ
Bon Mot
Buckpasser
Busted
Forli
Prompt
Sea Hawk
Silver Shark
Tesco Boy
アサデンコウ
アトラス
イチコ
オノデンオー
キクノフドウ
クリバツク
サトヒカル
シーエース
シバフジ
スイートフラッグ
ダーリングヒメ
タイギヨウ

ダイパレード
タカノキネン
タニカゼ
タフネス
トミマサ
ニウオンワード
ニツトエイト
ニホンピローホマレ
ハクセンシヨウ
ヒカルタカイ
ファイニイ
ホウゲツオー
マヤミドリ
ミドリエース
ムオー
ムネヒサ
メジロアサヒ
メジロシンゲン
メジロタイヨウ
メジロフレーム
メリーダンサー
モンタサン
ヤシマナシヨナル
ヤマピット
リュウズキ
Astec
Damascus
Dr. Fager
Fort Mercy
Gamelly
Hawaii

Regal Gleam

Ribocco

Royal Palace

アサカオー

アタツクブルー

アマノガワ

キタノダイオー

クリカシワ

ケイタカシ

コウユウ

スイジン

スズノツバサ

ダイイチオー

タケシバオー

タケブエ

ダテホーライ

タニノハローモア

ニツトウヤヨイ

ハードウエイ

ハードオンワード

ハクセツ

ヒカリオー

ヒロダイコク

ファインローズ

ブラツクバト

マーチス

メイジシロー

ライトワールド

ランドエース

ルピナス

ローエンダリン

A r a n a s
B e r b e r
L e v m o s s
L o r e n z a c c i o
L u t h i e r
N o d o u b l e
P e t i n g o
R e m a n d
R i b e r o
S i r I v o r
S o B l e s s e d
S t a g e D o o r J o h n n y
V a g u e l y N o b l e
アイズキノー
アカツキテル
アカネテンリユウ
アポスピード
アラートターフ
アリオーン
インターヒカリ
ウチュウオー
カネハヤテ
キームスビイミー
ギャロツプ
キングスピード
キンセンオー
グローブターフ
ケンサチオー
コウジヨウ
コンチネンタル
サンサード

シャダイターキン
シャンデリー
シユンサクオー
シヨウゲツコウ
シヨウフウミドリ
スピーデーワンダー
セプターシロー
ダイゴハマイサミ
ダイシンボルガード
タカツバキ
ダツシユリユー
ダテハクタカ
トウメイ
ナスノセイラン
ニューキミノナハ
ハクエイホウ
ハセタカラ
パツシングゴール
ヒデコトブキ
ファインハピー
ブルボン
ホウウン
マキノホープ
マサファイター
マスマノル
マツセダン
ミノル
ムツミシゲル
メイジアスター
メジロアサマ
ヨコズナ

リキエイカン
リキリユウシンゲキ
リユウスパーション
ワイルドモア
Ack Ack
Arts and Letters
Blakenev
Cougar
Don
Gallant Bloom
Habitat
Intermezzo
Majestic Prince
Reindeer
Shuvee
Ta Wee
Typecast
アローエクスプレス
エリモシルバー
オウジャ
オープンツバメ
オカヘレン
カーチス
クニノハナ
クリシバ
ケイサンタ
ケイシユウ
シャダイセンター
ジュピツク
シュンサクリユウ
ジヨセツ

シンスター
スィノオーザ
スターウイング
スリービート
ゼットアロー
タイセフト
ダイホウゲツ
ダテテンリユウ
タニノソ布林
タニノムーティエ
タニノモスボロー
タマアラシ
タマホープ
タマミ
トウシヨウピット
トキノシンオー
トレンタム
ハーバーゲーム
パールトン
ハイプリンス
ビーティーエイト
ヒダプレジデント
ヒデカブト
フアストバンブー
プリーズターフ
メジロムサシ
ヤマニビーナス
ヤマニンウエーブ
ラオスオー
リキシヨウ
D i c t u s

H u n t e r c o m b e
N i j i n s k y
P e r s o n a l i t y
S a s s a f r a s
S i l e n t S c r e e n
Y e l l o w G o d
エリモカツプ
エリモジエニー
オンワードガイ
カツタイコウ
カツヤヨイ
カネヒムロ
キクノハツピー
キタイシオー
クリユタカ
コーヨー
サクラオンリー
サニーワールド
ジーガー
シナノホスター
シネマゴースト
シバクサ
シンゲン
ジンデン
スインホウシュウ
スズランパス
セブンアロー
ゼンマツ
ダイセンプー
タイヨウコトブキ
タカラローズ

タクマオー
ナスノカオリ
ナスノヒエン
ナルタキエース
ニホンピロムーデー
ハクコンゴウ
ハスラー
バンライ
ヒカルイマイ
フィドール
フセノスズラン
ベルワイド
ポピーオンワード
マスヒロ
マツカオリ
ミネラルシンボリ
ミリオンパラ
ムーテイイチ
ムツミバロン
メジロゲツコウ
メジロスイセイ
ヤシマライデン
ヤマアズマ
ラフアール
ロングワン
Altessse Royale
Autobiography
Brigadier Gerard
Canonero
Contrite
Dancing Cap

E r i m o H a w k
H o i s t t h e F l a g
I r i s h B a l l
J i m F r e n c h
M i l l R e e f
M y S w a l l o w
R u n t h e G a n t l e t
Z u g
アチーブスター
イシノヒカル
イナボレス
インターブレイン
オカザキジヨウ
カミノチドリ
キースター
キョウエイアタック
キョウエイグリーン
グットキラメキ
グラントマーチス
クリイワイ
サカエカホー
サンヨウコウ
シバタケ
ジャズ
シロタマツバキ
シンザンミサキ
シンモエダケ
スーパーライト
スガノホマレ
スカレー
スズボクサー

ストロングエイト
ソロナオール
タイテエム
タイバブー
タイホウシロー
タイムライン
タカイホーマ
タケクマヒカル
タケデンバード
タケフブキ
タニノチカラ
ツキサムホマレ
トーヨーアサヒ
トクザクラ
トモエオー
ナオキ
ニツシヨウ
ノボルトウコウ
ハクホオシヨウ
ハマノパレード
ヒシマツタカ
ヒデハヤテ
ヒロクニ
ヒロサンダー
フェロースピード
ブゼンサカエ
マサイチモンジ
ユーモンド
ランドジャガー
ランドプリンス
ロングエース

ワイエムチャイナ
Hard to Beat
High Top
Key to the Mint
Ladiga
Lymphard
Numbered Account
Onion
Prove Out
Reingold
Riva Ridge
Riverman
Robert
Sancy
Sharpen Up
Susan's Girl
アイアン
アイズムサシ
イーストリバー
イチフジイサミ
エキプレス
カシハタ
カネイコマ
カミノテシオ
ククノツバメ
キシユウローレル
キヨノサカエ
クリオンワード
ケイスパーク
ケイリユウシンゲキ
ゴールドイーグル

ゴールドロック
サンポウ
シルバークラウド
スカイライダー
スズカハード
スピードリッチ
スマノダイドウ
タカヨシタイホウ
タケホープ
デイクタボーイ
トーヨーチカラ
ナスノチグサ
ニツトウチドリ
ヌアージターフ
ハイセイコー
ハクサンホマレ
ヒダコガネ
フジノタカワシ
ブルスイシヨ
ホウシユウエイト
ホウシユウリツチ
ポートスーダン
ホワイトフォンテン
マチカネハチロー
マミーブルー
メジロジゾウ
ヤマテスコ
ヤマブキオー
ユウシオ
ヨドヒーロー
リンネルンド

レイクファイア
レッドイーグル
レデースポート
ロツコイチ
ワンエイト
Allez France
Ancient Title
Dahlia
Desert Vixen
Forego
La Prevoyante
Morston
Mr. Prospector
Secretariat
Sham
Star Appeal
Targowice
Thatch
Tudenhams
アイアンハート
アイテイシロー
アイフル
アグネスビューチー
イシノオウカン
イットー
イナリトウザイ
インターグッド
ウエスタンダッシュ
ウエスタンバード
エクセルラナー
エドワールド

エビスオール
エリモイーグル
エリモカンセイ
エリモマーチス
オグリオー
カーネルシンボリ
カネオオエ
キクノオー
キタノカチドキ
キヤツシユボア
コーネルランサー
コーリユウシンゲキ
ザオーリユウジン
サクライワイ
サンチャイナ
シルバーネロ
スイートゲラン
スカイシーダー
スピードシンザン
スリーヨーク
スルガスンプジヨウ
ダイエイモンド
タカエノカオリ
ツアールターフ
トウコウエルザ
トウシヨウロツク
ナスノカゲ
ナニワライト
ニシキエース
ニホンピロセダン
ハセマサル

ハマセイユウ
バンブトンオール
ヒカルジンデン
フジノパーシア
フジリンデン
フミノヒカリ
ホウシユウミサイル
ホリマロニエ
マルイチダイオー
ミカフアスト
ミスダイリン
ミツルコトブキ
ミトモオー
ミホランザン
メジロナゴヤ
メジロフクシマ
モアーキヤツスル
ヤマサンツバメ
ヤマニンバリメラ
ヨシゼン
ラウンドファーザー
ラツキーオイチ
レスターホース
Bustino
Chris Evert
English Prince
Highclere
Little Current
Nonoalco
Northern Taste
Sagarro

Sir Penfro

Snow Knight

Talking Picture

アンセルモ

イシノアラシ

イシノマサル

ウラカワチエリー

エースコスモ

エリモジョージ

エンザンオー

オーラミハル

カバリダナー

カブラヤオー

グリーンファイト

グレートセイカン

グレイトファイター

ゴールデンリボー

コクサイプリンス

シタヤロープ

ジョーケンプトン

スリーフラム

ソシアルトウシヨウ

タイフウオー

タイホウヒーロー

タケデンジャガー

タニノチエスター

テスコガビー

トウフクサカエ

トウフクホープ

トウホーパール

トキノキンザン

トキワロツキ
トクノハルオー
ナラサンザン
ニルキング
ハードラーク
ハーバーヤング
ハクチカツ
ハクバタロー
バローネターフ
ヒダロマン
ファイブワン
ファンドリナイロ
フサトロキノ
プロスパラス
ホクトライデン
ホシバージ
マツフジエース
メイセイヒカリ
ヤマニンファバー
ヨネミノル
ライジン
リバースポート
リュウフブキ
ロードカツプ
ロングフアスト
ロングホーク
Bruni
Causacus
Dandy Lute
Foolish Pleasure
Green Dancer

G r u n d y
I v a n j i c a
M i s s T o s h i b a
M y J u l i e t
N o b i l i a r y
P r o u d D e l t a
R o s e B o w l
R u f f i a n
S t e e l H e a r t
V a l d e l ' O r n e
W a j i m a
ア イ ノ ハ ヤ テ
ア ラ ン フ エ ス
イ ナ リ バ ン ダ ー
エ ー デ ル ザ ン オ ー
エ ビ チ カ ラ
エ リ モ フ ア ー ザ ー
オ ン ワ ー ド カ オ リ
カ シ ユ ウ チ カ ラ
カ ズ マ
カ ミ ノ ハ ヤ ブ サ
キ ン グ ラ ナ ー ク
ク イ ン リ マ ン ド
ク ラ イ ム カ イ ザ ー
ク ラ ウ ン ピ ラ ー ド
グ リ ー ン グ ラ ス
ケ イ ウ ン ザ ン
ケ イ シ ユ ウ フ オ ー ド
コ ウ イ チ サ ブ ロ ウ
コ ー ヨ ー チ カ ラ
シ ー ビ ー ク イ ン

シマノカツハル
ジャンボキング
スカツシユソロン
スズサフラン
スピリットスワプス
センターグッド
ダツシユリバー
ディアマンテ
テイタニヤ
テンポイント
トウカンタケシバ
トウシヨウボーイ
トウフクセダン
トリデジヨウ
ニツシヨウダイヤ
ニツポーキング
パツシングベンチャ
バンブトンシエード
ファインポート
フェアスポーツ
フローカンボーイ
ベル
ペロナスポーツ
ホースメンホープ
ボールドシンボリ
ホクトボーイ
ホツカイノール
ポットグリーン
マチカネタイテイ
マチカネライコー
ミサキシシボル

ミヤジマレング
メイジガルボ
メルシーシャダイ
ユウホープ
ライバフツト
ランスロット
ローズジャック
Bold Forbes
Cascapedia
Crystall Water
Elocutionist
Empery
Exceler
Flying Water
Honest Pleasure
Majestic Light
Malacate
Pawnee
Vigors
Wallow
Youth
アームシリアン
アイノクレスピン
アウンエスラー
アマミプリンス
アローバンガード
インターグロリア
オキノサコン
カールスバット
カネミカサ
カネミノブ

サンシャインボーイ
シユランダ―
ジシクエイト
スズホープ
スリークルト
スリーフアイヤー
セーヌスポーツ
ソーウンオー
ソーウンムサシ
ダイタクチカラ
ダイワテスコ
ダンケンジ
テキサスワイポン
テンザンサクラ
テンメイ
トドロキヒリユウ
ニツソウプロス
ハードバージ
ハシコトブキ
ヒスピード
ヒロブエ
ファイインニツセイ
ブイセブン
フジビゼン
ブゼンダイオー
プリティ―アカツキ
ブルーハンサム
プレストウコウ
ホリタエンジェル
ホワイトナルビー
マーブルペンタス

マサキビゼン
マルゼンスキー
メイワキミコ
メイワロック
ヤマニンゴロー
ヨシノリュウジン
ラツキーウエスト
ラツキールーラ
リキタイコー
リニアクイン
リネンジョオー
リュウキコウ
リヨクシユ
Alleged
Artaius
Be My Guest
Blushing Room
Bowl Game
Coined Silver
Cox's Ridgeway
Crystal Palace
Dunfermline
Habitony
J. O. Tobin
Johnny D.
Lady Capulet
Lucky Sovereign
Mrs. McArday
Northern Dictator
Our Mims
Royal Suki

S e a t t l e S l e w
T h e M i n s t r e l
T r i l l i o n
W a y a
アグネスプレス
アグネスホープ
アサヒダイオー
イシノサミイ
インターグシケン
エンペラーエース
オヤマテスコ
カチウマタロー
ガバナースカレー
カンパリー
キクキミコ
キタノコンゴウ
キャプテンナムラ
ギャラントダンサー
クリーンファミリー
グレートタイタン
ゴールデンボート
ゴッドガリトー
コトノアサブキ
サクラゴツド
サクラシヨウリ
サニーフラワー
サンエムジヨオー
シービークロス
シヨウフウグリーン
ジヨールバトロス
スズカシンプウ

スリージャイアンツ
ダークロード
ダーダネルス
タケデン
タニノテスコ
タマモリマンド
チェリーリユウ
ニシノオーカン
ニツシヨウキング
ハセオーマ
ハツシバオー
ハツマモル
バンパサー
バンブトンコート
ヒロノスキー
ファイブホープ
ファンタスト
フジノハイハット
フラストメア
プラトーフオンテン
プリテイキヤスト
ブルーアレツ
ブルーマックス
フレーミングユース
ホウヨウボーイ
ホオカノ
マークリシルバー
マイエルフ
マルブツウイナー
メイワパッサー
メジロイーグル

メジロフアントム
メジロホーク
メトロジャンボ
モデルスポーツ
ヤマニンスキー
ユキフクオー
ラブリトウシヨウ
リードスワロー
リユウアラナス
ロイヤルシンザン
Acamas
Affirmed
Ahonora
Alydar
Buckaroo
Go West Young Man
Ilede Bourbon
John Henry
Kenmare
Lakerville Miss
Le Moss
Lypheor
Magnitude
Manikato
Mirl George
Mornin' Frolic
Nishapour
Roland Gardens
Shirley Heights
Starde Naskra
The Very One

Try My Best

Wishing Well

アグネスレディー

アスコットロイヤル

アリアケキング

イナドコトブキ

ウエスタンジョージ

エイシントロー

エビタカラ

オオミシヤダイ

カツアール

カツラノハイセイコ

キタノトウザイ

グリーンダツシュ

ゴールドスペンサー

サクラエイリユウ

サルノヒーロ

サンライダー

シーバードパーク

ジエツトバージ

シルクスキー

セクレファスター

ダーリンググラス

タケノテンジン

タマモアサヒ

ツカサパワー

テルテンリユウ

テルノエイト

トウケイホープ

ナカミサフアイヤ

ナカミシヨウグン

ニチドウアラシ
ニチドウタロー
ニホンピロポリシー
ネーハイジエツト
パークボーイ
ハイロータリー
ハザマファースト
ハシクラント
ハシハーミット
ハンキイナリ
ピュアーシンボリ
ビンゴガルー
ファーストアモン
ファインドラゴン
ファニーバード
フジアドミラブル
フジマドンナ
ホースメンテスコ
ホクセーミドリ
マークヒリユウ
マリージョーイ
ミスカブラヤ
ミヤノダービー
メジロトランザム
メジロマーティン
ヤマニンダンデー
ヨシノスキー
ラッキータウロ
リキアイオー
リユウウオーク
リンドプルバン

Ardross
Clever Trick
Coastal
Davona Dale
Elam | Man | Mou
Fabulous Dancer
General Assembly
Glorious Song
Golden Act
Irish River
Just a Game
Kingston Town
Königsstuhl
Kris
Mairzy Doates
Mogami
Niniski
Privat Account
Relaunch
Relaxing
Smarten
Spectacular Bid
Tap On Wood
Three Troikas
Top Ville
Track Robbery
Troy
Tunerup
アズマキング
アメリカンノーザン
アンバーシャダイ

イズミダツパー
イチエイボーイ
イナノラバージョン
インタースマツシユ
ウエスタンジエツト
エビスクラウン
オーバーレインボー
オペックホース
カズシゲ
カツルキーオー
キタノリキオー
キョウエイプロミス
キングスポイント
ギンザン
ケイキロク
ケンセイグツト
コマサツキ
サーペンプリンス
サクラシンゲキ
サツキレインボー
サンシードール
シャダイダンサー
ジユウジアロー
シンボリフレンド
スイートネイティブ
タカノカチドキ
タケノハツピー
タツユウチカラ
タマトツプ
タマムソウ
タマモコトブキ

ツキメリー
テイオージャ
テルノホープ
トウシヨウゴツド
トキノツヨシ
トライバルセンプー
ドロツポロード
ネオキーストン
ノースガスト
ノトダイバー
ハーバーシヤレード
ハギノトツプレディ
ハセシノブ
ハワイアンイメージ
ピーチシヤダイ
ヒカリデユール
ビゼンセイリユウ
ヒヨシシカイナミ
ファイブダンサー
ブラビオー
ペキンリユウエン
ホクトチハル
ポリートウシヨウ
マーブルエース
マツセントルーラー
メイジタイガー
モンテプリンス
ラフオンテース
リックサンブル
リンドタイヨ
レッドジャガー

ロイヤルスズラン
ローベルギフト
ロックペトロス
ロビンソンシチー
ロングワーズ
ワールドキング
Argument
Aryenne
Bold, n Determined
Cairn Rouge
Danzig
Detroit
Fappiano
Genuine Risk
Gold River
Henbit
In Fijar
Kiwi
Known Fact
Kris S.
Mores style
Nureyev
Perrault
Plugged Nickle
Police man
Possie
Rochhill Native
Shakapour
Sharpo
Smart Angle
Stutz Blackhawk

Temperence Hill

Tyrnavos

アグネステスコ

アグネスベンチャー

アジシバオー

アジャストメント

アリーナオー

エイテイトウシヨウ

オーゴンタケル

オオシマスズラン

オキノサキガケ

カツトツプエース

カバリエリエース

カミノスマイレ

カルストンテスコ

キヨヒダカ

キンセイパワー

クニノカチドキ

グレートエコー

コーナナルビー

コマツタイム

サチエノヒリユウ

サニーシプレー

サンエイソロン

サンキヨウスーパー

シャダイコスモス

シンピロー

スーパーファスト

スズユウ

ステイード

スピーディタイガー

ダイタクカピタン
ダイドルマン
タクラマカン
タケノダイヤ
ダンシングファイタ
テンモン
トドロキヒホウ
トラストホーク
ニシノチエニル
ハッピープログレス
バンブトンハーレー
ビッグデイズアイア
ヒメガリト
ヒロノワカコマ
フリートマウント
ブルキング
ブロケード
ホーワセキト
ミナガワマンナ
メジロジュピター
メジロテイター
モンテファスト
ユーシヨウマンナ
ライトオスカー
リードワンダー
リユウメイジ
ローラーキング
ロングミラー
Akara
April Run
Beldale Flutter

B i k a l a
C o n d e s s a
C u r e t h e B l u e s
C u t A b o v e
D e L a R o s e
E r i n s I s l e
G l i n t o f G o l d
H e a v e n l y C a u s e
K a l a g l o w
K i n g s L a k e
L e m h i G o l d
L o r d A v i e
M a r w e l l
M i s w a k i
N o A t t e n t i o n
N o L u t e
P l e a s a n t C o l o n y
R e c i t a t i o n
S h e r g a r
S t a n e r r a
S t o r m B i r d
T o | A g o r i | M o u
W a y w a r d L a s s
W e l l D e c o r a t e d
アキビンゴ
アサカシルバー
アサヒテイオー
アズマスカレー
アズマハンター
アスワン
アローハマキヨ

アローボヘミアン
アンドレアモン
イーストボーイ
エリモローラ
キヨウエイアセント
キヨウエイウオリア
キヨウエイレア
コウチオウシヨウ
ゴールドレット
サクラシンボリ
サルノキング
シノンシンボリ
シバリツキー
シャダイアイバー
シュウザンキング
シルクテンザンオー
シンウルフ
シンボリヨーク
スイートカーソン
スナークアロー
ダイセキテイ
タカラテンリユウ
ダニツシュガール
ツキマリー
トウシヨウペガサス
トーアミステリアス
トーワカチドキ
トキテンリユウ
トムカウント
ニシノエトランゼ
ハギノカムイオー

ハクホウダンデイ
ハシローディー
パツシングサイアー
バンブーアトラス
ヒカリファミリー
ビクトリアクラウン
ホクトキンパイ
ホクトフラッグ
ホクトマツシマ
ホスピタリテイ
ホリスキー
マサヒコボーイ
マンジュデンレディ
ミクロンテンロー
ミサキネバアー
ミスラディカル
メイシヨウキング
メジロアンタレス
メジロエニフ
メジロカーラ
メジロザニア
ヤマノシラギク
ヨロズハピネス
ライバコウハク
ラブリースター
リーゼングロス
リードエーティ
ロシアンブルー
ロバリアアモン
ロングヒエン
ワイエムアロー

ワカテンザン
A i r F o r b e s W o n
A k i y d a
A l l A l o n g
A l o m a ' s R u l e r
A s s e r t
A w a a s i f
B a l i t o u
B a t e s M o t e l
B e f o r e D a w n
C h i n o k P a s s
C h r i s t m a s P a s t
C o n q u i s t a d o r C i e l o
D e p u t y M i n i s t e r
D i a m o n d S h o a l
F i t t o F i g h t
G a t o D e l S o l
G o l d B e a u t y
G o l d e n F l e e c e
J u p i t e r I s l a n d
L i n k a g e
M a j e s t y P r i n c e
P a s d e S e u l
R e a l S h a d a i
R u n a w a y G r o o m
S i l v e r H a w k
S t r a w b e r r y R o a d
T i m e C h a r t e r
W a v e r i n g M o n a r c h
アスコットエイト
アツプセツター

ウインザーノット
ウズマサリユウ
ウメノシンオー
カシマアーバン
カツラギエース
カネクロシオ
カルストンダンサー
キャノンゼット
ギャロップダイナ
グアツシユアウト
グローバルダイナ
サクラガイセン
サンオーイ
シーナンレディー
シャイニングルビー
シャダイソファイア
シャダイチャッター
シンブラウン
スイートブレスト
スズカコバン
ステイールアサ
スリーキャプテン
タイアオバ
ダイゼンキング
ダイナカール
ダイナマイン
タケノヒエン
ダスゲニー
テツノカチドキ
テュデナムキング
ドウカンヤシマ

ニシノイブ
ニシノスキー
ニホンピロウイナ
ネイティブボーイ
ハヤテミグ
ビンゴカンタ
ブライトシンボリ
ブルーダーバン
ブルーフラール
プロメイド
ポットヒーロー
マックスファイアー
マルゼンスター
マンノタロ
ミスターシービー
ミホクイーン
メジロハイネ
メジロモンスニー
ヨシノエデン
リードホーユー
ローゼンガバナ
ロンググレイス
ワイドオー
Alzao
Bedtime
Caerleon
Caveat
Cormorant
Cozzenne
Crystal
Deputed
Glitters
Testamony
Wood

Y
a
w
a
W
i
n
W
i
l
d
A
g
a
i
n
T
o
l
o
m
e
o
T
e
n
n
o
s
o
S
u
n
n
y
'
s
H
a
l
o
S
u
n
P
r
i
n
c
e
s
S
l
e
w
p
y
S
l
e
w
'
G
o
l
d
S
k
i
G
o
g
g
l
e
S
h
a
r
e
e
D
a
n
c
e
r
S
a
g
a
c
e
R
u
s
s
i
a
n
R
o
u
b
l
e
s
R
o
y
a
l
H
e
r
o
i
n
e
P
r
i
n
c
e
s
R
o
n
e
y
P
l
u
r
a
l
i
s
m
e
N
i
g
h
t
S
h
i
f
t
L
o
v
l
i
e
r
L
i
n
d
a
L
o
r
d
a
t
W
a
r
L
o
m
o
n
d
L
a
n
d
a
l
u
c
e
L
'
E
m
i
g
r
a
n
t
H
i
g
h
H
a
w
k
H
a
b
i
b
t
i
G
a
r
d
e
R
o
y
a
l
e
E
s
t
r
a
p
a
d
e
E
s
p
r
i
t
d
u
N
o
r
d
E
i
l
l
o
D
i
x
i
e
l
a
n
d
B
a
n
d
D
i
e
s
i
s
D
e
s
e
r
t
W
i
n
e

アイノフエザー
ウメノフーリン
ウルフケイアイ
エーコーフレンチ
エビスジヨウジ
オンワードボルガ
カウンテスアツプ
カルストンイーデン
ガルダン
キクノペガサス
キタヤマザクラ
キヨウワサンダー
キンカイチフジ
キングハイセイコー
クラウンエクシード
グレートローマン
コーリンオー
ゴールドウエイ
ゴルデンビューチ
サクラトウコウ
シーブラツク
ジムベルグ
シンボリルドルフ
スイートソファイア
スズパレード
スズマツハ
ステートジャガー
スマノヒツト
セツテジュノー
ダイアナソロン
ダイゼンシルバー

ダイナシユガー
タイムパワー
チエスナツトバレー
チエリーテスコ
トウカイローマン
トーフアルコン
ドミナスローズ
ニイキ
ニシノライデン
ニツポースワロー
ハーディービジョン
ハクリヨウベル
ハツノアモイ
ハッピーオールトン
パワーシーダー
ビゼンニシキ
ファイアーダンサー
フジノフウウン
ブリージーラッド
ホツカイペガサス
マーサレット
マリキータ
マルタカストーム
マルブツサーペン
ミスタールマン
メジロシートン
メジロトーマス
リキサンパワー
リユウズイシヨウ
レイクビクトリア
ローマンプリンス

ロツキータイガー
ロングハヤブサ
ロングレザ―
ワカオライデン
Althea
At Talaq
Carrede Naskra
Chief Singer
Comanche Run
Dahar
Darsahan
Desirable
Devil's Bag
Dr. Carter
El Gran Senor
Gate Dancer
Gold and Ivory
Greinton
Katie's
Lashkari
Lear Fan
Lifer's Magic
Love Smitten
Mendez
Mt. Livermore
Nagurski
Northern Trick
Palace Music
Park Regent
Pebbles
Precisionist

Prince True
Rainbow Quest
Rousillon
Saddler's Wells
Seattlesong
Secretos
Selous Scout
Siberian Express
Swale
Time for a Change
Track Barron
Tsunamislew
Vanlandingham
アイアンシロー
アイランドゴツテス
アサカサイレント
アサクサスケール
イズミスター
イソナンブ
イブキカネール
イブキライダー
ウエスタンファイブ
エルプス
キツポウシ
クシロキング
ケイフアイヤー
コンサートマスター
サクラサニーオー
サクラユタカオー
サザンファイバー
サンケイダイヤ

シャダイハマナス
ジュサブロー
シリウスシンボリ
シングルロマン
スーパーグラサード
スクラムダイナ
スダホーク
スピードヒーロー
セングクルビー
セントシーザー
ダービーリッチ
タイガーボーイ
ダイゴトツゲキ
ダイテンスパルタ
ダイナシユート
ダイナシユペール
タガジヨオー
タカラスチール
タケノハナミ
タニノブーケ
チェリーフット
ドウカントスコ
トウシヨウサミット
トウシヨウドリーム
トウシヨウレオ
トチノニシキ
トレードマーク
ナカミアンゼリカ
ニホンピロビツキ
ニューファンファン
ノアノハコブネ

ノムラダイオー
パーシャンボーイ
ハッピーウオーリア
ハッピールイス
ヒシノリフオー
ビンゴチムール
フォスタームサシ
ブラツクスキー
フリートホープ
マチカネイシン
マルブツファースト
マルヨプラード
ミスターブランディ
ミスターボーイ
ミスタテガミ
ミトモスイセイ
ミホシンザン
メジロデイツシュ
ヤクモデザイヤー
ユーシヨウスワロー
ユキノローズ
ライフタテヤマ
ラツキーオカメ
ラブシツクブルース
ランドヒリユウ
リワードウイング
ロイヤルコスマー
ロングクイツク
ロンスパーク
A c a t e n a n g o
A l B a h a t h r i

Skip Trial
Shardari
Shaded
Saint Estephe
Roosart
Rivlia
Proud Truth
Phonetrick
Petoski
Park Appeal
Outstandingly
Oshosharp
Northsider
Nopass
Nole
Mouktar
Moms Command
Little Missouri
Law Society
Ladys Secret
Imagines Greatness
Helens Street
Fair King
Endear
Doulab
Damister
Creme Fraiche
Chiefs Crown
Candy Stripes
Bonelamont
Bailars Best
Alydars Best

Skywalker
Slip Anchor
Smile
Spend a Buck
St. Hilarion
Theatrical
Triptych
Turkoman
アイランドハンター
アサヒエンペラー
イーグルシャトー
ウイニングスマイル
ウインドストース
エイシンガッツ
エイシンフェアリー
エイシンリゲイン
エリモターン
カシマウイング
カツダイナミック
カツラギハイデン
カリスタカイザー
カルストンファスト
キョウワシンザン
キングフローリック
グランパズドリーム
コバノリッチ
サニーライト
サンキョーシヨウリ
シナノジョージ
シヨノリーガル
シンチエスト

スーパーシヨット
ダイシンフブキ
ダイナアクトレス
ダイナエイコーン
ダイナオレンジ
ダイナガリバー
ダイナカンパリー
ダイナコスモス
ダイナフェアリー
ダイナブリーズ
タケノコマヨシ
タニノスイセイ
トウシヨウユース
ドルサスポート
ニツポーター
ノックアウト
ハーデイゴッド
ハツシバエース
パッシングパワー
ハナキオー
ピーターホーラー
ピンチトール
フェートノーザン
フミノアプローズ
プレジデントシチー
フレッシュボイス
ベルベットグローブ
ポールドヒューマ
ポットテスコレディ
マウントニゾン
マチカネイワシミズ

マヤノジヨウオ
マルカセイコウ
ミステイツクスター
メイシヨウエイカン
メジロアイガー
メジロデュレン
メジロボアール
メジロラモーン
ヤマニンアピール
ヤマニンファルコン
ユウミロク
ラグビーボール
ランニングフリー
リードトリプル
レイクブラック
レジエンドテイオー
ロイヤルシルキー
ローゼンホーム
ワクセイ
Allez Milord
Authaal
Bering
Broad Brush
Colorspin
Dance of Life
Dancing Brave
Dancing Connection
Darara
Embla
Fast Topaze
Ferdinand

Tony Bin
Tiffany Lass
Thrill Show
Tasso
Storm Cat
Steinlen
Southjet
Southern Halo
Sonic Lady
Snow Chief
Sharrrod
Sharrastani
Rubiton
Park Express
Ogygian
Motto
Moon Madness
Midway Lady
Meadowlake
Manila
Lotka
Last Tycoon
Judge Angelucci
Horlicks
Highest Honor
Groovy
Green Mount
Green Desert
Great Communicator
Glow of Steel
Flash of Steel

V a r i e t y R o a d
W a q u o i t
W i s e T i m e s
W o o d m a n
イナリワン
エイシンテンペスト
エーコートランス
オサイチブレベスト
カイラスアモン
カツノコバン
ガルダンサー
キリノトウコウ
クールハート
クリロータリー
グレースシラオキ
コーセイ
ゴールドシチー
コスモノーブル
サクラスターオー
サクラダイオー
サクラロータリー
サニースワロー
サファリオリーブ
サンエムブラツサム
サンキンハヤテ
シーキャリアー
シナノデービス
シナノリンボー
ショウリテンユウ
ジヨージレツクス
シンウインド

スーパーファントム
ストロングレディー
スルーオダイナ
ソウシンハウジユ
ソダカザン
ダイカツケンザン
ダイゴアルファ
ダイタクジーニアス
ダイナアルテミス
ダイナカーペンター
ダイナサンキュー
ダイナチヨイス
ダイナレター
タマモクロス
タレンティドガール
チャンピオンスター
ドウカンジヨ
トキノオリエント
トチノルーラー
トツプコート
ナカミジュリアン
ニシノミラー
ニホンピロマーチ
ノースシャトル
ハセベルテックス
ヒデリユウオー
ホウエイソブリン
ホクトヘリオス
ホマレブルシヨワ
マイネルダビテ
マックスビューテイ

マテイリアル
マルブツロンリー
マロングラッセ
ミスターヨシゼン
メーカースマート
メジロゴスホーク
メジロフルマー
メリーナイス
モガミヤシマ
ヤマニンアーデン
ユーワジエームス
レオテンザン
ロータリーザハレー
ロングムテキ
ワイズルーラ
ワイドガール
A f l e e t
A j d a l
A l y s h e b a
B a y a k o a
B e t T w i c e
B l u e b i r d
B r a v e R a j
C a p o t e
C r y p t o c l e a r a n c e
D o n ' t F o r g e t M e
F o t i t i e n g
G o n e W e s t
G r o o m D a n c e r
G u l c h
I b n B e y

I n d i a n S k i m m e r
J a d e H u n t e r
J a v a G o l d
L e G l o r i e u x
L o s t C o d e
M i e s q u e
M i l l i g r a m
N a s t i q u e
N a t r o u n
O u r P o e t i c P r i n c e
P a y t h e B u t l e r
P e r s o n a l E n s i g n
P o l i s h N a v y
R e f e r e n c e P o i n t
S a c a h u i s t a
S e a t t l e D a n c e r
S h a d y H e i g h t s
S k y C h a s e
S o v i e t S t a r
T r e m p o l i n o
V e r y S u b t l e
W a s s l
ア イ ビ ー ト ウ コ ウ
ア エ ロ プ ラ ー ヌ
ア キ ヒ ロ ホ マ レ
ア ラ ホ ウ ト ク
イ ン タ ー ア ニ マ ー ト
イ ン タ ー ロ ッ キ ー
ウ イ ン ド ミ ル
エ ー コ ー シ ー ザ ー
オ グ リ キ ャ ッ プ

オタルホーム
ガクエンツービート
カツトクシン
キリサンシー
キリパワー
クリバロン
グリーンモリー
グレートモンテ
コクサイトリップル
コスモドリーム
サークルシヨウワ
サイコーホーク
サクラチヨノオー
サシオギ
サツカーボーイ
サマンサトウシヨウ
シノクロス
ジムクイン
ジョージモナーク
シヨノロマン
ジングウブレーブ
シンクロトロン
シンボリクリエンス
シンボリモントルー
スイートローザンヌ
スパークリーク
スカーレットトリボン
スガハラテンジン
ダイコウガルダン
ダイゴウシユール
ダイタクロンシヤン

ダイユウサク
タカラフラツシユ
ダンツミラクル
ツジノシヨウグン
デイクターランド
トウシヨウアロー
トウシヨウマリオ
ナムラモノノフ
ニシヤマシヨウ
ニホンピロブレイブ
パッシングシヨツト
バレロツソ
バンブーメモリー
パンフレット
ビソウエルシド
フリートーク
プリンセススキー
ホウニンメゴヒメ
ホーエイヒロボーイ
ポットナポレオン
ホリノライデン
ホロトマイケル
マーチトウシヨウ
マイネルグラウベン
マイネルフリツセ
マキバサイクロン
マルシゲアトラス
ミスターアダムス
ミスターシクレノン
ミスターヤマノ
ミヤマポピー

ミュゲロワイヤル
ミヨノスピード
メジロアルダン
メジロマーシヤス
メジロマスキット
メジロワース
メモリーバイス
モガミチャンピオン
モガミナイン
ヤエノダイヤ
ヤエノムテキ
ヤグラステラ
ユーワフオルテ
ラガーブラツク
ラケットボール
リキアイノーザン
リュウコウキング
リンドホシ
ルイジアナピット
ワカタイシヨウ
Alwuhush
Assatis
Better Loosen Up
Blushing John
Brian's Time
Cadieux Geneux
Carroll House
Criminal Type
Crusader Sword
Diminundo
Doyoun

Dynaformer
Epitome
Forty Niner
Fourstar Dave
Goodbye Halo
Hours After
Indian Ridge
Kahyasi
Lively One
Nasr El Arab
Prince of Birds
Private Terms
Rahy
Risen Star
Ruhmann
Seeking the Gold
Sheriff's Star
Silver Deputy
Sunshine Forever
Unfwa in
Warning
Winning Colors
アイドルマリー
アクアビット
アサリユウセンプー
イダテンターボ
ウイナーズサークル
ウメノローザ
エーコークロス
オースミシヤダイ
オオヒエイ

オサイチジョージ
オラトリオ
カチウマホーク
カッテイングエツジ
カヅミネオン
カリブソング
グレートホープ
サーペンアツプ
サクラホクトオー
サザンビーナス
サンドピアリス
シャダイカグラ
シヨウブラツキー
ジヨロアリング
シンコウアンクレー
スイフトセイダイ
スターサンシャイン
スノージェット
スピークリーズン
センゴクヒスイ
センリヨウヤクシヤ
タイプスワロー
ダイワゲーリック
タケデンファイター
タケデンマンゲツ
タニノターゲツト
ダンディアポロ
デイクターガール
デイビーグロー
トウシヨウバルカン
トウシヨウフアルコ

トールトリプル
ドクターズパート
ナイスナイスナイス
ナルシスノワール
ニホンカイローレル
ハッピーギネス
バリエンター
バンブービギン
ヒカルダンサー
ヒロタイム
フアンドリポポ
ホクトビーナス
マイスーパーマン
マイネルブレーブ
マイネルムート
マルタカタイソン
マルブツスピーリア
マンジュデんカブト
ミスタートウジン
ミヨノゴルド
ムービースター
メインキャスター
メジロアニタ
メジロモントレー
ヤマノタンポポ
ヤマフリアル
ライトカラー
ラッキーゲラン
リアルサファイヤ
リアルバースデー
リストレーション

リリーズブーケ
リンカーンシチー
レインボーアンバー
ロジータ
ロングシンホニー
Alydars
Black Tie Affair
Cacothies
Cardmania
Creator
Dancehall
Danehill
Distant Relative
Drum Taps
Easy Goer
Euros
Festin
Flamenco Wave
French Glory
Goldenen Phasant
Goldneyev
Hawksiter
In the Wings
Is It True
Kendor
King Glorious
Legal Case
Mark of Distinction
Mercale
Mondrian
Musical Bliss

Nashwan
Ode
Old Vic
Open Mind
Opening Verse
Petite Isle
Polish Precedent
Prized
Queen
Quiet American
Rosette Turn
Rough Habit
Russian Bond
Safely Kept
Scenic
Shadi
Shaftebury Avenue
Snow Bride
Some Romance
Stylish Censure
Sunday Silence
Termon
With Approval
Zabel
Zilzal
アイネスフウジン
アウトランセイコー
アグネスフローラ
アズマイースト
イクノダイクタス
インターボイジャー

ウイナーズゴールド
エイシンサニー
オースミロツチ
カツノジヨオー
カミノクレツセ
キーミノブ
キョウエイタツプ
ケリーバツグ
ゴールドデンアワー
コガネタイフウ
サクラサエズリ
シバノアマゾネス
スイートミトウーナ
スプライトパツサー
スルガスペイン
センターシヨウカツ
ダイイチオイシ
ダイイチルビー
ダイカツリユウセイ
ダイタクヘリオス
ツルマイアスワン
トウケイニセイ
トウシヨウアイ
トキノリバティー
トシグリーン
ナイスパワー
ナリタハヤブサ
ニチドウサンダー
ニフティニース
ニホンピロエイブル
ヌエボトウシヨウ

ノーマアスピデー
ハギノハイタッチ
ハクタイセイ
ハシノケンシロウ
ヒカリカツオーヒ
ヒダカハヤト
フェイムオブラス
ブラウンビートル
プリンスシン
プレクラスニー
ホリノウイナー
ホワイトアロー
ホワイトストーン
マックスフリート
マルブツサンキスト
ミュージックタイム
メイショウビトリア
メジログッテン
メジロパーマー
メジロマックイーン
メジロライアン
メルシーアトラ
ヤマタケサリ
ヤマニングローバル
ヤマニンシアトル
ユーセイフエアリー
ユートジョージ
ユキノサンライズ
ヨドノチカラ
ラビットボール
リーゼンシユラーク

レオグリーングリーン
レガシーワイズ
レッツゴーターキン
ロングアーチ
ロングアポロン
ワイドバトル
Adjudicating
Belmez
Carson City
Chimes of Freedom
Dashing Blade
Dayjur
Dear Doctor
Deploy
Diablo
Elmamel
Epervier Bleu
Gond
Gond Wand
Grand Flozilla
Hellenic
Housbuster
In Excels
In the Groove
Itsalgrektome
Jade Robbery
Jolie's Halo
Knight's Baroness
Let's Elope
Linamix
Machiavellian

Marquetry
Miss Alleghed
Mr. Brooks
Pasena
Pleasant Tap
Polar Falcon
Priolo
Quest for Fame
Rafha
Red Ransom
Rhythm
Rock Hopper
Royal Academy
Rubiano
Salsabil
Sanglamore
Samaraz
Shavian
Sky Classic
Stella Madrid
Summer Squall
Tight Spot
Tirolo
Unbridled
Vintage Crop
Zoman
アーバントップ
アポロピンク
イイデサターン
イイデセゾン
イソノルーブル

イナズマクロス
イブキファイブワン
イブキマイカグラ
ヴァイスシーダー
オースミダイナー
カネユタカオー
カリスタグローリ
ケイエスマイラクル
ゴールデンアイ
ゴールドストリート
コガネパワー
サクラハイスピード
シゲルデッドクロス
シスタートウシヨウ
シャコーグレイド
ジャニス
シンホリスキー
スカーレットブーケ
スズノキヤスター
スタビライザー
ストロングカイザー
センタージユン
ダイナマイトダディ
タイヤン
タニノボレロ
ダライオーカン
ツインターボ
テイエムリズム
テンザンハゴロモ
トウカイテイオー
トモエリージェント

ドラー^ルオウ^カン
ナイス^ネイ^チヤ
ナリ^タチ^カラ
ニフ^テイ^ダン^サー
ニホン^ピロ^ラツ^ク
ネー^ハイ^ビク^トリ^ー
ノー^ザン^ドラ^イバ^ー
ハシル^ショウ^グン
ハナ^セー^ル
パリス^ハー^リー
ヒガ^シマ^ジョ^ルカ
ビツ^グフ^アイ^ト
ビツ^クフ^オル^テ
フジ^ヤマ^ケン^ザン
フラ^ツシ^ユシ^ヤワ^ー
ブル^ーベ^イブ^リツ^ジ
ブ^ロード^マイ^ンド
ヘ^イセ^イシ^ルバ^ー
ボ^ール^ドフ^エイ^ス
ホ^クセ^イシ^プレ^ー
ホ^ワイ^トシ^ルバ^ー
マ^チノ^コマ^チ
マル^マツ^エー^ス
ミ^スタ^ース^ペイ^ン
ミ^ナミ^ノア^カリ
ミ^ルフ^オード^スル^ー
ム^ツシ^ユシ^エク^ル
メ^イシ^ョウ^ホム^ラ
メ^イシ^ョウ^マリ^ーン
メ^イシ^ョウ^レグ^ナム
ヤ^マニ^ンゼ^フア^ー

ヤマニンフオックス
ヤマニンマリオン
ヤマノカサブランカ
ユウキトツプラン
ユーワビーム
ラシアンゴールド
リターンエース
リンデンリリー
リンドシエーバー
ループルアクト
レオダーバン
レガシーフィールド
レットイツトビー
ロングタイトル
ロンゲツト
Arcangues
Best Pal
Cahill Road
Cororate Report
Dance Smartly
Danseuse du Soir
Desert Sun
Environment Friend
Exit to Nowhere
Flawlessly
Fly So Free
Fourstars Allstar
Fraise
Generous
Hansel
Hector Protector

S u a v e D a n c e r
S t r i k e t h e G o l d
S t a r o f C o z z e n e
S h e i k h A l b a d o u
S h a d a y i d
S e l k i r k
S e c o n d S e t
S c a n
S a d d l e r ' s H a l l
R e d B i s h o p
P o s s e s s i v e D a n c e r
P o l i s h P a t r i o t
P i s t o l e t B l e u
O p e r a H o u s e
O n e D r e a m e r
N a t u r a l i s m
M y s t i k o
M u j t a h i d
M i s i l
M e a d o w S t a r
M a r j u
M a g n i f i c e n t S t a r
M a g i c N i g h t
L y c i u s
L o s t M o u n t a i n
L o m i t a s
L o c h s o n g
L a h i b
K o t a s h a a n
K o o y o n g a
J e t S k i L a d y

S u b o t i c a
S u l t r y S o n g
V e r t A m a n d e
アイルトンシンボリ
アサカリジエント
アトムピット
アドラーブル
アラシ
アラタマワンダー
インターシユプール
ウイツシユドリーム
エアジョーダン
エイシンテネシー
エーピージエツト
エリザベスローズ
エルカーサリバー
カシワズプリンセス
キソジゴールド
キョウエイボーガン
キョウワホウセキ
グレイドシヨウリ
グレートリーフ
ケイテイタイガー
ゴールドマウンテン
サクラセカイオー
サクラバクシンオー
サンエイサンキュー
システイーナ
シマノヤマヒメ
ジャムシード
ジnkタモンオー

シンコウラブライ
シンワコウジ
スガノスキー
セキテイリユウオ
センゴクシルバー
タケノベルベット
チアズアトム
チエリーコウマン
ツキノイチバン
デイスコホール
トミシノポルンガ
トロツトサンダー
ナイキゴージャス
ナリタタイセイ
ニシノフラワー
ニホンピロプリンス
ネオアイク
ノーザンコンダクト
ハツコウマーチ
バンブーゲネシス
ピアホルテ
ヒカサクイーン
ヒシマサル
ヒデノリード
ブランドアート
プロストライン
ホクセイアンバー
マイスタージンガー
マチカネタンホイザ
マヤノペトリユース
ミスターホンマル

ミホノブルボン
メジロカンムリ
モリユウプリンス
ヤマニンミラクル
ユートジエーン
ライスシヤワー
レガシーワールド
ローズムーン
ローリエアンドレ
ロンシャンボーイ
ワンモアラブウエイ
A. P. Indy
All at Sea
Alydeed
Apple Tree
Arazi
Belong to Me
Bertrando
Bien Bien
Brief Truce
Culture Vulture
Devil His Due
Dixie Brass
Dr. Devious
El Prado
Ezoud
Hamas
Harlan
Hatoof
June
Jolypha

U s e r F r i e n d l y
U r b a n S e a t h e A l a r m
T u r n b a c k t h e A l a r m
T o u s s a u d
T h u n d e r R u m b l e
T h e W i c k e d N o r t h
T h e P h a n t o m C h a n c e
T e c h n o l o g y
S t . J o v i t e
S h a n g h a i
S a r a t o g a D e w
S a n d p i t
S a l t L a k e
S a i n t B a l l a d o
R o d r i g o d e T r i a n o
P u r s u i t o f L o v e
P r o s p e c t o r s D e l i t e
P r e a c h
P o l y t a i n
P l e a s a n t S t a g e
P l a t i n i
P i s t o l s a n d R o s e s
P i n e B l u f f
P a r a d i s e C r e e k
O n l y R o y a l e
M u h t a r r a m
M a r l i n g
L u r e
L i o n C a v e r n
L i l E . T e e
K i t w o o d

Wolfhound

アイオーユー

アイリツシユダンス

アドマイヤボサツ

アミサイクロン

アルファキュート

アンバーライオン

インターマイウエイ

ウイニンググチケツト

エーピーグランプリ

エリモフオーサイト

エルウエーウイン

オースミポイント

カサイオーカン

キタサンテイオー

キョウワアリシバ

キンセンアラシ

クラウンシチー

グラントシンゲキ

ケイウーマン

サクラチトセオー

ササノコバン

サブリーナチエリー

サマニベツピン

シクレノンシエリフ

シゲルホームラン

シルクムーンライト

スーパープレイ

スエヒロジヨウオー

スターバレリーナ

ステージチャンプ

スプリングバンブー
セントミサイル
ダイカツストーム
ダイメイゴッツ
ダンツシアトル
ツジユートピアン
テイエムハリケーン
テスコガリバー
テンジンシヨウグン
トウカイタロー
ドージマムテキ
トーヨーリフアール
トーワウイナー
トーワダーリン
トチノミネフジ
ナリタタイシン
ネーハイシーザー
ネーハイタフネス
ノーザンレインボー
ノースフライト
ハギノリアルキング
ビコーアルファ
ビワハヤヒデ
フジノスラッガー
ブルーファミリー
プレイリークイーン
プレザント
ベガ
ペガサス
ホクトベガ
ホツカイセレス

ホマレオーカン
マーベラスクラウン
マイシンザン
マイネルキヤツスル
マイネルトレドール
マイネルリマーク
マイヨジョンヌ
マザートウシヨウ
マヤノギヤラクシー
マルカアイリス
マルシンヴェイラーゴ
マルチマックス
マルブツセカイオー
ミスタードルフ
ヤマニンバイタル
ヤマヒサローレル
ユウトウセイ
ユキノビジン
ラガーチャンピオン
ランドアポロ
リバーセキトバ
ロイスアンドロイス
ロイヤルハーバー
ロングキヤロット
ワコーチカコ
Armirger
Award
Barathrea
Bigstone
Bob's Return
Boundary

Nicer
Montbrook
Monsun
Miner's Mark
Micielo
Maroof
Marchande Sable
Mahogany
Madelaine's Dream
Lyrice Fantasy
Litede Justice
Lando
Kissin Kris
Kinsgambro
Intrepidity
Hunting Hawk
Hollywood Wildcat
Hernando
Gilded Time
Fort Word Jones
Emperorst
Elmhurst
Eliza
Dolphin Street
Dispute
Desert Stormer
Derrière Emperour
Commander Chief
Colonial Affair
Cigar
Cherokee Run

Nine Keys
Personal Hope
Possibly Perfect
Prairie Bayou
Roamin Rachel
Sayyedati
Sea Hero
Shemaka
Ski Paradise
Sky Beauty
So Factual
Soviet Line
Soviet Problem
Strolling Along
Stuka
Tenby
Tinner Way
Turk Passer
Unusual Heat
Urgent Request
Wallenda
Wemys Bright
White Muzzle
Zafonic
Zieten
Zoonacqua
アグネスパレード
アマゾンオペラ
アワパラゴン
イイデライナー
イナズマタカオー

インターライナー
ウインドフィールズ
エアダブリン
エイシンワシントン
エクセレンスロビン
オースミタイクーン
オースミマックス
オギティファニー
オグリローマン
オフサイドトラップ
オンワードノブール
カオリビジン
カネシヨウゴールド
カネツクロス
カルラネイチャー
キョウトシチー
グリーンサンダー
ケーエフネプチュン
ゴーゴージェット
ゴールデンジャック
サージユエルズ
サクラエイコウオー
サクラスーパーオー
サクラローレル
ザスクープ
サムソンビツグ
シャイニンレーサー
シヨウリノメガミ
シルキーローザ
シルクグレイツシユ
シンコウキング

スガノオージ
スターマン
スペクタクル
セタノキング
タイキブリザード
チヨウカイキヤロル
ツインクルブライド
ツルマルガール
テイエムジヤンボ
デュークグランプリ
テンザンユタカ
トシヴオイス
ドルフィンボーイ
ナイスフレンド
ナガラフラツシュ
ナムラコクオー
ナリタブライアン
ノーザンポラリス
ノールグラス
パリスナポレオン
ビコーペガサス
ヒシアマゾン
ビツグシヨウリ
ファンドリシヨウリ
フェステイブキング
フジノマツケンオー
ブライアンスロマン
ブラツククロス
ハイセイパウエル
ホウエイコスモス
ボディーガード

ポレール
マチカネアレグロ
マリーゴツド
メイシヨウアムール
メモリージヤスパ
メルシーステージ
メローフルーツ
ヤシマソブリン
ヤマニンアビリテイ
ライフアサヒ
ライブリマウント
ローブモンタント
Alphabetsoup
Balanchine
Bolasso
Carnegie
CelticArms
CherokeeRose
Concener
Danewin
DareandGo
Dehere
DistantView
DoubletTrigger
DramaticGold
Dumamani
EastoftheMoon
EndSweep
Erhabab
ErinBird

P
i
c
c
o
l
o

P
h
o
n
e
C
h
a
t
t
e
r

O
w
i
n
g
t
o
n

O
u
r
E
m
b
l
e
m

N
o
r
t
h
e
r
n
S
p
u
r

M
o
o
n
a
x

M
i
s
t
e
r
B
a
i
l
e
y
s

M
i
l
l
k
o
m

M
e
h
t
h
a
a
f

M
a
r
i
a
h
'
s
S
t
o
r
m

L
e
m
o
n
S
o
u
f
f
l
e

L
a
s
s
i
g
n
y

L
a
s
M
e
n
i
n
a
s

L
a
k
e
w
a
y

L
a
k
e
C
o
n
i
s
t
o
n

K
i
s
s
i
n
g
C
o
u
s
i
n

K
i
n
g
'
s
T
h
e
a
t
r
e

K
e
y
P
h
r
a
s
e

J
o
h
n
'
s
C
a
l
l

I
r
g
u
n

I
n
s
i
d
e
I
n
f
o
r
m
a
t
i
o
n

H
u
s
s
o
n
e
t

H
o
l
y
B
u
l
l

H
e
a
v
e
n
l
y
P
r
i
z
e

H
e
a
r
t
L
a
k
e

H
a
l
l
i
n
g

G
r
e
n
T
u
n
e

G
r
a
n
d
L
o
d
g
e

G
o
f
o
r
G
i
n

F
o
r
e
s
t
W
i
l
d
c
a
t

F
i
r
s
t
T
r
u
m
p

Ride the Rails
Sardula
Siphon
Soul of the Matter
Strategic Choice
Sunshack
Tabasco Cat
Te Kay
Tikkanen
Tricky Code
Turtle Island
Twining
Wandesta
Wekiva Springs
Wind in Her Hair
You and I
アブクマポーロ
イブキインターハイ
イブキニユースター
イブキラジヨウモン
エイシンサンサン
エイシンバーリン
エムアイブラン
オートマチック
キングオブダイヤ
グルメフロンティア
ゴーゴナカヤマ
コクトジュリアン
コンサートボーイ
サイレントハピネス
サウンドバリヤー

サクラキャンドル
サマーサスピション
サンエムキング
サンデーウエル
サンデーブランチ
シエイクハンド
ジエニユイン
シグナスヒーロー
シンカイウン
スキーキャプテン
タイキシャーロック
タイキマーシャル
ダイタクテイオー
タニノクリエイト
タヤストヨシ
ダンスパートナー
ダンツダンサー
ツキフクオー
テセウスフリーゼ
トウカイパレス
トウシヨウフエノマ
ドージマファイター
ナリタキングオー
ナリタライジン
ネーハイジャパン
パルブライト
ヒカリルーファス
ヒシアケボノ
ファツシヨンシヨ
フェアダンス
フジキセキ

ブライトサンデー
プライムステージ
フラワーパーク
プレストシンボリ
ベストタイアップ
ホツカイルソー
ホマレシヨウハイ
マーベラスサンデー
マイティーフォース
マイネルブリッジ
マキシムシャレード
マキバサイレント
マジックキス
マヤノトツプガン
ムーンリットガール
メイシヨウテゾロ
ヤマニンパラダイス
ヤングエブロス
ユウキビバーチエ
ユウセンシヨウ
ライデンリーダー
リンデンニシキ
ルイボスゴールド
レツドコーラル
ワイルドブラスタ
ワンダーパヒューム
Afternoon Deelites
Anabaa
Annus Mirabilis
Atticus
Bahri

P e n t i r e
P e n n e k a m p
P e a k s a n d V a l l e y s
O s c a r S c h i n d l e r
O c t a g o n a l
M r P u r p l e
M r . G r e l e y
M o o n s h e l l
M e c k e
M a t i a r a
M a c o u m b a
L u s o
L a n g f u h r
L a m m t a r r a
J e w e l P r i n c e s s
I k t a m a l
H a w k A t t a c k
H a r a y i r
G e r i
G e n t l e m e n
F r e n c h D e p u t y
F l y i n g C h e v r o n
F l a n d e r s
F i r s t I s l a n d
D e s e r t S t y l e
D e f e r e
D e f i n i t e A r t i c l e
D a H o s s
C l a s s i c C l i c h e
C e l t i c S w i n g
C a r l i n g

Pilsudski
Poliglote
Pure Grain
Rich Man's Gold
Ridgewood Pearl
River Keen
Sainly
Serena's Song
Shanxi
Singspiel
Smart Strike
Spectrum
Swain
Talking Man
Tejano Run
Thunder Gulch
Timarida
Timber Country
Torrential
Valanour
Vettori
Winged Love
アグネスカミカゼ
アジュディケーター
アブクマレディー
アロハドリーム
イシノサンデー
イブキパシヴ
インターフラッグ
エアグルーヴ
エイシニットオー

エイシンガイモン
エフテーサツチ
エリモシツク
カガヤキローマン
ククノウイン
キングオブケン
クロカミ
ケイエスヨシゼン
ゲイリーイーグル
ゲイリーフラッシュ
ケイワンバイキング
ゴイキングスズカ
ゴーカーイ
サイレントハンター
サカモトデュラブ
サクラエクスパート
サクラスピードオー
ザフォリア
サンデイチエリー
サンライフテイオー
シルクフェニックス
シロキタクロス
シンコウウインディ
シンコウフォレスト
スギノハヤカゼ
ストーンステツパー
ゼネラリスト
センターライジング
セントリック
タイキフオーチユン
ダイワカーリアン

ダイワテキサス
タヤスダビンチ
ダンスインザダーク
ダンディコマンド
チアズサイレンス
ツクバシンフォニー
テイエムオオアラシ
テンパイ
トウシヨウオリオン
トーヨーシアトル
トキオクラフティー
ナイキジャガー
バトルライン
バブルガムフェロー
バンチャンプ
バンブーピノ
ビクトリーアツプ
ヒサコーボンバー
ヒシナタリー
ヒダカリージエント
ビッグバイアモン
ビワハイジ
ファイトガリバー
ファビラスラフィン
ファンドリロバリー
フサイチコンコルド
プラウドマン
ホウシユウサルーン
マイネオリーブ
マウンテンストーン
マサラツキ

マジックリボン
マックスロゼ
マルカダイシス
メイショウジエニエ
メジロフアラオ
メジロランバダ
ユーセイトツプラン
リトルオードリー
レインボークイーン
ロイヤルスズカ
ロイヤルタツチ
ローゼンカバリ
ロゼカラー
ロバリート
ロングカイウン
Alharth
Ali-Royal
Allied Forces
Ashkalan
Big Jag
Bijou d'Inde
Bosra Sham
Buck's Boy
Carra Rafaela
Cavonnier
Chief Bearhart
Dance Design
Danehill Dancer
Distorted Humor
Ebony Grove
Editor's Note

Polaris Flight
Pivotal
Pike Place Dancer
Persian Punch
Oriental Express
Northen Affleet
My Flag
My Emma
Might and Power
Memories of Silver
Maxzene
Matiya
Marlin
Mark of Estem
Marias Mon
Loup Solitaire
Louis Quatorze
Lady Carla
Key Change
Indigenous
Honour and Glory
Hidden Lake
Hennessey
Helissio
Grindstone
Grapple Tree Road
Golden Atraction
Gold Fever
Formal Gold
Escena
Elusive Quality

R a g m a r
R o y a l A p p l a u s e
S a s u r u
S h a a m i t
S h a k e t h e Y o k e
S h a n t o u
S i l S i l a
S i r C a t
S k i p A w a y
S p i n n i n g W o r l d
T a R i b
T a g u l a
U n b r i d l e d ' s S o n g
V i c t o r y S p e e c h
W h i t e w a t e r A f f a i r
W i l d E v e n t
W i l l ' s W a y
Y a g l i
Y a n k s M u s i c
Z a g r e b
ア ン ブ ラ ス モ ア
イ シ ゲ ヒ カ リ
イ チ バ ン リ ユ ウ
エ ア ウ イ ン グ ス
エ ア ガ ツ ツ
エ イ シ ン ビ ン セ ン ス
エ イ ラ ン ボ ー イ
エ リ モ ダ ン デ ィ ー
オ ー ス ミ ジ エ ツ ト
オ ー バ ー ザ ウ オ ー ル
オ ー プ ニ ン グ テ ー マ

オレンジピール
キャニオンロマン
キョウエイマーチ
グラントシンザン
クリスザブレイヴ
ゴールデンチェリー
ゴッドスピード
コンメンダトーレ
サイレンススズカ
サニブライアン
サプライズパワー
サンライズアトラス
サンライズフラッグ
シーキングザパール
シーズプリンセス
シャコーテスコ
シルクジャステイス
シルクライトニング
シンコウスプレンド
シンプウライデン
スーパーナカヤマ
ステイゴールド
スノーエンデバー
スピードワールド
セイリユーオー
タイキエルドラド
タイキシャトル
ダイタクヤマト
ダイワオーシユウ
タマモイナズマ
ダンジグカラーズ

ツルマルガイセン
テイエムトツキユー
テイエムトツプダン
テイエムメガトン
トーヨーレインボー
トキオエクセレント
トキオワールド
トミケンクイン
トミケンライデン
ナナヨーウイング
ニホンカイユース
パーソナリティワン
ハクホウクン
ビーマイナカヤマ
ヒカリサーメット
ヒコーキグモ
ヒシナイル
ビツグサンデー
ファーストアロー
ファストフレンド
ブラックホーク
ブラボーグリーン
ブレーブテンダー
プレミアムサンダー
ブロードアピール
プロモーション
ヘッドシツプ
ポートブライアンズ
ホクトロビン
マーベラスタイマー
マイネルマックス

マコトライデン
マチカネフクキタル
マチカネワラウカド
ミッドナイトベット
ミヤギロドリゴ
メイシヨウモトナリ
メイシヨウワカシオ
メイセイオペラ
メジロドーベル
メジロブライト
ランニングゲイル
ランフォザドリーム
レイズスズラン
レガシークレスト
ワシントンカラー
Air Express
Ajina
Always Loyal
Among Men
Astarabad
Awesome Again
Bahamian Bounty
Behrens
Benney the Dip
Blushing K.D.
Borgia
Boston Harbor
Caitano
Capitano
Captain Bodgit
Classic Park

S a h m
R y a f a n
R e v o q u e
R e b e c c a S h a r p
R e a m s o f V e r s e
Q u e e n M a u d
P u l p i t
P e i n t r e C e l e b r e
O n e S o W o n d e r f u l
M u d R o u t e
M o s s f l o w e r
M e d a l l y
L o u p S a u v a g e
K o n a G o l d
K a y f T a r a
J i m a n d T o n i c
I n t i k h a b
I n C o m m a n d
F r e e H o u s e
F l y t o t h e S t a r s
F i j i
F a i t h f u l S o n
E n t r e p r e n e u r
E l n a d i m
E b a d i y l a
D e s e r t S t o r y
D e s e r t K i n g
D e p u t y C o m m a n d e r
D a y l a m i
D a n e t i m e
C o m p t o n P l a c e

S h a r p C a t
S i l v e r C h a r m
S i l v e r P a t r i a r c h
S l e e p y t i m e
S m o k e G l a c k e n
S t . S t e v e n
S t a r b o r o u g h
S t o r m S o n g
S t o r m y A t l a n t i c
S u b o r d i n a t i o n
T a l e o f t h e C a t
T i e t h e K n o t
T o u c h G o l d
T u z l a
U n g a r o
V e r e v a
W a g o n L i m i t
W i l d R u s h
Y a s h m a k
Z a m i n d a r
ア イ ア ム ザ プ リ ン ス
ア イ ン ブ ラ イ ド
ア グ ネ ス ワ ー ル ド
ア ト ミ ッ ク サ ン ダ ー
ア メ リ カ ン ボ ス
ア ロ ー セ プ テ ン バ ー
イ ナ リ コ ン コ ル ド
イ ブ キ ヤ マ ノ オ ー
イ ン テ リ パ ワ ー
ウ イ ン グ ア ロ ー
エ ア ジ ハ ー ド

エアスマップ
エアデジャヴー
エイシンワンサイド
エイダイクイン
エガオヲミセテ
エモシオン
エリモエクセル
エルコンドルパサー
カネトシガバナー
キングヘイロー
グラスワンダー
クラフトマンシップ
クリールサイクロン
ゲイリーイグリット
ケープリズバーン
ゴールドプルフ
ゴールドヘッド
サンデーセイラ
サンフォードシチー
サンプレイス
ジョービツグバン
スエヒロコマンダー
スギノキューティー
スナークレイアース
スペシャルウィーク
スマートボーイ
セイウンスカイ
セレクトグリーン
ダイワスペリアー
タケイチケントウ
ダブルンライオン

タマモストロング
タマルファイター
タヤスアゲイン
タヤスケーポイント
タヤスメドウ
ダンシングターナー
ダンツシリウス
チアズニューパワー
チエツクメイト
ツルマルツヨシ
デイヴアインライト
トウナンテ
トキオパーフェクト
トシザミカ
ナリタホマレ
ナリタルナパーク
ニホンピロジユピタ
ハイフレンドコード
ハカタビツグワン
バンブーマリアツチ
ビワタケヒデ
ファイブポインター
ファレノプシス
フィガロ
フジノモンスター
ブリリアントロード
ボールドエンペラー
ホツコーアンバー
マイターン
マイネルクラシック
マイネルラヴ

マキバスナイパー
マキハタコンコルド
マツクスキャンドウ
マルカコマチ
マンダリンスター
マンボツイスト
ミスズシャルダン
ミラクルアドマイヤ
ミラクルタイム
メイシヨウオウドウ
ラテイール
ランドパワー
リワードニンファ
レオリユウホウ
レガシーロック
レディステラ
ロードアックス
ロードアトラス
ロードクロノス
ロングイカロス
ロンドンブリッジ
ワールドクリーク
Alborada
Almutawakel
Arch
Artax
Banthee Breeze
Beautiful Pleasure
Bianconi
Cape Town
Cape Verdi

M u h t a t h i r
M a n i s t i q u e
L i m p i d
L e n d a H a n d
L e g g e r a
K i n g o f K i n g s
K e e p e r H i l l
K a r a s i
J e r s e y G i r l
I n d i a n C h a r l i e
H i g h | R i s e
G r e e k D a n c e
G r a n d S l a m
G o u r m e t G i r l
G o l d e n M i s s i l e
G o l d A w a y
F a v o r i t e T r i c k
F a i r y K i n g P r a w n
E x c l u s i v e
E n z e l i
E a r l y P i o n e e r
D r e a m W e l l
D r F o n g
D i k t a t
D e s e r t P r i n c e
C r y p t i c R a s c a l
C r o c o R o u g e
C o u n t e s s D i a n a
C o r o n a d o ' s Q u e s t
C h e s t e r H o u s e
C a t c h a s c a t c h a n

M u t a m a m
N e d a w i
N u c l e a r D e b a t e
O l d T r i e s t e
Q u i e t R e s o l v e
R e a l Q u i e t
R e r a i s e
R o y a l A n t h e m
S a g a m i x
S a r a t o g a S p r i n g s
S h a h t o u s h
S h i v a
S i l i c
S o a r i n g S o f t l y
S u n l i n e
T a m a r i s k
T a r a s c o n
T i g e r H i l l
V i c t o r y G a l l o p
V i c t o r y N o t e
W h i t e H e a r t
W i n o n a
W i t h A n t i c i p a t i o n
X a a r
Z a i n t a
Z a l a i y k a
Z o m a r a d a h
アイランドオオジャ
アツムテキ
アドマイヤカイザー
アドマイヤゴールド

アドマイヤコジーン
アドマイヤベガ
アドマイヤマンボ
アルアラン
イブキガバメント
ウメノフアイバー
エアザイオン
エアピエール
エイシンキヤメロン
エイシンルーデンス
オースミブライト
オペラハット
オリオンザサンクス
オンワードセイント
ギフテッドクラウン
キングオブサンデー
キングデール
グラスワールド
グレイスナムラ
クロックワーク
ゲイリートマホーク
コウエイロマン
ゴールドティアラ
サイキョウサンデー
サウスヴィグラス
ザカリヤ
サヤカ
サンデーピクニック
シルクガーディアン
シンボリインディ
ステインガー

タイキダイヤ
タイキトレジャー
タイキヘラクレス
タイキポラ
ダイワデュール
タマモヒビキ
タヤスブルーム
テイエムオペラオー
テイエムサンデー
テイエムダイオー
トウカイパルサー
トウカイポイント
トウザヴィクトリー
トウシヨウアンドレ
トーホウエンペラー
トシザブイ
トロツトスター
ナリタトツプロード
ノボトウルー
ハイテンションパル
ハギノハイグレイド
ハタノアドニス
ハルウララ
ヒカルボシ
ヒシピナクル
ヒゼンホクシヨ
ビッグバイキング
ビハインドザマスク
フサイチエアデール
ブゼンキャンドル
ブラックタキシード

プリモディーネ
ペインテドブラツク
ベラミロード
ベルモントアクター
ホットシークレット
ホマレスターライツ
マイシーズン
マイネルプラチナム
マグナーテン
マチカネキンノホシ
マリンレオ
マルカキキャンデイ
マルゴウイツシュ
ミツキーダンス
メイショウドトウ
メジロダーリング
メジロライデン
メジロロンザン
ヤマニンアクロ
ヤマノリアル
ユーセイシユタイン
ラスカルスズカ
リージエントブラフ
リザーブユアハート
レッドチリペツパー
ロードプラチナム
ロサード
ワシユウジョージ
ワンダーフアング

A l j a b r

A n s w e r L i v e l y

V
i
c
a
r

V
a
l
e
n
t
i
n
e

W
a
l
t
z

V
a
l
R
o
y
a
l

T
i
m
b
o
r
o
a

T
e
s
t
a
R
o
s
s
a

S
u
c
c
e
s
s
f
u
l
A
p
p
e
a
l

S
t
r
a
v
i
n
s
k
y

S
t
e
p
h
e
n
G
o
t
E
v
e
n

S
l
i
c
k
l
y

S
k
y
J
a
c
k

S
k
i
m
i
n
g

S
i
l
v
e
r
b
u
l
l
e
t
d
a
y

S
i
l
v
a
n
o

S
e
n
d
a
w
a
r

S
a
f
f
r
o
n
W
a
l
d
e
n

R
o
y
a
l
R
e
b
e
l

R
e
d
o
u
t
e
'
s
C
h
o
i
c
e

R
a
m
r
u
m
a

P
r
o
u
d
w
i
n
g
s

P
i
n
s

P
e
r
f
e
c
t
S
t
i
n
g

O
r
p
e
n

O
a
t
h

N
o
r
t
h
e
r
l
y

N
a
m
i
d

M
u
t
a
f
a
w
e
q

M
u
j
a
h
i
d

M
o
n
t
j
e
u

M
e
n
i
f
e
e

M
a
r
l
e
y
V
a
l
e

M
a
n
n
d
a
r

Way of Light
Wince
Yankeevictor
Yes It's True
Zahrat Dubai
アイデンサマー
アインアイン
アクティブバイオ
アグネスデジタル
アグネスフライト
アタラクシア
アツミラール
アドマイヤタツチ
アドマイヤボス
アラタマインディ
アローリングアクト
アローウイナー
イーグルカフェ
イエローパワー
イルバチオ
ウインブレイズ
ウインマーベラス
エアシャカール
エアトウール
エイシンプレストン
エリモブライアン
エンゲルグレーセ
エンゼルカロ
オンワードメテオ
カーネギーダイアン
カネツフルーヴ

カリスマサンオペラ
ギルデツドエージ
キングザファクト
クラキングオー
グランパドドウ
ゲイリーファンキー
コアレスハンター
コウザンハヤヒデ
ゴールドヘイロー
サイコーキララ
ジヨウテンブレーヴ
ジョーデイシラオキ
シルヴァコクピット
シルクプリマドンナ
スイートオーキツド
スターリングローズ
ゼンノエルシド
ダイタクリーヴァ
ダイワカーソン
タキノスペシャル
タツプダンスシチー
タフネススター
ダブルハピネス
チアズグレイス
ティコティコタツク
テネシーガール
トウカイオーザ
トーホウシデン
トーホウドリーム
トーワトレジャー
トツプコマンダー

トツプロテクター
ニホンピロスワン
ニューイングランド
ノボジャック
ヒノデラスト
フサイチゼノン
フサイチソニツク
フサイチランハート
フューチャサンデー
ブラウンシャトレ
ブランデイス
プリエミネンス
ブレイクタイム
ベルグチケツト
マイネルコンドル
マイネルコンバツト
マイネルビンテージ
マイネルブライアン
マイネルブラウ
マツクロウ
マニツクサンデー
マヤノメイビー
マルターズスパーク
ミツアキサイレンス
ミツワトツプレディ
ミデオンビツト
ミラクルオペラ
メイシヨウキオウ
メイシヨウドメニカ
メジロマントル
ヤマカツスズラン

ヤマニリスペクト
ユウフヨウホウ
ユーワフアルコン
ユキノサンロイヤル
ラガーレグルス
リードスキー
ルネツサンス
レギュラーメンバー
レジェンドハンター
レディバラード
ロングカイトウ
Albert the Great
All Thrills Too
Anees
Aptitude
Bachir
Beat Hollow
Bernstein
Best of the Bests
Bluemamba
Brahms
Broken Vow
Callier One
Captain Steve
Cash Run
Circul of Life
Cirro
Commendable
Crimplene
Distant Music
Dixie Union

O b s e r v a t o r y
M o r e T h a n R e a d y
M o n l a d y
M i l w a u k e e B r e w
M i l l e n a r y
M e d i c e a n
M a y B a l l
M a r i e n b a r d
M a l i b u M o n
L o v e D i v i n e
L i d o P a l a c e
L e f t B a n k
L a h a n
L a d y o f C h a d
K u t u b
K i n g ' s B e s t
J o s t l e
J e u n e K i n g P r a w n
I n v i n c i b l e S p i r i t
I n c l u d e
H o l d i n g C o u r t
H i g h Y i e l d
H a l ' s H o p e
G i a n t ' s C a u s e w a y
F u s a i c h i P e g a s u s
F i e l d s o f O m a g h
F a s l i y e v
E x c h a n g e R a t e
E l C o r r e d o r
E k r a r
E g y p t b a n d

Paolini
Petrushka
Polish Summer
Precise End
Red Bullet
Revealed Oscar
Rings a Chimney
Sakhee
Samum
Sarafan
Scatter the Gold
Secret Status
Sindar
Spain
Starline
Subtle power
Summoner
Surfside
Swapt Overboard
Terra Terra
The Deputy
Tiznow
Trippi
Unshaded
Volvoreta
War Chant
アグネスゴールド
アグネスタキオン
アサカデイフィート
イシヤクマツハ
ウインラディウス

エアエミネム
オイワケヒカリ
カチドキリユウ
カルストンライトオ
キタサンチャンネル
キングファイデリア
クールジョイ
クロフネ
ケイアイミリオン
コイントス
コスモリアライズ
ゴッドオブチャンス
サイドワインダー
サクセスストレイン
サンライズジエガー
サンライズペガサス
ジーナフォンテン
ジャングルポケット
ショウナンカンパ
シンゴンオペラ
シンコウカリド
スーパージーン
ダービーレグノ
ダイタクバートラム
タイムパラドックス
タイムフェアレディ
ダイヤモンドビコー
ダイワルージュ
タガノテイオー
タシロスプリング
ダンシングカラー

ダンツフレーム
チアズブライトリー
ツルマルボーイ
テイエムオーシャン
テイエムサウスポー
デイバインシルバー
デモリションマン
テンザンセイザ
テンシノキセキ
テンビーエース
トーシンブリザード
トーセンダンデイ
トラストファイヤー
ナスダックパワー
ナミ
ナリタオンザターフ
ニホンピロサート
ネイティヴハート
ネームヴァリユー
ハッピーパス
ビッグゴールド
ビッグテースト
ビリーヴ
ビワシンセイキ
フジナミスペシャル
フジノコンドル
フジノテンビー
フレアリングマズル
ベルモントビーチ
ボーンキング
マイニングレディ

マイネルジヤパン
マイネルデスポット
マグマライフ
マルカセンリヨウ
マンハツタンカフェ
ミスキャスト
ミレニアムスズカ
ミレニアムバイオ
ムーンライトタンゴ
ムガムチュウ
メイショウラムセス
メジロベイリー
リキアイタイカン
リキセレナード
ルスナイクリステイ
ルゼル
レディパステル
レディブロンド
ローズバド
ロードバクシン
ロードプリヴェイル
ロッキアピール
Aldebaran
Ameerat
Annabaa Blue
Angela Gabriel
Aquarelliste
Azერი
Banks Hill
Beckett
Black Minna Louise

Keltos
Kella
Ipi Tome
Imagine
Grandera
Granded Ekinkos
Goldden Ballet
Goldden Apples
Gollan
Galileo
Freud
Flute
Fleetstreet Dancer
Falbrav
Excellent Meeting
Evening Attire
Even the Score
Edubai
Domedriver
Denon
D'wildcat
Crystall Music
Congare
Collier Hill
City Zip
Chichicasstenganago
Carssing
Cape of Good Hope
Camden Park
Boreal

S
t
o
r
m
i
n
g
H
o
m
e

S
q
u
i
r
t
l
e
S
q
u
i
r
t

S
p
e
i
g
h
t
s
t
o
w
n

S
o
n
g
a
n
d
a
p
r
a
y
e
r

S
e
q
u
o
y
a
h

S
a
g
a
c
i
t
y

R
o
s
e
G
y
p
s
y

R
e
g
a
l
R
o
s
e

R
e
e
l
B
u
d
d
y

R
e
b
e
l
l
i
n
e

P
u
t
|
i
t
|
b
a
c
k

P
r
e
c
i
s
i
o
n

P
o
i
n
t
G
i
v
e
n

P
l
e
a
s
a
n
t
l
y
P
e
r
f
e
c
t

P
e
r
f
e
c
t
S
o
u
l

O
r
i
e
n
t
a
t
e

O
l
y
m
p
i
c
E
x
p
r
e
s
s

N
o
v
e
r
r
e

N
a
y
e
f

M
o
z
a
r
t

M
o
r
s
h
d
i

M
o
n
g
o
s
e

M
o
n
a
r
c
h
o
s

M
i
z
z
e
n
M
a
s
t

M
i
n
a
r
d
i

M
i
l
a
n

M
a
c
h
o
U
n
o

L
o
n
h
r
o

L
a
i
l
a
n
i

K
y
l
l
a
c
h
y

K
i
n
g
C
h
a
r
l
e
m
a
g
n
e

Street Cry
The Tin Man
Toboug
Total Impact
Unbridled Elaine
Vahorimix
Victory Ride
Vinnie Roe
Volponi
Voodoo Dancer
Warsan
Xtra Heat
アグネスソニック
アサクサデンエン
アズマビヨンド
アツパレアツパレ
アドマイヤドン
アドマイヤマックス
アローキヤリー
アンドウオール
イングランデイーレ
インタータイヨウ
エスプリシーズ
エリモマキシム
オースミコスモ
カシノオウサマ
カゼニフカレテ
カツツミー
カンファーベスト
キーンランドスワン
キタサンヒボタン

キネテイクス
キングセイバー
クーリンガー
ゴールドアリュール
サーガノヴェル
サクセスビューティ
サクラヴィクトリア
サダムブルースカイ
サニングデール
シベリアンメドウ
シャイニールビー
シャドウスケイプ
シルクフェイマス
シンボリクリスエス
スターキングマン
ストロングブラッド
スマイルトウモロ
セフティーエンペラ
タイガーカフェ
タイキリオン
ダイワレイダース
タガノマイバツハ
タニノギムレット
タムロチエリー
ダンツジャツジ
チアズシユタルク
チャペルコンサート
ディーエスサンダー
デュランダル
テレグノシス
ナムラサンクス

ナリタセンチュリー
ニシノハナグルマ
ノーリーズン
バランスオブゲーム
バンブーユベントス
ビーポジティブ
ヒシミラクル
ピットファイター
ヒミツハイキ
ファインモーション
ファストタテヤマ
フェスティバル
プリサイスマシーン
プリンシパルリバー
ブルーシヨットガン
ブルーリτζジリバー
プルザトリガー
プレシヤスカフェ
ヘルスウオール
ホームンキユート
ボールドブライアン
マイソールサウンド
マイネルアムンゼン
マイネルイースター
マイネルセレクト
マイネルデイベイン
マチカネアカツキ
ミスイロन्दル
ミスターサックス
メイシヨウカイドウ
メイプルスプリング

メガスターダム
メジロマイヤー
メルシータカオー
ヤマニンセラフイム
ヤマノブリザード
ラヴァリーフリッグ
リミットレスビッド
レニングラード
ローエングリ
ローマンエンパイア
ローレルアンジュ
Acclamation
Act One
Adoration
Ballingary
Bell Esprit
Bella Bellucci
Better Talk Now
Black Sam Bellamy
Bollin Eric
Booklet
Bright Sky
Buddha
Bullish Luck
Came Home
Canadian Frontier
Candy Ride
Choisir
Dubai Destination
Espalo
Essence of Dubai

M r D i n o s
M o n B a l l a d
M i n e s h a f t
M i e s q u e ' s A p p r o v a l
M e t e o r S t o r m
M e d a g l i a d ' O r o
M a r o t t a
M a r g a r u l a
M a m o l
M a k y b e D i v a
L u c k y O w n e r s
L a n d s e e r
K h a l k e v i
K a z z i a
J u m p S t a r t
J o h a r
J o h a n n e s b u r g
J i l b a b
I s l i n g t o n
H i g h C h a p a r r a l
H e a t H a z e
H a w k W i n g
H a r l a n ' s H o l i d a y
H a r d B u c k
H a b i b t i
G o s s a m e r
G a m u t
F r i z z a n t e
F l a t t e r
F i r e b r e a k
F a r d a A m i g a

T e m p e r a
T a k e o v e r T a r g e t
T a k e C h a r g e L a d y
S u n d a y B r e a k
S u l k
S u l a m a n i
S t a r P a r a d e
S p e c i a l K a l d o u n
S o p h i s t i c a t
S i p h o n i c
S i l e n t W i t n e s s
S i g h t s e e k
S h o l o k h o v
S a r a v a
R o u v r e s
R o c k o f G i b r a l t a r
R i v e r D a n c e r
R i s k a v e r s e
R i g h t A p p r o a c h
R e p e n t
R a k t i
Q u e e n ' s L o g i c
Q u a r t e r M o o n
P r o u d C i t i z e n
P i c o C e n t r a l
P e r f e c t D r i f t
O u r N e w R e c r u i t
O n e f o r R o s e
O f f i c e r
N e x t D e s e r t
N a j r a n

The Duke
Toysome
War
War Emblem
Westerner
Where or When
Wiseman's Ferry
Wonder Again
Yankee Gentleman
You
Zenda
アイポツパー
アグネスウイニング
アタゴタイシヨウ
アドマイヤグルーヴ
ヴィータローザ
ウイニングランツ
ウインクリューガー
ウインジエネラーレ
ウツミジヨードン
エアセレソン
エイシンチャンプ
エイシンツルギザン
エースインザレース
エコルプレイス
エスケープハッチ
エリモカントリー
エリモハリアー
オースミハルカ
オレハマツテルゼ
キジヨージャンボ

ギャラントアロー
グラスボンバー
グラツブユアハート
クラフトワーク
グランリーオ
クワイエットデイ
ゴールデンキヤスト
サイレントデイル
サカラート
サクラセンチュリー
サクラプレジデント
ザツザプレンティ
シーイズトウシヨウ
シルクブラボー
シンコールビー
スイグン
スズカドリーム
スズノマーチ
スターリーヘヴン
ステイルインラブ
スパイキュール
スプリングゲント
スプリングドリュウ
ゼンノロブロイ
タカラシャードイ
タニノマティーニ
タマモリツチ
チアズメツセージ
チアフルスマイル
チャクラ
チューニー

トーセンリリー
トリリオンカット
ナイキアデイライト
ネオユニヴァース
ハードクリスタル
パローネフォンテン
ピースオブワールド
ヒシアトラス
ビッグウルフ
フジサイレンス
ブラックミラージユ
ブルーイレヴン
ブルーコンコルド
ヘヴンリーロマンス
ホワイトカーニバル
マーブルチーフ
マイネサマンサ
マイネヌーヴェル
マイネルモルゲン
マツキーマックス
マルブツトツプ
ミツアキタービン
ミヤビペルセウス
メイシヨウバトラ
メイプルロード
メモリーキアヌ
ヤマカツリリー
ユートピア
ラピッドドリーラン
ラントウザフリーズ
リンカーン

レマーズガール
ワナ
ワンダフルデイズ
ワンモアチャッター
Alamshar
Alkased
Avonbridge
Awesomes
Humor
Bird Town
Brian Boru
Cajun Beat
Casual Look
Clodovil
Cloudy's Knight
Commercante
Composure
Congrats
Court Masterpiece
Daijin
Dalakhani
Demon Warlock
Doyen
Ellolov
Elusive City
Elvstrom
Empire Maker
Excused and Excel
Favourable Terms
Funnycide
Ghostzapper
Go Deputy

R e f u s e t o B e n d
P r i n c e K i r k
P r i d e
P o w e r s c o u r t
P o s s e
P o l i c y M a k e r
P h o e n i x R e a c h
P e a c e R u l e s
P a p i n e a u
O f f l e e W i l d
O a s i s D r e a m
N o t h i n g t o L o s e
N e b r a s k a T o r n a d o
N a t u r a l B l i t z
M u s i c a l C h i m e s
M i d a s E y e s
M e z z o S o p r a n o
M a r b y e
M a g i s t r e t t i
L e s A r c s
L e r o i d e s a n i m a u x
L a d y T a k
K r i s K i n
K i n g s D r a m a
K i c k e n K r i s
I s l a n d F a s h i o n
I n t e r c o n t i n e n t a l
I n d i a n H a v e n
I ' m t h e T i g e r
H o s t
H o l d T h a t T i g e r

Reset
Roselin May
Russian Rhythms
Saint Liam
Singletary
Six Perfections
Sky Mesa
Soldier Hollow
Somnus
Soto
Southern Image
Soviet Song
Spoken Fur
Starcraft
Statue of Liberty
Storm Flaying
Sweet Return
Tante Rose
Ten Most Wanted
Vallee Enchantee
Vengeance of Rain
Vesponse
Vindication
Vintage Tipples
Whywhyy
Wildcat Heir
Yesterday
Zafeen
アグネスラズベリ
アジュデイミツオ
アズマサンダース

アドマイヤビツグ
アドマイヤホープ
アドマイヤモナーク
アルドラゴン
ウイングレット
エアシエイデイ
エスワンスペクター
エムオーウイナー
オペラシチー
カフエオリンポス
カンパニー
キョウワハピネス
キョウワロアリング
キングカメハメハ
グレイトジャーニー
クロイチヨキンバコ
ケイアイガード
コウエイトライ
コスモサンビーム
コスモバルク
サウンドザビーチ
サヨウナラ
サンバレンティン
シーキングザダイヤ
シーキングザベスト
ジョイフルハート
ジョリーダンス
スイープトウシヨウ
スウィフトカレント
スズカマンボ
ストームセイコー

タイキバカラ
タイセイブレーヴ
ダイワエルシエーロ
ダイワバンデイツト
ダイワメジヤ
タカラアジユデイ
タマモホツトプレイ
ダンスアジヨイ
ダンスインザムード
ディアチャンス
デルタブルース
トウシヨウナイト
トーセンジヨウオー
トーセンブライト
トキノコジロー
トツプオブワールド
ナナヨーヒマワリ
ナムラリユージュ
パーソナルラツシユ
ハーツクライ
ハイアーゲーム
ハットトリツク
ハリーズコメット
ビーナスライン
ビッググラス
フィードウレヴ
フォーカルポイント
フミノトキメキ
ブラツクタイド
ホオキパウエーブ
ポツプロツク

マイネソーサリス
マイネルデュプレ
マイネルブルック
マイネルボウノット
マルターズヒート
ムーヴオブサンデー
メイシヨウオスカル
メイシヨウボラー
メイシヨウムネノリ
メジロベイシンガー
モエレエスポワール
モエレトレジャー
ヤマニンアラバスタ
ヤマニンシユクル
ヨシノイチバンボシ
ルースリンド
レクレドール
ワイルドソルジャー
A. P. Adventure
Absolute Champion
Action This Day
Alexander Goldrun
Amarette
American Post
Angara
Armada
Artie Schiller
Artiste Royal
Ashado
Attraction
Azamour

Honey Ryder
Hollywoody Story
Healthy Addictive
Happy Ticket
Halfbrided
Hafhd
Grey Swallow
Grey Lillas
Good Reward
Friends Lake
Fouerty Niner Son
Forester Dangler
Fasteret Rock
Electrocutinist
El Segundo
Edington
Cuvée
Commementator
Chermy Mix
Castledale
Cactus Ridge
Cacique
Brass Hat
Borrigo
Boboman
Blue Canary
Birdstone Badly
Behaving
Balmont
Bago
Bachelor Duke

I f f r a a j
I m p e r i a l i s m
I r r i d e s c e n c e
I s l a n d S a n d
K a s t o r i a
K e l l y ' s L a n d i n g
K i t t e n ' s J o y
K o d i a c
L a C u c a r a c h a
L a t i c e
L a v a M a n
L i o n H e a r t
L o v e a n d B u b b l e s
L u c k y P u l p i t
L u c k y S t o r y
L u n e d ' O r
M a d c a p E s c a p a d e
M a r y f i e l d
M a s s M e d i a
M i l k I t M i c k
M i s s A n d r e t t i
N o r t h L i g h t
N o t A S i n g l e D o u b t
O n e C o l C a t
O u i j a B o a r d
P a s t o r a l P u r s u i t s
P e e r e s s
P l e a s a n t H o m e
P o l l a r d ' s V i s i o n
P r i n c e A r c h

Pt's Grey Eagle
Punctilious
Purge
Quiff
Relaxed Gesture
Reverence
Rock Hard Ten
Rule of Law
Savabel
Shadow Cast
Shakespeare
Shirocco
Silver Wagon
Smarthy Jones
Society Selection
Soldier's Tale
Stellar Jayne
Sundrop
Take'd, Tour
Tapit
Tarfah
Tarlow
The Cliff's Edge
Ticker Tape
Torrerella
Valixir
Whipper
Yeats
アイルラヴァゲイン
アグネスジエダイ
アドマイヤジャパン

アドマイヤフジ
アンブロワーズ
インテイライミ
ヴァーミリアン
ヴァンクルタテヤマ
エアメサイア
エイシンデピュテイ
エイシンテンダー
エイシンドーバー
エイシンニーザン
エイシンボストン
エイシロンバード
オースミグラスワン
カシマフラワー
カズサライン
カネヒキリ
キングジョイ
キングスゾーン
キングストレイル
コスモヴァレンチ
コスモフォーチュン
コンゴウリキシオー
コンラッド
サクラオリエオン
サンアディユ
サンライズバツカス
サンレイジャスパ
シーザリオ
シーチャリオット
シックスセンス
シャーベットトーン

シャドウゲイト
シヨウナンパントル
シンボリグラン
スキップジャック
スズカフェニックス
ストーミーカフェ
スムースバリトン
スリーアベニュー
ゼンノパルテノン
タガノゲルニカ
ダンスインザモア
ダンツキツチヨウ
チヨウサン
デアリングハート
デアアラデラノビア
ディープリンパクト
ディープサマー
ティエムチユラサン
ティエムドラゴン
テンセイフジ
トウカイトリツク
トウカイワイルド
トップガンジョー
ドンクール
ニシノナースコール
バトルブレーヴ
ピカレスクコート
ビッグプラネット
フィールドルージュ
ファイフティーワナー
フェリシア

フジノウエーブ
プライドキム
ブライトトウモロ
パールギユント
ベストグランチャ
ホツコーパドウシヤ
ボンネビルレコード
マイネルハーテイ
マイネルレコルト
マキハタサイボーグ
マチカネオーラ
マヤノスターダム
マルカラスカル
メイシヨウトウコン
メルシーエイタイム
モエレアドミラル
ヤマニンメルベイユ
ユメノシルシ
ライラプス
ラインクラフト
ローゼンクロイツ
ロフテイーエイム
ワイルドワンダー
ワンダースピード
Able One
Ad Valorem
Affleet Alex
Apache Cat
Aragorn
Ashkal Way
Assi Simple

I n v a s o r
I n t e r p a t a t i o n
I n t h e G o l d R u n
H u r r i c a n e R u n
H i g h F l y
H a r l i n g t o n
G o r e l l a
G o o d r i c k e
G o o d B a B a
G i a c o m o
F o o t s t e p s i n t h e s a n d
F l o w e r A l l e y
F e l l o w s h i p
E s w a r a h
E n g l i s h C h a n n e l
E i n s t e i n
E c h e l o n
D u b a w i
D o c t o r D i n o
D i v i n e P r o p o r t i o n s
D e c l a n ' s M o n
D a v i d J u n i o r
D a n c i n g E d i e
C o r r e C a m i n o s
C o n s o l i d a t o r
C a m a c h o
B u z z a r d s B a y
B e l l a m y R o a d
B e c r u x
B a n d i n i
B a l l e t t o

Royal Highness
Round Pond
Romanian
Rompote Harbor
Ramontio
Quintano
Pussy Cat Doll
Purim
Proud Tower
Proud Accolade
Proclamation
Prelium Tapp
Prompeii Rules
Playful Act
Paita
Oratorio
Notnowcato
Nicator
My Typphon
Moutain High
Mondare
Manduro
Maid Causeway
Loston
Linnegar
Librettist
Lavrock
Karelian
Jambalaya
Iota

Saoire
Scorpion
Shamardal
Sharp Lisa
Silver Train
Sis City
Sky Conqueror
Smuggler
Snitzel
Splendid Blended
Spun Sugar
Student Council
Summerly
Sweet Catomine
Sweet Symphony
Thor's Echo
Turtle Bowl
Ultra Fantasy
Virginia Waters
Viva Pataca
War Front
Wilko
アクション
アグネスアーク
アサヒライジング
アドマイヤキッス
アドマイヤジュピタ
アドマイヤスバル
アドマイヤムーン
アドマイヤメイ

アポロキングダム
アローリングボイス
アロндаイト
アンバージャック
エアジパング
エイティジャガー
エムエスワールド
エリモエクスパイア
オンファイア
カワカミプリンセス
キクノアロー
キストウヘヴン
ギルガメツシュ
キングトツプガン
キンシャサノキセキ
グレイスティアラ
コイウタ
ゴウゴウキリシマ
コスモプラチナ
サイレントプライド
サクラメガワンダー
サチノスイーティー
サンキューウイン
サンダルフォン
ジャリスコライト
シヨウナンタキオン
シンゲン
スーパーホーネット
ステキシンスケケン
スリーオペレーター
ソリッドプラチナム

ソングオブウインド
タイキレーザー
ダイシヨウジエツト
タイセイアトム
ダイワパツシヨ
タガノバステイーユ
タマモサポト
チャームアスリープ
チャンストウライ
テイエムエース
テイエムトツパズレ
テイエムプリキュア
デンシヤミチ
トーセンシヤナオー
トーホウアラン
トーホウシヤイン
ドリームパスポート
ナイキアースワーク
ニホンピロレガール
ネヴァブシヨ
バンブーエール
ビービートルネード
ファイングレイン
フサイチパンドラ
フサイチリシヤール
ブラツクバースピン
ブルーメンブラツト
プレミアムボックス
フレンドシツプ
ボーナスファイバー
マイネルキツツ

マイネルスケルツイ
マイネルネオス
マツリダゴツホ
マルカシエンク
マンオブパーサー
ミヤビランベリ
メイショウサムソン
モエレジーニアス
モエレソープラッツ
ヤマトマリオン
ラピッドオレンジ
ランザローテ
ランヘランバ
ロジック
Adieu
After Market
Alexandrova
Allegritto
Amadeus Wolf
Araafa
Asiatic Boy
Ask
Aussie Rules
Balance
Barbaro
Benny the Bull
Bernardini
Blackamba
Bluegrass Cat
BobandJohn
Brother Derek

Hysteric
Hortio Nelson
Henry
Hester
Harada
Harold
Green
Grand
Gretchen
Gloria
Ginger
Getaway
George
Gentle
Frost
Folklore
Fleet
Flash
Firs
Ermine
Dynaforce
Dylan
Donna
Discreet
Darsi
Dancing
Corinthian
Confidential
Citronade
Champs
Bushfire
Elysees
Lady

R
e
d
C
l
u
b
s

R
a
j
e
m

R
a
i
l
L
i
n
k

P
r
i
n
c
e
F
l
o
r
i
d

P
r
i
c
e
T
a
g

P
r
e
s
i
o
u
s
P
a
s
s
i
o
n

P
r
e
c
i
o
u
s
K
i
t
t
e
n

P
i
n
e
I
s
l
a
n
d

P
e
p
p
e
r
s
P
r
i
d
e

P
a
p
a
l
B
u
l
l

P
a
l
a
c
e
E
p
i
s
o
d
e

N
i
g
h
t
i
m
e

N
a
s
h
o
b
a
'
s
K
e
y

N
a
n
n
i
n
a

N
a
d
e
m

M
i
s
s
F
i
n
l
a
n
d

M
i
d
n
i
g
h
t
L
u
t
e

M
a
r
s
h
S
i
d
e

M
a
r
c
h
a
n
d
'
O
r

M
a
n
d
e
s
h
a

L
i
s
t
e
n

L
e
m
o
n
s
F
o
r
e
v
e
r

L
a
w
y
e
r
R
o
n

L
a
t
e
n
t
H
e
a
t

L
a
h
u
d
o
o
d

K
i
p
D
e
v
i
l
l
e

J
u
s
t
a
s
W
e
l
l

J
a
z
i
l

J
a
y
P
e
g

I
n
s
p
i
r
a
t
i
o
n

I
n
S
u
m
m
a
t
i
o
n

Red Evie
Red Rocks
Rumpleskins
Sacred Kingdom
Saddex
Schiaparelli
Septimus
Showing Up
Sight Winer
Silca's Sister
Sinister Minister
Sir Percy
Sixties Icon
Speciosa
Spring At Last
Stevie Wonderboy
Stormy River
Sun Clastique
Sunriver
Thorn Song
Tie Black
Vacare
Waita While
Well Armed
Wild Fit
Wonder Lady Anne
Wonderful World
Yumzain
アーバニテイ
アーバンストリート
アサクサキングス

アサテイスボーイ
アストンマーチャン
アドマイヤオーラ
アドマイヤホクト
アブソリユート
アポロテイアラ
アルコセニョーラ
アルテイマトウーレ
アルナスライン
アンパサンド
イクスキューズ
ヴィクトリー
ウエスタンダンサー
ウオツカ
エイジアンウインズ
オースミダイドウ
オープンガーデン
カノヤザクラ
ギルテイストライク
クイーンズプマンテ
クーヴェルチュール
克蘭エンブレム
ケイティラブ
ゴールドデンダリア
ゴールドアグリ
ザレマ
サンツエツペリン
サンライズベガ
サンライズマックス
ジャガーメイル
シヨウナンタレント

シヨウワモダン
スクリーンヒーロー
スズカコーズウエイ
スリープレスナイト
セラフィックロンプ
ダイワスカーレット
タスカータソルテ
タマモグレアー
テイエムアンコール
トーセンキャプテン
トーセンクラウン
トーホウレーサー
トーワベガ
トツプサバトン
ドラゴンファイヤー
ドリームジャーニー
トロピカルライト
ドングラシアス
ナムラマース
ニシノチャーミー
ニシノブルームーン
パラダイスフラワー
ビービーガルダン
ピエナビーナス
ビクトリーテツニー
ヒラボクロイヤル
ピンクカメオ
フェラーリピサ
フサイチホウオー
フライングアップル
フリオーツ

ヘッドライナー
ベツラレイア
ホクトスルタン
ボラントス
ホワイトメロデー
マイネカンナ
マイネルアワグラス
マイネルシーガル
マイネルレーニア
マコトスパルビエロ
マルカフェニックス
マンハッタンスカイ
ミリオンディスク
メリツサ
ユウタービスケット
ライブコンサート
ローブデコルテ
ローレルゲレイロ
ロックドウカンブ
ロングプライド
Adlerflug
Al Shemali
Albertus Maximus
Alexander Tango
Any Given Saturday
Archipenko
Astronomer Royal
AuthORIZED
Belgravia
Bullsbay
Bustins Stones

Scentic Blast
Scat Dady
Santata Teresa
Sakheer's Secret
Sageburg
Rite of Passage
Red Giant
Rahyas Attorney
Ragston Riches
Promising Lead
Presvis
Poingt Ashley
Peeping Fawn
Paspage of Time
Pantyy Raid
Octave
Nobiz Like Shobiz
Mystic Lips
Mrs. Lindsay
Mr. Sidney
Mount Nelson
Mistical Plan
Mission Approved
Mast Track
Lucarno
Lighterato
Light Shifft
Leaars Princess
Lawman
Lady Joanne
Kings Apostle

Shamdan
Simply Perfect
Soldier of Fortune
Spanish Moon
Spirit One
Street Boss
Street Sense
Swift Temper
Teofilo
Thumbs Up
Tiago
Tiz Wonderful
Tough Tiz's Sis
Ventura
Weekend Hussler
West Wind
Zambazi Sun
Zenyaatta
アーネストリー
アドマイヤコマンド
アポロドルチェ
イイデケンシン
イコールパートナー
ウォータクテイクス
エアパスカル
エーシンジーライン
エーシンディーエス
エーシンフオワード
エスポワールシチー
エフティマイア
オウケンブルースリ

オースミスパーク
オーロマイスター
オデイール
オリエンタルロック
カジノドライヴ
キクノサリール
キャプテントウール
キングスエンブレム
クリールパッション
ゴスホークケン
コパノジングー
サクセスブロッケン
サトノプログレス
サブジエクト
サマーウインド
サンクスノート
シビルウォー
シヨウナンアルバ
シルポート
スプリングソング
スマートギア
スマートファルコン
スマイルジャック
セレスハント
セレン
ダイシンオレンジ
ダイワイルドボア
タケミカツチ
ダノンゴーゴー
ダンツキツスイ
チエレブリタ

メイシヨウクオリア
メイシヨウベルーガ
メルシーモンサン
モンテクリスエス
ヤマニンキングリー
ユキチャン
ユビキタス
ラツシユストリート
リトルアマポーラ
ルールプロスパ
ルルパンブルー
レインボーペガサス
レオマイスター
レジネッタ
レッツゴーキリシマ
レツドアゲート
ロールオブザダイス
African Rose
Alpini Rose
Alwajeha
Americain
Aqlam
Backseat Rhythm
Battle Plan
Beauty Flash
Big Brown
Big City Man
Blackstairmountain
Bob Black Jack
Captain Obvious

H a y L i s t
H a l f w a y t o H e a v e n
G o l d i k o v a
G o l d e n D o c A
G l a d i a t o r u s
G i o P o n t i
G a y e g o
F u r t h e s t L a n d
F u l l o f G o l d
F r o z e n F i r e
F l u k e
F l e e t i n g S p i r i t
F a l c o
E v a ' s R e q u e s t
E q u i a n o
E i g h t B e l l e s
D u n c a n
D u b a i M a j e s t y
D a r k A n g e l
D a r R e M i
D a n c i n g i n S i l k s
D a k o t a P h o n e
D a ' T a r a
C r y a n d C a t c h M e
C o u r t V i s i o n
C o u n t r y S t a r
C o n d u i t
C o l o n e l J o h n
C i m a d e T r i o m p h e
C h i n e s e W h i t e
C a s u a l C o n q u e s t

Proud Spell
Paco Boy
Niccconi
New Approach
Never on Sunday
Natagora
Nahoodh
Myboycharlie
Musical Note
Mushka
Monstone
Montmartre
Monba
Midships
Majestic Warrior
Magical Fantasy
Machoo Again
Lush Lashes
Look Here
Lizard Island
Little Belle
Life Is Sweet
Kodiak Cowboy
Kinsale King
Kingsgate Native
Kamsin
Intomischief
Informed Decision
Indiana Blessing
Icon Projeckt
Henry the Navigator

P r o v i s o
P u r e C l a n
P y r o
R a i l T r i p
R a v e n ' s P a s s
R i c h a r d ' s K i d
R o c k e t M a n
S a h p r e s a
S a o i r s e A b u
S c i n t i l l o
S e a t t l e S m o o t h
S e t P l a y
S e v e n t h S t r e e t
T a l e o f E k a t i
T a m a y u z
T e m p l e C i t y
T h e w a y y o u a r e
T i n C u p C h a l i c e
T i z w a y
T u s c a n E v e n i n g
T w i c e O v e r
T y p h o o n T r a c y
V i r t u a l
V i s i o n d ' E t a t
W a r P a s s
W i n c h e s t e r
Z a f t i g
Z a r k a v a
アーリーロブスト
アイアムカミノマゴ
アイアンルック

アントニオバローズ
アンペア
アンライバルド
イコピコ
イタリアンレッド
イナズマアマリリス
ヴィーヴァヴォドカ
エーシンビートロン
エーシンモアオバー
グランプリエンゼル
クリーバレン
グロリアスノア
ケイアイガーベラ
ケイアイドウスジン
ゲットフルマークス
ゴールデンチケツト
サイレントスタメン
サニーサンデー
サンカルロ
シエーンヴァルト
ジエルミナル
ジョーカプチーノ
シルクフォーチュン
シルクメビウス
スーニ
ストロングガルーダ
ストロングリターン
スリーロールス
セイウンワンダー
セイクリッドバレー
セイクリムズン

タッチミーノット
ダノンカモン
ダノンヨーヨー
ダブルウエツジ
ディアジーナ
ティアップワイルド
ティエムオーロラ
ティエムハリアー
デグラ―ティア
テスタマツタ
トウカイミステリー
ト―センジョーダン
トシキヤンデイ
ドスライス
トライアンフマーチ
トランセンド
ナイキハイグレード
ナイキマドリ―ド
ナカヤマフエスタ
ナムラタイタン
ナリタクリスタル
ネコパンチ
バアゼルリバー
パワ―ストラグル
ヒカルアマランサス
ファイアーフロ―ト
ファイフスペトル
ブエナビスタ
フォゲツタブル
フサイチセブン
フミノイマ―ジン

ブリッツエン
ブルーラッド
ブレイ克蘭アウト
ブロードストリート
ベストメンバー
マルカフリート
メトロノース
ラヴェリータ
ランフォルセ
リーチザクラウン
レッドスパイダ
レッドデザイナー
ロジユニヴァース
ワンカラット
ワンダーアキュート
Acclamation II
Again
Amazombie
Ambitious Dragon
Art Connoisseur
Ave
Big Drama
Black Caviar
Blame
Bushmanger
Byword
C. S. Silk
California Memory
Carrels Jewel
Cavalryman
Champegasus

L a r a g h
J u k e b o x J u r y
J e r s e y T o w n
J a k k a l b e r y
I n t e n s e F o c u s
I W a n t R e v e n g e
H y m n B o o k
H o t C h a C h a
H a r b i n g e r
G o z z i p G i r l
G i t a n o H e r n a n d o
G i a n t O a k
G h a n a a t i
G e t S t o r m y
G e n e r a l Q u a r t e r s
G a b b y s G o l d e n G a l
F u i s s e
F r i e s a n F i r e
F l o r e n t i n o
F l a t O u t
F a m e a n d G l o r y
E l u s i v e W a v e
D u n k i r k
D u n a d e n
D r e a m E m p r e s s
D e b u s s y
D a r y a k a n a
D a n g e r o u s M i d g e
C u t l a s s B a y
C i t y s c a p e
C i r r u s d e s A i g l e s

Sky
Divya
Silver
Frost
Shared
Account
Shalana
ya
Serious
Attitude
Seth
Stars
Saris
ka
Sansk
Frontiers
Rip
Van
Winkle
Regal
Ransom
Red
Cadeaux
Rain
bow
View
Rachel
Alexandra
Qual
ity
Road
Plum
ania
Pioneer
of
the
Nile
Per
sistently
Nigh
t
Mag
ic
Na
aqos
More
Joy
ous
Miser
able
Miser
able
Bird
Mid
ship
man
Mid
day
Mastery
Master
craft
sman
Maj
estic
per
fection
Lord
Shan
ak
il
Little
Brid
ge
Le
Have

S o Y o u T h i n k
S q u a r e E d d i e
S r i P u t r a
S t a c e l i t a
S t a r d o m B o u n d
S t a r s p a n g l e d b a n n e r
S t r e e t H e r o
S u m m e r B i r d
T a k e t h e P o i n t s
U n r i v a l e d B e l l e
V i n e y a r d H a v e n
W a r r i o r ' s R e w a r d
W i e n e r W a l z e r
Z e n s a t i o n a l
アースサウンド
アクティビュートイ
アスカクリチャン
アドマイヤコスモス
アドマイヤロイヤル
アニメイトバイオ
アパパネ
アプリコットフイズ
アリゼオ
アロマカフェ
ヴィクトワールピサ
エイシンアポロン
エイシンフラッシュ
エイシンヴァーゴウ
エイシンウエズン
エイシンホワイティ
エクスペディション

エレーヌ
オウケンサクラ
オノユウ
ガルボ
カレンチャン
キョウエイアシユラ
クオークスター
グラントシチー
ゲシユタルト
ゴールスキー
コスモセンサー
コスモネモシン
コスモフアントム
コスモヘレノス
コスモメドウ
ゴルトブリッツ
サイレントメロディ
サウンドバリアー
サンデイエゴシチー
サンテミリオン
サンライズプリンス
シーズザゴールド
ジュエルオブナイル
シヨウリユウムーン
シンメイフジ
ステイールパス
ステラリード
セイコーライコウ
セイントメモリー
ソリタリーキング
ダークシャドウ

タイセイレジエンド
ダイワフアルコン
タガノエリザベート
タガノジンガロ
ダツシヤーゴゴ
ダノンシヤンテイ
デンコウオクトパス
トウザグロリー
トーセンファントム
ドリームセーリング
ドリームバレンチノ
トレイルブレイザー
ナイスミューチャー
ニホンピロアワーズ
ネオヴァンドーム
バーディバーディ
パドトロワ
ハンソデバンド
ビートブラック
ビッグウィーク
ビッグバン
ヒラボクキング
ヒルノダムール
フェデラリスト
フラガラツハ
ペルーサ
マカニビスティー
マグニフィカ
マサノブルース
マジエステイバイオ
マジンプロスパ

ミツキードリーム
ミラクルレジエンド
メイシヨウカンパク
メテオロロジスト
ラブミーチャン
リディル
ルーラーシップ
レインボーダリア
レディアルバローザ
ローズキングダム
ロックハンドスター
A f l e e t E x p r e s s
A f r i c a n S t o r y
A l f r e d N o b e l
A r c a n o
A r c t i c C o s m o s
A w e s o m e M a r i a
A w z a a n
B e h k a b a d
B e t h r a h
B l i n d L u c k
B u z z w o r d
C a n f o r d C l i f f s
C a p e B l a n c o
C a p p o n i
C h a c h a m a i d e e
C h a m p a g n e ' O r o
C o n c o r d P o i n t
C r i s p
D e v i l M a y C a r e
D i c k T u r p i n

M u s i c S h o w
M o u n t A t h o s
M o r n i n g L i n e
M o n t e r o s s o
M i S u e n o
M a k f i
L u c k y N i n e
L o p e d e V e g a
L o o k i n A t L u c k y
L i t t l e M i k e
L i n e o f D a v i d
L i l y o f t h e V a l l e y
L i l l i e L a n g t r y
K i n g ' s R o s e
J o s h u a T r e e
I c e B o x
H i n c h i n b r o o k
H i l d a , P a s s i o n
H i b a a y e b
H e l e n e S p i r i t
H a v r e d e G r a c e
H a r m o n i o u s
G l o r i o u s D a y s
G a m e O n D u d e
F r a n n y F r e u d
F i r s t D u d e
E v e n i n g J e w e l
E s k e n d e r e y a
D u b a w i H e i g h t s
D r o s s e l m e y e r
D i s c r e e t l y M i n e

S
w
i
t
c
h

S
u
p
e
r
S
a
v
e
r

S
t
N
i
c
h
o
l
a
s
A
b
b
e
y

S
p
e
c
i
a
l
D
u
t
y

S
o
u
t
h
e
r
n
S
p
e
e
d

S
o
l
e
P
o
w
e
r

S
o
c
i
e
t
y
R
o
c
k

S
n
o
w
F
a
i
r
y

S
m
i
l
i
n
g
T
i
g
e
r

S
i
y
o
u
n
i

S
i
m
e
n
o
n

S
i
d
n
e
y
s
C
a
n
d
y

S
h
o
w
c
a
s
i
n
g

S
h
e
a
S
h
e
a

S
h
e
B
e
W
i
l
d

S
h
a
m
r
o
c
k
e
r

S
a
s
s
y
I
m
a
g
e

S
a
r
a
h
L
y
n
x

S
a
r
a
f
i
n
a

S
a
j
j
h
a
a

R
o
s
a
n
a
r
a

R
o
n
t
h
e
G
r
e
e
k

R
e
w
i
l
d
i
n
g

R
a
j
s
a
m
a
n

P
r
i
n
c
e
B
i
s
h
o
p

P
o
e
t
'
s
V
o
i
c
e

P
l
a
n
t
e
u
r

P
e
r
f
e
c
t
S
h
i
r
l

P
a
s
s
i
o
n
f
o
r
G
o
l
d

P
a
d
d
y
,
P
r
a
d
o

M
u
s
i
c
a
l
R
o
m
a
n
c
e

T a p i t s f l y
T i m e p i e c e
T w i r l i n g C a n d y
V a l e o f Y o r k
W i s e D a n
W o r k f o r c e
X t e n s i o n
Z a g o r a
ア イ ア ム ア ク ト レ ス
ア ヴ エ ン チ ユ ラ
ア ド マ イ ヤ サ ガ ス
ウ イ ン バ リ ア シ オ ン
ヴ エ ル デ グ リ ー ン
エ イ シ ン オ ス マ ン
エ ー シ ン ブ ラ ン
エ ー シ ン メ ン フ イ ス
エ ポ ワ ス
エ リ ン コ ー ト
オ オ エ ラ イ ジ ン
オ ー シ ャ ン ブ ル ー
オ ー ル ア ズ ワ ン
オ ー ル ザ ッ ト ジ ャ ズ
オ ル フ エ ー ヴ ル
カ ネ マ サ コ ン コ ル ド
カ ラ フ ル デ イ ズ
カ レ ン ミ ロ テ イ ツ ク
ギ ユ ス タ ー ヴ ク ラ イ
ク イ ー ン ズ バ ー ン
ク ラ ー ベ セ ク レ タ
グ ラ ン プ リ ボ ス

グルヴェイグ
グレイプブランデー
クレスコグラント
サクラゴスペル
サダムパテック
サトノアポロ
サミットストーン
サンレイデューク
シゲルジユウヤク
シヨウナンマイテイ
スギノエンデバー
スノードラゴン
スマートロビン
ダコール
ダノンシャーク
ダノンバラード
ダンスファンタジア
ツルマルレオン
テイクアベツト
デスペラード
トーセンラー
トーセンレーヴ
ドナウブルー
トレンドハンター
ナカヤマナイト
ノーザンリバー
バウンシーチューン
パッションダンス
ハルサンサン
ビッグロマンス
ヒットザターゲツト

ピュアブリーゼ
フェイトフルウォー
フォーエバーマーク
フラアンジエリコ
ブラウンワイルド
フレールジャック
フレンチカクタス
ヘニーハウンド
ベルシヤザール
ホエールキャプチャ
ボレアス
マーベラスカイザー
マイネイサベル
マイネルメダリスト
マイネルラクリマ
マジカルポケット
マルセリーナ
マルモセーラ
ミトラ
ムスカテール
メイシヨウナルト
メイシヨウマシユウ
メイシヨウヨウドウ
メーディア
リアライズノユメ
リアルインパクト
ルルーシュ
レーヴディソール
レーザーバレット
レッドデイヴィス
ロードカナロア

ローマンレジェンド
Aeroveloccity
Alkazem
Alternation
Animalkingdom
Archarcharch
Awesomemeather
BigBluekitten
BlueBunting
BoysAtTosconova
BriiliantSpeed
BrownPanther
Caleb'sPosse
Cambina
Coil
ColourVision
Creachadoir
DanceExcel
DancinRain
DataLink
Dandedream
DialledIn
Dimitrova
Dominant
DreamAhead
DustandDiamonds
Emcee
Excelsioration
Farhh
Forente
FortLanded

N
a
h
r
a
i
n

M
u
c
h
o
M
a
c
h
o
M
a
n

M
o
s
h
e
e
n

M
o
o
n
s
h
i
n
e
M
u
l
l
i
n

M
o
o
n
l
y
M
a
l
o
n
e
C
l
o
u
d

M
i
z
d
i
r
e
c
t
i
o
n

M
i
s
t
y
M
e
M
e

M
i
l
i
t
a
r
y
A
t
t
a
c
k

M
i
d
n
i
g
h
t
I
n
t
e
r
l
u
d
e

M
e
a
n
d
r
e

M
a
y
s
o
n

M
a
x
i
o
s
M
a
r
v
e
l

M
a
s
k
e
d
M
a
r
v
e
l

M
a
r
g
o
t
D
i
d

M
a
c
l
e
a
n
'
s
M
u
s
i
c

L
i
l
a
c
s
a
n
d
L
a
c
e

L
a
u
g
h
i
n
g

K
a
n
t
h
a
r
o
s

J
u
s
t
i
n
P
h
i
l
l
i
p

I
z
z
i
T
o
p

I
t
'
s
T
r
i
c
k
y

I
m
m
o
r
t
a
l
V
e
r
s
e

I
m
a
g
i
n
i
n
g

G
r
o
u
p
i
e
D
o
l
l

G
o
r
d
o
n
L
o
r
d
B
y
r
o
n

G
o
l
d
e
n
L
i
l
a
c

G
i
o
f
r
a

G
a
l
i
k
o
v
a

F
r
a
n
k
e
l

F
o
x
w
e
d
g
e

Nathaniel
Obviousl
Pants On Fire
Pathfork
Plum Pretty
Point of Entry
Poseidon's Warrior
Pour Moi
Rheat Lightning
Reliable Man
Rich Tapestry
Roderic O'Connor
Royall Delta
Ruler On Ice
Sahara Sky
Sepoy
Shackelford
Sharetta
Siouma
Solemia
Stacy Thirsty
Sterling City
Summer Soiree
Swagger Jack
Tapizar
Teddy's Promise
Tella Kelly
The Factor
Thistle Bird
Tin Horse
To Honor and Serve

Toby's Corner
Treasure Beach
Turbulent Descent
Turbulent Descent
Ultimate Eagle
Uncle Mo
Variety Club
Wickedly Perfect
Winter Memories
Wootton Bassett
Zazu
Zoffany
アースソニック
アートサハラ
アイムユアーズ
アスカリーブル
アポロマーベリック
アルキメデス
アルフレード
アンバルブライベン
イジゲン
ヴァンセンヌ
ヴィルシーナ
エアソミュール
エアハリファ
エキストラエンド
エクセラントカーヴ
エピセアローム
エンジェルツイート
オースミイチバン
オースミムーン

オーブルチエフ
オメガハートランド
カポーティスター
カレンブラックヒル
キクノストーム
キャトルファイユ
クラレント
グランデツツア
克蘭モンタナ
クリールカイザー
ケイアイエレガント
ゴイイングパワー
ゴールドシツプ
ゴールドメダル
コスモオオゾラ
サウンドオブハート
サウンドガガ
サナシオン
サンビスタ
シエアースマイル
ジエンティルドンナ
ジャスタウエイ
ジヨワドヴィーヴル
スカイデイグニティ
ストレイトガール
ストローハット
スピルバーグ
ダイワマツジョーレ
ダンツミュータント
デーパーリランテ
デイサイファ

トウケイヘイロー
トーセンベニザクラ
トーセンホマレボシ
トーホウアマポーラ
ナムラビクター
ハクサンムーン
バクシンテイオー
ハタノヴァンクール
ハナズゴール
ヒストリカル
ファイナルフォーム
ファインチヨイス
フーラブライド
フェノメノ
ブライトライン
フリートストリート
プレテイオラス
ベストデイル
ポアゾンブラック
ホツコータルマエ
マーティンボロ
マイネルバイカ
ミッドサマーフェア
メイショウコロシボ
メイショウスザンナ
メイショウブシドウ
モンストール
ユーロビート
ラブイズブーシエ
リトルゲルダ
レオアクティブ

レッドキングダム
レッドクラウディア
ワールドエース
ワイドバツハ
ワイルドフラッパ
Able Friend
Aked Mofed
All Too Hard
Alpha
Amber Sky
Ambivalent
Beauty Parlour
Believe You Can
Blazing Speed
Bodemeister
Camelot
Contested
Creative Cause
Cross Traffic
Curreny Swap
Dabirsim
Dalkala
Dayatthespa
Declarat ion of War
Dulahan
Eden's Moon
Elusive Kate
Enckee
Estimate
Fallen for You
French Fifteen

P
a
l
a
c
e

O
n
F
i
r
e
B
a
b
y

N
o
v
e
l
l
i
s
t

N
o
b
l
e
M
i
s
s
i
o
n

M
y
M
i
s
A
u
r
e
l
i
a

M
u
k
h
a
d
r
a
m

M
o
s
t
I
m
p
r
o
v
e
d

M
a
y
b
e

M
a
i
n
S
e
q
u
e
n
c
e

L
y
r
i
c
o
f
L
i
g
h
t

L
u
c
a
y
a
n

L
i
g
h
t
e
n
i
n
g
P
e
a
r
l

L
e
t
h
a
l
F
o
r
c
e

L
e
a

L
a
d
y
o
f
S
h
a
m
r
o
c
k

L
a
d
y
o
f
F
i
f
t
y

L
a
C
o
l
l
i
n
a

K
i
n
g
D
a
v
i
d

K
i
l
l
e
r
G
r
a
c
e
s

J
u
d
y
t
h
e
B
e
a
u
t
y

J
i
m
y
C
r
e
d

I
n
L
i
n
g
e
r
i
e

I
m
p
e
r
i
a
l
M
o
n
a
r
c
h

I
'
l
l
H
a
v
e
A
n
o
t
h
e
r

H
o
m
e
c
o
m
i
n
g
Q
u
e
e
n

H
a
r
d
N
o
t
L
i
k
e

H
a
n
s
e
n

G
r
e
a
t
H
e
a
v
e
n
s

G
r
a
y
d
a
r

G
o
l
d
e
n
T
i
c
k
e
t

G
e
m
o
l
o
g
i
s
t

P a s t o r i u s
P a y n t e r
P i e r r o
P o i n t s O f f t h e b e n c h
P o w e r
P r i v a t e Z o n e
Q u e s t i n g
R e a l S o l u t i o n
S a l o m i n a
S a m i t a r
S a o n o i s
S e c r e t C i r c l e
S l a d e P o w e r
S t e p h a n i e ' s K i t t e n
T h e F u g u e
T h e L u m b e r G u y
T h e P i z z a M a n
T r i n n i b e r g
U n i o n R a g s
V a l y r a
W a s
W e m i s s f r a n k i e
W i l l a B A w e s o m e
W o r k A l l W e e k
W r o t e
Z o I m p r e s s i v e
アウオーデー
アウトジエネラル
アットウデート
アムールポエジー
アユサン

アルムダプタ
インカンテーシヨ
インサイドザパーク
インパルスヒーロー
ウインプリメーラ
ウキヨノカゼ
ウリウリ
エーシントツプ
エバーブロッサム
エピファネイア
カフエブリリアント
カミノタサハラ
キズナ
キタサンミカヅキ
クラウンロゼ
クリソライト
クリノスターオー
グレイスフルリープ
クロフネサプライズ
ケイアイチヨウサン
ケイアイレオーネ
コデイナー
コパノリチャード
コパノリツキー
コレクターアイテム
サウンドトウル
サウンドリアーナ
サクラプレジール
サトノノブレス
サマリーズ
ザラストロ

ジエネラルグラント
ジエベルムーサ
シャトーブランシュ
シヨウナンアポロン
スイートサルサ
ストークアンドレイ
スマートオリオン
スマートレイアー
ソルテ
ソロル
ダービーフィズ
タイセイドリーム
タガノトネール
ダノンレジエンド
タマモプラネット
タマモベストプレイ
ダンスディレクター
ディアデラマドレ
ティーハーフ
テイエムイナズマ
テイリアンパープル
デニムアンドルビー
トーキングドラム
トロワボヌール
ニホンピロバロン
ノボリディアーナ
ハニーパイ
ヒラボクディープ
フェイムゲーム
フルーキー
ベストウオーリア

マイネルエテルネル
マイネルクロツプ
マイネルフイエスタ
マイネルハウオウ
マイネルミラノ
マキオボラー
マコトブリジャー
メイケイペガスター
メイシヨウアイアン
メイシヨウマンボ
ユールシンギング
ラインミーティア
ラキシス
ラストインパクト
ラブリーデイ
レツドアリオン
レツドオーヴアル
ローブティサージュ
ロゴタイプ
Admiral Kitten
Baltic Barones
Beholder
Bradester
Certify
Chautauqua
Chicquita
Close Hatches
Contentment
Dawn Approach
Dessigns On Rome
Emollient

O r b
O l y m p i c G l o r y
M s h a w i s h
M o r e n o
M o n g o l i a n S a t u r d a y
M o n d i a l i s t e
M a g i c i a n
L u c k y S p e e d
L e a d i n g L i g h t
L a V e r d a d
K i t t e n ' s D u m p l i n g s
J u s t t h e J u d g e
J a c k M i l t o n
I t s m y l u c k y d a y
I o t a p a
I n t e l l o
I n t e g r a l
I m p e r a t i v e
H e l e n e S u p e r S t a r
H e i r K i t t y
H a v a n a G o l d
H a r d e s t C o r e
G u n P i t
G o l d e n c e n t s
G e o r g e V a n c o u v e r
G a r s w o d
F l o t i l l a
F l i n t s h i r e
F l a s h b a c k
E x e c u t i v e p r i v i l e g e
E s o t e r i q u e

W i l l T a k e C h a r g e
V i o l e n c e
V e r r a z a n o
U p W i t h t h e B i r d s
T r e v e
T r a d i n g L e a t h e r
T o r o n a d o
T a m a r k u z
T a l e n t
S u l t a n i n a
S t y l e V e n d o m e
S p r i n g i n t h e A i r
S o l o w
S o M a n y W a y s
S k y L a n t e r n
S i l a s o l
S h e e r D r a m a
S h a n g h a i B o b b y
S h a k i n I t U p
S e e k A g a i n
R u l e r o f t h e W o r l d
R e c k l e s s A b a n d o n
P r o t e c t i o n i s t
P r i n c e s o f S y l m a r
P o w e r B r o k e r
P e t h e r ' s M o o n
P e d r o t h e G r e a t
P a l a c e M a l i c e
O x b o w
O v e r a n a l y z e
O u r I v a n h o w e

W i n s i l i

アジアエクスプレス

アスカノロマン

アズマシヤトル

アデイインザライフ

アドマイヤデウス

アムールブリエ

アルバート

イスラボニータ

ヴィータアレグリア

ウインフルブルーム

ウインマーレライ

エアアンセム

エイシンヴァラー

エイシンヒカリ

エイシンブルズアイ

エキマエ

エスメラルディーナ

オジュウチヨウサン

オメガハートロック

カゼノコ

カラダレジエンド

ガリバルディ

キングズガード

クリスマス

コーリンベリー

ゴールドアクター

サーストンコラルド

サウンズオブアース

サクラアンプルール

サトノアラジン

サトノルパン
サングレアル
シゲルカガ
シュンドルボン
シヨウナンアチーヴ
シヨウナンパンドラ
シヨウナンラグーン
スズカデヴィアス
ステイインシアトル
ステファノス
ストロングサウザー
タガノグランパ
ツクバアズマオー
デイルイトフル
トウインクル
トウケイタイガー
トウザワールド
トーセンスターダム
トーホウジヤツカル
ニシケンモノノフ
ヌーヴォレコルト
ネオリアリズム
ネロ
ハープスター
バウンスシャッセ
ハギノハイブリッド
ハッピーズプリント
ビッグアーサー
フォーエバーモア
フクノドリーム
プレイアンドリアル

ベルカント
ホウライアキコ
マーブルカテドラル
マイネルフロスト
マジックタイム
マスクゾロ
マドリードカフェ
マリアライト
ミツキーアイル
メイシヨウスミトモ
メドウラーク
モーリス
リツカルド
リラヴァティ
ルミナスウオリアー
レツドアルヴィス
レツドフアルクス
レツドリヴェール
ロサギガンティア
ロワジヤルダン
ワンアンドオンリー
Ade laide
Al's Gal
Amazing Maria
Artemis Agrotora
Australia
Avenir Certain
Bayer
Beauty Only
Big Orange
Bobbys Kitten

M i s s F r a n c e
M i d n i g h t S t o r m
M e l a t o n i n
M e c c a ' s A n g e l
M a r v e l l o u s
L u c k y B u b b l e s
L i a m ' s M a p
K i n g s t o n H i l l
K i n g m a n
K a r a k o n t i e
I t o
H o p p e r t u n i t y
H o n o r C o d e
H a r t n e l l
G i a n t T r e a s u r e
F r e e E a g l e
F a s h i o n P l a t e
F a s c i n a t i n g R o c k
E u r o C h a r l i n e
E f f i n e x
E c t o t
D o l n i y a
D a n z a
C o n s t i t u t i o n
C h r i s e l l i a m
C h a r m S p i r i t
C a n n o c k C h a s e
C a l i f o r n i a C h r o m e
B r a c e l e t
B o m T i m e
B o n d H o l d e r

Mr Speaker
My Conqueror
New Year's Day
Nighth of Thunder
Nobley Bird
Outstrip
Penitaphobia
Postponed
Principe Gibraltar
Protónico
Race Day
Ria Antonia
Rizeena
Rock Fall
Room Service
Sea the Moon
Shard Belief
Sher's a Tiger
Sings of Blesing
Storcharingmaria
Strong Mandate
Sweet Reason
Tagheroda
Tapestry
Tepin
The Big Beast
The Grey Gatsby
Tonalist
Tourist
Tripto Paris

Unbridled Forever
Untapable
V·E·Day
Vadamos
War Command
Wavel Avenue
Werther
Wicked Strong
Winx
アクティブミノル
アポロケンタツキ
アルバートドック
アルビアーノ
アレスバローズ
アンドリエツテ
アンビシヤス
ウイツシユハピネス
ウインガニオン
ウエスターランド
エイシン balanサー
オーミアリス
オールブラツシユ
カフジテイク
キタサンサジン
キタサンブラツク
キャットコイン
グアンチャーレ
クイーンズリング
クールホタルビ
クラリテイスカイ
グランシルク

クリプトグラム
クルーガー
クルミナル
グレートターロンドン
クロスクリーガー
ココロノアイ
サトノクラウン
サトノラーゼン
サンデーウィザード
シゲルヒノクニ
シャイニングレイ
ジャジャウマナラシ
シュヴァルグラン
シヨウナンアデラ
シングウイズジヨイ
ススカプレスト
ストウデイウム
セカンドテーブル
センチュリオン
タガノアザガル
タガノエスプレツソ
タツゴウゲキ
ダツシングブレイズ
タツチングスピーチ
ダノンプラチナ
タマノブリュネット
タンタアレグリア
ディアドムス
ディアマイダーリン
テイエムジンソク
テーパーヘリオス

ドウラメンテ
トーセンビクトリー
ノットフォーマル
ノブワイルド
ノボバカラ
ノンコノユメ
パフオーマプロミス
ビスカリア
ブライトエンブレム
ブラゾンドウリス
ブラツクムーン
ブルドッグボス
ベルーフ
ベルラツプ
ホワイトトフーガ
マイティテイー
マキシマムドパリ
マルターズアポジー
ミツキークイーン
ミツバ
ミュゼエイリアン
ミュゼスルタン
メラグラナーナ
モーニン
モルトベーネ
モンドインテロ
ヤマカツエース
ヤングマンパワー
ラインシュナイダー
ラッキープリンス
ララベル

リアファル
リアルステイル
ルージュバツク
ルールソヴァール
レーヴミストラル
レッツゴードンキ
ロジチャリス
American Pharaoh
Arabian Queen
Ascend
Avenger
Bar of Gold
Battel
Beauty Generation
Belardo
Callback
Carpe Diem
Cavorting
Charming Thought
Condo Commando
Covert Love
Curalina
DB Pin
Daredevil
Daryan
Decorated Knight
Diamonds and Rubies
Dortmund
El Deal
Elm Park
Embellish the Lace

M u h a r a r
M r S t u n n i n g
M a t e r i a l i t y
M a k e B e l l i e v e
L o v e l y M a r i a
L o r d N e l s o n
L e g a t i s s i m o
L a d y E l i
K e n I c e
J u n g l e C a t
J o u r n e y
J a c k H o b b s
I q u i t o s
I n c l u d e B e t t y
I ' m a C h a t t e r b o x
I l l u m i n a n t
H o o t e n a n n y
H i g h l a n d R e e l
H e r E m m y n e n c y
H e l e n e P a r a g o n
G u i g n o l
G o l d e n H o r n
G l e n e a g l e s
F r o s t e d
F o u r s t a r C r o o k
F o u n d
F o r e v e r U n b r i d l e d
F i n e s t C i t y
F e a t h e r e d
E r v e d y a
E r u p t

Turfdonna
Tiggy Wiggy
The Wow Signal
The Timan II
Texas Red
Territories
Take Charge Brandi
Stellar Wind
Star of Seville
Spedy Bording
Spanish Queen
Southern Legend
Simple Verse
Silverwave
Shaman Ghost
Seasons Bloom
Sea Calisi
Santa Ana Lane
Runhappy
Roy H
Rapper Dragon
Ransom the Moon
Qualify
Profitable
Pleasach
Order of St George
Nutan
Nighflower
New Bay
My Dream Boat

T w i l i g h t S o n
U p s t a r t
V a z i r a b a d
W o r l d A p p r o v a l
X Y J e t
アスターサムソン
アドマイヤエイカン
アドマイヤリード
ヴァンキツシユラン
ヴィブロス
ウインテンダネス
ウインムート
ヴェンジエンス
エアスピネル
エテルナミノル
エンジェルフェイス
オウケンビリーヴ
ガンコ
キャンデイバローズ
キヨウエイギア
キングハート
キンシヨークキヒメ
グッドスカイ
グレイトパール
グレンツェント
クロコスミア
ケイティブレイブ
ケンホフアヴァルト
ゴールドドリーム
サイタスリーレッド
サウンドスカイ

サトノダイヤモンド
サトノテイターン
シャケトラ
シュウジ
ジュールポレール
ジュエラー
シルバーステート
シンキングダンサー
シンハライト
ストロングタイタン
スマートオーデイン
セイウンコウセイ
ゼーヴィント
ソルヴェイグ
タービランス
ダイアナヘイロー
タイニーダンサー
ダイメイプリンセス
ダンツプリウス
チエツキーノ
デーマジエステイ
デンコウアンジュ
トウシヨウドラフタ
ドレツドノータス
ナツクビーナス
ハートレー
パールコード
バルダツサーレ
ヒーズインラブ
ビービーバーレル
ビツシュ

ファインニードル
フォイヤーヴェルク
ブラツクスピネル
ブランボヌール
プリンシアコメータ
ブレイブスマツシユ
プロフェツト
フロンテアクイーン
ボールライトニング
マイネルバサラ
マイネルハニー
マウントロボゾン
マカヒキ
ミツキーグローリー
ミツキーロケット
ミライヘノツバサ
ムーンクエイク
メイシヨウダツサイ
メートルダール
メジャーエンブレム
ヨカグラ
ラヴァンドポップ
ラニ
リオンデイズ
リツジマン
ルツクトウワイス
レインボーライン
ロードクエスト
ロジクライ
ロンドンタウン
ワンダーリーデル

ワンブレスアウェイ
ワンミリオンズ
Accelerate
Aclaim
Air Force Blue
Alice Springs
Almanzor
Arrogate
Awtad
Ballydoyle
Beach Patrol
Beathie Clock
Belvoir Bay
Blue Prize
Brody's Cause
Carina Mia
Catcha Glimpse
Cathryn Sophia
Clotthof Stars
Collected
Connect
Creator
Cupid
Dschingis Secret
Diversify
Drefong
Exaggerator
Finley's Lucharm
Galileo Gold
Gift Box
Greenpoint Crusader

Q
e
m
a
h

P
r
e
s
e
r
v
a
t
i
o
n
i
s
t

P
o
e
t
'
s
W
o
r
d

P
e
r
s
u
a
s
i
v
e

P
a
t
t
e
r
n
r
e
c
o
g
n
i
t
i
o
n

P
a
k
i
s
t
a
n
S
t
a
r

O
u
t
w
o
r
k

O
f
f
t
h
e
T
r
a
c
k
s

N
y
q
u
i
s
t

N
e
z
w
a
h

M
o
r
S
p
i
r
i
t

M
i
n
d
i
n
g

M
i
n
d
Y
o
u
r
B
i
s
c
u
i
t
s

M
a
r
s
h
a

M
a
r
e
l

L
o
r
d
G
l
i
t
t
e
r
s

L
e
o
f
r
i
c

L
e
f
t
H
a
n
d

L
a
o
b
a
n

L
a
C
r
e
s
s
o
n
n
i
e
r
e

J
e
t
S
e
t
t
i
n
g

J
e
m
a
y
e
l

I
v
i
c
t
o
r
y

I
s
f
a
h
a
n

I
m
p
e
r
i
a
l
H
i
n
t

I
d
a
h
o

H
i
t
I
t
a
B
o
m
b

H
a
w
k
b
i
l
l

H
a
r
z
a
n
d

H
a
r
b
o
u
r
L
a
w

G
u
n
R
u
n
n
e
r

Queen's Trust
Quiet Reflection
Rachel's Valentina
Ribchester
Seeking the Soul
Serienholde
Seventh Heaven
Shalaa
Sharp Azteca
Sistercharlie
Songbird
Talismanic
The Gurkha
Thundering Blue
Time Warp
Ultra
Ulysses
Unbridled Mo
Way to Paris
Whitmore
Yankee Rose
Zarak
アイアンテラー
アエロリット
アドマイヤミヤビ
アドミラブル
アナザートウルース
アメリカズカップ
アルアイン
アンジュデジュール
アンデスクイーン

インテイ
ウインブライト
ヴゼットジョリー
エアウインザー
エイシンクリック
エピカリス
カデナ
カラクレナイ
カワキタエンカ
キセキ
キャプテンキング
キヨウヘイ
クイーンマンボ
グランドボヌール
クリンチャー
クレツシエンドラヴ
コウソクストリート
コマノインパルス
サヴィ
サトノアーサー
サトノアレス
サトノクロニクル
サブノジュニア
サルサデイオーネ
サングレーザー
サンライズソア
サンライズノヴァ
ジエニアル
ジューヌエコール
ジョーストリクトリ
シングンマイケル

ステイツフエリオ
スプリングボックス
スワーヴリチャード
セダブリランテス
ソウルスターリング
ダイワキヤグニー
タガノデイグオ
ダンビユライト
デアレガール
ディアドラ
ディオスコリダー
テリトリアル
トラスト
トリオンフ
ハイランドピーク
ヒガシウィルウィン
ファツシヨニスタ
ファンディーナ
ファイアーノロマーノ
プラチナムバレット
ブレスジャーニー
ベストアクター
ペルシアンナイト
マイスタイル
マイブルーヘブン
マテラスカイ
ミスエルテ
ミスパンテール
ミッキースワロー
ミッシングリンク
ムイトオブリガード

モズアスコット
モズアトラクシヨン
モズカツチャン
モンドキヤンノ
ヤマニンアンプリメ
ラーゴブルー
ライジンググリーンズ
ラビットラン
リエノテソーロ
リスグラシユ
レイデオロ
レヴァンテライオン
レーヌミノル
レッドアンシエル
ローズジュレツプ
ローズプリンスダム
Abel Tasman
Accidental Agent
Addyb
Al Wukair
Always Dreaming
American Gal
Ardad
Army Mule
Barney Roy
Battash
Battle of Midway
Bee Jersey
Benbatl
Best Solution
Blue Point

M a b s C r o s s
L a n c a s t e r B o m b e r
L a d y A u r e l i a
K l i m t
K i t e s u r f
H y d r a n g e a
H o t K i n g P r a w n
H a r r y A n g e l
G o r m l e y
G l o r i o u s F o r e v e r
G i r v i n
F u n t a s t i c
F i e r c e I m p a c t
E x u l t a n t
E n a b l e
E l a t e
C r y s t a l O c e a n
C r a c k s m a n
C o r o n e t
C l o u d C o m p u t i n g
C l a s s i c E m p i r e
C i t y o f L i g h t
C i s t r o n
C h u r c h i l l
C h a n n e l M a k e r
C h a m p a g n e R o o m
C a r a v a g g i o
C a p r i
B r i c k s a n d M o r t a r
B r a v e A n n a
B r a m e t o t

アーモンドアイ
Yoshida
Wuheidada
Winter
Wings of Eagles
West Coast
Waldgeist
Urban Fox
Unique Bella
Uni
True Timber
Thunder Snow
The Last Lion
Tappirit
Switzerland
Stradivarius
Shakeel
Sengga
Roly Poly
Rhododendron
Recollections
Practical Joke
Pavle
Oscar Peryformance
New Money Honey
Nationals Strip
National Defense
Mortown
Merchant Navy
Mastery II

アールスター
アサクサゲンキ
アフリカンゴールド
アルクトス
インディチャンプ
エアアルマス
エタリオウ
エポカドーロ
オウケンムーン
オメガパフューム
カイザーメランジエ
カシアス
カツジ
カンタービレ
ギベオン
グリム
クレイジーアクセル
グレイル
グローリーヴェイズ
グロन्दェイオーズ
ケイアイノーテック
ケイテイクレバー
ゴーフオザサミット
ゴールドクイーン
コパノキツキング
サウンドキアラ
サトノガーネット
サトノフェイバー
サトノワルキューレ
サラキア
サラス

サンリヴアル
サンレイポケット
ジエネラーレウーノ
ジャンダルム
ジョーカナチヤン
スカーレットカラー
ステイフリーツシユ
ステルヴィオ
ストロングハート
センチリユオ
ソリストサンダー
ダイアトニツク
タイムフライヤー
ダノンスマツシユ
ダノンプレミアム
タワーオブロンドン
チュウワウイザード
テーパーエナジー
テトラドラクマ
トーセンスーリヤ
トロワゼトワル
ドンフォルティス
ノームコア
ハービンマオ
バイオスパーク
パクスアメリカーナ
ハセノパイロ
ハヤブサマカオー
ヒラボクラターシユ
ビリーバー
ヒロシゲゴールド

ファイエールマン
ブラストワンピース
プリモシーン
フロンティア
ベルーガ
マイネルファンロン
ミスターメロディ
ミツキーチャーム
メイケイダイハード
メイシヨウテツコン
メールドグラース
モズスーパーフレア
ヤマノファイト
ユーキヤンスマイル
ライオンボス
ライトオンキュー
ラツキーライラック
ラブカンプー
リバティハイツ
リユウノユキナ
リリーノールブル
ルヴァンスレーヴ
レイエンダ
レッドガラン
レピアールウィット
ロードゴラツソ
ロックデイスタウン
ワグネリアン
Alpha Centauri
Audible
Billiesdon Brook

Mongolian Groom
Mintole
Middnighht Bissou
Mendelssohn
McKinzie
Masara
Magnum Moon
Magical Wand
Magics
Laurenss
Latrobe
Lady Ivanka
Kew Gardens
Justify
Higher Power
Havana Grey
Happily
Gott Stormy
Good Magic
Goldensixty
Ghaiyyath
Freedrop Biliary
Forever Together
Firenze Fire
Expert Eye
Equidaar
Combatant
Chanel Cat
Catholic Boy
Calendoniaroad
Bolt'Orro

Monomy Girl
Old Persian
Oldmedo
Raging Bull
Roaring Lion
Romanised
Rushing Fall
Saxon Warrior
Sea of Clasp
Secret Spice
Shamrock Rose
Sioux Nation
Skalleti
Sporting Chance
Study of Man
Tepal
The Revengent
US Navy Flag
Vino Rosso
Wild Illusion
(現) With You
Without Parole
World of Trouble
アークヴィグラス
アウイルアウエイ
アスターペガサス
アドマイヤジャスタ
アドマイヤマーズ
アンドラスト
イグナシオドロー
イベリス

ヴァルディゼール
ヴァンドギヤルド
ウイクトリーア
ウインターフエル
ヴェロツクス
エイティーンガール
エメラルファイト
オーヴェルニュ
オセアグレイト
カジノフォンテン
カテドラル
カラテ
カレンブーケドール
キングオブコージ
クラージュゲリエ
グランアレグリア
クリソベリル
グルーヴィット
クロノジエネシス
ケイアイパール
ケイデンスコール
ゲンパチルシファ
コントラチエツク
サートウルナリーア
ザダル
サトノルークス
サマーセント
シェーングラッツ
シゲルピンクダイヤ
ジャステイン
シャドウデューヴァ

シヨウナンバルディ
シヨウリユウイクゾ
ダイアナブライト
ダノンキングリー
ダノンチエイサー
ダノンファンタジー
ダンシングプリンス
ディアンドル
デイバインフォース
テオレーマ
デュープロセス
デルマルーヴル
トウルボー
トーラスジエミニ
ナムラカメタロー
ナランフレグ
ニシノデイジー
ノーヴァレンダ
ノーワン
パッシングスルー
ハッピーアワー
ハヤヤツコ
ヒカリオーソ
ヒシイグアス
ファストフォース
ファンタジスト
フィリアプーラ
プールヴェイル
フェアリーポルカ
ブラヴァス
ブレイキングドーン

ポツケリーニ
ホツコーメヴィウス
マーニ
マスターフエンサー
マドラスチエツク
マルシユロレーヌ
ミューチャリー
メイシヨウテンゲン
メロディーレーン
モズベツロ
ユニコーンライオン
ラインカリーナ
ラヴズオンリーユー
ラストドラフト
ラプタス
ランスオブプラーナ
ランブリングアレー
リオンリオン
レッドアネモス
レッドジエニアル
レッドルゼル
ロードブレス
ロードマイウエイ
ロジャーバローズ
ワールドプレミア
ワイドフアラオ
Advertisise
Anapurna
Anthony Van Dyck
Audarya
Bellafina

M a x i m R a t e
M a g n a G r e c i a
L o r d N o r t h
L o g i c i a n
L i n e o f D u t y
L i l y s C a n d l e
L e t r u s k a
L a c c a r i o
K n i c k s G o
K i n g o f C h a n g e
J a y w a l k
J a p a n
I v a r
I r i d e s s a
I m p r o b a b l e
H o g C r e e k H u s t l e
H e r m o s a
H e l l o Y o u m z a i n
H a l l a d a y
G u a r a n a
G r a n d G l o r y
G l a s s S l i p p e r s
G a m e W i n n e r
C o v f e e
C o u n t r y H o u s e
C o d e o f H o n o r
C i r c u s M a x i m u s
C h a n n e l
C e C e
C a s t l e L a d y
B r o o m e

V
a
l
i
a
n
c
e

T
r
u
e
h
a
n

T
o
o
D
a
r
n
H
o
t

T
e
n
S
o
v
e
r
e
i
g
n
s

T
e
c
h
n
i
c
i
a
n

T
a
r
n
a
w
a

T
a
c
i
t
u
s

S
t
r
o
n
g
e
r

S
t
r
e
t
B
a
n
d

S
t
a
r
C
a
t
c
h
e
r

S
p
u
n
t
o
R
u
n

S
p
a
c
e
B
l
u
e
s

S
o
v
e
r
e
i
g
n

S
o
t
t
s
a
s

S
k
y
F
i
e
l
d

S
k
i
t
t
e
r
S
c
a
t
t
e
r

S
i
y
a
r
a
f
i
n
a

S
i
r
W
i
n
s
t
o
n

S
i
r
D
r
a
g
o
n
e
t

S
e
r
e
n
g
e
t
i
E
m
p
r
e
s
s

R
o
a
d
s
t
e
r

P
h
o
e
n
i
x
o
f
S
p
a
i
n

P
e
r
s
i
a
n
K
i
n
g

P
a
n
f
i
e
l
d

O
m
a
h
a
B
e
a
c
h

N
e
w
s
p
a
p
e
r
o
f
r
e
c
o
r
d

N
a
z
e
e
f

M
u
c
h
o
G
u
s
t
o

M
o
h
a
a
t
h
e
r

M
o
F
o
r
z
a

M
a
x
i
m
u
m
S
e
c
u
r
i
t
y

V e k o m a
W a r o f W i l l
W a t c h M e
W e l l i n g t o n
W i n W i n W i n
Z e n d e n
アカイイト
アブレイズ
アリストテレス
ヴァケーション
ウインキートス
ウインマイテイー
ウインマリリン
ウーマンズハート
ヴェルテックス
ヴェルトライゼンデ
エーポス
エヒト
エメリミット
オーソリテイ
カフエフアラオ
ガロアクリーク
キメラヴェリテ
クリスタルブラツク
クリノプレミアム
ケンシンコウ
コーラルツツキー
ゴールドホイヤー
コルテジア
コントレイル
サトノインプレツサ

サトノフラッグ
サリオス
サンクテュエール
サンライズホープ
シャインガーネット
シャムロツクヒル
シヨウナンナデシコ
スマートアペックス
スマイルカナ
ダーリントンホール
タイセイビジョン
ダノンフアラオ
デアリングタクト
ディーブボンド
テイエムサウスダン
テーパーケインズ
デゼル
テルツェット
バーナードループ
バビット
パンサラッサ
ピアンフェ
ブラツクホール
フルデプスリーダー
フルフラット
ベレヌス
ポタジエ
マイネルグリット
マイラプソディ
マジックキャッスル
マルターズディオサ

ミスニューヨーク
ミヤマザクラ
メイシヨウカズサ
メイシヨウハリオ
メイシヨウミモザ
モズナガレボシ
ラウダシオン
リアアメリカ
ルビーカサブランカ
ルフトシユトローム
レイパパレ
レーヌブランシユ
レシステンシア
レッドベルジュール
ロータスランド
Aloha West
Alpine Star
Alpinista
Authentic
Basin
Bast
British Idiom
Charlatan
Colonel Liam
Country Grammar
DREAM AND DO
Earthlight
Even So
Fancy Blue
Fur Wheel Drive
Galileo Chrome

S i s k i n
S i l v e r S t a t e
S h e d a r e s t h e d e v i l
S h a r i n g
S e r p e n t i n e
S a n t i a g o
R u s s i a n E m p e r o r
Q u a d r i l a t e r a l
P y l e d r i v e r
P i n a t u b o
P e a c e f u l
P a l a c e P i e r
O r d e r o f A u s t r a l i a
N o P a r o l e
N a d a l
M y s t i c G u i d e
(現) M o g u l
M i s h r i f f
M i s c h e v i o u s A l e x
M a x f i e l d
M a x P l a y e r
M a r e A u s t r a l i s
L o v e
K a m e k o
I n S w o o p
I d o l
H o n o r A . P .
H a p p y S a v e r
G u f o
G o l d e n H o r d e
G a m i n e

S t a r m a n
S t o r m t h e C o u r t
S t r u c t o r
S w i s s S k y d i v e r
T i z t h e L a w
T o r q u a t o r T a s s o
T r i p o l i
V i c t o r L u d o r u m
W o n d e r f u l T o n i g h t
Y a u p o n
ア カ イ ト リ ノ ム ス メ
ア サ マ ノ イ タ ズ ラ
ア ナ ザ ー リ リ ッ ク
ア ラ ン バ ロ ー ズ
ア ン ド ヴ ア ラ ナ ウ ト
イ グ ナ イ タ ー
イ ル ー シ ヴ パ ン サ ー
ヴ ア イ ス メ テ オ ー ル
ウ エ ル ド ー ン
エ フ フ オ ー リ ア
オ ー ソ ク レ ー ス
オ ー ル ア ッ ト ワ ン ス
キ ャ ッ ス ル ト ッ プ
ク ー ル キ ャ ッ ト
グ ラ テ イ ア ス
グ レ ナ デ イ ア ガ ー ズ
サ ト ノ レ イ ナ ス
シ ゲ ル ピ ン ク ル ビ ー
ジ ャ ッ ク ド ー ル
シ ャ フ リ ヤ ー ル
シ ャ マ ル

シユネルマイスター
シヨックアクション
ステラヴェローチエ
スマツシャー
ソウルラツシユ
ソーヴァリアント
ソダシ
ソロユニツト
ソングライン
タイトルホルダー
タイムトウヘヴン
ダノンザキツド
テーオーロイヤル
デュアリスト
トランセンデンス
ノースブリツジ
バーデンヴァイラー
バスラツトレオン
ピクシーナイト
ピンクカメハメハ
ファイナルージュ
ホウオウイクセル
メイケイエール
メイシヨウムラクモ
モントライゼ
ユーバーレーベン
ヨーホーレイク
ヨカヨカ
ラーゴム
ラツキードリーム
リプレーザ

リンゴアメ
ルークズネスト
レイハリア
レツドジエネシス
レツドベルオーブ
A Case of You
Adayar
Alcohol Free
Aunt Pearl
Baaed
Campanelle
Coeuramba
Dr. schivel
Emblem Road
Empress Josephine
Essential Quality
Fire At Will
Flightline
Golden Pal
Hot Rod Charlie
Hurricane Lane
Jackie's Warrior
Joan of Arc
Known Agenda
Kyprios
Life Is Good
Lucky Vega
MacSwiney
Malathaat
Mandaloun
Medina Spirit

Mother Earth
Poetic Flare
Pretty Gorgeous
Princes Noor
Rock Your World
Romantic Warrior
Rombaue
Saffron Beach
Santa Barbara
Sealiway
Snow Lantern
Snowfall
St Mark's Basilica
State of Rest
Supremacy
Teona
Van Gogh
Vequist
Yibir
アイスジャイアント
アスクビクターモア
アスクワイルドモア
イクイノックス
ウインマーベル
ウォーターナビレラ
エリカヴィータ
オニャンコポン
カイル
カフジオクタゴン
キラーアビリテイ
キングエルメス

クラウンプライド
グランブリッジ
コマンドライン
サークルオブライフ
サブライムアンセム
ジオグリフ
ジャステインロック
ジャングロ
スターズオンアース
スタニングローズ
スピーディキック
セキフウ
セリフオス
ダノンスコープオン
ダノンベルーガ
テイエムスパード
ドウデュース
ドライスタウト
ナミュール
ナムラクレア
ナムラリコリス
ノットウルノ
ビーアストニツシド
ピースオブエイト
フエーングロット
プラダリア
ブリッツフアング
プルパレイ
プレサージュリフト
ペイシャエス
マテンロウオリオン

マテンロウレオ
ミヤギザオウ
ライラック
Cachet
Corniche
Corobus
Cyberknife
Desert Crown
Early Voting
Echo Zulu
Homelands Songs
Inspiral
Magical Lagoon
Mangoustine
Mondogal
Modern Games
Nashwa
Native Trail
Nest
Perfect Power
Pizaba Bianca
Prosperous Voyage
Rich Strike
Secret Oath
Taiba
Tuesday
Westover
Whitely Abarrío
Zandon

死者 奇跡的に0名

これにてこの騒動は幕を閉じ、自然と終焉を迎えるものだと思っていた。

だが：これで終わるだなんて保証は、一体全体どこにあると言えるのだろうか。

どこからが始まりだったのかでさえわかっていないのに、明確に終息するだなんて都合が良すぎるとは思わないのか、だなんて考えが頭に過ぎる頃にはもう遅かった。

ただただ、こちらの認識が甘かった。

そんな優しい世界な訳がなかった、と。

混沌の配達人が運んできた怒りによって、世界とはコントロールなんか出来やしないんだと、本格的に思い知らされている。だというのに、現実は何故こうも上手く機能しないのだろうかと、嘆いている暇さえ与えてくれないのだ。

世界はありのまま、あるべき姿を保っている。

第3の封印が解かれるまで、僅か数分を切っていた。

そしてこの騒動の後、彼が我々の前に姿を見せることは無かった。

愛するものはいつも寛容で、愛されるものはいつだって残虐である。

——その日、人類は思い出した。奴に支配されていた恐怖を…鳥籠の中に囚われていた屈辱を……。

「ボク達は最強なんだ」

「私達は最強ですから」

三女神の時代は、玉座と共に終わりを迎えることとなる。

「まさかここまでやるとはな…大した奴だ。やはり天才か？」

「この世に不可能ということは何一つとしてない、ということですか…」

新時代の扉が開く。

「人の夢は！終わらねエ!!」

——どぼめじろうとの同化継承。

「帰ろう。どぼめじろう」

それは、この世の終末と最後の審判が訪れることを象徴する黙示録そのものと化した。

「失礼だな、純愛だよ」

で で で でん♪ でん♪ で で でん♪ でん♪ でっ で
ん♪ でん♪ でっ で で で でん♪ つっ でっ でっ で
で で で で で で で でん♪ でれれん でん♪

「何であんな人の為にボク（私）達ウマ娘のレースがこんなことになるんだよ（なるんですの）おおおおおおおおお!!」

物語は、ここより数ヶ月遡る。

『本拠地、フランス：パリ、ロンシャンにて迎えた凱旋門賞。』

日本から参戦した1番人気デイープリンパクトも、勢いを見せずクビ差3着の惨敗だった。

レース場に響くフアンのため息、どこからか聞こえる「今年もまたジンクスだな」の声。

無言で帰り始める選手達の中、彼女のトレーナーである奈瀬文乃は独り待機ルームで泣いていた。

日本で手にした栄冠、喜び、感動、そして何より信頼できる教え子達…。

それを、今の精神状態とロジックで得ることは殆ど不可能と云ってよかった。

「どうすればいいんだ…」奈瀬は悔し涙を流し続けた。

どれくらい経つだろうか、奈瀬ははっと目覚めた。

どうやら泣き疲れて眠ってしまったようだ。冷たいベンチの感覚が現実には引き戻した。

「やれやれ、帰って練習メニューを組まないとな」奈瀬は苦笑しながら呟いた。

立ち上がって伸びをした時、奈瀬はふと気付いた。

「あれ…？お客さんがいる…？」

薔薇と胡蝶蘭が咲き誇るパラダイス場から飛び出した奈瀬が目にしたのは、会場の外まで埋めつくさんばかりの観客だった。

雷が落ちる勢いで激しく千切れそうなほどに朱色の旗が振られ、バンブーメモリー、カネヒキリ、ヴァーミリアン、シーキングザパール、ダンスインザダーク、ダンスパートナー、ワールドプレミアの先導の下、地鳴りのように彼女達の応援歌が響いていた。

どういふことか分からずに呆然とする奈瀬の背中に、聞き覚えのある声が聞こえてきた。

「文乃、いよいよ主役が走る番だ。早く行くぞ」声の方に振り返った奈瀬は目を疑った。

「おか…母さん？」 「どうしたんですか？お昼寝でもしたくなりませんか？」

「ク…クリーク？」 「なんだ奈瀬、また教え子に甘えなくなったのか？」

「フェ、フェアリーゴッドマザー…」 「おいやめろ」奈瀬は、半分パニックになりながら掲示板を見上げた。

1番：サイレンススズカ

2番：キタサンブラック

3番：メジロマックイーン

4番：デーブインパクト

5番：スペシャルウィーク

6番：キズナ

7番：アドマイヤベガ

8番：シャダイカグラ

9番：ドウデュース

選手兼監督：エアシャカール

風水：コパノリツキー

通訳：クロフネ

出資者：ゴールドアリュール、ジャックドール、ファインモーション、エアグルーヴ

目覚まし時計：タイムパラドックス、サダムパテック、スズカフェニックス

てるてる坊主：トーセンラー、インティ

ママ：スーパークリーク

暫時、唾然としていた奈瀬だったが、全てを理解した時、もはや彼女の心にはビリーヴを残して雲ひとつ無かった。

「勝てる…勝てるんだ！」

護衛に着いているメイシヨウサムソンが見守る中、右手を挙げたオグリキャップと左手を挙げたオグリローマン、サラシを巻いたイナリワンやハンディを乗り越えたベガから褒め称えるようにしてエールを受け取り、彼女達を見守る為、最前線の間までメサイアの如く全力疾走する奈瀬。その目に光る涙は悔しさとは無縁のものだった…。

翌日、タニノギムレットとウオツカが柵を蹴っているのを他所にして、ベンチででちゅね遊びをしながら大きな人参をあーんされている奈瀬がステイゴールドによって発見され、ナリタタイシンが作ったカレーを食べ過ぎたメジロマックイーンとスペシャルウィークは、病院内で太り気味だと診断された。『マーベラス☆』

これを側から見た人はどう感じるだろうか？

（イケイケゴーゴー、チーターさんみたいに！びよんびよんランラン、ウサギさんみたいに！パオンパオンはぞーさん！ガオーガオーはくまさん！ケロケロケロケロかえるさん！ふわふわふわちようちよさん！みんなで仲良くおどりましょ！楽しく楽しく、おどりましょ！ランランラン！ルンルンルン！パンパカパン！ピンピカリン！）

(キモいよ…セクハラだよ…キモセクだよ…)

(どうした急に)

(どぼめじろうだなあ)

(どぼめじろうだねえ)

(どぼめじろうですわ)

(どぼめじろうですな)

(どぼめじろうですか)

(ドインランマンコマンドライン)

(ウマ娘の足に触れるとき、私が彼女らを直接感じるのには内股と膝、ふくらはぎ、くるぶしなどの内側だ。ジャージのズボンの比較的厚目の生地を通して37度の体温も伝わってくる。ルドルフの場合も、そこからあたりは毎年入ってくる新人ウマ娘と同じだった。だけれど何かが違う。雰囲気と言ったら一番正確に違いない。この雰囲気という言葉が、例年の他のウマ娘に比べて半年分は成熟しているな、と感じた。スキンシップは手のひらです。右手で、時には左手で、ルドルフの首すじ、腰から尻にかけてあたりを優しくさする。このタッチングのねらいは、ウマ娘の気を落ちつけること、その一点にしかない。必要とあらばボクはそれを何度もくり返す。ルドルフの心に大きな落ち着きがあらわれるまで、やめない)

(その時、ふと閃いた!このアイディアは、ウマ娘とのトレーニングに活かせないのかもしれない!)

(必要な悪というのは、常に国家が首輪をつけて支配しているものです)

(川西能勢口、絹延橋、滝山、鶯の森、鼓滝、多田、平野、一の鳥居、畦野、山下、笹部、光風台、ときわ台、妙見口、Uma Shiko
Uma Aho Uma Baka Uma Crazy Um
a Doutei Uma Ero Uma Fucker Um
a Gaiji Lallilulieio)

(な、なんだこれは!いきなり変なものを送らないでくれ!もうやめてくれ!いやがらせか!?!…保存しとこ)

(タールタルタル)

(今際の際だぞ)

(尊み☆ラストスパァー。(V。)ートー!)

(許してくれメンテ…メンテ…)

『マヤ伝えてね!どぼめじろう(CV・デアリングダクト)の声を聴け!』何このコーナー…マヤやんないよ。マヤ知らないよ。え?以前に「マヤはレースを生業にしていたから、今でもテレビ越しに応援してくれている人の声が聞こえる。特にどぼめじろうの訴えは強く、画面を突き破ってくる。今回、オレは以前からずっと聞いてきたどぼめじろうの「心の声」を読者に届けようと思う。彼が求めている愛の形の参考になれば幸いだ」って、タルマエちゃんが居る時言っていたよねって?…知らねえつつってんだよ。じゃあマヤは忙しいから星谷ちゃんに任せるね!これは星谷ちゃんが始めた物語でしょ?ユー・コピー?)

(コーパツパツパツ!エアプは帰れリツキー!)

健全な人間であれば、誰しもがそう思うだろう。それが正常な人の心の反応である、というのは明白たる事実だ。

だが、そうはならなかった。事実は小説よりも奇なり、世の中はそう単純ではない。

フフフ…と、笑いながら時折ブツブツと呟いている彼女と、それに嫉妬にも似た感情を秘め、密かに腰の炎を燃やすボクのトレーナー、そしてその教え子達が、とある一部屋に集められている。

集められた理由は言うまでもない。最早、語ることすら必要ないだろう。

そう…原因はどぼめじろうである。

より細かく言うと、ネット上にて行われていた『どぼめじろうが惚れているのは誰か論争』の一端である。スレ風に言えば、「どぼめじろうという名の勝利の女神は誰にチュウしてくれるのか?ステーキス」と言えばわかりやすいのかもしれない。

前提として、周知の沙汰ではあるが彼は女神でもないただの人間

だ。だが、彼はウマ娘に対して気狂いの如く愛を捧いでいる存在でもある。

そうして男は：いや奴は、奴の本性であるままに、本能のままに、あの姿のまま、あの場で具現化した。

その一部始終の結末を、ボク達は見届けた。

20世紀青年に因んで『血の大晦日』と称されたあの日から、その影響は留まることを知らず、政府が想定していた状況を上回る程に凄まじい勢いを維持したまま国内から世界中に広がった。奴が残していったとんでもない愛^{汚物}と共に。

数々の怪文書及び芸術作品並びに彼の情報が、ウマ娘だけでなくトレーナー限定とはいえ人間でも興奮する個体であることも付け加えられた一報となつて、至る所に拡散されるまでに至り、この一連の事件は、ウマッターにおいて世界一位のトレンドとして載ってしまう事態へと発展した。

生身の人間から生み出された無下限の愛という名の呪い。この無限の愛から発せられる負と正のエネルギーは、核兵器よりも恐ろしく強力なものとなって世界中をも包む領域となつて襲いかかった。さらには、目の前に現れたウマ娘というバフも加わったことで、強制的に無限の知覚を与え、奴が顕現化させた無量空処の世界へと誘われることとなる。

これでは、ある種の塵殺である。言うなれば、【どぼめじろう事変】とでも称して良いほどの厄災だった。

結果、被害は甚大なものへと成り果てた。数々の名誉毀損、威力業務妨害などを踏まえた罪状並びに罰則に基づいた罰金を額に直すと、その数なんと5000兆円である。

当然ながら、日本国政府では奴が暴走したことによる損失における対応や対処に関して決断をすることは出来ない、という判断が下されてしまった。だからと言って、気性難な男がしでかした一大事の責任をわざわざ持ちたい、などと述べるもの好きな国が居ないのも事実である。ましてや、この惨劇を引き起こしたからといって、それをしでかした張本人は若くて健康的で異性やウマ娘にも嫌悪を示さない貴

重なる男そのものである。故に、男一人に責任を押し付けるといふわけにもいかない。事、政府と国力に関わるデリケートな問題ともなれば、全体ではなく一個人一政治家が我先にと絡みに行くというのものはしたくない行為として受け取られてしまう。そうした軽率な行動は、選挙に影響が出る他、日本の同盟国及び純同盟国等からの信頼度や日本国民の民意をたちまち下げることに関わりかねない。

メジロ家やシンボリ家を始めた日本名家並びに海外の名家、そこから抜擢された先鋭たるメンバーによって構成されたどぼめじろう対策本部が、幾度となく検討に検討を重ねても、解決案や打開策が浮かび上がることは今日に至るまで欠片の文字もなかった。

それでも尚、男の影響と進撃は止まることを知らない。何せ、規模が規模である。世界各地でネタとして広がったミーム文化の一つである「何故なら、私はどぼめじろうを信じている！私達は選ばれし神の子、ウマ娘の民だ！」「うおおおおお！！」が、現実のものへと昇華され汚染されていく流れに抗うことは不可能だった。こればかりは仕方のないことである。

慌てふためく日本、翻弄される諸外国の有様を見たのか：いつからか、まるで1000年も前の呪いが解き放たれたかの如く、ワラワラと蛆虫共が這い寄ってくるように奴を狙う者が現れ始めた。

中には、奴の愛という名のエネルギーを日本が独占しているのはよろしくない、と声明を挙げる者や、その間を狙って国家に帰属しない独自の軍事国家をウマ娘を中心に作りそこで管理をしようとする者、挙げ句の果てには全世界の人間全てをIDで登録及び管理してその動向を監視し、どぼめじろうが起こす惨劇をAIを用いてコントロールしようとする者まで現れる始末である。

こうなってしまうのは彼の国は勿論、欧州、中東、アジア近郊などを含めた国々がこれに黙ってない。日本だけに対処をさせるべきではないと判断した多くの国民達もまた民主主義の下これに応じ、今までの歴史背景に臆することなく協力的な姿勢を見せた。

つまりは、奴がしでかした一連の流れを世界が許したのだ。

だが、奴は日本に居られなくなった。当然だ。責任を取る取らない

に関係なく、あれだけの騒動を起こしといて平然と暮らしていけるほど、この世界は甘くはない。

直様、奴は公安警察によって拘束され、一時的に安全な場所へと避難することとなる。

とはいえ、奴を抑えているその間に、少なからず必要な方策は打たなければならない。下手な真似をすれば数多の人々からの反感を買うが、今ここで手を打たなければ、彼が放つ夢バトルに威圧され、血の大晦日以上の悲劇が再び巻き起こるのは時間の問題であった。

そこで、プロジェクトL, Arcの立案者並びに責任者でもある『佐岳メイ』は、日本ウマ娘トレーニングセンター学園の理事長『秋川やよい』と共に各国を代表して提案を述べ、こう記した。

欧州のみならず、世界中のウマ娘が英ダービーやケンタッキーダービーと並び憧れ、勝利を目標とする世界最高峰の競走の1つとして知られている凱旋門賞…その地、その聖祭にて、彼の対応及び対処を下す国を決める、と。

これは、昨今起きていた戦争や紛争を一時的な休戦状態にまで持ち込む程の効力を持つものへと昇華した。

ボク達は、何処かありふれた戦場にも似た場所で、どぼめじろうの支配が日常化した近未来に居る。

—— 戦争は変わった。

国家や思想、家族や友人の為ではなく、ましてや利益や民族の為でもない。ウマ娘達が1人の男を巡って、果てしない代理戦争を繰り返す。命を消費する戦争は、非合理的な痛みしかないエゴなものへと変貌した。

—— 戦争は変わった。

トレセン学園に所属しているウマ娘は、トレセン学園に所属してい

るウマ娘であるが故に、トレセン学園から逃れることなく走り続ける。

体内に入ったどぼめじろうの因子が、彼女達の能力を助長し管理する。

遺伝子の制御、情報の制御、感情の制御、戦場の制御…全ては、奴の監視の下で統制されている。

—— 戦争は変わった。

時代は抑止から制御へと移行し、大量破壊兵器によるカタストロフは回避された。

そして戦場の制御は、歴史のコントロールをも可能にした。

—— 戦争は変わった。

戦争が芸術作品と化した時、戦争は変態のサディストのものとなった。

「DOBO MEJIRO IS WATCHING YOU」…まあ、流石にここまで落ちぶれてはいないが、もしかするとこんな世界もあり得たのかもしれないと思うと、我ながらゾツとしてしまう。

もしそうになっていた場合、ボク達は一瞬にして絶句し、まともなレース生活を送ることはままならなかっただろう。

実際のところ、最悪の展開として上記のような世界になりかけていたのだから笑えなかったのだが…（どぼめじろうに関する陰謀論が流行した際、ウマチューブコメ、個人ブログ、ウマ娘まとめ速報、UMA知恵袋、そして恋鐘が描いていた作品の一つ『ウマミナタイ』のアクセス数が伸びた。これによって所謂情弱スターターセットが稼働し、更なる混乱を生むこととなった）まあ、それはこの際置いておくとして。

愛とは末恐ろしいものである。

愛、愛という呪いのすれ違い。

それ故の孤独——。

愛の王、どぼめじろう：果たして、この悲劇の物語は奴との：強者同士のすれ違いとでも言えば済む問題なのだろうか？

——閑話休題。

さて、本題に移ろうと思う。一先ず、世界はありのままの状態へと戻りつつある。しかしながら、物事はそう単純に収まることはない。いや、寧ろ元に戻りつつあるということは戦争よりも惨たらしい状態へと変化していくに等しいのである。

概して言えば、そういうことなのである。

その実、新たな問題が発生していた。

それは奴が興奮する対象である。

奴は、ウマ娘のみならず、そのトレーナーまでも興奮する対象と
している。

これが偏に不味かった。

そう：ウマ娘を担当しているトレーナー自身の問題である。

文字通り、トレーナー業というのは過酷だ。実態として、何処ぞの赤いジャージを身に着けた先生よりも過酷な仕事である。

業務内容としては以下の通りである。

まず中央であれば、給料は高いが休日もウマ娘に付きつきりてほぼ
休みは無し。

地方であれば、他の業種よりは高給だが中央と比べると尚のこと低
く休日は無いも同然の扱い。

加えて、ウマ娘の保育士などの待遇は薄給以外は良いものの、一部
の名門家やクラブを除けばウマ娘にとって必須な環境である広大な

土地が必要となる為、大抵が北海道を中心として展開している。その為、出会いを求めるには札幌市内へと出向くしかない。仮に札幌市内へと出向いたとしても、所詮は北海道： 出会いがあるはずも無いも同然のど田舎だ。

謂わば、トレーナー業及びトレセン学園に携わる者というのは、そういう覚悟のある者だけが務まる仕事なのである。

要するに、数多の金やウマ娘に対する愛と引き換えに男と出会うのを半ば諦めた者が多いのだ。

そこに、奴が現れた。

奴は男。タマモクロス、イナリワン、ステイゴールド、エアシヤカー、ドリームジャーニー、オルフェーヴル、セントサイモン、ダイヤモンドジュビリー、ヘイルトゥリーズン、ヘイロー、デイクタス、サンデーサイレンスをも超えた気性難だとしても、悲しきかな：男は男である。

彼女達トレーナーにとっては、戦争や紛争を食い止めた英雄よりも眩い希望の光：救世主そのものに見えてしまった。例えそれが、自身の認識の欠如における錯覚や幻想だと理解していても、だ。ただでさえ出会いが無い環境下に投下された劇薬である奴の効力は、凄まじく凄く凄いまでに絶大である。残酷だが、一度定着してしまった認知は、引き剥がすことが難しい。加えて、彼女達は若年層が多いとはいえウマ娘よりかは年上の年齢だ。焦るのも無理は無い、ということも考慮すれば、効果はより凶悪なものへと変貌する。さらに厄介なことに、どぼめじろうという麻薬はトレーナー間に広く認知されてしまっている。これが一番の肝であり痛手となってしまった。

従って、

(年金問題、地方の過疎化、貧困格差：私よりも若いぴちぴちのウマ娘がライバル、かつその人数が多いという点を除けば、手に入りさえすればそれは些細なこととして処理出来る。幸いなことに金は莫大にある：金は莫大にある！)

という思考が生じてしまった。

このように、ギャンブル依存症にも似た報酬系の麻痺症状が頭、と

りわけ海馬に構築されてしまったが最後：否、最期。彼女達は
うまじよい伝説
手遅れとなる。

どぼめじろう中毒という名の『頭トレセン音頭状態幸せスパイラル』が完成してしまうのだ。

ここで、彼女達トレーナーやその周囲の人々に亀裂が生じた。これは、ボク達のトレーナーも例外に漏れることは無い。現代において、普段からどぼめじろうに耐性があるはずもない、ましてや普段から男性と接することのない人達でなら尚更な事柄だった。何せ、男という存在自体を見ることがのない人が圧倒的に大多数を占めているのだ。

よって、現場は今以上に混沌と化す。

そんな中でバチバチと睨み牽制し合う大人2人は、今や他のトレーナーよりも脳みそをズタボロに破壊されてしまっている。病人同士が互いに譲り合う精神すら欠けた状態を維持し続けて、感情や願望を司る部位が止まらないでいる。無意識に自身が執着している物を奪い取っている。さながら、おもちゃを取られた猫同士が喧嘩している情景が目に見えかねないだろう。とはいえ、彼女達の中身は、猫は猫でもネコ科の凶暴なライオンだ。もしかしたら、シンボリドルフことカイチョーが2人居るのではないか、と言い換えても過言ではないのかもしれない。

異質な空間に激むようにして広がる黒いオーラは、ライスシャワーやドウラメンテ、グラスワンダーの《領域》にも似た禍々しさがあつた。

まるで、目線の先の対象に独占力のスキルが発動したかの如し。狙い澄ました殺気は霸王色の覇気である。正に愛は重バ場というに状況を生み出すのに相応しい代物だ。これが漫画やアニメの世界であれば、さぞや被害は拡大していたことだろう。あまつさえその発生源は、よりにもよってトレセン学園でも屈指とされているトレーナー達である。彼女達から発せられている汗と、穢らわしいものを見て出た哀れみの涙は未だに収まる気配が見当たらない。二郎系もびつくりな固め濃いめ多め早死三段活用湿度マシマシによる質量は、とうの昔に臨界点を超えていた。

地獄である。

どのくらい地獄かと表せば、いつもは大人しいディーピンパクトが、度重なる怪文書等によるストレスとプレッシャーによってワンカップ大関を片手に持ちながらタバコを吸うようになったことで慢性気管支炎を患ってしまった、イプラトロピウムを常用しなければならぬ具合に陥ってしまったレベル、と言い表せられる程度のものである。現に、サンエイサンキューは奴が公安の手に保護された後のトレーナーの動揺と豹変ぶりを目の当たりにし、そのストレスで痩せ細ってしまった。無論、ボクもその1人である。

怯えているのはボク達だけではない。ボク達以外のトレーナーもまた、どぼめじろうに脳を破壊されてしまっているのだ。そこから伺えることは何か？

終わりの始まりである。

彼女達は四天王の中でも最弱ではあるが、例を挙げるとすると、

ネオユニヴァースとそのトレーナーは、荒ぶる鷹のポーズをしたかと思えば「どぼめじろう！刺し違えて、その命貰い受ける!!ユニヴァアアアアアアアス!!」と、壊れたように叫びながらぴよんぴよんと跳ね回ってヤマニンゼファーとそのトレーナーをポカポカと叩き、サトノクラウンとヴィクトワールピサが慌てて回収に向かうも間に合わず9日間のレース場使用停止命令が下され、同じチームに居るドウラメンテは、それを聞いてショックを受けたのかパカパカ歩きが未だに収まることなく、我慢出来なくなったコパノリチャードが飛行機の真似をしながら街中を走り回り、予定が狂ったことによるストレスによってエイシンフラッシュが納豆の箱を食べ、ロゴタイプはそんなチームの様子を見て見ぬふりをしつつ、慣れた手つきで豆腐を買いまくっていた。

また、オルフェーヴルとドリームジャーニーのトレーナーもいつも通り彼女達から挨拶代わりにの洗礼を受け、いつも通りカレンチャンにはお酒を没収され、いつも通りスイープトウショウの我儘に付き合いい、いつも通りメイケイエールとソングラインに手を思いつきり引つ張られ、いつも通りデュランダルとFateごっこに付き合い彼女自

身を落ち着かせるようにして宥める、という異様な光景を何度か見る程度には無秩序な状態が続いていた。

最早、『デアリングタクトの』前略、どぼめじろう様。私待つくわ、いつまでも待つくわ』ラブレターやソダシの『真っ白な私が彼の黒い人生を救う』と謳った怪文書、グランアレグリアの『どぼめじろうが怒っているゾ!!?どぼめじろうは新〇結衣なんだ!!?』といった頭が悪く見える捏造記事、ガイアフォースのどぼめじろうロックフェスが可愛く見えてくる程だ。

他にも、リバティアイランドのトレーナーは、「何度も言うようですが、私のケツと生姜ネタばかりが多くて私が担当している娘のネタが少ないですね。何度も言うようですが」と威圧感を醸し出したことで、一部の教え子達の発汗が収まっていな。その様子を知ってか知らずか、キングヘイローやコントレイルを担当しているトレーナーがワグネリアンではない子の頭を撫でながら直様「ネタにしないってのはあれなんじゃない?パワハラみたく接してしまうことを予期されたんじゃない?」と茶化し、その発言と行動に互いにボケとツツコミをかましながらいチャコラする寸劇を見せつけられる始末である。

：僅か短期間で、日本で屈指のトレーナーである彼女達がこの有様である。

ボクはどぼめじろうと出会うまで、ただの人間がこんな化け物だとはまったく考えもしなかった。こんな夢みたいなきことがあるのか、とボクは自分の感覚を疑った。だが、それは実際にボクの目の前で起こっていることだった。

今際の際際で踊れや踊れ…。悲しきことかな、ボク達ウマ娘に以前のようなありふれた平穩は訪れない。

ボクも彼女達も、隠れる場所はない。

ボク達もどぼめじろう奴も、居場所はない。

トレーナーの言葉を借りれば、ステージことレース場は正にガイア。神よ、どうかどぼめじろうをスタジ^外オに閉じ込めることは出来ないのだろうか。

どうか：どうか、これ以上ボクの記憶に「や」みたいな反応で登場しないでほしい。もう、ボク達の脳に（一）のような師匠面のノリでゴミのような情報を流さないでほしい。

ああ、願わくば：願わくばこの現実が無かったことになって欲しい。

もう残されている手段は、どぼめじろうの悪い印象を頭に過らせ理性で誤魔化す以外に方法は無いのだろう。

こうした状況に1番最適な言葉がある。

善は急げ、と。

そうと決まれば、奴に一言ガツンと言う為に早速試してみるとしよう。

まず、彼の素質に触れる。一番評価しているのは、一度冷静になれずいぶん大人びた精神力を持っているということ。活動歴が片手を越えた頃には、ある程度キャリアを積んだトレーナーでも、予測の付かない現象が起きたりすると、どこかオドオドした面があるものだ。ところがどぼめじろうはスクーリングを兼ねて初めて中山のレース時（17日）にも、まったくそんなそぶりをみせなかった。忍耐力が強すぎて、逆にストレスがたまらないかと心配してしまうくらいこの素晴らしさだ。

中山での結末を見てボクは、「ある意味ではどんなトレーナーより半年先、大げさにいえば一年先を行っている」といったが、カイチョーがそんなタイプだった。

カイチョーはパーソロンにも似た柔軟さがあったが、どぼめじろうからも何処かパーソロンの感覚が伝わってくる。どぼめじろうと同じ素質を持っている人間は、もうこの世に存在はしないが、今まで

積み上がってきた遺伝的体質によって特徴を覚えている。実戦でも予想でも単調でガーツと行ってしまう、行意のままに操縦できないのだ。

しかし、どぼめじろうにはそんなことは発生しない。ぎっくりと説明すると、例えば、普通の女性と出会っても怯えることなくモサーツとしている。だが、いざウマ娘に会うとびっくりするくらいいいスタートを切る。ひとことではいえば実戦に行っていいタイプ。そんな雰囲気をどぼめじろうは持っているのだ。彼は意のままに操縦しやすい面も持ち合わせている。だから、ダンシングギャップでなくパソロンのなどぼめじろうは、これまでのトレーナーとも違う、もっと前線の位置でウマ娘に教授することが可能なのではないか。

ボクは一流のウマ娘にトレーナーが付くというのは、特別な事情がない限り、追い切りだけにした方がいいと思っている。もちろん例外はあるが、一流のウマ娘というのは大抵鋭敏でクレバーなものだ。追い切り時にトレーナーが側に居ることにより、ウマ娘は普段と違う微妙な部分を感じ取り、レースが近づいていることを察知する。極論すれば、一流のトレーナーは教え子に体をつくらせる”のだ。

どぼめじろうがまったくそうだった。レースと追い切り以外で彼がウマ娘に何かを教えたことはほとんどない。ボクがたまに見ると、エキサイトし気合を表に出したものだ。どぼめじろうが偉大な功績を残したのは、こうした練習方法が少なからずプラスになっていたのではないか。

ボクにもこの日、気分の高揚をはっきり感じ取ることができた。ついでにいえば、着けていたイヤフォンをコース入り前にはずしてしまった。音に驚かないように耳を覆うのだろうか、三半規管を覆うのはいいことではない。そのことについても、彼は事前に注意を促すようにして述べていた。

加えて、どぼめじろうの素晴らしきは、以前のダービー当時に書いたとおり、ボク自身、肌身で感じていた。それでも、大レースの時、とくに最近とは異様なほどの熱気に競馬場は包まれるだけに、ボクはどぼめじろうの精神力に少しばかり疑問が残り、観察してみた。

しかし、それはばかげた疑問だった。配信時でも、作品を作る時でも、どぼめじろうは実に堂々としていた。大歓声にもまったく動じることがなかった。あのシンボリルドルフとうりふたつのしたたかさである。

優雅っぷりもカイチヨーそっくりだった。カイチヨーはデビューした頃、軽快なスピードで勝負していたが、キャリアを積んでいくうちに、重量感が加わっていった。どぼめじろうにも同じことがいえると思う。

ボクがどぼめじろうに目を付けられた時、他のウマ娘からよく「トレーニングを一度でいいから教わってみたい」といわれたものである。どぼめじろうは見る者をハイな気分にした。真のトレーナーというのは、そういうものなのだ。どぼめじろうに対する今のボクの気持ちは、カイチヨーの現役時代の活躍と同じである。

…って言ってるばあいかーい!!

…失礼、どうやら存在しない記憶と掛かりが同時に発動してしまっただよう。冷静に落ち着きを取り戻してから続きを述べるとしよう。

——ウマ娘祈禱中。

では、これらを踏まえた上で、再度今の状態を要約するとしよう。

と言っても、答えは単純明快である。率直に言えば…紛うことなき、ただの子供の喧嘩である為だ。

今起きていることは、全てにおいて低レベルで醜く度し難い争いであることに違いはない。違いはないのだ。だがしかし、この下らない争いによって…世にも出せないような戦争の火蓋が、今か今かと開きそうになっているのである。

暫し待った後、ボクのトレーナーは、敵を一手に引き受ける総大将のように胸を張り、高らかに宣言を告げるかのようにして息を吸う。

そうして徐に取り出したハーモニカをファンファーレに合わせるようにして唐突に吹いた後、彼女は口を開いた。

「かーっ！見んねテイオー！卑しか女ばい！」

「ト、トレーナー……」

第一声がこれである。よりもよって、奴が書いていた小説の台詞そのままの原本が飛び出してきた。これには、今すぐにもアルミホイルを被って現実逃避をしたいものである。

はつきりと、ここに居る全ウマ娘が泣いた。「ブワツ!!」っと効果音も鳴った。もしかしたら口に出していたかもしれない。

極めてなにか生命に対する侮辱を感じる。マヤノなんて白い目に向けて遠くを見つめている。その瞳にハイライトは無く、声をかけても返事がない。ただの屍のようだ。

もしこの様子が動画サイトに流れていれば、忽ち……

・あ

・まずい

・ヒヒへへん

・芝生えない

・お祭りみたいだね

・お祭りだね

・お祭りですね

・どぼめじろうと勝利の女神のチューしてえよお……

・Let's say together I copy?

・泣きました、ワタシは恋鐘のファンでどぼめじろうのアンチでウマ娘です。

・五条悟美を呼んで来いってこの世界に居るわけないだろ良い加減にセイー

・I don't stop Dobomejirro(、|、)(

・各地のトレセン学園は地方諸共ほぼ壊滅か…

・どぼめじろうを国外に移送つてマジで言つてんの!?!? 正気ですか!?!?

・どぼめじろうのせいで円高になったり円安になったり酷い有様だな

・渋谷事変よりも悍ましい呪霊が1000万體以上現れるとか泣きたくなりますよ

・呪霊の発生源府中つてマジ?

・だからどぼめじろうが試験を受けた時、事務員でも良いから合格通知を出しておけと推したんだ私は!!?

・逆に良かったんじゃない?これ霞ヶ関に元気がないと出来なかつた判断でしょ?

・なるほどくゆ(・ω・)メモメモ確かに男性に会えば否が応でもこうなってしまうのは無理もありません:(・ω・):コ、コワイですが、私の周りのフォロワーさんや知恵袋、ブログなんかではこれは政府の陰謀であり、彼を独り占めするためのフェイクであるとみんなが言っています!!?「政府」か「仲間」か「どぼめじろう」か…本当に信じられるのは誰なのか、もう一度よく考えてみて下さい??

・陰謀論者湧きすぎwww

・愛よ愛♡

・呪術廻戦よりも呪われてて八握剣異戒神将魔虚羅出そう

と、さぞやネタにされていたことであろう。率直に言つて笑えない。

そも、どぼめじろうがそんな器で収まっているなら、こちら側が苦労することはないというのに…もう終わりだよこの世界。

「き、急にどうしたんです?先輩」

「ウマ娘の声よりもこの子の声の方が聞こえる…来ましたわ…恋のダービーが来てしまいましたわ!」

溶けるほど燃えよ。凍るほど醒めよ。

ああ：なんてことだ。ボクの無垢で輝かしく眩しい迄に純粹な瞳は、今やハイライトは消え失せ、生気が完全に失われてしまっていることだろう。返せ、返してくれ、純情だった彼女を。真っ直ぐに輝いていたあの頃のトレーナーのイメージを。これではイメ損どころで済む話ではなくなってしまう。

ボク達のトレーナーが、奴にNTRれている。

皆の憧れだったトレーナー達が、奴にNTRれている。

アドマイヤスガ

A V 達のトレーナーも、奴にNTRれている。

柔らかい綱が滅茶苦茶にされている。

どぼめじろうに脳が犯されて、ぐちゃぐちゃに侵されている。

「シエケナベイビー！無敵なシエケナベイビーだぜえ！」

「うわあ、また来たあ…」

「シエケナだぜシエケナ：鬣が鬱陶しいぜ」

「：何で鬣が出てくるんですか」

「鬣は心のロックンローラーってことだぜ！シエケナシエケナ…」

「ちよつと何言ってるかわからないです」

レースに一途だった大人達が、どぼめじろうに寝取られている。

「無○敵ツツ!!」

「相変わらずハジけてますね、先輩」

ボク達のやる気が、シヨンボリブラック、シヨンボリルドルフ、ウシユバテソーロをも超えた絶不調となっている。

「闘○魂ツツ!!」

「だから何なんですか」

勘弁してくれ。てめえお手ウマ娘に恥かかせる気か？

「もう…突拍子もなくハーモニカを吹くわ叫ぶわで、流石の僕と言えどびつくりするじゃないですか。この子達にも迷惑ですよ」

「いやいやいやいや…あのレースにしか興味がない天才が、あれだけ嫌っていた彼のことを満面の笑みで思い浮かべながら乙女全開な顔をしてるんだから、そりゃあこうも言いたくなるに決まってるでしょ。以前、私が書いた記事の言葉を借りるなら、『大人の階段を昇るお嬢様は、この手の色気に弱いのだ』って感じかな？いやはや、世の中捨てたもんじゃないね」

「…お言葉ですが、それを言うなら先輩は先輩で、お互いにパロディネタでイチャイチャしてましたよね？イタコ芸を利用してジーニアスだのカモンベイビーだのあーだこーだお構いなしに言った挙げ句、ウマッターに彼との妄想の会話を繰り広げていたこと、僕は知っていますよ。自分のことは棚に上げて、競合を牽制していると見せかけて、敢えて注目を惹きつけて彼を搔っ攫う気満々だつてところとか、先輩は昔っからそういうの本当にわかりやすいですからね。流石、彼の血を目一杯浴びて、一瞬で死にかけてた…否、キメただけのことはありますわ」

「は？」

「あ？」

「(ヤダナーコワイナー)」

「ねえ、文乃君…一応、あの場に居たからこそわかっているんだろうけどさ。彼は私で興奮していたんだから、これはもう相思相愛つてことで結論付けた方が手っ取り早く済むじゃん。偶には年長者に譲る気は無いの？私に借りくらの一つや二つは返すつてのが仁義つてものじゃないのかね？」

「年功序列の厄介ごとから助けてくれた先輩が、今それを言いますか？良い加減、彼から卒業しましょうよ？余計なお世話かもしれません。彼を頭の中で飼いつけるのは辞めた方が良いですよ。恐らく身が

持たなくなります。最悪、憧れだったハードバージのトレーナーよりも酷い状態になりますよ？それでも構わないんですか？大好きなレースが可哀想だとは思わないんですか？」

「バカヤロー！トレーナー人生然り、普通の人生然り…あらゆる現象問わず、レースには本命の◎より重い印だつてあるんだよ！」

「それ、サトノダイヤモンドやグランアレグリアを担当しているトレーナーに向けていたバチクソにキツショイ激オモ♡矢印じゃないですか！これ以上『彼との会話は妄想です』で、許されると思わないでくださいよ」

「私は地の果てまで彼を愛しているんだよ！」

「血を浴びただけに地の果てまでつてことですか？生憎ですが、彼を想う僕の気持ちは文字通り天^{天馬}まで駆けて行く勢いなんですけど？」

「随分と大層な夢を持ってて良いなア!!じゃあ夢バトルしようぜ!夢バトル!!彼が私を選んだらよお!!てめーの愛!!私のFantast i c以下なあ!!」

「やってみろよバアゝカ!!」

「は?」

「あ?」

「(やめて、仲良くして!)」

そんな心の叫びは、無惨に散って逝った。

兎にも角にも、総じて言えることは『どぼめじろうは絶対的な強者だった』という事だ。偽りのない本物の強さを持った化け物には、最強のトレーナーも最狂のトレーナーも敵うことは出来ず、ただただひれ伏すしかないのである。

この世界はクソだ。そこに至るまでの道程も、いつもボク達を舐め腐っている。

ひたすらに、この現実を突き付けてくる諸悪をただひたすらに…。

こんなことをしている間にも各国は、フランスで見事な勝利を収め、どぼめじろうという最悪の兵器を奪おうとしている。

それでもボクは意志を曲げることなく、こんな世界にしてしまった元凶に責任を取ってもらう為にこの場に居るのだ。

それは彼女も同じである。

片や、その真正面に居るボクの強敵ライバルもまた、必死に賢読さトレーニング書を行っていた。

『小羊がその七つの封印の一つを解いた時、わたしが見ていると、四つの生き物の一つが、雷のような声で「来たれ」と呼ぶのを聞いた。

そして見ていると、見よ、白いバが出てきた。それに乗っている者は、弓を手に持っており、また冠を与えられて、勝利の上にもなお勝利を得ようとして出かけた。

小羊が第二の封印を解いた時、第二の生き物が「来たれ」と言うのを、わたしは聞いた。すると今度は、赤いバが出てきた。そして、それに乗っている者は、人々が互に殺し合うようになるために、地上から平和を奪い取ることを許され、また、大きな剣を与えられた。

小羊が第三の封印を解いた時、第三の生き物が「来たれ」と言うのを、わたしは聞いた。そこで見ていると、見よ、黒いバが出てきた。そして、それに乗っている者は、はかりを手に持っていた。すると、わたしは四つの生き物の間から出て来ると思われる声が、こう述べたのを聞いた。「小麦——太陽の叡智、大海の叡智、大地の叡智を、損なうな」

小羊が第四の封印を解いた時、第四の生き物が「来たれ」と言う声を、わたしは聞いた。そこで見ていると、見よ、青白いバが出てきた。そして、それに乗っている者の名は「死」と言い、それに黄泉が

従っていた。彼らには、地の四分の一を支配する権威、および、剣と、飢饉と、死と、地の獣らとによって人を殺す権威が、与えられた。

小羊が第五の封印を解いた時、神の言の故に、また、その証を立てたために、殺された人々の霊魂が、祭壇の下にいるのを、わたしは見た。彼女らは大声で叫んで言った。「聖なる、まことなる主よ。いつまであなたは、裁くことをなさらず、また地に住む者に対して、わたしたちの血の報復をなさらないのですか」すると、彼らの一人一人に白い衣が与えられ、それから、「彼らと同じく殺されようとする仲間や兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように」と、言い渡された。

小羊が第六の封印を解いた時、わたしが見ていると、大地震が起つて、太陽は毛織の荒布のように黒くなり、月は全面、血のようになり、天の星は、いちじくのまだ青い実が大風に揺られて振り落されるように、地に落ちた。天は巻物が巻かれるように消えていき、全ての山と島はその場所から移されてしまった。地の王たち、高官、千卒長、富める者、勇者、奴隸、自由人らは皆、洞穴や山の岩陰に、身を隠した。そして、山と岩とに向かつて言った。「さあ、我々をおおって、御座にいます彼の方の御顔と小羊の怒りから、匿ってくれ。御怒りの大いなる日が、既に来たのだ。誰が、その前に立つことが出来ようか』

もう名^{メジロマックス} 優^{アーン}もダメかもしれない。

本当に運命というものは意地悪だ。

「そんなことよりマヤわかつちやった。今のとぼめじろうにはギリギリが足りてない」

恐らく、この場にまともな精神を保っている人は一人として居ないのだろう。奇跡でも起きない限りは無理だ。

だから起こすよ、奇跡。

ボクが証明して見せる。ボクとマックイーン…いや、世界中のウマ娘がもう一度レースに向き合えるようになって。

今度の凱旋門賞…ボクはそこで、誰よりも先にゴールする。

覚悟しておけ、どぼめじろう。

絶対はボクだ。

永いあいだ、私は自分が生まれたときの光景を見たことがあると言
い張っていた。それを言い出すたびに大人達は笑い、しまいには自分
がからかわれているのかと思って、この蒼ざめた子供らしくない子供
の顔を、かるい憎しみの色さした目つきで眺めた。それがたまたま馴
染みの浅い人の前で言い出されたりすると、白痴と思われかねないこ

とを心配したこの世界での常識は険のある声で遮って、向こうへ行つて遊んでおいでと言った。

笑う大人達は、何か科学的な説明で説き伏せようとしたのが常だった。そのとき赤ん坊はまだ目が明いていないだとか、たとい万一に明いていたにしても記憶に残るようなはつきりした観念が得られた筈はないのだとか、子供の心に呑み込めるように砕いて説明してやろうと息込むときの多少芝居がかった熱心さで喋り出すのが定石だった。

彼は：1つの記憶、彼女達の汗の匂いを仮面越しに思い出す。

かつて英雄が居た地にて、香ばしい芝の匂いを肺に満たすようにして一気に嗅ぎ、そして昇華させたものを盛大に吐き出した。

「トレーナーを志す者にとって、トレーナーの本義とは何だ！ウマ娘を愛する事：ウマ娘を愛するとは何だ！ウマ娘を愛するとは、ウマ娘で過酷なオナニーをする事である！お前ら聞けえ、聞けえ！静かにせい！静聴せい！話を聞け！数多のトレーナーが、命を懸けてウマ娘で過酷なオナニーをしているんだぞ！それがだ！今根幹の魂がだ！今ここでもって立ち上がらなければ、精液（精神の液）が込み上げてこなければ、過酷なオナニーなんてものは無いんだよ！諸君は永久にだねえ、ただウマ娘と過ごすだけのウマシコ萌え豚勢になってしまうんだぞ！」

——フランス、パリ。某橋。

「Dobomejiro go！」

「H A H A H A : J e n e s u i s p a s D o b o m e j i r o !」

「N e d i t e s p a s d e m e n s o n g e s !」

男はそこに立っている。

正義の代償　ウマ娘ちゃん達の努力の結晶を呑みながら

―― 告げる。

ミシロギア
神話の先へ。

―― 私が殺す、私が生かす、私が傷つけ私が癒す。
過去という供物を聖杯に。

―― 私が手を逃れうる者は一人もいない。

満たせ、満たせ満たせ満たせ。

―― 我が目の届かぬ者は一人もいない。

不可能を打ち壊し。

―― 打ち砕かれよ。

レソントータル
存在証明へ。

―― 敗れたもの、老いた者を私が招く。

―― 顕現す理想は甘美なカクテル。

―― 私に委ね、私に学び、私に従え。

―― 傳かせてゆけ。

―― 休息を。

―― アリアンロッドの祝福を。

―― 唄を忘れず、祈りを忘れず、私を忘れず、私は軽く、あら

ゆる重みを忘れさせる。

―― そう、自我エゴイズムは此処ココに生まれた。

―― 装マカうことなかれ。

―― 乗せた方舟ふねの舵を取れ。

―― 許しには報復を、信頼には裏切りを、希望には絶望を、光
あるものには闇を、生あるものには暗い死を。

―― 未来とは、白紙に描かれた運命だ。

—— 休息は私の手に。貴方の罪に油を注ぎ印を記そう。

永遠の命は、死の中でこそ、与えられる。

—— 許しはここに 受肉した私が誓う。

禁断の果実を破壊せよ。

『—— “この魂に憐れみを”』

男はこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、教え子たちが近くに寄って来た。そこで、男は口を開き、こう教えた。

「しかし、私は言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」

これは、全部俺がやったことだ。だから…責任は取らなければならぬ。

成しうるものが為すべきを為すならば、為すべきは人にあり、成るべきは天にあり。

人の本性とは、中身ではなく行動で決まるものだ。

このままでは、俺はただのペテン師だ。

「あるえ？えつと…ちよつと待って。設定が上手くないかなあ…むん？ちよいタンマ。これ、声出てる？…こなくそ…ダメだ、わからん。誰だよ、もう準備なんて手慣れたものやからすぐ終わるやろ、とか抜かしてたやつ。全然10分で始まらんやん。うそつき、今日穴なウマ確定な」

・配信ちよい混みだた

・やだ

・どぼめじろうは配信しかやつちやダメ

・やだ

・（大穴も含めて色々な意味で）痛いもん

・罰だから

・イヤツ！イヤ…イヤツ！！フウ…ウンツ…

・おまたせ

・生存確認

・戦いとは、常に二手三手先を読むものだ

・焦らしたね…2度も焦らした！親父にも焦らされたことないのに！

・親父に焦らされる方が問題だろ羨ま4ね

・《回転寿司》挨拶ツ！おはよう、鼻の穴から血が出てきた。知らないうちにマチカネていたっぽい。パソコンのデスクに並べていた蜘蛛が床で潰れてた。栄養ドリンクから溢れ出た果汁でデスクがベタベタで、冷えたはちみーが黄色くなって固まってる。マチカネていた時に机に突っ伏していたからか、頬が引き攣るのも多分ニンニクのせいだ。一緒に、はちみつ薄め多めレモントツピング飲めればそれで良いよね？そんな…そんなさ、たったそれだけの望みだったんだよ。どぼめじろうと一緒にメリークルシミマスってゲラゲラ笑いながらバ券を吹き飛ばせばそれで良かったんだ。ただ、それだけだったんだ。タンホイザ冷めちやつた…。

・恵冷めちやつた、みたいに言わんといってもらて

・《MT》むむん!? 私は至って普通なんですけど!?

・もうお前普通降りろ

・普通な娘が普通を超えることを目指していたのに、なしてこうなった

・まあ元が普通ではないから仕方ないね

・お前のような普通な娘が居るか?

・《MT》むくん…

・美しい…これ以上の芸術作品は存在し得ないでしょう

・《お嬢》どうして太陽に一瞬曇がかかる様子はこんなにも綺麗なのでしょうか…

・《ガラスの重戦車》成程、リヒャルト・ワグナーとジークフリー

ト・ワグナー繋がりですか

・《これはびつくり》太陽の炎を即座にネタにするお嬢様に困惑するあたり…

・《熱血・風紀委員長!》何もかも乱しすぎっスよ

・《K・S・Miracle》ルビー…ヘリオスの時もそうだったけど、やっぱりこういうの良くないと思うよ

・《ゼファール魂》ステイツステイツまだだっまだだっ

・《Helios》…

・まーたウマ娘曇らせちゃったよ

・《オグリのグルメ》で、それは美味しいのか?

・《白い稲妻》何処からどうツツコミしたらええん…

・《EG》これが芸術…!

・《SS》待てゴア、お前が曇らせに走るのは良くない

・マチヴァーさん…

・いや、確かにマチタンはアイドル要素あるけどさあ

・有名人しか居ねーや!

・《暴君》アンタら大変っスねえ…

・《カワイイカレンちゃんねる》殺してやるぞオルフェーヴル(サボるな)

・《聖剣》さっさと来い

・カレンちゃんさんお疲れ様ですっ！
・カワイイカレンちゃん！
・駆け込み寺の日常
・気性難ホイホイ
・被害者の会総長
・実家のような安心感
・ウマ娘最大の英雄譚
・カレンちゃん、お姉ちゃんより目が死んでそう…
・ダメだこりや
・どうせお姉ちゃんはお姉ちゃんでこの配信を見ながら酒でも飲んでるに違いないだろうし…

・《どけ!!!私はお姉ちゃんだぞ!!!》正解

・私、タマモ苦勞スの気持ちがおほんの少しだけわかったような気がする

・この様子を見るに、落ちてたボールを勝手に拾って投げるのを辞めろって言ってた私達も同類になったんやなって

・玉座民のみんなには、悪いけど。抜け駆けで。次のトレーニング、いいのに入るから。ピカピカ光らして。そこで気持ち伝える。アंकとカップケーキど突き合ったことないから。びっくりするかもだけど。もうビタージュースを使うのを我慢できないから。まこーら、いつもありがとう。

・最後十種影法術隠せてないのウケるwwwホイッスルじゃないのかよwww

・そもそれチキンペコ

・チキンに合う食べ物といえばニンニク！

・ニンニクは全てを解決します！

・食べるたびに、脳が歓声を上げます！

・あーっいけません！ウマ過ぎてウマになってしまいました！困ります、困ります！あーっおいしー！

・ふうっ、ごちそうさまでした

・とても満足しました

・いいね、は今回の合計カロリーです

・ドビーめは、真の境地に辿り着いたんでございます…ドビーは悪い子！ドビーは悪い子！！ドビーは悪い子！！ドビーは悪い子！！（※お仕置き完了）

・《オグリのグルメ》ニンニクは味噌と合わせると美味しいんだ！ご飯にかけてもよし、お肉と一緒に食べるのもよし…ああ、書いているだけでヨダレが溢れて仕方がない

・《白い稲妻》たんと食わせてやるさかい、待つときや せやから、この配信を見るのそろそろ辞めにしよか

・まだ始まったもないのにこの有り様…治安悪すぎだろ

・朝から飯テロとはやりますねえ！

・《あげませんっ！》美味しそう…

・《L》ニンニク味噌に合うのは…そう、豚デースツ！

・《たんぽぽ》エル

・もう言葉はいらないか！言葉はいらないか！

・ケツ!?

・何が不回転か…

・クリークよりママしてるの芝生える

・《ママ》特定しました

・ヒエツ

・あーもうめちやくちやだよ

・そうはならんやろ

・ちよつとどぼめじろう真面目にやって！

・《Ms. c o p a》どぼう!?

・コパあ!?

・急にどぼどぼしてきたな…

・おいおい聞かれとるぞ。さあ、コパツとするのかしないのか、どつちなんだい？

・《Ms. c o p a》どぼう!!

・《ホツコータルマエ》そこはコパア!?!にしないでよ…

・《Ms. c o p a》コパア!?!

平常心だ：平常心を保て。どれだけ凄いウマ娘やトレーナーの本垢サブ垢諸々が来ようとも、この重圧に耐え切って見せろ。

「同志ウマンコフ、走れY p a a a a a a!!…んー? ポリクリトリガミビツグロックウー! ウマウマウマウマウマ娘エ!! ウマウマぴよい拍子ー! ウマウマぴよい! ウマウマぴよい! ウマウマウマウマウマぴよいびよいびよい!」

・出てるよ、すつごい出てる…出てるからお前もう黙れ
・『結界を閉じずに生得領域を具現化するのは空に絵を描くに等しい神業』を平然とやってのける男

・宿儺の術式が刻まれた瞬間、ノリノリで伏魔御厨子を展開する男
・「やって良かった死滅回游!!」を術式関係なく言える男
・全世界の人間とウマ娘に愛を教えた男
・宿儺よりも墮天している男

・「自身が核になればいい」で核以上の何かになった男
・言われてみれば一応逃げ道はあるんだよなあ みつを（ブラウザバック）

・《オマタセシマシタ》ナイスですね〜

・《Symboli Kris S》なんだこれは…たまげたなあ

・《Ephany》クリスエスさん!?! ちょっと、(その表現は)ま
ずいですよー!

・《Pui》誰かデープ呼んできて!

・《D.Tactics》呼ぶも何も貴女ですよ…デープインパク

・《会長》 え!?! 『はあもうダメだ…統合される宇宙する…ネオユニヴァースにフイイイイン!!』されてHeaven's driveしてDrives Highする!』や『出会って5秒で因子継承から10秒後には育成完了!20秒後にエンディングを見てから30秒後に結婚だ!40秒後には孫が出走している圧倒的なレコードタイムについてきながら走れオラア!!』を、これまでの人生でどうやって回避してきたんだ!?

・《シリウス》 私の脳にゴミのような情報を流すんじゃない!!

・《公式：メジロラモーヌ》 URA非公認小説のウマたしパロを知らない…だ…と…!?!くつ…早とちりをしてしまったようでござるな…失敬!ドヒューン

・《パマちゃん》 ダメだ…今笑ったら殺される…!

・《乗るなエース!》ここだけ笑ってはいけない24時間催されてないか?つてか、やるなら『マー』だろ

・《マイルの皇帝》『マー』はもう勘弁してくれ

・せめて『《魔性の青鹿毛》』とかのサブチャンネルで来てくれよ…
心臓に悪いわ

・《NEOU》 ネオネオネオネオネオネオネオネオネオネオ

・《勝つメンテ》ドウラドウラドウラドウラドウラドウラドウラドウラドウラ
ラドウラ

・あーあ、ウマ娘壊れちゃった…w

・いや実際この様子だともう公認待ったなしやろ

・これにはデムちゃんも思わず最敬礼

・ルメ様この惨状をウマッターもといXXで拡散しているみたいなんだけど大丈夫なんか?

・親の顔よりみた楽しメール

・《黄金旅程》初カキコ…ども…。私みたいな中3でグロ見てる腐れ女郎、他に、いますかっていねーか、はは。今日のクラスの会話、あの流行りの曲かっこいいとか、あの服ほしいとか、ま、それが普通ですわな。かたや私は電子の砂漠でオタクを見て、眩くんすわ。 it
a true world. 狂ってる?それ、誉め言葉ね。好きな音

樂は『M.S. VICTORIA』尊敬する人間？勿論どぼめじろう
(本ガイドライン違反行為はNO)なんつつてる間に16時つすよ
(笑) あゝあ、トレセン学園生徒の辛いところね、これ。

・《DJ》うっせえわ

もろもろの民よ、これを聞け。

すべて世に住む者よ、耳を傾けよ。

低きも高きも、富めるも貧しきも、共に耳を傾けよ。

我が肉体よ、どぼめじろうとしての務めを果たせ。

「や、ウマ娘ちゃん。久しいね」

・おいゝゝゝ(現地フランス時刻にて) 7時56分になりましたあ

・有馬(有馬記念)も終って3ヶ月ぶりのどぼめじろうだあゝゝ

・さあ、今日はですね、フランスに行っています

・ええゝフランスに行つてましてですね、ええスレッドに書き込み
がありました

・ぜひ、どぼめじろうさん遊びに来てくださいエヘッ

・練習の時間に配信だとオオ”オ”オ”オ”オ”オ”オ!

・まさかほんとに来ると思つてなかつただろうゝ逮捕してやるう

ウウウウウンスウー

・うゝうゝにいゝゝコラああああああ!!

・キヤアアアアアアアアアアアアアアアア

・なにやっただ〜〜〜!!なにやっただ〜!

・なにやっただ〜W WなにやっただああW W Wほげええええええ

ええW W W W W

・なーにやっつてんだあ! 配信の時間だぞウ! エエ?

・○※□? ☆来ちやつた

・何イ?

・観たいけど来ちやつた

・観たいかったら部屋でパソコンを見るオー!

・キャプチャしているから大丈夫(ニッコリ)

・録画じゃなくて生配信を見ろ! トレーニング中止イ〜! 走るの中止イ〜! (両手を振りながら)

・《ワガハイちゃん》何で見てな、うまそうじゃないデスカあコレエ

・あスイマセンはちみーコレ? はちみー?

・《フラン最強》(片手を差し出し) スパチャ・ 269・ 15

・お金え? お金じゃない、それよりも配信を観ろって言うてんだよ

! 何で観てないんだよ配信をヨオ

・いいじゃん、いつも観てるいつも観てる

・見なくてもいいじゃん♪ って、ふざけるなあ〜!

・どぼめじろうの時間だああああああW W W W W

・《後光》うおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお68

29*3517*090

・草

・草

・芝7300

・勢い強すぎて草

・その電話番号かけてええんか?

・《SS》かけても良いけど、そいつヘイローだぞ

・どぼめじろう以上にヤバイやつじゃねえか

・イカれた罫にも程があるだろ

・ふざけるな……ふざけるなッ! 馬鹿野郎ッ!!

・草

・ゲスミンが恋しい
・どぼめじろうに女が出来れば良いだけだろ
　　・…やだ！そんなの嫌だ！どぼめじろうに女出来るだなんて！一
生私達だけを想って欲しい！私達が走らなくなった後もしばらく…
10年以上は引きずってほしい！！
・本当に気持ち悪いよ…

主人に従え、とまでは言わない。だが、敢えて言うなら…

仮面を被れ。

情報を支配しろ。

「はい…というわけで、どんもく。ボチボチやっていきたいと思いま
す。ちなみにこれは録画なんですけども」

・そうね
・ですね！
・ですが
・でした。
・ですので
・ですわ！
・デース!!?
・でちゆね
・嘘だ！

・それは魂のやすらぎでもある

・まごころを、君に

・仮にどぼめじろうが分子レベルで分解され、肉眼で確認できないほど小さな存在になろうとも、万人はそれを「どぼめじろう」だと認識することができるだろう。

・将来、国家の機密を扱う立場になることを確信していた幼いどぼめじろうは、誰に教わるでもなく、寝言を暗号化するようになっていた。

・どぼめじろうの最終学歴が幼稚園なのは、産声を上げると同時にこの世の全てを理解してしまったため、これ以上学ぶことがないからである。

・情報を何一つ掴めないCIAをあざ笑うかのように、どぼめじろうは顔出し配信で口座番号を公開し、ウマ娘の為に資金を募った。

・オタ活中、金欠になったどぼめじろうは「ちよつとATMで金おろしてくるわ」と言って大國魂神社の賽銭箱に手を突っ込んだ。

・神は自らの姿に似せてどぼめじろうを作り、余った粘土でアダムとイヴを作った。

・ギリシャ出身の全能神ゼウスはギリシャ神話に登場する複数の神を束ねており、故にそれを数々の神に自慢していた。それを横目に人參を持った日本出身のどぼめじろうは数多のウマ娘を従えゼウス神殿へカチコミに向かった。結果は瓦礫を見るより明らかである。

・どぼめじろうが「世界を滅ぼす」と宣言した。人々はパニックに陥り、世界中からどぼめじろう排除の声が上がった。やむなく政府は核の使用を決断。程なくして「目標を殲滅した」とのテロップが画面上を駆け巡った。人々は安堵した。ふとカレンダーを見ると4月1日であった。彼らはようやく彼のジョークを理解した。

・《白い稲妻》：いや、互いに怠惰な労働者レベルでテキトーなことを言うだけの放送になつとるやないか！

・《オグリのグルメ》タマ、落ち着け

・《白い稲妻》落ち着いてるわアホオ!!

・オグタマてえてえ

・しゆぎ……♡
・んゝんゝんゝん……………ふう……………
・掛かっているのかもしれない！冷静さを取り戻せるといいのですが！

我慢だ…末脚を溜めるようにして我慢をするのだ。

「それと…ごめんなさい。ここに沢山集っているウマ娘ちゃんには反応出来ないかもしれません。本当は、あの頃が恋しいけれど、でも…今はもう少しだけ、知らないふりをします。私の作るこのコンテンツも、きつといつか、誰かの青春を乗せるから」

- ・英断
- ・永久名誉トレーナー
- ・これに関しては真面目に正解
- ・てんちやい
- ・正解正解正解正解!!
- ・有能
- ・無能かと思いきや周りまわって有能
- ・助かるゝ
- ・これは大卒
- ・恋鐘様スタイルキターー(。▽。)(。▽)(超)(。)(絶)(
- 大(。(興(▽。(奮(。▽。(ーキタヨー!!!!!!!
- ・キヤーツ！恋鐘様ー!!
- ・800万ぼっち達成おめでとう

・レッドブルの生放送配信記録軽く塗り替えてて翼が生えて来そう
ひよえええく!!

・世界のGTOも超えてて芝

・抱いてく!いや、割と切実に抱かないでく!

・お前が人間国宝おおおおおおお!!

・ど・ぼ・う!!

・ど・ぼ・う!!

・D・B・U!!

・ど・ぼ・う!!

・ど・ぼ・う!!

・ど・ぼ・う!!

・D・B・U!!

・ど・ぼ・う!!

・D・B・U!!

・ど・ぼ・う!!

・ど・ぼ・う!!

・ど・ぼ・う!!

・熟アツチ側の人間だなあ、と…ぼかあ思うんだよなあ

・《マヤちゃんチャンネル》やはりどぼめじろう、お前にはギラギラが
足りてない

・《ウマスポ》腹くくる◎

・マヤノ辛辣で芝

・トレーナーソウル降りてきてて芝 正体現したね

・つてかトレーナーだよね?それトレーナーだよね?

・2人の引退後の仕事、確実に決まったな

・マヤちゃんもトレーナーも御大タイプだからな

・エゴだよ、それは

・まあ、800万人超えている中でウマ娘全員を対等に扱う…なん
てことは不可能やからな

・寧ろこれが対等まである

・やっばどぼめじろうは良くも悪くも人間なんだなって

・いやはや、どぼめじろうが人間で良かった
・流石にこんな状況はウマ娘マスターでもないが無理やしな
・でも、どぼめじろうならやってくれるでしょう！
・つてかそれが出来ないってことはこいつ偽物じゃね？
・やっちゃんよ！そんな偽物なんか！
・偽物の1人くらい獲っても：バレへんか
・もうマサラタウンにサヨナラバイバイしないとな
・さよならを教えて
・とりまどぼめじろうは、未来永劫そのままシンガポールに消えて
ろ

・去ね

・そして配信も辞めて恋鐘として作品を作り続ける永久に

・獄門疆という名のモンスターボールが欲しいよな

・どぼめじろう「私はいつ休めるんでしょうか」

・変わっちゃまったなお前

・偉くなつたらすぐこれだ

・むかつくのだよ、偉そうな奴と、偉くないのに偉い奴が……イ

ヤ……もう、むしろ好きだな

・有名人になつた途端に露骨に態度が変わるとか失望しました、テ

イオーのファン辞めます

・やれやれだぜ

・んにやび……よくわかんなかったです

・開けろ！んにやび警察だ！

・良くも悪くも成長はしたが……それはそれとして、抱かれたくない男ランキング1位に選ばれたことについてはどう思われていますか？

「Q：1人だけ会話ができるとしたら、どの人にどんなことを聞きたいか？A：どぼめじろうと話したいですね。ふざけてんじやないって言いたいです」って言われたことについてはどう思いますか？

・残念すぎるイケメンとして名が上がっている件についても一言お願いします！

・寧ろまだブサイクだった方がマシだった、という声もありますが
どのように感じていますでしょうか？

・『ブスなのに足速くて芝』の対義語として『男なのにどぼめじろう
なの草』という表現が生まれたことについてはどのように考えておら
れるのでしょうか？

・どぼめじろうに恋をしたら負け、というスラングも存在しますが、
そのことについては是非コメントを！

・それとは別に、どぼめじろうを好きになった方が幸せになる…と
いうジンクスまでありますが、どう対処していくおつもりなのでしょ
うか？

・ 一歩先の悪意どころか悪意そのもので芝3000

・ ベガ泣いてない？ いやベガ可愛いから大丈夫だと思っけど…

・ まだマスコミの方がマシで草

「頭が高いな」

・ o r z

・ o r z

・ o r z

・ o r z

・ o r z

・ 誰の頭がデカいつて!?

・ o r z

・ o r z

・これがどぼめじろう…メジロマックイーンとは異質の強さ、圧倒
的邪悪…!!互いの一挙手一投足が全て犯される原因になりうる恐怖
…!!

実るほど頭を垂れる稲穂かな

・ o r z

・ o r z

・ o r z

・Orz

・バイブス上げてこー！お兄さんテキーラ追加あ！！

・どぼめじろうと握手を交わした大統領は帰国後、肘から下がなくなっていることに気づいた。

・つてか、いつにも増して普通だな

・…あれ？耐えてる

・かなり日数が経っているのに！ウマ娘ちゃんが沢山居るのに！あのどぼめじろうが耐えている！

・どぼめじろう濃度うっす、体調悪いんか？

・うっす、体調悪いんか？

・このこのネット空間、以前よりも綺麗になりすぎているんじゃないかあ!?

・うっす、どしたん？

・うっす

・うっす

・うっす

・インドネシア高速鉄道「ウツス」

・これが新しい大東亜共栄圏ですか

・《希望のシチー》アキオチャンだよ！

・ねっ、言っただでしょ？

・新世界秩序

・これが『New World Order』なんだってこと？いい？

・その準備と覚悟をしなければいけないんだってこと

・グレート・リセット

・じゃあSiriに聞いてみようか

・Xデーがやって…来ちゃったよね！もうこれ来ちゃったよね！もうこれパンドラの箱開けちゃったよね！なんで皆気付かなかったのってこと！

・もうこれ完全にヤバクスゼイアンだよ

・どぼめじろうの視聴者はもうここまで来たんだよ

- ・情熱が止まらないよね！
- ・新時代の幕開けなのです
- ・舐めやがって…
- ・SNSに余計なことは書くな
- ・《させしる》船の上からナマステですよ（ガチ）
- ・《フラン最強》お茶の間から助けてですよ（ガチ）
- ・フハハハハ
- ・なんだ感謝ですよ
- ・これがチャネリング…！
- ・ウマ娘に節度を保って接していただけますか？w
- ・愛を知っていますか？w
- ・ちゃんと自制してて偉い

「死ぬ、バカ。そういう奴らが嫌いなんだよ。ウマ娘は可愛いしカッコいいから応援するの。ちゃんと自制しているから偉いという考えがダメなんだよ。自制してりや偉いつて、お前らが勝手に愛に蓋をしているからそうなったんだよ。ウマ娘には全力で応援するべきなんだよ。その応援こそが大事なのに、お前らがウマ娘に「勝利を信じるか、信じないかはアナタ次第です！」だの「ちゃんと応援して」だの言うからバカなんだよ死ぬバカ。マジで死んだ方がいいよ。お前らが煽ってたんだよ。本当死んだ方がいい…ふふっ……んふふっんッ!!!……ん…ん…んッッッ!!!」

- ・ホントクソな質問だよな。
- ・お前死んだ方がいいよ。
- ・ウマ娘の作品をアップしてるのはウマスタで「レースの面白さや美しさ、残酷さ、そして勝利の嬉しさ」を広めたいからってんの見てわからない？
- ・お前クソ？

・そもそもふつうにオタ活は好きだからたくさん創作として作っているけどウマスタでそれをアップしてもクソの役にも立たねーだろ。

・それを創作とかを子供の頃嫌いだっただろうお前みたいなやつらに邪智されたくないね。

・俺はかつこいいウマ娘を子供の頃からたくさん見て聴いてむしろオタ活よりウマ娘の方が好きだった。

・それは知ってるウマ娘が創作より綺麗だったからだ。

・それを良薬口に苦し的な文脈でちゃんとしたオタ活した方が良いでしょうよって上からマウントでクソコメント送るなボケ。

・二度と来るな。

・ハローウマチューブ

・「節度な愛を心掛けて」って言うてくるやついい加減やめろ！

・ということ、いつてらっしゃい

・どんな誹謗中傷よりもこれでブチギレるのガチで草

・ってか我慢出来ず笑ってるやんけ

・もう限界訪れてるのやばいって

・このネタには即反応するの野菜生える

・みえるちゃんじゃないんだからさあ…

・定期的にやってほしいけどやってほしくない

・なんだろう。。。

・これ絶対なんか施されてない？MKウルトラ計画とか

・マックちゃんウルトラ好きになる計画ですわかります

・ハッピーで埋め尽くして

・努力 未来 A BEAUTIFUL MONSTER

・いやマンハッタンカフェ計画かもしれんぞ？

・そういうネタはクロノジエネシスが大泣きするからやめーや…この前だって、トレーナーが量子力学の本やら日本の神様の本やら買ってきたんだけどって、ウマッターで愚痴ってたんだし

・マジモンのこの世の終わり系ウマチューバーウマミナTじゃん

・TってトレーナーのT…ってコト!?

・これも全部フリーメイソンが悪いから、まあ多少はね？

・わかった…じゃあプランBで行こう…プランBは何だ？

・あ？ねえよそんなもん
・お前：人間に戻っちまったのか？
・人生RTA辞めたの？
・どぼめじろうが人間に戻るとか、明日世界滅ぶやろ
・もしかしたら隕石が降ってきてくるかもな
・日本からいなくなってくれてありがとう
・フランスに追い出して正解だった
・橋で「Dobomejirogo！」って言われててガチで笑った

・お前もう日本に帰って来いよ：いや、やっぱ帰ってくるな
・どぼめじろう「??」目パチパチ
・我々はどうぼめじろうを受け入れる覚悟がある。もう一度言おう、我々はどうぼめじろうを受け入れる覚悟がある。：いや、やっぱ無いわ。すまんがそのままフランスに居てクレメンス！
・どぼめじろう「なんなんだよその心遣い（笑）」

「ふっふっふっ、互いに人は成長するというものよ。ふっふっふっ府中市日吉町1-1、京王線『府中レース場正門前駅』から専用歩道橋にて正門まで徒歩約2分、京王線『東府中駅』南口から東門まで徒歩約10分、JR武蔵野線／南武線『府中本町駅』臨時改札口から専用歩道橋にて西門まで徒歩約5分ふっふっふっ」

- ・ドフラミンゴも居ます
- ・今は亡き福井レース場かな
- ・福井県府中市
- ・石川県とか金沢レース場でもなくあくまでも福井県
- ・ドレスローザ福井県
- ・デイリー達成
- ・【速報】XXのトレンドに福井県が載っている件について
- ・フラミンゴじゃないんかい
- ・フラミンゴってシービークロスの人に教わっていたあのフラミン

や、サンジと比べる方が遥かに失礼だったわ

・Dの意志でニカツ！つとなつた、この世で最も自由な男『どぼめじろう』（ドンツ!!）

「オウフｗｗｗｗいわゆるストレートな罵声キタコレですねｗｗｗｗおつとつとｗｗｗｗ拙者『キタコレ』などといネット用語がｗｗｗｗドプフォｗｗｗｗついマニアックな発言をしてみましたｗｗｗｗフオカヌポウｗｗｗｗ拙者これではまるでオタクみたいｗｗｗｗ 拙者はオタクではござらるのでｗｗｗｗコポオ」

・んなことで誤魔化そうにも、過去最悪のオタクであることに変わりはないから無駄だゾ

・弁明の余地はないからな

・一年前と何にも変わってない

・まるで成長していない…!!

・敗戦国の末路

・陰の実力者になれなくて

・フラグ回収早すぎるンゴ

・オタクちゃ…オタクくんさあ

・こいつが本当に男なのか未だに疑ってる自分が居ることに驚いたんだよね

・下からガツツリお願いします！並にうまだっちしてたのに、何でこんなに残念だと考えてしまうんだらう…

・男として見れない、とか見たくない

・イケメンなのに、心が叫びたがってないんだ

・ほらな…勃てねえ（心のうまだっちセンサー）

・もうやめましょうよ！もう有性生殖やめましょうよ！

・あはっあはっ

・こんなになっちゃった…

・たはは

・なっちやっただからにはもう…ネ…

・ネタに走らないとこつちもどうなるかわからない分そこは安心して
る

- ・変声機が使われていなければ私達は既に死んでいた
- ・かくいう私達もネタに走らないと正気を保てないんだよなあ
- ・3歩後ろを歩かれへん男は背中刺されて死んだらええ
- ・そういやこいつつてもういっぱい大人のなんやろか
- ・どうやら、本人に直接聞いてみよか
- ・いや、どう考えてもあの鼻血を見るに明らかやろ…童帝や
- ・それつてさあ！つまりどぼめじろうはバキバキ童帝なんだ…つて
コト!?

・童帝なのに犯したくない、犯したいと思つたら負けだ、と感じる
男は初めてだよ

- ・やっぱりどぼめじろうの童帝は貰いたくはないかな
- ・貰う前提で話を進めるの止めてもらつても良いですか？
- ・それつてあなたの感想ですよ？
- ・なのに、肝心の本能はというと…
- ・それ以上はいけない
- ・クソが…あのクソ野郎…ウマ娘だの責任だの吠えてた奴
が…今までの諸行…あれ…手加減してやつてたのかよ…て
めえ相当やべえだろ…体が動かねえよ…お前は本当に優秀な奴
だった。どんな時でも冷静に大局を見て…自分よりウマ娘のこと
を一番に考える奴で…私も貴方みたいに強くなれたらいいな…
とか思つてたつけ…なあどぼめじろう。今お前がどんな顔してん
のか知らねえがお前は本当にクソ野郎だよ。多分…人類史上こん
なに悪いことした奴はいねえよ。消さなきゃ…てめえはこの世に
いちやいけねえ奴だ。一体何考えてたんだ？本当に気持ち悪いよお
前の正義感に溢れたあの面構えを思い出すだけで…吐き気がして
くんだよ。このでけえ害虫が。私が今から駆除してやる。

・結論、キミ…死刑ね！

- ・あの様子だと、ウマ娘どころか人と喋つたことも無さそうだよね
- ・ウマ娘のヒーローがどぼめじろうなのは割と嫌だな

・やはりぼつちなのでは？ボブは訝しんだ
・ぼつちくんつてすぐ調子に乗っちゃうよね

・Q・アナタにとってどぼめじろうとは？

・師匠！師匠が居なかったらレース勝てなかったかも！でねでね…
・一応恩人です、一応…それから、これは私に限ったことではない
ですが…

・しよーじき、アタシそこまで知らないのよね…ただこれだけは
言えるわ

・バカ

・ボケナス

・変態…でも

・軽薄…個人主義…

・言うまでもなく

・ぼつち

「ウマ娘ちゃんと喋ったことは殆どないけど空に向かって話しかけたことは何度かあるゾ。ポはいつも孤独を感じるとベランダに行つて青空を見るゾ、この青空の青色がパソコンの色では味わえない自然の色だからいいゾ、これ。夕陽を見るとポは涙が出てくるんだゾ、涙で目がかすんだまま夕日の光を見ると、そこには夢と希望で毎日が楽しかったポが見えるんだゾ。毎日、空を見てて飽き飽きしてたあの頃に戻りてえなあ」

・ウィークリー達成

・大魔神並みの緩急で草

・ネットで生まれ、ネットで育つたどぼめじろうはネットより外の世界を知らなかった。ある日、彼に興味を持った学者がチャンネルを訪れた。0と1の電子空間を前に学者は尋ねた。「空は何色だと思えますか？」少し考えて彼はこう答えた。「空って何ですか？」学者は涙を流しながら、空の雄大さについて語った。

・《B?βλo》《》ジェンテイルさんと変わらない直球勝負からのこ

の落差：シユヴァちの判定は!?!?

・《マリリン・C》キレ○高低差200m○安定感○150km/h
セーブ数381奪三振率14.85

・《B?β&0》大健闘すぎる…：流石どぼち!

・《頂点》厳格ヴィルシーナと過保護ヴィルシーナにも通じるものがあるわね…：流石どぼめじろう

・待て3姉妹!? 一体全体何のことだ! まるで意味がわからんぞ!

・どぼめじろうはアオシマバクシンオーだった…：つてコト!?

・ゴリウーのストレートは確かに速そうだよなあ(白目)

・大魔神が見たら悲しむよ

・どぼめじろうの威圧感に負けてんじゃねえよ

・リアルパワプロ対決はどぼめじろうの勝利に終わったか…

・ヴィブロスの「ざあこ♡ざあこ♡」はいずれどぼめじろうに効くようになる、と信じた結果がこれか…

・カレンチャンであれだもんな…：鎮静化どころか活性化しちまったし

・やはりメスガキは雑魚、はつきりわかんかね

・なんかこのメスガキ雑魚くね?

・ざこざこざこざこざこざこざこつ!

・《頂点》全力でお姉ちゃんを遂行する

・神をも超えた魔神だ!?

・マジン・ザ・ハンド

・大魔神の食卓

・ザナルカンド流れてきた

・てーん

・どぼめじろうは幼少の頃、少しでも多くの人を救おうと熱心に赤い羽根募金を続けた。最初は1枚だった羽根が10枚、20枚と増え、二十歳を迎えた頃には大きな翼となっており、彼は大空を舞っていた。

・特に意味はないですが、おめでとうございます

・世界の皆さん申し訳ございません、私がどぼめじろうです

・ジャカジャカジャン↓ジャカジャカジャン↓ジャカジャカジャン↓ジャカジャン↓ファンタダー!!レベルの流れに思わず見逃し三振

・バカサバイバー!!く舞い上がれくってか

・つてかお前、フランスで自称恋鐘のファンって名乗ってたウマ娘と会話してなかったっけ

・そーいやそーやっただな…確か、フランスの空港で…だったっけ?

・あつ…(察)

・初手から空港ネタぶっ込んで行くか?

・ソレハキンダンノワダイダー!

・皇帝ペンギン1号も泣いています

・ある日の事。恋鐘を信仰する信徒達は、恋鐘が手がけた作品を大事に持っていた。彼らはどぼめじろうの存在を知った後、大事に見ていた作品を読むのが馬鹿馬鹿しくなり、作品でお尻を拭いた。

・——最早、両者の力の差は歴然。

・——その戦いをライブ配信越しに見守っていた誰もが、確信した。

・ヴェニユスパークの勝利を。

・「や」「うつわ」「ぎけんな最悪だよ」「失礼だな、人の顔を見るな」が現地で起こったという驚愕の事実

・理事長!!ウマ娘に後悔のない死なんてないんじゃないやなかったんですかあ!?

「ああ、ヴェニユスパークじゃなくてトレヴね。つてか、変装がどうか関係なくわかるもんやろ」

・「だが、俺の魂がそれを否定してんだよ!」つて言つて初見で見破ったバカ

・トレヴの努力を返せ

・どぼめじろうの為に自分の部屋をわざわざ汚部屋にまでしてヴェニユスパークになりきったんだっけ

・可哀想は可愛い

- ・ あいつに！恋鐘にやれって言われたんです！
- ・ 凱旋門賞を勝つよりどぼめじろうを騙す方が難しい可能性微レ存
- ・ どぼめじろうアンチが敗れた瞬間である
- ・ 恋鐘の作品で日本語を学んでいたツケ
- ・ 恋鐘のファンとしては100点の動きだからヨシッ！
- ・ ヴェニユスパークに感情移入したトレヴの自己責任とはいえ、

やっぱりどぼめじろうが悪いよどぼめじろうが…

- ・ 因果応報
- ・ 最も容易く行われるエゲツない行為
- ・ 雑穀との格の違いを思い知らされたな
- ・ 《雑穀》呼んだ？
- ・ 出たわね
- ・ 早速黒い刺客のお出ました
- ・ ライスが世界で1番…強くて速くてカッコいいってことなんだよ

！

- ・ お姉さまあ!! (フルフルニイ)
- ・ ぜ、ぜんぶ、こぼれちゃったwww
- ・ 鬼！悪魔！雑穀！
- ・ 《雑穀》失礼だな…純米だよ
- ・ 大大大大好きだヨオオオオオオオオオ!!
- ・ そう来るか…女たらしめ！
- ・ まさに外道…！
- ・ 雑穀最強！最高！
- ・ …悪魔がよお！ライスをよお!!雑穀に変えるなんてよオ!!んな

事あ許せねえよなあ!?

- ・ 闇堕ちまでさせやがって…ぐちゃぐちゃにしてやる…！
- ・ お前さつきからチラチラ見てただろ
- ・ 《雑穀》見たけりや見せてやるよ (震え声)
- ・ お前らの妹だろ、なんとかしろよ
- ・ どぼめじろうの最高傑作
- ・ そもそも呼んでねえ

・《雑穀》なんだとお…!?

・これは鬼が宿ってますわ

・臯月賞ブルボンが勝つところ見たいなく(チラツチラ

・さてはオメーもどぼめじろうアンチだな?

・《雑穀》兄貴を嫌いになる訳ないだろ

・《bourbon》流石ライスさんです

・正直に言って雑穀は臯月賞に出ないで欲しい

・マジでそれな

・そういうの求めていないんだよねえ

・《雑穀》私がレースに出ると皆が悲しむからよく。次のレースお休みしちゃおっかな〜!

・《bourbon》走りなさいライス

・《雑穀》あ!私に負けるブルボンさん!しょうがねえなあ!イイヨツ!

・※ライスシャワーは事前にミホノブルボンに許可を貰って一連の作業を行っています

・どぼめじろうと違って良い子すぎるでしょ

・ライスシャワーのあたふたした様子が見れないのが残念だ

・絶対「ふえ〜!」って言ってる

・っつか言ってた

・少し前、限界が訪れて「ふえ〜!」って言ってた映像見て、イケナイ扉開きそうになった。私お姉さまかもしれない。

・耐えきれないのクツソかわいいい〜!!

・わかるマン

・どぼめじろうの視聴者はどこまでいっても愉悦部しかいねえのな
・仲良くなっただきっかけがどぼめじろうなのが、誠に遺憾です

・頼むから私達の妄想であつてくれ、が心の底から漏れた瞬間である

・呪いが人を生かす事もある、ということを書いて知らされた一件であつた

・それにしても、トレヴの絶望しきった顔…あれは実に見物だった

な

- ・まさにお見事、感服した
- ・感動：致しました!!
- ・私女だけど、正直に言っただの泣き顔は興奮した
- ・どぼめじろう「あっぱれだトレヴ」
- ・視聴者「いいぞトレヴ♡ほら♡がんばれ♡がんばれ♡」
- ・お前らそんな器じゃないだろ
- ・でもどぼめじろうからは良い匂いがするんだって？
- ・はいゲノムハラスメント
- ・恋鐘もといどぼめじろうは人の心とか無いんか？

「どうした、笑えよ」

- ・なんで頭に縫い目が無いの？
- ・ああ、どこまでいってもこいつは呪いなんやな
- ・高羽以外に縄索に抗える唯一の男
- ・言うなれば魂の共鳴!!
- ・縄索以上に真っ先に北へと走り出す男
- ・とりあえず北へ向かって走った後、走りながら考える男
- ・一周回って南へ辿り着いたとしても、何だかんだ言っただけ北を目指す男

・こんな人ですが、「文乃お：優雅あ：ユーイチイ：星姫い：星姫い！私達には皆名前があるのだ！」とトレーナーもネタにして弄つていた過去があります

- ・顔に書いてあるぜ：笑わせてみる、と
- ・独りよがりなんだよねえ：もう少しお客さんを意識してネタを作つて下さい。お疲れ様でした!!
- ・やっぱどぼめじろうはあぶない！
- ・ちよつと勘弁してよオツ!! 法律が許すならオメーの命なんてどーでもいいけどさあツ！あたしを性犯罪者にさせる気イッ!?
- ・まあ、これに関して言えばどぼめじろうが10：0で悪い

・だって君、薬ヤツてるようなものだもんね

・中の金魚瀕死どころか既に召されてますが!?金魚さん!聞こえてないかもしれないですけど病院に着きましたからね!除細動、君に決めた!!のノリが平然と行われてワイ困惑

・現代医療の限界を超えてしまった人がどぼめじろうなの、なんと
いうか:そういう運命なんだなって思えるようになったわ

・「めっちゃ凹んだから、私のことが好きでたまらない男の人を集めて」「どぼめじろうが居るじゃん」「男の人を集めてって言うてるじゃん」「嫌でくくくす」「なんだあテメエ!それが男を求めている人に対する態度か!!」ってネタにされて良かったね

・どぼめじろうは男じゃなかった:ってコト!?

・こんなことをしている間にも、私達の脳には着実にダメージが蓄積していつているという事実

・世界で最も醜いウーヴェルドーズ

・Overdoseの綴りが同じだからってそれは禁句ネタ

・ブダペストの弾丸に対する熱い風評被害に涙が止まらない

・これには三女神様もしょんぼり

・ウシユバテソ一口はにっこり

三女神様がしょんぼり?ハッ!笑わせるな。

彼女達はいつだって、飛び切りの笑顔を向けているんだ。

神は御霊なり。故に神を崇める者は、魂と真理をもって拝むべし。

そのことを、彼女達は知る由も無いだろう:んがーっはっはっは!

勘弁してくれってんだ、すつとこどっこい。

「始祖の教徒はやればできる。できる子たちなのだから、うまく行かなくてもそれはあなたのせいじゃない。上手くいかないのは世間が悪い。自分を抑えて真面目に生きても、頑張らないまま生きても、明日は何が起こるか分からない。なら、分からない明日の事よりも、確かな今を楽に行きなさい。汝、何かの事で悩むなら、今を楽しく生きなさい。楽な方へ流されなさい。水のように流されなさい。自分を抑えず、本能のおもむくままに進みなさい。嫌な事からは逃げればいい。逃げるのは負けじゃない。逃げるが勝ち、という言葉があるのだから。迷った末に出した答えは、どちらを選んでも後悔するもの。どうせ後悔するのなら、今が楽ちんな方を選びなさい。悪人に人権があるのなら、ニートにだって人権はある。汝、ニートである事を恥じるなかれ。働かなくても生きていけるなら、それに越した事はないのだから。汝、我慢をする事なかれ。飲みたい気分の時に飲み、食べたい気分の時に食べるがよい。明日もそれが食べられるとは限らないのだから。汝、老後を恐れるなかれ。未来のあなたが笑っているか、それは神ですら分からない。なら、今だけでも笑いなさい!!なぜなら俺は始祖の三女神を信じている!!うおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお!!スズカの胸はパッド入り!!!」

・ うおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお!!

・ うおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお!!

・ スズカの胸はパッド入り!!!
いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい!!

・ うおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお!!

刑死刑死刑死刑教育死刑

・めじよまつきーん!

・愛が重バ場

・ある時、神は罪に重さを与えた。地球上の生命はその重さを体で支えることができず、ただただ潰れるのを待つばかりだった。そこに愛を持って余したどぼめじろうが現れた。彼は罪のほとんどを肩代わりし、背負いきれなかった罪を全生命に均等に分け与えた。これが重力の誕生である。

・《M i c k e y ↑ ? 》ハハツ

・唐突にもらった「貧乳弄り」

・予想外の「壁」

・特に理由のない暴力がマックイーンを襲う——!!

・《M i c k e y ↑ ? 》オペさんの胸を盛るな オペさんの胸を盛る

な

・自信に溢れるその言動 だけどお胸はそこまでない

・霸王世代で一番小さいけれど その小ささでギャップ萌え

・B76を忘れるな(忘れるな) 盛ろうとする者に鉄槌を(鉄槌を)

・それでも盛る絵を見かけたら いざ奮い立て若人よ

・(間奏)

・《プボ》ああく ちよつとだけオペさんの胸を盛るのもいいかもしれない

・だって霸王だもの B80前半くらいまで盛ってもバレはしない

・何ならアストンマーチャンくらいまで盛ってもいい

・オペさんに乳を盛れ(乳を盛れ) オペさんに乳を盛れ(乳を盛れ)

・ああ われらがパイオツ高校

・ガブウ!!

・ガブウ!!?

・《おばあちゃんの素》夢と感動をありがとうだねえ…

・《世紀末霸王》いやまだ僕死んでないよね?ピンピンして生きているよね?

・魔王には霸王をぶつけるんだよ理論

・愛ほど歪んだ呪いはない

・ウツ…

…そう考えるとマッククイーンは勝ちすぎて退屈とか言われていたしオペラオーは世紀末霸王だしで意外と共通点あるのかもな

…：デープも小さく

・どんぐりの背比べ

・背中が2つあるもんな

・まな板にし…まな板にしようぜ！まな板に！まな板にしたら！まな板にしようぜ！かなりまな板だよコレ！

・前が壁…？

・ユーイチイイ!!

・どっちだ？

・怒られた方のユーイチやろ

・どっちや…

・ユイちゃんやで

・真面目にどっち？2人とも名前が『唯』だからわからん

・岡安アナ並に鼻肩しているの芝3600

・「メロディーレーンに集中していたので勝ちウマ娘がどうだったかわからない」レベルに鼻肩しているのは事実なんだよな

・限界オタクなのに片やプロの実況者、片やネットのおもちや…世界は残酷だぜ

・「あっ（歓喜）シロニー！」「あっ（歓喜）妹のタイトルホルダーと2ショットチャンスですね！」と同レベル扱いされているとかアナウンサーカワイソス

・なんで恋鐘がどぼめじろうなんだよ

・教えはどうなってんだ教えは

・お前ら禁じられた愛に平気で屈してんじゃねえか

・分かってんのか!?

『どぼめじろう』が生まれたのはウマ娘がチャホヤさせたせいだろうが

・金（防衛費）取んのかよ!?

・くそつたれ!

・U R A : 大変申し訳御座いません。厳しく改善指導致します。

・日本政府：大変申し訳御座いません。即指導致します。

・世界：大変申し訳御座いません。指導徹底致します。

《メジロマックイーン》死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑
死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑
鐘恋鐘恋鐘恋鐘恋鐘恋鐘恋死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑
死刑死刑死刑死刑

・メジロマックイーン：何度もチャンスを頂いているにも関わらず、
大変申し訳御座いません。

《メジロマックイーン》言っておきますけど、そういう発言は風評
被害であり名誉毀損ですからね!

《メジロマックイーン》そもそも私はあなたに1mmも会いたくな
いんですのー!

・《メジロマックイーン》良い加減にしてくださいませー!

・《メジロマックイーン》(このコメントは通報されました)

・《メジロマックイーン》(このコメントは通報されました)

・《メジロマックイーン》(このコメントは通報されました)

・《メジロマックイーン》(このコメントは通報されました)

・《メジロマックイーン》(このコメントは通報されました)

・《メジロマックイーン》(このコメントは通報されました)

「マックちゃん：3月15日のレース見に行けなくて申し訳ない：そ
こまで俺に会いたかったなんて思ってた：それと奈瀬トレ
ナー、遅くなったけどお誕生日おめでとう。いつも声をかけてちゃ
んと応援出来なくてごめんね? 雨に打たれて弱っていたボクの
「心」に君が「かさ」をさしてくれたから：「心」は「応」になったよ。
お姫様の君に応えてあげられるように、立派な応様(おうさま)に
なれるように頑張るからさ。愛してんぞ、文乃。これがボクの「応
え」(こたえ)だ。っておい誰だ、マックちゃんを通報した奴は」

・《世界のYUTAKA》言質取ったり、はい縛りい!!あなたの罪を許す、奈瀬でした。

・《Pui》あ、あなたは?!

・ぎつつつつつつけんじやないわよ!!

・チョツツツツツツロ!!

・アリンコの上で像がタップダンス踊ってるわ!!

・レベルたけええええええええええ!!

・ウマ娘の為なら自身がどうなつてもいいという覚悟を感じる!そこにシビれる!あこがれるウ!

・あーっ!奈瀬文乃っ!!どぼめじろう、楽しんでますか?

・《世界のYUTAKA》どぼめじろう、最高っ!!

・やっぱたけええええええええええ!!

・そらマツクイーン走りたくなるわw

・ってかこれ最初から居たな?

・さつきまで教え子のネタ弄りに発狂していた癖に…

・奈瀬トレーナーとその教え子が少なくとも…あー、これマジで何人居るんだ?

・ここに、集結…

・いや、確かに雨は降ってたけども!!

・雨の日◎

・珍しく怒ったと思つたらすぐこれだ

・本当君達ってさ…

・どの口が言ってるんだか…

・これはサイン書いてって言われて『サイン』って書きますわ

・どぼめじろう早速浮気してて草

・テンション上がってて芝

・分を弁える痴れ者が…

・怒涛の展開にこれには縛り

・奈瀬トレーナーも同性からモテモテだしこれは実質浮気者同士つ

てことでお似合いでは?

・逃げるな!卑怯者!

- ・これは奈瀬文乃包囲網完成か？
- ・リュックが怯えるからやめな〜？
- ・熱っぽいラブソングに酔いしれやがって
- ・性の喜びを知っちゃったか…
- ・ i l u v u 6 a 6 y : つてコト!?
- ・ 構築術式で式場作ろうぜ
- ・ なるほど、トレーナーとウマ娘で包囲するわけですか
- ・ 《黄金船》あ、それアタシだわ

…誰かマックイーンとどぼめじろうの会話が成立してないことに突っ込まないんか？

- ・ いや、突っ込んだら負けだと思っし
- ・ 体力の無駄だよ
- ・ 今に始まったことじゃないし
- ・ っつかゴルマクてえ
- ・ やっぱゴルマクしか勝たん
- ・ やったのゴルシかよ
- ・ なんだゴルシか
- ・ お前だったのか
- ・ 暇を持て余したウマ娘の遊び

「ゴルシちゃんや。またフランス旅行に連れて行ってあげるから、どうか儂を許してくれないかのう…この通りじゃ」

・ 《黄金船》つたく、しょうがねえ祖父祖母だぜ…おっちゃんどジャスも着いてくるなら手を打っても良いぜ

・ ファツ!?

・ やばっ!?

・ …

・ …

・ …

・ …

- ・うせやろ：
- ・驚愕の事実
- ・割と洒落にならん
- ・ワンピース並みに「本社！本社！」って情報が出回ってそう
- ・そんなビツクな家系だったのね!?
- ・そらゴルシちゃん破天荒ですわ
- ・どぼめじろうの子孫なら仕方ありませんわ
- ・夜の営みも激しそうですわ
- ・エゲツない家族構成だガネくく!!
- ・でもあり得ない話ではないよな
- ・レースのスタートは下手なものにな
- ・なるほど、準備万端（意味深）ってわけか
- ・こんなわかりやすい賢者は初めて
- ・ゴルシのファンサが上手いのって、つまりそういうこと…？
- ・だったらいつもやる気出せや
- ・確かにどぼめじろうも立ち上がったけどさあ…
- ・なんか頭に120億って数字ががが…
- ・こっちは140億って数字ががが…
- ・選り好みしない、準備運動は念入りするタイプ、ウマ娘にもヒト娘にも優しい：あれ？案外真面目に…
- ・いやゴルシとどぼめじろうとかどう考えても真逆やろ
- ・《メジロマックイーン》《テキスト》なことを言わないでくださいませ
- ・おかえりなさいませ
- ・おかえり
- ・マックちゃんおかえり
- ・おかか
- ・やさしいせかい
- ・やさしいせいかつ
- ・ここまでがテンプレ
- ・ここまでが天ぷら

「つたく、マックちゃんは相変わらずわーきゃーと細かいわね。まあ
そういうところも好きなんだけど」

《メジロマックイーン》私は一度たりともあなたに好意を抱いたこ
とはありませんわ：寧ろ軽蔑していますので！

- ・ 振られたな
- ・ 振られたね
- ・ 振られましたね
- ・ 振られちまったな
- ・ 振られたぞ
- ・ 振られるとはな
- ・ 振られたか
- ・ 振られてるね
- ・ 振られたの
- ・ 振られちまったぞ
- ・ 振られた
- ・ 振られないとでも
- ・ 振られてて草
- ・ 振られてて芝
- ・ 振られたのか
- ・ 振られましたか
- ・ 振られてやんの
- ・ 振られたなあ
- ・ 振られたのう
- ・ 盛大に振られましたね
- ・ 惨めだな
- ・ 哀れな：
- ・ 哀れだね
- ・ 可哀想
- ・ かわいい
- ・ カワユス

- ・ 残念だったね
- ・ 粉碎！玉砕！大喝采！

「うるせえ口だな、塞いでやるぜ俺のこの唇でなぶちゆちゆちゆるちゆるちゆちゆとうるちゆるちゆるぶつちゆちゆちゆんーつまつまつまつまんーつ…さて、少しばかり喋り過ぎたか…弱い奴ほど良く吠える。だが、おまいらは知っているよな…俺は強いが良く吠える！」

- ・ そのセンス…

- ・ …ついていけない

・ 《閃光のフラッシュ》…やはり理解できません。ウマ娘に人間が勝てるわけがない。

・ どぼめじろうの辞書には「勝利」という文字しか存在しない。どのページを開いても一様に「勝利」の解説であるため、辞書としては丸つきり役に立たない。

・ どぼめじろうという能ある鷹は爪を隠さない。見られたところで獲物はすでに爪の中だ。

・ どぼめじろうに抱き上げられた生まれたての赤ん坊は、すっかり人生に満足してしまい、スコップを手に取って墓を掘り出した。

・ どぼめじろうは女を深く愛することができない。大抵の女は二度目のキスでアナフィラキシーを起こして死んでしまうからだ。

- ・ ウマ娘に毒が効かないという伏線をここで回収する？

- ・ Fanです！

- ・ Sukiです！

- ・ Boiinです！

- ・ 縦から読んだらFSB!?

- ・ あっ、急に胸が苦しい…

・ 塩素<ホスゲン<マスタード<タブン<サリン<ソマン<V剤<ノビチヨク<どぼめじろう

- ・ タリウム<青酸カリ<アコニチン<テトロドトキシシン<ノビチヨ

くくどぼめじろう

・アセチルコリンエステラーゼが不可逆的に阻害されるノビチヨクよりもどぼめじろうの方が強いんか…

・こうなったら白雪姫族が黙ってませんね

・つてか『さて』つてあのさあ…

・さて、で終わらすな

・さてじゃないが

・さて、はNGワード

・さて、で察する視聴者もやばいやろ

・奇跡の白毛ウマ娘ブチギレ案件

・ソダシの菌茎がまた荒れるぞ

・細江純子CV：細江純子

・キヤーツ

・あつ

・純子!!?

・ずんこ!!?

・まずい

・純子はマジでまずい

・ホソジユン!!?

・細純!!?

・純子があかん

・スナツクズンコは危険

・読む逆レイプじゃん

・存在が規約違反同士ではあるんだがな

・細江ママのアソコだけの話

・マジなヴオルデモートはNG

・どぼめじろう以上に化け物が多すぎい!

・やっぱどぼめじろうの方がマシな気がする…

・こんなイメ損だろ!!いい加減にしろ!?

・《白毛のアイドルウマチューバー》キングさん、オペラオーさん…

助けて!

- ・どぼめじろう聞こえてるのか？私達から貴方への鎮魂歌だ
- ・力の差などわかってた：
- ・わかってた：わかっていたことだ：だが、ここまで：！
- ・魅せてくれたなどぼめじろう
- ・何だったんだ：今の嵐は：
- ・いつしか雨は止み、そこには虹が架かるんだよなあ：
- ・ほんまにこいつ、常識その他諸々捨て過ぎだろ

「相変わらず、俺達の忠告は無視するんだね。——子羊くん」

誰も居ない筈の部屋で、聞き覚えのある声がまた聞こえる。俺は、その声の主達と配信を見ている人達に対して、堂々とこう答えた。

思えば、あの日からそうだった。

「何も捨てることが出来ない者には、何も変えることは出来ないだろ」

美術教育を受けた人とそうでない人、美術を生業としている人は、得てして精神疾患に罹りやすい：という論文があるように、イタコ芸の一環としてお遊び程度にやっていたとはいえ、聞こえたその当初は「どうとう俺もトップバリユの仲間入りか：」程度にしか物事を見ていなかった。

いや、違う。想いを願ったあの日から積み重なった反動が少なから

ず来たのだろうか…いやそれよりも前の、言うなれば前世からの影響なのではないか、と…俺は思っていた。

否、思いたかった。

だが、悲しきかな。

「…あれはね、もうすぐ来る未来。絶対に変えられない未来」

幻聴だと思いたかったそれは、日に日に増していく。

「お前は、メジロマックイーンやトウカイテイオーをぐちやぐちやにする」

腹の底から出たその叫びは、途方もない虚しさとなって返ってくる。

「未来 最高 未来！ 最高！ 未来！ 最高！」

あれは、幻聴なんかではなかった。

「未来 最高 未来 最高 イエイイエイ」

幻聴であってほしかった。

「あなたも未来最高と叫びなさい！！」

マックイーン達と初めて出会ったあの日…そして公安で検査を受けたあの時…ウマ娘をプレイしていたあの瞬間から…この世界にも運命があることを知って、俺は…ガツカリした。

「ごめんね、ぴ…(泣)」

そ、そんな、三女神様、どうして…

「…五月蠅いですね、もう何度目だと思っっているんですか。良い加減…腹を括って覚悟を決めなさいっ！ビリビリ!!？ドツカーン!!？」

…！

「どぼめじろう！無事か！」

うびびびびびびびび。

「ナム！ハウレンソウ！」

・ナムハウレンソウ!!出た！ナムハウレンソウ出た！得意技！ナムハウレンソウ出た！ナムハウレンソウ！これ！ナムハウレンソウ出たよよよ！

・ナムハウレンソウキタ——(。▽。)———!!!

・百発百中の占い師であるどぼめじろうはある日、世界の終わり[!]を予言してしまった。事態を重く見た彼は未来を変えるべく、タイムマシンに乗り込んだ。それから未来がどうなったのか、彼がどうなったのかを知る者はいない。ただ、近頃「百発九十九中」が売り文句の占い師が都を賑わしているらしい。

・なぜ笑うんだい？彼のナムハウレンソウは立派だよ？

・貴様はくくく!!だからUMAちゃんねるで馬鹿にされるといふのだくくく!!このくくく!

・ぐえええー！悪霊退散悪霊退散!!

・お！ダノンザキツドさんとバストラットレオンさん！奇遇ですね！

・おお！そういう君はキンチェムではないか！敬礼！

・キンチェムに対する熱い風評被害に涙が止まらない

・キンチエムを呼び捨てに出来るダノンザキッドとバスラットレオンとは一体…

・せめてなんかこう…捻りとか無い訳？

・でもキンチエムってちよつと抜けてるからこういうネタ普通に言いそうなんだよなあ…

・万が一、いや…億が一かな。カメラロットがキンチエムのことを呼び捨てにするなら分かるけど、ほんまに何と言うかあのさあ…

・キンチエムが幼少期の頃何者かに攫われたって言っていたエピソードがあるけど、それってもしかして…

・まさかとは思いますが…その犯人とは、どぼめじろうのことを指しているのではないので（このコメントは削除されました）

・尚、犯人は『あのウマ娘は見た目では分からない勇気を持っていた。こいつが一番よく見えたんだ』などと述べており…（このコメントは通報されました）

・真ん中に犬が…の元ネタアオシマバクシンオーじゃなくてキンチエムってマジ？

・どぼめじろう、確かにちよつとフランキーに似てるよね

・何処がやねんって思ったけど確かに変態なところはそうだったわ
・フランキー（トレーナー）に対する熱い風評被害に涙が止まらない

い

・ギムレットが生きていたらウオツカって名前を子供に付けそう

・ギム爺とウオツカに対する熱い風評被害に涙が止まらない

・セニョールと言う名前があるだけでエルグランセニョールとルシア
・ちな、ルシアンやゲイルシアン、ロイヤルルシアンという名前の

子も居ます

少なからずルシアンの名前が付く子が「ハードボイルド」って言葉を使いたくはないやろな

・おおーそういう君は我が友リスグラシューではないか！くらいに
改変しとけよ

・山月記にしてもりしか合っていないやん

- ・《メジロマックイーン》私は限界だと思った
- ・お嬢様言葉忘れてるで

神はいる。そう思った。

ばん、と銃声が一つ鳴り響く。

一直線に、誰よりも早くその弾丸は的確に標的を目指す。

ライフル協会は、1つの名言をこう記している。

『人を殺すのは人であって銃ではない』

だが、放たれた弾丸はもう戻ることはない。

重なったイレギュラーによる暴走は、最早歯止めが効かないものとなった。

俺が受けた予言はこうである。

『メジロマックイーンは、春の天と地の戦い天皇賞でトウカイテイオーを打ち破つた後、凱旋門賞で最高な勝ち方をする。その後、ウマ娘にとって最も崇高される最高神が登場するだろう』

彼女達との物語は、そこで終わりを迎える。

「理不尽な事を言っているのはわかってる。…だけど、お前は神様なんだろ！だったら何とかしてくれよ！ボク達を救ってくれよ！」

——いよいよ、待ちに待ったプロジェクトL, Arcが始まろうと
していた。